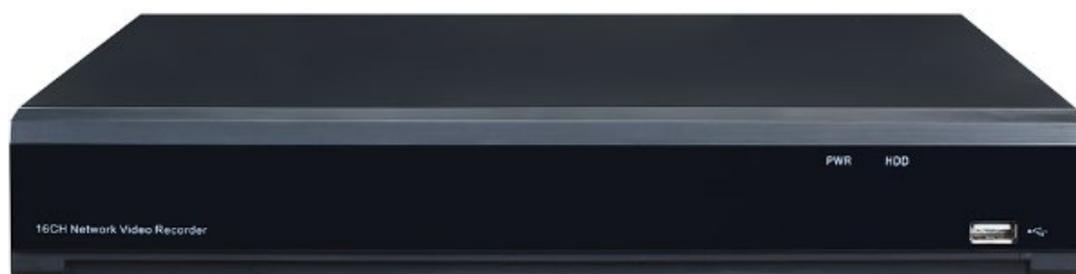


Fisheye ネットワークビデオレコーダー ユーザーマニュアル

TNV-RH16PW/ TNV-RH32PW

■ TNV-RH16PW



■ TNV-RH32PW



※ 本製品の仕様は改良のため、予告なく変更することがございます。その際、取扱説明書の内容と異なる部分が生じることがございますので、ご了承下さい。

※ 本取扱説明書に掲載されている全ての画像、文章、データ等の無断転用、転載をお断りします。

2023・4・Ver1.1

目 次

安 全 指 導	8
第 1 章 製品概要	11
1.1 リアパネル	11
1.2 フロントパネル	13
1.3 ライブ, 録画再生 性能表	14
第 2 章 NVR の設置・接続	15
2.1 機器接続例	15
2.2 電源の接続	16
第 3 章 NVR の 一般的な操作方法	17
3.1 付属のマウスを使用する	17
3.2 仮想キーボードの使用	18
3.3 パスワード(工場出荷時)	19
3.3.1 初期パスワード	19
3.3.2 動作モード切替、リセットの場合のパスワード設定画面	20
3.3.3 パスワードリカバリ設定 (RecoverPwdDialog)	23
3.3.4 パスワードリカバリ認証 (RecoverPwdAuthDialog)	25
3.4 USB フラッシュメモリーを本機でフォーマットする	27
3.5 本体裏面のリセットボタン	30
第 4 章 NVR 起動	31
4.1 起動ウィザード	32
4.1.1 起動ウィザード - スタートウィザード	32
4.1.2 起動ウィザード - ネットワーク設定	33
4.1.2.1 起動ウィザード - ローカル接続	33
4.1.2.2 起動ウィザード - ポート	34
4.1.2.3 起動ウィザード - PPPoE	34
4.1.3 起動ウィザード - 日時	35
4.1.3.2 起動ウィザード - NTP	36
4.1.3.3 起動ウィザード - サマータイム	37
4.1.4 起動ウィザード - IP カメラ	38
4.1.5 起動ウィザード - ディスク	45
4.1.6 起動ウィザード - メインモニタ出力解像度	45
4.1.7 起動ウィザード - モバイル	46
4.1.8 起動ウィザード - 概要	47
4.2 ライブビュー画面の概要	48

4.2.1	カメラクイックツールバー.....	50
4.2.2	タスクバー.....	51
4.2.3	スタートメニュー.....	54
4.2.3.1	画面のロック解除とロック.....	54
4.2.3.2	シャットダウン.....	55
4.2.4	魚眼モード.....	56
4.2.5	通知ポップアップ.....	63
第 5 章	NVR システムの設定.....	67
5.1	チャンネル.....	68
5.1.1	IP チャンネル.....	69
5.1.2	POE 電源.....	78
5.1.3	ライブ.....	79
5.1.4	イメージ設定.....	81
5.1.5	PTZ 設定.....	85
5.1.5.1	PTZ 制御(操作).....	86
5.1.6	モーション: パラメータ設定.....	87
5.1.6.1	モーション: アラーム設定.....	88
5.1.7	人感センサー: パラメータ設定.....	89
5.1.7.1	人感センサー: アラーム設定.....	89
5.1.8	プライバシー設定.....	90
5.2	録画設定.....	91
5.2.1	エンコード.....	91
5.2.2	録画.....	94
5.2.2.1	録画.....	94
5.2.2.2	録画スケジュール.....	95
5.2.3	キャプチャ.....	96
5.2.3.1	キャプチャ.....	96
5.2.3.2	キャプチャスケジュール.....	97
5.3	アラーム.....	98
5.3.1	モーション.....	98
5.3.2	I/O アラーム(外部入力アラーム).....	99
5.3.3	人感センサー.....	100
5.3.4	PTZ 連動.....	100
5.3.5	異常.....	101
5.3.6	アラームスケジュール(リンケージアクションのスケジューリング).....	102
5.3.7	コンビネーションアラーム(Combination Alarm).....	103
5.3.8	音声警告.....	105
5.4	ネットワーク.....	108

5.4.1 基本設定(ネットワーク)	108
5.4.1.1 PPPoE	111
5.4.1.2 ポート設定	112
5.4.2 DDNS	113
5.4.3 メール	114
5.4.3.1 メール設定	114
5.4.3.2 メールスケジュール	115
5.4.4 FTP, FTP スケジュール	116
5.4.5 P2P	118
5.5 ストレージ管理	119
5.5.1 ディスク管理	119
5.5.1.1 S.M.A.R.T.	122
5.5.2 ディスクグループ	123
5.5.3 クラウドストレージ	124
5.6 システム	125
5.6.1 基本設定(システム)	125
5.6.1.1 日付と時刻	126
5.6.1.2 NTP 設定	127
5.6.1.3 サマータイム(夏時間 DST) 設定	128
5.6.2 モニター設定	129
5.6.2.1 画面出力(ライブ出力)	129
5.6.2.2 HDMI2(サブ出力)	131
5.6.2.2.1 HDMI2(サブ出力):[TNV-RH16PW の場合]	131
5.6.2.2.2 HDMI2(サブ出力):[TNV-RH32PW の場合]	133
5.6.3 マルチユーザー	136
5.6.3.1 パスワードの変更	137
5.6.3.2 新規ユーザーの追加	138
5.6.3.3 ユーザ権限の設定	139
5.6.4 メンテナンス	140
5.6.4.1 ログ	141
5.6.4.1.1 ログの検索とバックアップ	141
5.6.4.1.2 ログの最大保存件数	142
5.6.4.2 初期値のアップロード	142
5.6.4.3 アップグレード	143
5.6.4.4 パラメータ管理	144
5.6.4.5 自動再起動	145
5.6.4.6 リセットスイッチ設定	146
5.6.5 IP カメラメンテナンス	147
5.6.5.1 IP カメラのファームアップグレード	148
5.6.5.2 IP カメラの初期値アップロード	149

5.6.5.3 IP カメラの再起動.....	150
5.6.5.4 IP カメラ設定ファイルのバックアップとリストア	151
5.6.5.5 IP カメラのストレージの SD カードをフォーマットする	152
5.6.6 システム情報	154
5.6.6.1 情報.....	154
5.6.6.2 チャンネル情報.....	155
5.6.6.3 録画情報.....	155
5.6.6.4 ネットワーク状態	156
第 6 章 録画検索(再生, バックアップ)	157
6.1 検索機能の使用	157
6.1.1 録画検索とビデオ再生の一般的な使用方法	160
6.1.1.1 魚眼モードでの録画再生.....	162
6.1.1.2 ビデオクリップのバックアップ	167
6.1.1.2.1 フィッシュアイ映像のバックアップ	170
6.1.1.2.2 バックアップしたフィッシュアイ映像を PC で再生する(VMS Pro ソフトウェア).....	173
6.1.1.3 録画再生画面の手動キャプチャ(静止画バックアップ)	178
6.1.1.3.1 フィッシュアイ映像の録画再生画面の手動キャプチャ(魚眼モードでの静止画バックアップ).....	180
6.1.1.4 USB フラッシュメモリーのディレクトリ操作画面.....	182
6.1.2 イベント検索(再生,バックアップ,録画ファイルのロック・アンロック)	186
<ファイルのロック>	187
6.1.3 マルチ時間再生	189
6.1.3.1 イベント検索の検索画面と再生コントロール画面	191
6.1.4 スマート検索と再生	192
6.1.4.1 スマート検索エリア	194
6.1.5 画像検索	196
6.1.5.1 画像プレビューコントロール(検索画像のスライドショー)	200
6.1.6 タグ検索.....	202
<“タグ”についての解説>	202
6.1.6.1 タグ検索画面.....	203
6.1.7 外部ファイル検索.....	205
6.1.8 スライス検索	206
第 7 章 WEB クライアント経由のリモートアクセス.....	208
7.1 基本的なシステム環境要件.....	208
7.2 WEB クライアント・マネージャー	209
7.2.1 ライブ.....	211
7.2.2 録画再生	215
7.2.2.1 再生コントロールボタン.....	217
7.2.3 リモート設定.....	219

第 8 章 バックアップ映像をパソコンで閲覧する(VMS PRO)	220
8.1 VMS PRO ソフトウェアのインストール.....	220
8.2 管理者パスワード登録(VMS PRO)	224
8.3 ログイン(VMS PRO)	226
8.4 セキュリティの質問、パスワードリセット(VMS PRO)	228
8.5 “VMS PRO”の言語を日本語へ設定する.....	230
8.6 ビデオプレイヤーの操作(VMS PRO).....	233
第 9 章 ANDROID・IOS から NVR を使用する	238
9.1 「RXCAMVIEW」へ NVR の登録.....	238
9.2 「RXCAMVIEW」の各操作.....	240
9.2.1 ライブ画面.....	240
9.2.1.2 魚眼モード(ライブ)	242
9.2.2 録画検索・再生	244
9.2.2.1 魚眼モード(録画再生)	246
9.2.3 ファイラー一覧	248
9.2.4 イベント通知.....	249
9.2.5 ローカル設定.....	251
9.2.6 リモート設定.....	252
9.2.6.1 [ライブ]設定画面	252
9.2.6.2 [日時]設定画面	253
9.2.6.3 [HDD]設定画面	253
9.2.6.4 [録画スケジュール]設定画面.....	254
9.2.6.5 [ネットワーク]設定画面	255
9.2.6.6 [モーション]設定画面	256
9.2.6.7 [IO 制御](外部入力アラーム)設定画面	257
9.2.6.8 [システム情報]画面	258
9.2.6.9 [メール]設定画面.....	259
9.2.6.10 [メールスケジュール]設定画面	260
9.2.6.11 [クラウドストレージ]設定画面.....	260
9.2.6.12 [アラームプッシュスケジュール]設定画面.....	261
9.2.6.13 [PIR](人感センサー)設定画面	261
9.2.6.14 [ビデオブロック](プライバシー設定)設定画面.....	262
第 10 章 付録	263
10.1 トラブルシューティング, FAQ	263
10.2 メンテナンス.....	272
10.3 付属品(参考)	273
10.4 記録時間の目安一覧表.....	274
AI.....	275

デュアルストリーム	275
トリガ	275
ノーマルオープン	275
ノーマルクローズ	275
DDNS.....	275
DHCP	275
HTTP	276
NTP	276
NVR.....	276
PPPoE	276
PTZ	276
SEQ	276
SNMP	276
USB	276
冗長ディスク.....	276
10.6 製品仕様	277
■ <i>TNV-RH16PW</i>	277
■ <i>TNV-RH32PW</i>	278
5.7 外形寸法図	279
■ <i>TNV-RH16PW</i>	279
■ <i>TNV-RH32PW</i>	280
10.8 免責について	281

安全指導

本製品をご使用になる前に、人身傷害を防ぎ、接続機器等が破損しないよう、以下の安全指示をよくお読みください。

1. NVR の開口部を通して、内部を触ったり、物を入れたりしないでください



感電やその他の事故を避けるために、NVR の開口部から内部へアクセスしないでください。

2. 装置をほこりだらけの現場に入れないでください

装置をほこりだらけの現場に入れないでください。

3. 雨や湿気が多い環境下に機器を配置しないでください

地下室のような湿気が多い環境下に機器を配置しないでください。機器が誤って水と接触した場合は、電源ケーブルを抜いてすぐに代理店にお問い合わせください。

4. 装置の表面を清潔で乾燥した状態に保つ

NVR のお手入れは、本体表面を柔らかい湿った布を使用して拭き上げてください(液体エアゾールクリーナーを使用しないでください)。

5. 問題が見つかった場合は操作しない



NVR から異臭・異音・発煙がある場合は、直ちに電源ケーブルを抜いて使用を中止して代理店へご連絡下さい。

6. 上部カバーを取り外そうとしない



警告:感電を避けるために NVR の上部カバーを取り外さないようにしてください。

7. 注意して取り扱う



NVR が強い衝撃を受けて正常に動作しない場合は、直ちに電源ケーブルを抜いて使用を中止して代理店へご連絡下さい。

8. 標準リチウム電池を使用する。

(注意:メーカーが取り付けしたバッテリーまたは指定したバッテリーを使用)

電源を切った後、システム時刻が動作し続けられない場合は、メインボードの標準 3V リチウム電池(ボタン電池)を交換してください。



警告: バッテリーを交換する前に **NVR をオフ**にして電源ケーブルを抜いてください。重大な感電に見舞われる可能性があります。



本 NVR 内に装着されている**コイン型電池は通常ゴミとして廃棄しないでください**。使用済みの電池は適切に処分してください。

Battery Disposal: This product may contain a battery that cannot be disposed of as unsorted municipal waste in the European Union. See the product documentation for specific battery information. The battery is marked with this symbol, which may include lettering to indicate cadmium (Cd), lead (Pb), or mercury (Hg). For proper recycling return the battery to your supplier or to a designated collection point. For more information see: www.recyclethis.info.



9. 換気の良い場所に置く

NVR は動作中に大量の熱を作り出す HDD を搭載しています。その結果、運転中にシステムを冷却するための**換気口(上部、底部、両サイド)を塞がない**でください。**換気の良い場所に機器を配置**してください。

10. 接続された AC アダプタは、1 台の NVR にのみ使用できます。

それ以上の機器を接続すると NVR が不十分な電力のために再起動を繰り返す可能性があります。

11. 装置への水滴や水しぶきを防いでください。



花瓶などの水を含む物体を、NVR や接続機器の上、及び周辺へ配置しないでください。

12. 電池の誤飲事故に注意して下さい。化学やけどを起こします。



この製品は、コイン/ボタンセル電池が含まれています。コイン/ボタン電池を飲み込むと、わずか 2 時間で重度の内熱を引き起こし、死に至る可能性があります。新しい電池や使用済み電池を子供から遠ざけてください。バッテリーコンパートメントがしっかりと閉まらない場合は、製品の使用を中止し、子供の手に触れないようにしてください。



電池を誤って飲み込んだ場合、あるいは、その可能性があると思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

13. 必ず NVR に付属の AC コードを使用してください。

14. AC コードのプラグは奥までしっかり差し込んだことをご確認ください。

15. 爆発の恐れのある場所で使用しないでください。



この製品(付属の AC コードを含む)を爆発の恐れのある場所で使用しないでください。

16. 衝撃や振動にさらさないでください。

17. 不安定な位置に設置しないでください。

18. 改造しないでください。

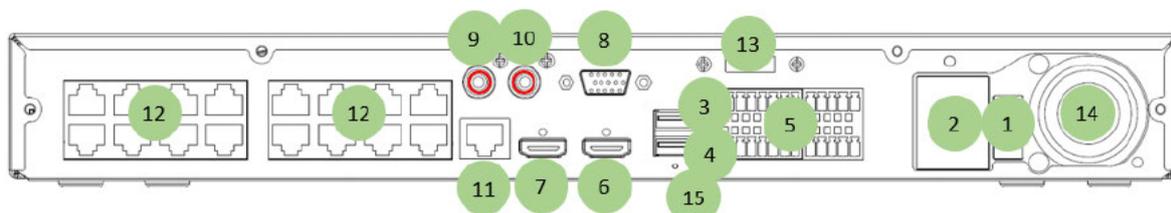
19. 内部へ異物を入れないでください。

20. 使用中に衝撃や振動が発生した場合は動作が正常であるかご確認ください。NVR 本体、ケーブル類の接続等に異常がないかご確認ください。

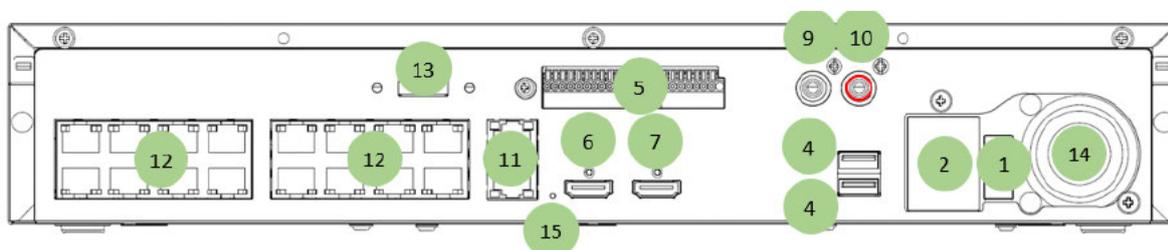
第 1 章 製品概要

1.1 リアパネル

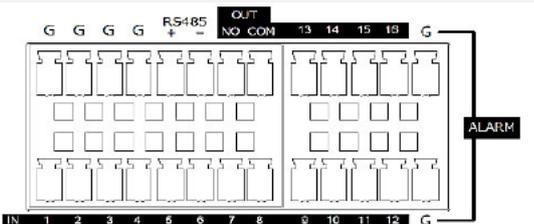
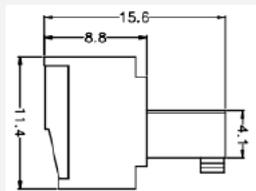
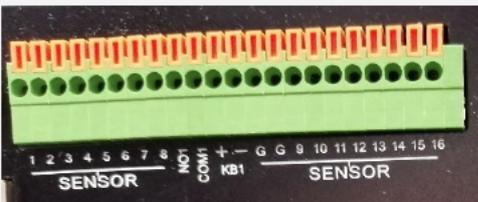
[TNV-RH16PW]



[TNV-RH32PW]

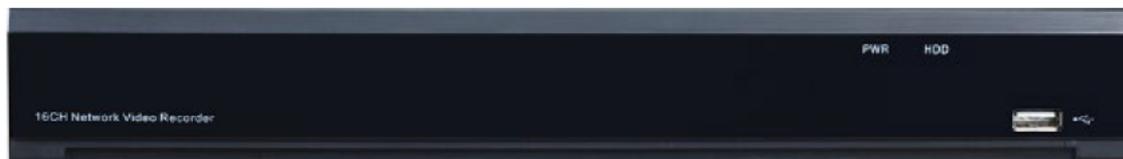


番号	コネクタ	説明
1	 電源スイッチ	電源オン／オフの切り替えが可能
2	 AC 電源	付属の AC コードを接続(AC100[V])
3	 (USB2.0) ※	USB マウスや USB フラッシュ ディスクなどの USB デバイスを接続 ※USB フラッシュメモリの容量は最大 128GB まで
4	 (USB3.0) ※	USB マウスや USB フラッシュ ディスクなどの USB デバイスを接続 ※USB フラッシュメモリの容量は最大 128GB まで
5	ALARM, OUT, RS-485 (KB1)	A L A R M: [アラーム入力端子]外部センサーに接続。 O U T: [アラーム出力端子]アラームデバイスに接続。 RS485 (KB1): RS-485 に接続。半二重。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Wire range: 28-16AWG 0.5-1.5mm²</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Strip length: 6-7mm</div>

		 <p>結線の際はターミナルブロックを外して結線できます。</p>   
	16ch	
	32ch	
6	HDMI ポート(メイン)	HDMI 高精細ポート(メイン)。4K まで対応。
7	HDMI ポート(サブ)	HDMI 高精細ポート(サブ)。TNV-RH16PW では 1080P までの対応となります。 【注意】こちらでの OSD 表示、録画再生表示、フィッシュアイ展開表示はできません。
8	VGA ポート	VGA モニタに接続。1080P まで対応。
9	ラインイン	ラインインオーディオ入力
10	オーディオ出力	オーディオ出力
11	WAN ポート	外部ネットワークに接続する遠隔監視用ネットワークインターフェイス。
12	LAN ポート	PoE 対応の電力供給なカメラ接続用ネットワークインターフェイス。
13	e-SATA ポート	e-SATA ポート。 (e-SATA ディスクは、内蔵 HDD 同様に、“冗長ディスクモード”、“読み出し/書き込みディスクモード”、“読み出し専用ディスク”としてご利用可能です。詳しくは、 「5.5 ストレージ管理」 をご覧ください)
14	内蔵電源排気ファン	内蔵電源排気ファン
15	リセットボタン	リセットボタン

1.2 フロントパネル

■ TNV-RH16PW



■ TNV-RH32PW



ボタン	説明
 HDD (赤)	HDD ランプはハードディスクへのアクセス中に等間隔点滅致します。点灯する場合はハードディスクエラーの可能性がございます。ハードディスク未搭載の場合は稼働中におきましても消灯したままとなります。なお、HDD ランプは赤色以外を使用しておりません。
 PWR (緑)	PWR(パワー)ランプは電源が入っていると点灯致します。なお、PWR(パワー)ランプは緑色以外を使用しておりません。
	付属のマウスまたは USB フラッシュメモリーを接続します。 USB フラッシュメモリーは本機でフォーマットできます。詳しくは、「 3.4 USB フラッシュメモリーを本機でフォーマットする 」をご参照ください。 ※USB フラッシュメモリーの容量は最大 128GB までです。

注意: USB 端子に接続して使用される、USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式にてご使用ください。対応している USB フラッシュメモリーの容量は 128GB までとなっております。

1.3 ライブ, 録画再生 性能表

・ライブ:同時表示 CH 数

[TNV-RH16PW]

Resolution	@30fps	@25fps	@15fps	@12fps	@7fps
D1 or 640*480	16	16	16	16	16
720P(1280x720)	16	16	16	16	16
2MP(1920x1080)	8	8	8	8	8
4MP(2592x1520)	4	4	4	4	4
5MP(2592x1944)	3	3	3	3	3
8MP(3840x2160)	2	2	2	2	2

[TNV-RH32PW]

Resolution	@30fps	@25fps	@15fps	@12fps	@7.5fps
D1 or 640*480	32	32	32	32	32
720P(1280x720)	32	32	32	32	32
2MP(1920x1080)	32	32	32	32	32
4MP(2592x1520)	16	20	32	32	32
5MP(2592x1944)	13	15	26	26	26
8MP(3840x2160)	8	9	16	16	16

・録画再生:同時表示 CH 数

[TNV-RH16PW]

Resolution	@30fps	@25fps	@15fps	@12fps	@7fps
D1or 640*480	16	16	16	16	16
720P	16	16	16	16	16
2MP	8	8	8	8	8
4MP	4	4	4	4	4
5MP	3	3	3	3	3
8MP	2	2	2	2	2

[TNV-RH32PW]

Resolution	@30fps	@25fps	@15fps	@12fps	@7.5fps
D1or 640*480	16	16	16	16	16
720P	16	16	16	16	16
2MP	16	16	16	16	16
4MP	16	16	16	16	16
5MP	13	15	16	16	16
8MP	8	9	16	16	16

第2章 NVR の設置・接続

カメラの画角設定基準、設置施工基準等につきましては、
日本防犯設備協会の技術標準 (SES E) を参考にしてください。

詳しくは日本防犯設備協会へお問い合わせください。 www.ssaj.or.jp TEL:03(3431)7301

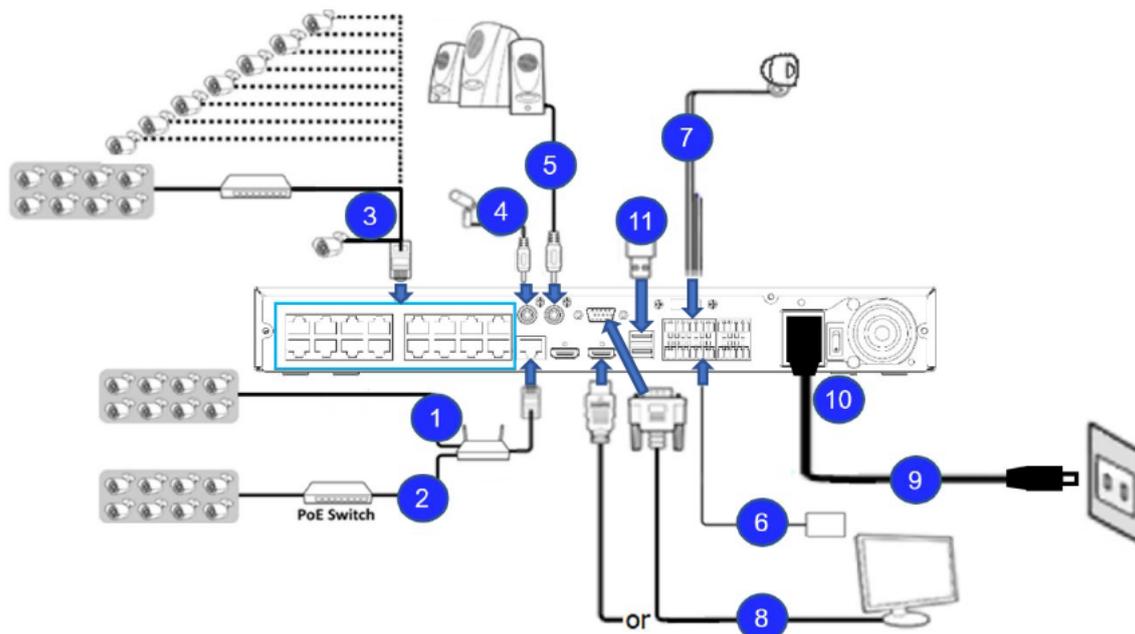
注意：環境条件が仕様範囲に合致していることを確認してください。

注意：電源環境の悪い場所では、UPS (無停電電源装置) を接続して御利用ください。

注意：機器が正しくラックや棚に固定されているか御確認ください。

注意：本機は屋内専用です。

2.1 機器接続例



- ① 既設の IP カメラを LAN 端子を介して接続することが可能です。
- ② PoE ハブを介した既設 IP カメラの接続に対応しています。
- ③ NVR の PoE ポートへ IP カメラを接続します。PoE ポート は PoE 対応の IP カメラ用接続口です。PoE ポート へ PoE 対応の IP カメラを接続しますと PoE で IP カメラを駆動可能です。また、Switch を介した接続で 16 台以上を接続することも可能です (帯域の制限はございます)。
- ④ AUDIO INPUT 端子へアンプ付きマイクの RCA プラグを接続します。
- ⑤ アンプ付きスピーカーの RCA プラグを AUDIO OUTPUT へ接続します。
- ⑥ センサーデバイスの配線棒端子を SENSOR 端子へ接続します。
- ⑦ アラーム受信機を接続の場合は配線棒端子を ALARM 端子へ接続してください。
- ⑧ メインモニタを HDMI1 端子または VGA 端子へ接続します (TMV-RH32PW では VGA ディスプレイをご利用いただけません)。
- ⑨ 主電源スイッチが OFF であることを確認して、付属の AC コードを使用してコンセントへ接続します。UPS (無停電電源装置) を接続の場合は UPS へ接続します。
- ⑩ 主電源電スイッチを入れます。NVR が通電すると NVR 本体右上の PWR ランプが緑色へ点灯します。
- ⑪ USB フラッシュメモリ, USB マウスは  (USB) 端子へ接続します。

注意: 実際の接続は、購入された NVR によって異なる場合があります。

注意: LAN のループ接続にご注意ください。

注意: ケーブルに曲げストレスがないかなど十分に御確認ください。

注意: 装置を複数台設置の場合、その間隔は少なくとも周囲 2cm 以上のスペースを空けてください。

注意: 敷設ケーブルに過度な圧迫ストレス、牽引ストレスがかかっていないか十分に御確認ください。

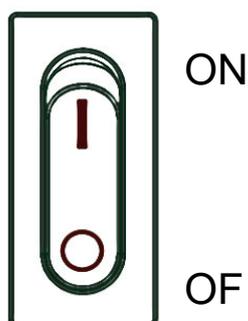
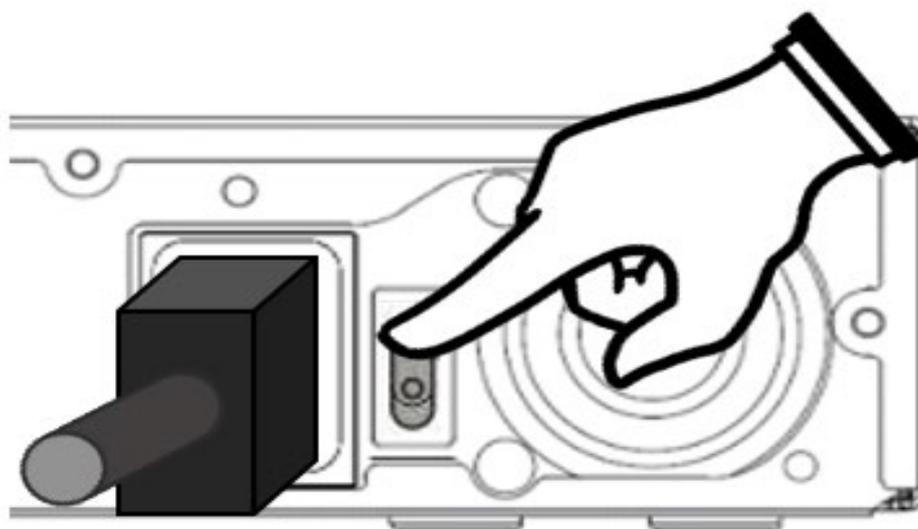
注意: 雷・サージ対策のため、NVR がアースされることを確認してください。

2.2 電源の接続

注意: 必ず NVR に付属の AC コードを使用してください。

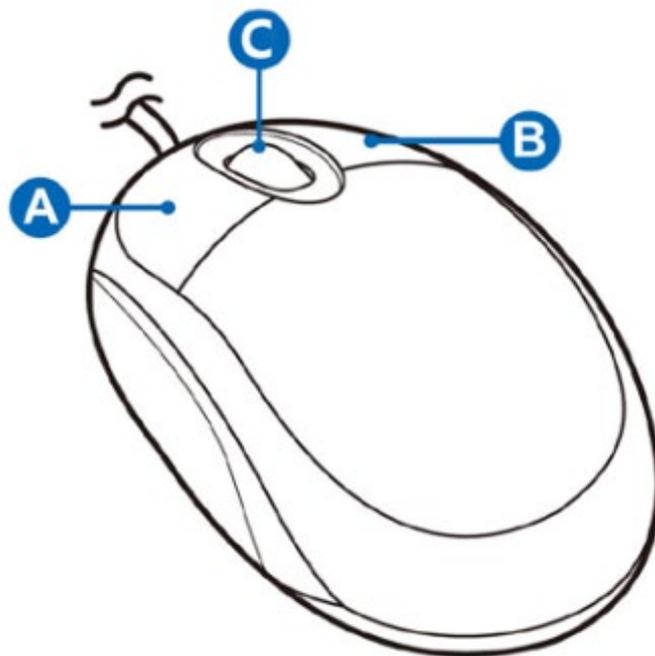
注意: AC コードのプラグは奥までしっかり差し込んでいることをご確認ください。

NVR 背面の電源コネクタへ接続し、スイッチをオンします。



第3章 NVR の一般的な操作方法

3.1 付属のマウスを使用する



1. 左ボタン:

- クリックしてメニューオプションを選択します。
- 分割画面表示でライブ表示中に、チャンネルをダブルクリックして全画面表示にします。チャンネルをもう一度ダブルクリックすると、分割画面表示に戻ります。
- ライブ表示画面でチャンネルをクリックすると、カメラクイックツールバーが開きます。チャンネルをドラッグするとチャンネル配置替えができます。

2. 右ボタン:

- 1回右クリックして、ライブ表示画面でタスクバーを開きます。[4.2.2 タスクバー](#)をご覧ください。メニュー内で右クリックすると、戻す/閉じる ことができます。

3. スクロールホイール:

- それぞれのメニューでスクロールホイール操作して、メニューの内容を上下移動に使用します。
- ボリュームコントロールの上にマウスを合わせると、スクロールホイール操作でシステム音量を上/下することができます。
- 録画再生のプログレスバーの上でスクロールホイール操作するとプログレスバーの時間間隔を狭めたり広げたりできます。

3.2 仮想キーボードの使用

データを入力する必要があるときに、仮想キーボードが自動的に画面に表示されます。



3.3 パスワード(工場出荷時)

3.3.1 初期パスワード

NVR の工場出荷時パスワードは“cctv1212@”(半角小文字英数字記号)となっておりますが、プライバシーを保護するために、パスワードを変更して御使用下さい。ユーザー名とパスワードは記録し、安全な場所に保存してください。パスワード変更の場合は、[「5.6.3.1 パスワードの変更」](#)をご覧ください。

注意: セキュリティ上、NVR の初期パスワードは変更してご使用下さい。

注意: パスワードを忘れた場合はシステムにログインできなくなります。日頃からパスワードは大切に管理してください。

注意: 予期せぬアクセスを防ぐため、定期的なパスワードの変更実施を強く推奨します。

3.3.2 動作モード切替、リセットの場合のパスワード設定画面

システム設定をリセットした場合はパスワードの再設定が必要となります。

- ① **言語:** 日本語を選択します。
- ② **デバイス ID:** (使用しません。デフォルトの 000000 のままで構いません)
- ③ **新しい管理者名:** “admin”(半角小文字英字)となります。
- ④ **パスワードの強度:** 赤は簡単に解読され安全ではないことを示し、緑は複雑でとてもセキュリティパフォーマンスが優れていて解読されないことを示します。パスワードの強みと弱さのプロンプトをご参考にセキュリティパフォーマンスが高いパスワードを設定してください。
- ⑤ **新しい管理者パスワード:** パスワードを設定します。パスワードには次の制約の元、半角文字を使用して設定します。(予め入力されている「●●●●●●●●」は“cctv1212@”(半角小文字英数字記号)が入力されております)

< 8～9文字のパスワードを設定する際の制約 >

- 8～9文字でパスワードを御設定の場合、“大文字、小文字、数字、特殊文字”から3組以上を組合せる必要がございます。(例:数字のみは設定できません)

< 10～15文字のパスワードを設定する際の制約 >

- 10～15文字でパスワードを御設定の場合、“大文字、小文字、数字、特殊文字”から2組以上を組合せる必要がございます。(例:数字のみは設定できません)

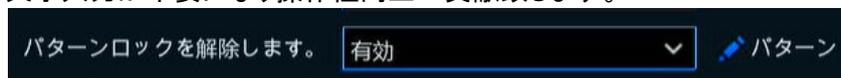
< いずれの場合もかかる制約 >

- 4桁以上の繰り返し文字はパスワードとして設定できません。(例:“6666”や“bbbb”といったパスワードはいずれの場合も設定できません)
- 4桁以上の連続文字はパスワードとして設定できません。(例:“1234”や“abcd”といったパスワードはいずれの場合も設定できません)
- 4桁以上のキーボード上で連続している文字はパスワードとして設定できません。(例:“qwer”や“ghjk”といったパスワードはいずれの場合も設定できません)

注意:

1. 8～9文字: 組み合わせは、大文字、小文字、数字、または特殊文字から少なくとも3つで構成する必要があります。
2. 10～15文字: 組み合わせは、大文字、小文字、数字、または特殊文字から少なくとも2つで構成する必要があります。
3. 4桁を超える繰り返しおよび連続文字は禁止されています。つまり、6666 / bbbbまたは1234 / abcdです。
4. キーボードパターンが4桁を超える連続キーは禁止されています。つまり、qwerまたはghjk

- ⑥ **パスワードの確認:** もう1度パスワードを入力してください。誤設定防止のため、パスワードと一致する必要があります。
- ⑦ **パターンロックを解除します。:** パターンロックを設定しますと、一般操作でのロック解除の際にパスワード文字入力が不要になり操作性向上へ貢献致します。



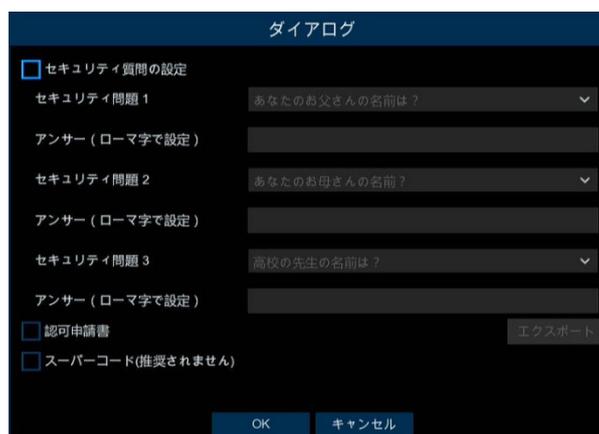
パターンロックを御設定の場合は、“有効”を選択後に  の  アイコンをクリックします。次にロック解除の際に使用するパターンをマウス操作で設定します。画面の指示に従って御設定下さい。



注意: パターンロックは4点以上の一筆書きで作成される必要があります。



- ⑧ **[適用]**をクリックします。
- ⑨ 次に、“**ダイアログ**”画面が表示されます。このダイアログではパスワードをお忘れの際の方が一の場合に備えてパスワードリカバリ設定が可能です。設定される場合は、[「3.3.3 パスワードリカバリ設定 \(RecoverPwdDialog\)」](#)をご覧ください。



- ⑩ 設定したロック解除パターン又はパスワードを入力します。正しく入力されますとライブ画面へ移行します。

言語 日本語

デバイスID 000000 (000000)

パスワード

ロック解除パターンを入力して下さい。

言語 日本語

デバイスID 000000 (000000)

ユーザー名 admin

パスワード

パターン ログイン

注意: パスワードを忘れた場合はシステムにログインできなくなります。
日頃からパスワードは大切に管理してください。

3.3.3 パスワードリカバリ設定 (RecoverPwdDialog)

パスワードを御設定後、パスワードリカバリ設定画面が表示されます。ここで事前にパスワードリカバリ設定を行っておきますと、パスワードをお忘れの場合に、パスワードの再設定が可能になります。パスワードリカバリ手段は3通りございます。希望するパスワードリカバリ手段へチェックを入れて有効化します(複数選択が可能です)。

注意: パスワードリカバリ設定は、システム設定の初期値アップロードが実施されないと再設定できません。後でこのパスワードリカバリ設定を実施する場合には、システム設定の初期値アップロードと再起動が必要となりますのでご注意ください。

- ・**セキュリティ質問の設定:** “セキュリティ問題への回答”によるパスワードリカバリ方法です。“セキュリティ問題”と対応する回答内容(“アンサー”)を3通り登録する必要があります。万が一の場合は、ここで設定した“セキュリティ問題”と“アンサー”が3つ全て一致した場合はパスワードの再設定を行えます。答えはアルファベットと数字(ローマ字)で設定する必要があります。“アンサー”へ空欄(未入力)は設定できません。

選択可能な質問の一覧
あなたのお父さんの名前は?
あなたのお母さんの名前は?
高校の先生の名前は?
中学校の先生の名前は?
あなたが最もよく知っているルームメイトの名前は?
誰が最もあなたに影響を与える?
あなたの好きな有名人?
あなたの好きな自動車ブランド?
あなたの好きなゲーム?
あなたの好きな本?
あなたの好きな色?
あなたの好きな映画?
あなたの好きな花?
あなたの最初の携帯電話のブランド?
あなたの最初の飛行の目的地?

- ・認可申請書(Certificate of authorization): [エクスポート]をクリックして USB フラッシュメモリーへ認可

ダイアログ

セキュリティ質問の設定

セキュリティ問題 1 あなたのお父さんの名前は？

アンサー (ローマ字で設定)

セキュリティ問題 2 高校の先生の名前は？

アンサー (ローマ字で設定)

セキュリティ問題 3 あなたのお母さんの名前は？

アンサー (ローマ字で設定)

認可申請書

スーパーコード(推奨されません)

完了した証明書ファイルをエクスポートします。

証明書ファイルを保存します(“完了した証明書ファイルをエクスポートします。”は USB フラッシュメモリーへ認可証明書ファイルの保存が完了したことをお知らせします)。万が一の場合には、この USB フラッシュメモリーの証明書ファイル (certificate.txt 認可)を NVR へ読み込ませることでパスワードの再設定を行うことが可能です。

認可証明書ファイルの拡張子を除くファイル名変更については問題ございません。(例: certificate.txt を certificate1.txt へ変更しても問題はございません)

- ・スーパーコード(推奨されません): (使用できません)

注意: “認可申請書” を選択した場合は認可証明書ファイルをエクスポートする必要があります。

注意: USB フラッシュメモリーの認可証明書ファイル(certificate.txt)を紛失しますとパスワードリカバリができなくなります。日頃からの認可証明書ファイル(certificate.txt)は別のデバイスへバックアップする等を行い、大切に管理してください。

注意: 認可証明書ファイル(certificate.txt)はファイルを開いて編集しないでください。パスワードリカバリ認証の際に使用できなくなります。

注意: パスワードリカバリ設定 (“RecoverPwdDialog”) で “スーパーコード(推奨されません)” を選択しないでください。



3.3.4 パスワードリカバリ認証(RecoverPwdAuthDialog)

これは、パスワードリカバリ(“RecoverPwdDialog”)を設定された場合のみ有効です。
(詳しくは、[「3.3.3 パスワードリカバリ設定\(RecoverPwdDialog\)」](#)をご覧ください)

①パターン入力画面の場合は[パスワード]をクリックし、パスワード入力画面へ移行します。



②[パスワードをお忘れですか]をクリックします。

③[検証モード]で希望のパスワードリカバリ方法を選択してパスワードリカバリを行います。

新しく設定するパスワードを“パスワード”と“確認”へ入力して[OK]をクリックします。

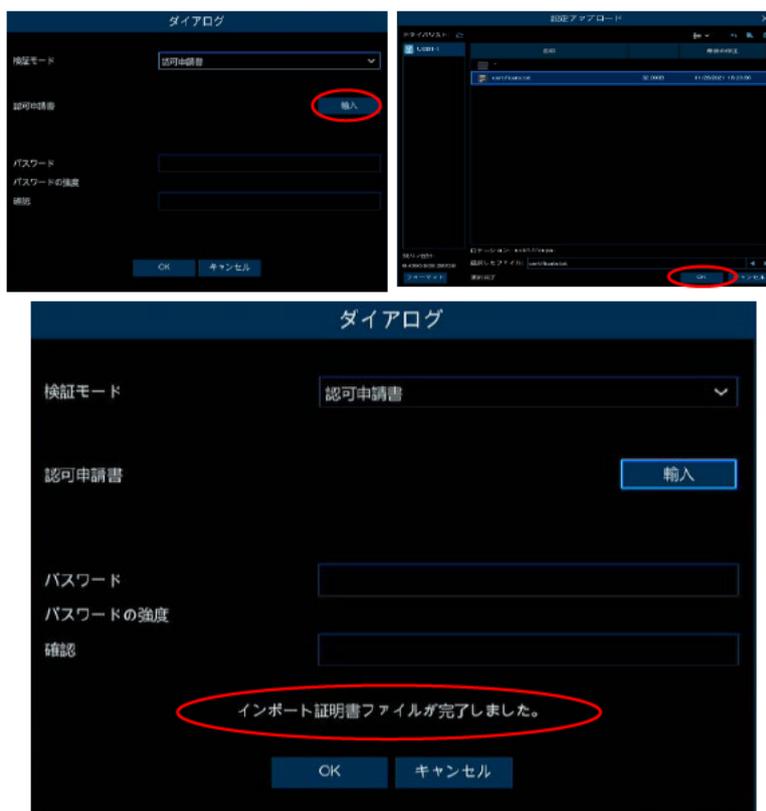
(セキュリティ質問の検証) セキュリティ質問に答えます。全問正解(3つ)する必要があります。

ダイアログ

検証モード	セキュリティ質問の検証
セキュリティ問題 1	あなたのお父さんの名前は？
アンサー (ローマ字で設定)	
セキュリティ問題 2	あなたのお母さんの名前は？
アンサー (ローマ字で設定)	
セキュリティ問題 3	高校の先生の名前は？
アンサー (ローマ字で設定)	
パスワード	
パスワードの強度	
確認	

OK
キャンセル

(認可申請書) USB フラッシュメモリーから certificate.txt を読み込みます。



注意: “インポート証明書ファイルが完了しました。”と表示の場合でも、正しい認可証明書ファイルではない場合は“認証が失敗しました”と表示されてパスワードリカバリが出来ないようになっております。



3.4 USB フラッシュメモリーを本機でフォーマットする

注意: 本機で使用可能な USB フラッシュメモリーは総容量 128GB までのものとなっております。

注意: USB フラッシュメモリーフォーマットを行いますと、その USB フラッシュメモリー内全てのデータが消去されますのでご注意ください。

注意: 故障の原因となりますので、USB フラッシュメモリーフォーマット期間中はシステムの電源を落とさないようにご注意ください。

注意: 故障の原因となりますので、USB フラッシュメモリーフォーマット期間中は本機から USB フラッシュメモリーを取外さないようにご注意ください。

本機で使用する USB フラッシュメモリーは、本機の検索画面内の“ビデオクリップバックアップ”又は、本機の検索画面内“手動キャプチャ”より USB フラッシュメモリーの FAT32 形式フォーマットが可能です。

USB フラッシュメモリーフォーマットを行いますと、その USB フラッシュメモリー内全てのデータが消去されますのでご注意ください。

なお、“ビデオクリップバックアップ”画面(検索画面内)の表示方法につきましては、[「6.1.1.1 ビデオクリップのバックアップ」](#)をご参照ください。“手動キャプチャ”画面(検索画面内)の表示方法につきましては、[「6.1.1.2 録画再生画面の手動キャプチャ\(静止画バックアップ\)」](#)をご参照ください

- ① フォーマットする USB フラッシュメモリーを本機の USB 挿入口へしっかり挿入します。この際、誤操作防止のためにフォーマットする USB フラッシュメモリー以外の USB フラッシュメモリーを本機へ挿入しないでください(誤操作防止のために同時に複数の USB フラッシュメモリーを本機へ挿入しないでください)。
- ② “ビデオクリップバックアップ”画面(検索画面内)又は“手動キャプチャ”画面(検索画面内)を表示して画面左下の **[フォーマット]** ボタン をクリックします。
- ③ USB フラッシュメモリーフォーマット実行確認画面が表示されます。**[OK]** ボタン をクリックして続行します。



- ④ USB フラッシュメモリーフォーマット実行中はバックアップ画面下へ、フォーマットの進行状況が表示されます。USB フラッシュメモリーフォーマットが完了しましたら、進行状況表示が 100%を表示後に進行状況表示(進行状況表示バー)が消えます。



注意:故障の原因となりますので、進行情報(進行状況バー)の表示期間中は本機から USB フラッシュメモリーを取外さないようにご注意ください。

他、“ビデオクリップバックアップ”、“手動キャプチャ”以外でも、音声警告の音声インポート画面、システムのアップグレード画面、システムのパラメータ管理画面からでも USB フラッシュメモリーの FAT32 形式フォーマットが可能です。

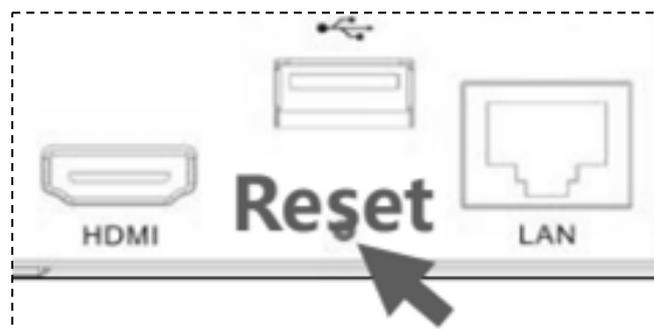


3.5 本体裏面のリセットボタン

注意： ハードリセットは、パスワードのリセットだけでなく、すべてのシステム設定が初期値に戻されます。

本体裏面のリセットボタンでハードリセットが可能です。

ハードリセットを行うには、本機がビープ音を鳴らすまで、小さなピンで Reset ボタンを 10 秒間長押ししてください。



第4章 NVR 起動

NVR 立ち上げの最初には起動スプラッシュ画面が表示されます。



起動スプラッシュ画面の表示後、出力解像度設定の自動認識が有効化されていて高解像度モニターを御利用の場合は次のプロンプト画面が表示される場合がございます。“OK”をクリック致しますと高解像度出力でご利用いただけます。このプロンプト画面は、出力解像度設定の自動認識が有効化されていない場合は表示されません。詳しくは、[「5.6.2.1 画面出力\(ライブ出力\)」](#)をご覧ください。



4.1 起動ウィザード

起動ウィザードを使用することで、NVR の最低限必要なシステム構成を簡易に行えます。

4.1.1 起動ウィザード – スタートウィザード

[[スタートウィザード](#)]をクリックして次の手順に進みます。

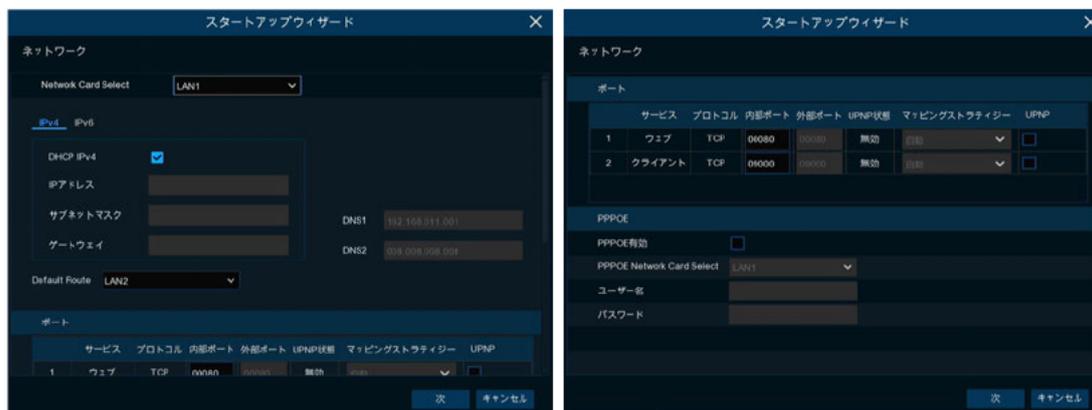


4.1.2 起動ウィザード - ネットワーク設定

4.1.2.1 起動ウィザード - ローカル接続

注意: LAN のループ接続にご注意ください。

- **Network Card Select:**設定する LAN ポート(LAN1 または LAN2)を選択します。
- **Default Route:**デフォルトルートを選択します(LAN1 または LAN2)。



• 固定 IP の場合 (手動設定)

IP アドレス: IP アドレスはネットワーク内の NVR を識別します。0 から 255 までの 4 つのグループから成り、ピリオドで区切られます。(例"192.168.001.100")

サブネット マスク: サブネット マスクは、ネットワークで使用できる IP アドレスの範囲を定義するネットワーク パラメータです。サブネットアドレスは、ピリオドで区切られた 4 つのグループの数字で構成されています。(例"255.255.255.000")

ゲートウェイ: このアドレスは、NVR がインターネットにアクセスできるようにします。ゲートウェイアドレスの形式は IP アドレス と同じです。(例"192.168.001.001")

DNS1/DNS2: DNS1 はプライマリ DNS サーバで、DNS2 はバックアップ DNS サーバです。少なくとも、DNS1 は必ず設定する必要があります。DNS1 から参照されます。

• DHCP の場合

DHCP ボックスをチェックしてください。ルーター※は、NVR のすべてのネットワークパラメータを自動的に割り当てます。

※ DHCP モードを使用する場合、ネットワーク上に DHCP サーバの機能のあるルーターなどが必要です。

- LAN1, LAN2 へ LAN ケーブルを接続しない場合は次の値を御利用下さい。

項目	値(LAN1)	値(LAN2)
DHCP	オフ	オフ
IP アドレス	192.000.002.001	192.000.002.002
サブネットマスク	255.255.255.000	255.255.255.000
ゲートウェイ	000.000.000.000	000.000.000.000
IPv6 アドレス	2001:db8::1/32	2001:db8::2/32
IPv6 ゲートウェイ	(空欄)	(空欄)
DNS1	000.000.000.000	000.000.000.000
DNS2	008.008.008.008	008.008.008.008

4.1.2.2 起動ウィザード - ポート

※競合する場合はネットワーク管理者と協議の上、適宜変更してください。

Http/Https/RTSP:これは、NVR にリモートでログインする場合 (Web クライアントを使用する場合など) に使用するポートを設定します。遠隔監視に必要なポートはデフォルトで 80 です。ONVIF のポート番号はこちらで設定したポート番号が使用されます。

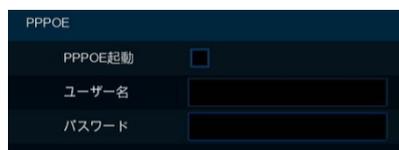
クライアント:これは、NVR が(スマートフォンアプリを使用するなど)を介して情報を送信するために使用するポートです。遠隔監視に必要なポートはデフォルトでは 9000 です。

内部ポート:LAN 側(ルーターの内側)で使用するネットワークポート番号です。

外部ポート:WAN 側(ルーターの外側)で使用するネットワークポート番号です。UPnP 機能を使用して外部ポートのマッピングを手動設定する場合に設定します。

UPNP: Web クライアントを使用して NVR にリモートでログインする場合やスマートフォンアプリを使用する場合は、ルーターでポート転送(ポートフォワーディング)設定を行う必要がありますが、ルーターが UPnP をサポートしている場合は NVR が UPnP 機能を用いることでルーターへポート転送(ポートフォワーディング)設定が行えます。外部ポート番号を自動で行う場合は“マッピングプラン”を[自動]へします。外部ポート番号を手動で行う場合は“マッピングプラン”を[手動]へ設定し、“外部ポート”へ外部のポート番号を設定して下さい。設定後、ポート転送(ポートフォワーディング)が正常に機能しているかを確認してください。

4.1.2.3 起動ウィザード - PPPoE



これは、NVR を“フレッツ光”や“フレッツ ADSL”などのモデムを介してインターネットへ直接接続する場合に使用します。
[PPPOE 起動] チェックボックスをオンにし、PPPoE のユーザー名とパスワードを入力します。

※ “フレッツ光”、“フレッツ ADSL”は東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。

4.1.3 起動ウィザード - 日時

このメニューでは、日付、時刻、日付形式、時刻形式、タイムゾーン、NTP、サマータイムを設定できます。

4.1.3.1 起動ウィザード - 日付と時刻

カレンダーアイコンをクリックして、現在のシステム日付を設定します。

スタートアップウィザード		
日付/時間		
日付と時間	NTP	サマータイム
日付	2022-05-29	📅
時間	11:12:07	
日付表示形式	YYYY-MM-DD	▼
時刻表示形式	24時	▼
タイムゾーン	GMT+09:00	▼

前 次 キャンセル

日付: カレンダーアイコンをクリックして、システム日付を設定します。

時間: 時刻を設定する場合にクリックします。

日付表示形式: ドロップダウンメニューから選択して、表示する日付形式を設定します。

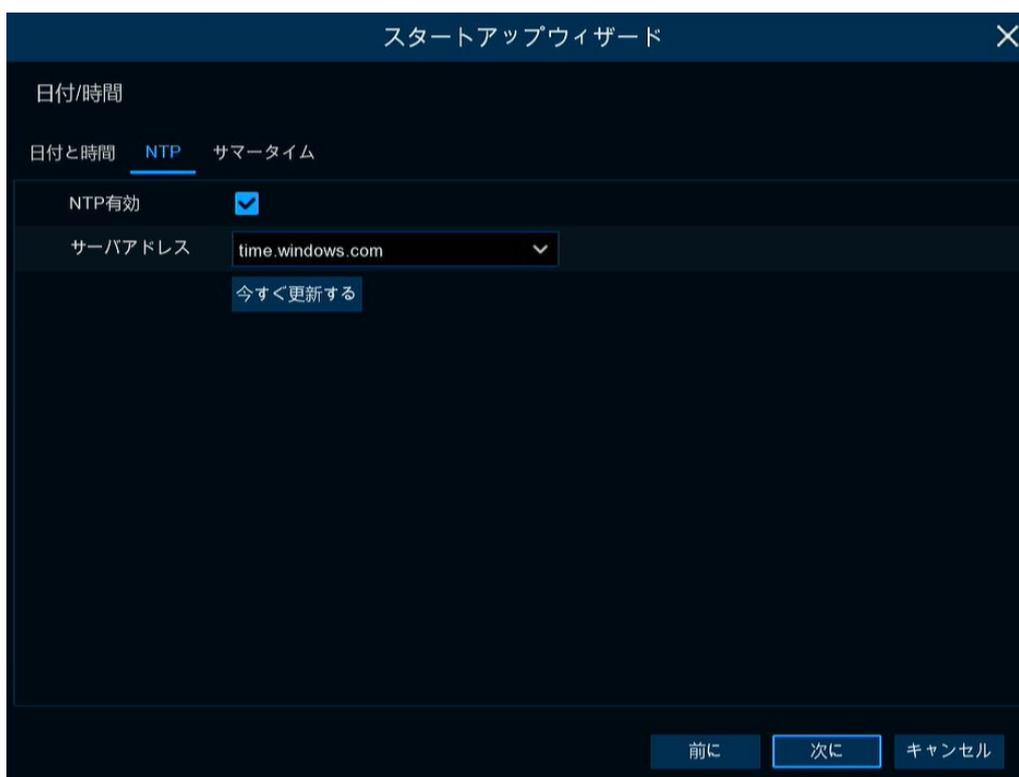
時刻表示形式: 24 時間と 12 時間の間の時間形式を選択します。

タイムゾーン: 日本標準時である「GMT+09:00」に設定します。

4.1.3.2 起動ウィザード - NTP

NTP(ネットワークタイムプロトコル)機能により、NVR は自動的にクロックをタイムサーバと同期させることができます。これにより、正確なシステム時間を設定できます。NTP 機能を使用するには、NTP サーバにアクセスするためのネットワーク環境が必要です。

注意: NTP 機能が有効になっている場合、システムは 毎日 00:07:50 とシステムの起動時にシステム時刻を更新します。



[NTP 有効]ボックスをオンにし、NTP サーバを選択します。

注意: NTP 機能を有効にした際は、[今すぐ更新する]ボタンで NTP 機能の動作確認を実施して下さい。

4.1.3.3 起動ウィザード - サマータイム

日本ではサマータイム(DST)の設定は不要です。
必要に応じて御設定下さい。

The screenshot shows the 'スタートアップウィザード' (Start-up Wizard) window. At the top, there are tabs for '日付と時間' (Date and Time), 'NTP', and 'サマータイム' (Summer Time), with 'サマータイム' selected. Below the tabs, there are several settings:

- DST起動**: A checkbox that is currently unchecked.
- 時間オフセット**: A dropdown menu set to '1時' (1 hour).
- サマータイム**: A dropdown menu set to '週' (Week).
- 開始時間**: A row of dropdown menus for month, week, and day, followed by a time field. The values are '3月' (March), '第2週' (2nd week), '日曜日' (Sunday), and '02:00:00'.
- 終了時間**: A row of dropdown menus for month, week, and day, followed by a time field. The values are '11月' (November), '第1週' (1st week), '日曜日' (Sunday), and '02:00:00'.

At the bottom right, there are three buttons: '前に' (Previous), '次に' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

DST 起動: 御使用の地域で夏時間 (サマータイム) が実施される場合は有効にします。

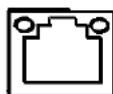
時間オフセット: サマータイム のオフセット時間を選択します。

サマータイム: 夏時間を週または日で設定します。

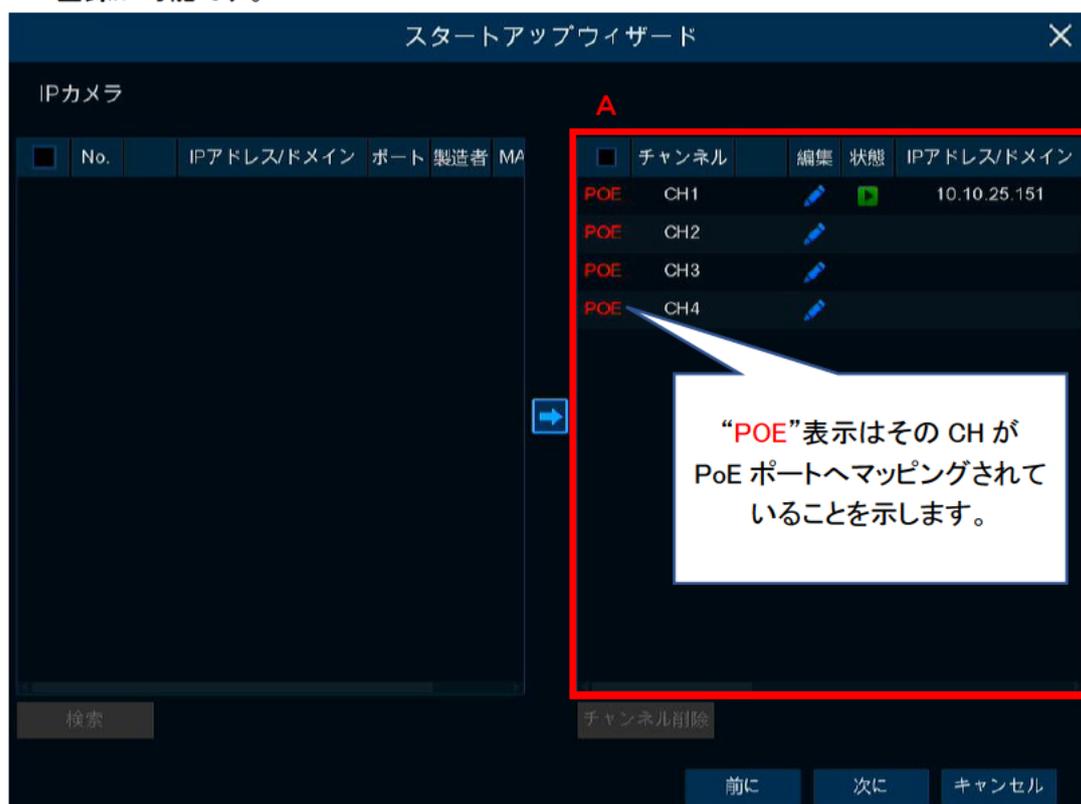
開始時刻 / 終了時刻: 夏時間の開始時刻と終了時刻を設定します。

4.1.4 起動ウィザード - IP カメラ

このメニューでは、IP カメラを NVR に追加できます。併せて、[\[5.1.1 IP チャンネル設定\]](#)につきましてもご一読ください。

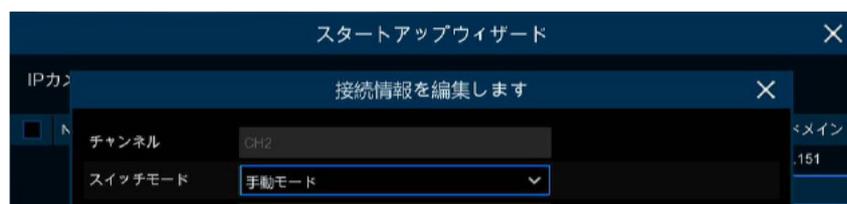


注意: [TNV-RH16PW]の LAN 端子、[TNV-RH32PW]の LAN1 端子と LAN2 端子といった非 PoE 端子側のネットワークへ属する IP カメラは、[\[スイッチモード\]](#)が“手動モード”の CH へ登録が可能です。



i. 非 PoE 端子側のネットワークへ属する IP カメラの登録手順

- ① 図中 A のエリアで登録先チャンネルの[編集]列の ボタンをクリックして IP カメラの接続情報画面で、[\[スイッチモード\]](#)を“手動モード”へ設定します。



- ② [\[スイッチモード\]](#)が“手動モード”となっている CH が 1 つ以上存在するようになると、 ボタンがクリックできるようになります。 ボタンをクリックして非 PoE 端子側のネットワークへ属する IP カメラを検索します。同じネットワークセグメント内の IP カメラが検索されます。



③追加する IP カメラを図中 B から選択して、ウィンドウ中央の  アイコンをクリックすると IP カメラ追加の画面が表示されます。  ボタンをクリックして NVR へ選択した IP カメラを追加できます。



・IP アドレス/ドメイン :IP カメラの IP アドレスまたはドメイン

- ・**エイリアス**: IP カメラの名前
- ・**ポート**: IP カメラのポート
- ・**プロトコル**: ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します。



- ・**ユーザー名**: IP カメラのユーザー名
- ・**パスワード**: IP カメラのパスワード
- ・**チャンネルのバインド**: 登録先 CH を選択します。
- ・**カメラモード**: ドロップダウンメニューから IP カメラの画角モードを選択します。通常は自動で構いません。



また、**+** ボタンをクリックして、個々の IP カメラを 1 台に追加することもできます。

- ④ IP カメラが追加されたことを御確認下さい。



- ⑤ また、図中 A のエリアで[編集]列の  ボタンをクリックしますと、登録済み IP カメラの接続情報を編集可能です。

スタートアップウィザード

接続情報を編集します

チャンネル	CH2
スイッチモード	手動モード
POEモード	自動
カメラ名	CH2
IPアドレス/ドメイン	192.168.11.10
サブネットマスク	255.255.255.000
ポート	80
プロトコル	Onvif
Connect Mode	基本
ユーザー名	admin
パスワード

検索

OK キャンセル

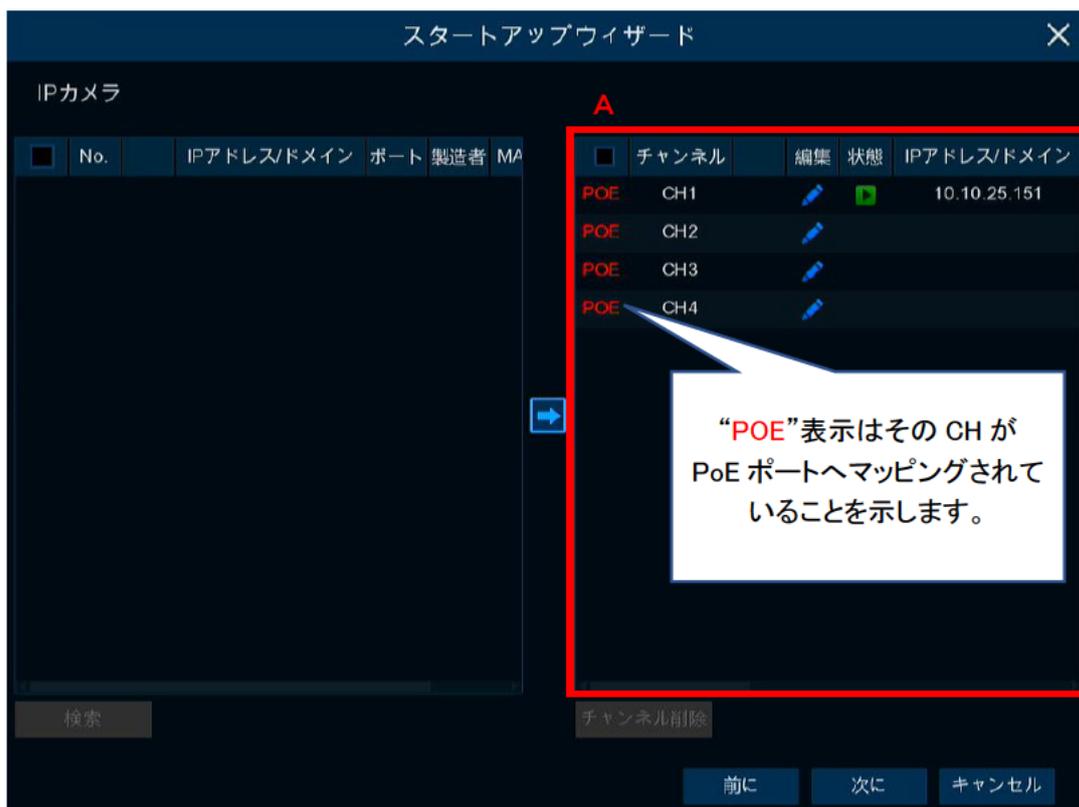
前に 次に キャンセル

非 POE の CH 設定	
項目	内容
チャンネル	編集集中の CH 番号が表示されます
スイッチモード	(非 PoE ポートへのマッピングを維持するために“手動モード”のままにします。“自動モード”へ変更しますと非 PoE ポートへのマッピングが解除され、同時に現在の IP カメラの登録は削除されます)
POE モード	(この場合、非 PoE ポートへマッピング中ため PoE 機能は使用されません。“自動”のままにします)
カメラ名	IP カメラ名
IP アドレス/ドメイン	IP カメラのアドレス又はドメイン
サブネットマスク	IP カメラのサブネットマスク
ポート	IP カメラのポート
プロトコル	IP カメラのプロトコルを次から選択可能です。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> プライベートプロトコル Onvif RTSP </div>
ユーザー名	IP カメラのユーザー名
パスワード	IP カメラのパスワード

注意:登録した IP CH の状態表示をご確認ください。

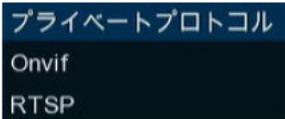


ii. PoE 端子へ接続した IP カメラの登録手順(PoE 給電機能の使用有無は問いません)



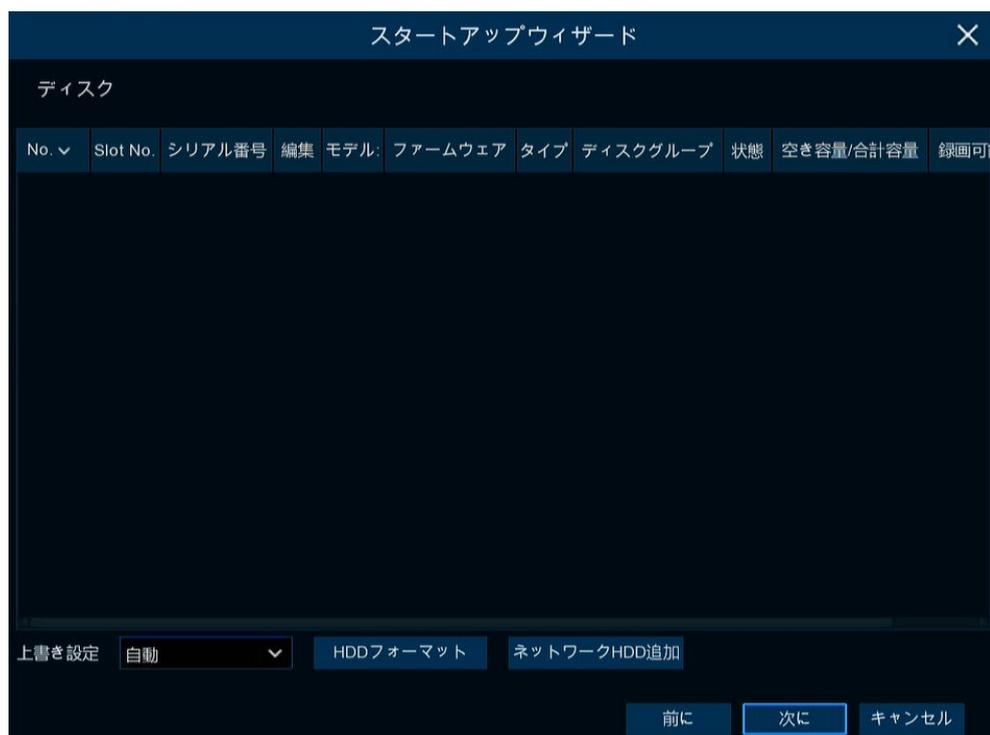
⑥ 図中 A のエリアで[編集]列の  ボタンをクリックして IP カメラの接続情報を編集可能です。



POE モードの CH 設定			
項目	内容	スイッチモード: 自動モード	スイッチモード: 手動モード
チャンネル	編集集中のチャンネル番号		
スイッチモード	“自動モード”, “手動モード”を選択します。		
POE モード	<p>“自動”, “EPOE”から選択します。“EPOE”は給電距離が延長されますが、通信帯域が 10Mbps へ制限されます。“自動”の最大帯域幅は 100Mbps です。IP カメラが 100 メートルより長い RJ45 ケーブルを介して PoE で給電されているときに“自動”で接続の問題が発生した場合は、安定した接続のために“EPOE”をお試しください。</p> 		
カメラ名	IP カメラ名	(自動設定されます)	編集可能です
IP アドレス/ドメイン	IP カメラのアドレス又はドメイン	(自動設定されます)	編集可能です
サブネットマスク	IP カメラのサブネットマスク	(自動設定されます)	編集可能です
ポート	IP カメラのポート	(自動設定されます)	編集可能です
プロトコル	<p>IP カメラのプロトコルを次から選択します。</p> 	(自動設定されます)	編集可能です
ユーザー名	IP カメラのユーザー名	(自動設定されます)	編集可能です
パスワード	IP カメラのパスワード	(自動設定されます)	編集可能です

注意: 1つの PoE ポートに 1 台の IP カメラのみを接続できます。PoE ポートにスイッチまたはルーターを介して複数のカメラを接続しないでください。

4.1.5 起動ウィザード - ディスク



上書き設定: HDD がいっぱいになったときに、HDD の古い録画を上書きするには、このオプションを使用します。たとえば、**[7 日間]**を選択した場合、HDD 上の最新の 7 日間の録画のみが保持されます。このオプションの日数は、**[1 日間]**、**[3 日間]**、**[7 日間]**、**[14 日間]**、**[30 日間]**、**[90 日間]**、**[自動]**が選択可能で、このオプションを使用しないように、**[オフ]**も選択できます(古い録画が上書きされないようにするには、**[オフ]** を選択します)。**[オフ]**へ設定した場合は HDD が満杯になると録画が停止してしまいますので、定期的に HDD が満杯ではないかを確認し、満杯による録画停止にご注意下さい。

E-SATA 録画: E-SATA HDD がすでに DVR に接続されている場合にのみ利用可能です。有効になると E-SATA HDD を使用可能です。E-SATA 端子のディスクは本機でフォーマットする必要がございます。E-SATA はバックアップ用途で御利用いただけません。

4.1.6 起動ウィザード - メインモニタ出力解像度

モニターに一致する出力解像度を選択します。NVR は、出力解像度設定の自動認識が有効化されているとシステムの起動時にモニターの最適な解像度に合わせて出力解像度を自動的に調整することをサポートします。詳しくは、[「5.6.2.1 画面出力\(ライブ出力\)」](#)をご覧ください。



4.1.7 起動ウィザード - モバイル

P2P 有効がオンの場合には“P2P ID”及び P2P ID の“QR コード”がこの画面で表示されます。P2P については「[5.4.5 P2P](#)」をご参照ください。

※QR コードは P2P スイッチが有効になっている場合に表示されます。

(P2P オフの場合 表示例)



スタートアップウィザード

モバイル

ローカル接続

IPアドレス	192.168.1.168
サブネットマスク	255.255.255.0

ポート

Http/Https/RTSP	80
クライアント	9000

前に 次へ キャンセル

(P2P オンの場合 表示例)



スタートアップウィザード

モバイル

P2P ID

P2P ID	TR111A
--------	--------

ローカル接続

IPアドレス	192.168.1.168
サブネットマスク	255.255.255.0

ポート

Http/Https/RTSP	80
クライアント	9000

前に 次へ キャンセル

4.1.8 起動ウィザード - 概要

開始ウィザードで設定したシステムの概要情報を確認し、ウィザードを終了できます。

次回システムを再起動したときにウィザードの起動を表示しない場合は、**[次回このウィンドウを表示しない]**チェック ボックスをオンにします。**[完了]**ボタンをクリックして保存して終了します。



4.2 ライブビュー画面の概要



ステータスアイコン:

	NVR が現在録画中であることを示します。
	カメラが動き(モーション)を検出したときに表示されます。
	AI アラームがトリガされていることを示します。
	外部 I/O アラームがトリガされていることを示します。
	PIR アラームがトリガされていることを示します。

HDD エラーアイコン:

	HDD がインストールされていないまたはエラーであることを示します。
	HDD がフォーマットされていない状態であることを示します。
	HDD がいっぱいであることを示します。
	HDD が読み取り専用であることを示します。

チャンネルエラーメッセージ:

ビデオロス	<p>アナログカメラの映像を受像できていません。</p> <p>注意: “ビデオロス”表示はビデオロス異常アラーム設定で“メッセージ表示”が有効の場合に表示されます。(設定方法につきましては、「5.3.5 異常」をご参照ください)</p>
カメラなし	カメラが接続解除されています。
カメラに接続できません。ネットワーク接続を確認してください!	<p>この IP カメラへ接続できません。この IP カメラはオフラインです。またはネットワーク接続、この IP カメラの接続情報を確認してください。</p> <p> アイコンをクリックすると IP カメラの接続情報を編集可能です。</p>
リソース不足です	<p>サブストリームをお試しください。又はカメラ映像の解像度を落としてお試しください。</p> <p>注意: MJPEG デコードを使用しているカメラが 2 台以上ある場合、同時にエンコードできるのは 1 台のみです。</p>
デコードに失敗しました	この IP カメラの圧縮規格をサポートしていません。

 : クリックして **クイック追加** メニューを開き、IP カメラを追加します。

 : クリックすると現在の IP カメラを編集可能です。

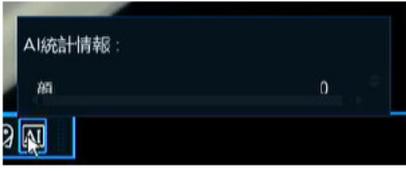
4.2.1 カメラクイックツールバー

ライブ表示で、接続されているカメラでマウスの左ボタンをクリックすると、カメラのクイックツールバーが表示されます。

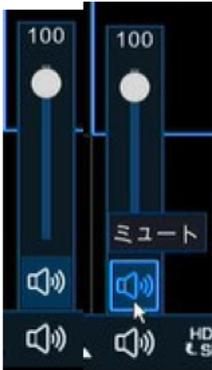


(フィッシュアイカメラ CH の場合)



カメラクイックツールバー	
	クリックすると、すぐに手動でチャンネルを記録できます。手動で録画が行われると、アイコンは赤色になります。手動での録画を停止するには、もう 1 度クリックします。
	魚眼モードを起動します。
	クリックすると、現在のカメラ映像のスナップショットが保存されます。スナップショットのキャプチャ画質・解像度の設定は、 5.2.3.1 キャプチャ を参照してください。
	クリックすると、このチャンネルの最新の 5 分間の録画を再生します。
	クリックして PTZ コントロール パネルに入ります。
	クリックすると、チャンネルが拡大表示されます。マウスのホイールボタンでスクロール操作すると、拡大・縮小ができます。
	クリックしてチャンネルの画像の色を調整します。画像の色相、明るさ、コントラスト、彩度を調整できます。
	(IP チャンネルのみ)クリックすると、その IP チャンネルのライブ画面のストリーム切替え(メインストリーム/サブストリーム)ができます。
	クリックすると双方向の音声通信が開始されます。NVR とカメラには、スピーカーとマイクが接続されてセッティングが完了している必要があります。
	カメラに白色 LED が搭載されている場合、このボタンをクリックすると LED の点灯・消灯ができます。
	カメラにスピーカーが内蔵されている場合、このボタンをクリックすると、アラーム音のオン/オフができます。
	カメラに警告灯の LED がある場合、このボタンをクリックすると LED の点灯・消灯ができます。
	クリックしてカスタムタグを追加します。タグを追加することで、あなたの録画検索をサポートします。詳しくは「 6.1.6 タグ検索 」をご覧ください。
	AI 統計表示。AI 機能が有効になっている場合、アイコンにマウスを合わせると AI 統計が表示されます。 

4.2.2 タスクバー

タスクバー	
	クリックして [スタート] メニューを開きます。
	ライブビュー用に均等割りのレイアウトを選択する場合にクリックします。お使いの機種で選択可能な画面分割数、レイアウトは異なります。 
	ライブビュー用の特殊なレイアウトを選択するには、このアイコンをクリックします。お使いの機種で選択可能な画面分割数、レイアウトは異なります。 
	クリックすると、シーケンス機能によるチャンネルの表示が開始されます。詳しくは、 「5.6.2.1 画面出力(ライブ出力)」 をご覧ください。
	クイック再生。このアイコンをクリックすると、当日の初めからすべてのチャンネルの最新の録画を再生します。または、▲をクリックして最新の 5 秒、10 秒、30 秒、1 分、5 分の再生を選択することができます。 
	クリックして音量を調整します。 
	(IP チャンネルのみ)クリックすると、その IP チャンネルのライブ画面のストリーム切替え(メインストリーム/サブストリーム)ができます。
	クリックすると、アスペクト比(オリジナル又はストレッチ)を選択できます。

	<p><input type="radio"/> Original : 映像のアスペクト比で表示します。</p> <p><input checked="" type="radio"/> Stretch : 画面(CH 枠)のアスペクト比で表示します。</p>
	<p>クリックすると、“バランス”、“スムーズ”からビューを選択ができます。IP-CH の受信バッファが変化します。表示エフェクトモードは、ライブ画面だけ影響しますが、録画品質には影響しません。(XVR モードのみの機能です)</p> <p><input checked="" type="radio"/> バランス : 受信バッファは比較的小さめで動作します。</p> <p><input type="radio"/> スムーズ : 受信バッファは比較的大きめで動作します。</p>
	<p>ライブ画面のチャンネル表示位置を入れ替えた際、チャンネル表示を元の並びに戻す場合に使用します。クリックすると、ライブ画面のチャンネルの並びを 1CH から昇順で並び替えます(1CH,2CH,3CH…)</p>

ステータスバー	
	<p> : ネットワークがオフラインです。</p> <p> : ネットワークはインターネットへ疎通していません。またはネットワーク障害が起きています。</p> <p> : ネットワークはオンラインです。</p>
	<p> : 設定されているアラームは有効です (Arming)。</p> <p> : 設定されているアラームを一時解除中です (Disarming)。</p>
	<p>利用可能なカメラの白色光 LED とアラーム音をすべて点灯または消灯させます。</p>
	<p>手動記録および手動アラームの開始または停止。</p> 

		
	<p>システム情報、チャンネル情報、レコード情報、ネットワーク状態を表示します。</p>	
	<p>クリックすると、タスクバーとマウスカーソルが約 15 秒間、非表示になります。</p>	

注意:  アイコンはグローバルネットワークへ接続されていない場合は表示されません。

4.2.3 スタートメニュー

スタートメニューを使用すると、スイッチユーザー、検索&再生、システム設定メニューの入力、画面のロックとロック解除、シャットダウン、再起動、システムのログアウトを行うことができます。

 admin	 admin	現在のログインユーザー。マルチユーザーを有効にするには、 5.6.3 マルチユーザー をご覧ください。
 検索	 検索	検索と再生。 第 6 章の検索、再生、バックアップ の詳細をご覧ください。
 設定	 設定	DVR システムの設定。 第 5 章の DVR システムの設定 をご覧ください。
 画面ロック	 画面ロック  ロック解除	ロックとロック解除画面。 4.2.3.1 画面のロック解除とロック をご覧ください。
 シャットダウン	 シャットダウン	システムをシャットダウン、再起動、ログアウトします。 4.2.3.2 シャットダウン をご覧ください。

4.2.3.1 画面のロック解除とロック



デフォルトで 1 分間 NVR のメニュー操作が無い場合は、画面は不正な OSD 操作を保護するためにロックされます。

必要に応じて、画面操作を手動でロックすることもできます。これを行うには、スタートメニューに移動し  “画面ロック”をクリックします。

システムがロックされている場合は、 “ロック解除”をクリックしてシステムのロックを解除し、操作を行うことができます。

4.2.3.2 シャットダウン

スタートメニューから **[シャットダウン]** ボタンをクリックし、処理方法を選択します。**[OK]**ボタンをクリックすると、認証のために管理者パスワードを入力する必要があります。



“ログアウト” を選択すると、ライブ表示画面が消えます。さらに操作を行うには、システムにログインする必要があります。ユーザーを選択する場合はパスワードログインが必要がございます。パスワード

ログイン画面へ切替える場合は **パスワード** ボタン をクリックします。

ロック解除パターンでのログインの場合は“admin”でのログインとなります。



4.2.4 魚眼モード

本 NVR はフィッシュアイカメラに対応しており、魚眼モードでフィッシュアイ映像を展開表示可能です。

(フィッシュアイ映像を展開表示した例)



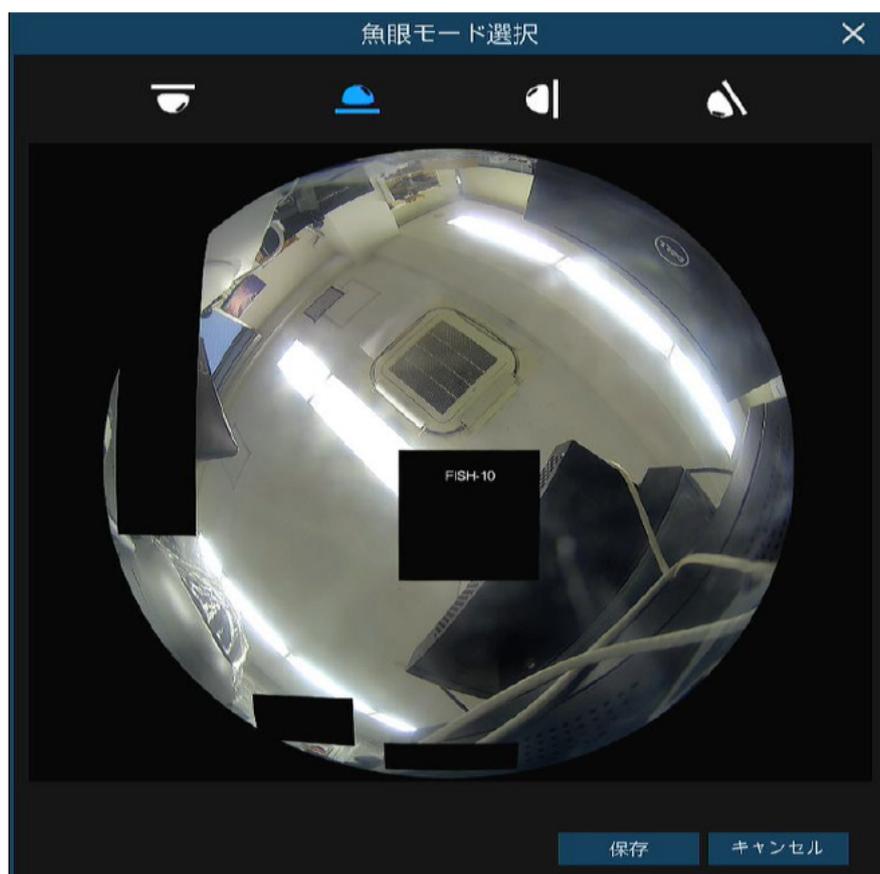
- ① フィッシュアイ IPC のチャンネルのカメラクイックツールバーから魚眼モードを開始します。



- ② マウスイカーソルを画面下へ持っていき、メニューバーを表示させ、 “設定”をクリックします。



③ 設置モードを選択して”保存”をクリックします。



魚眼モード		
設置モード	フィッシュアイの設置状況に合わせて設置モードを選択します。	
	<table border="1"> <tr> <td> </td> <td>天井</td> </tr> </table>	
	天井	

	壁
	デスクトップ
	傾斜(チルト)

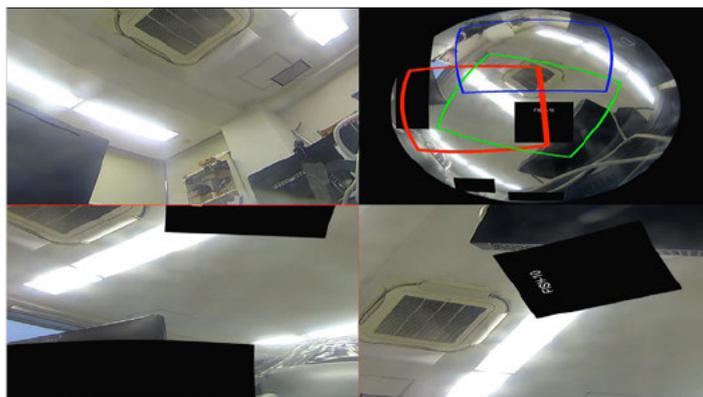
④ フィッシュアイ IPC 映像の展開表示方法を選択します。

フィッシュアイ ビューモード ①	
        	
 (天井)	 (デスクトップ)
	VR(半円)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	シリンダ(円柱)モード。平面に延伸することができます。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	4PTZ(クワッド)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	パノラマ 180 度ビュー。2 つのサブウィンドウで 360° のデュアルパノラマを構成します。開始点の左右移動(疑似パン)操作をサポートします。
 :1P	パノラマ 360 度オーバービュー。 擬似パンチルト操作をサポートしています。
 :1P+3	パノラマ 360 度オーバービュー + 3PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。
 :1P+8	パノラマ 360 度オーバービュー + 8PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。
 :1+3	魚眼 + 3PTZ ビュー。 3 つのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビューではデジタルズームのみをサポートします。

	<p>魚眼 + 8PTZビュー。</p> <p>8つのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビューではデジタルズームのみをサポートします。</p>
---	---

フィッシュアイ ビューモード ②	
(壁)	傾斜(チルト)
	VR(半円)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	連続(パノラマ 360)モード。(擬似 PTZ 操作はできません)
	4PTZ(クワッド)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
:1+3	魚眼 + 3PTZ ビュー。 3つのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビューではデジタルズームのみをサポートします。
:1+8	魚眼 + 8PTZ ビュー。 8つのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビューではデジタルズームのみをサポートします。
:1P+3	パノラマ + 3PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。
:1P+8	パノラマ + 8PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。

⑤ マウสดラッグで疑似パン・疑似チルト, マウスホイールで疑似ズーム操作が可能です。



フィッシュアイの展開映像 各々の表示例

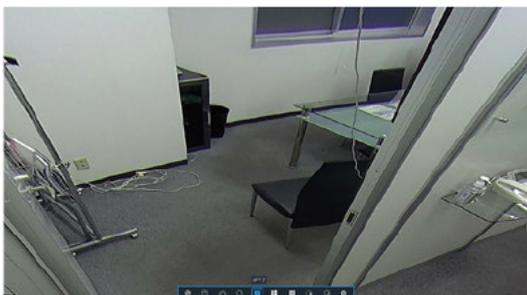
<4PTZビュー>

※ 1画面にしたいビューをダブルクリックすることで1画面表示できます。

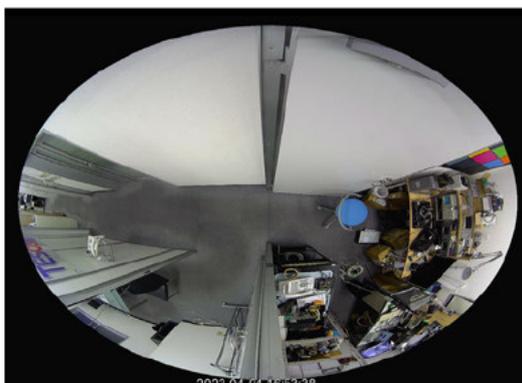
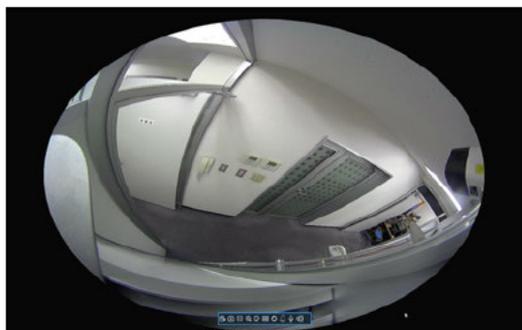


(1画面表示例)

※ ビューをダブルクリックするとPTZビューへ戻ります。



<魚眼(原映像)ビュー>

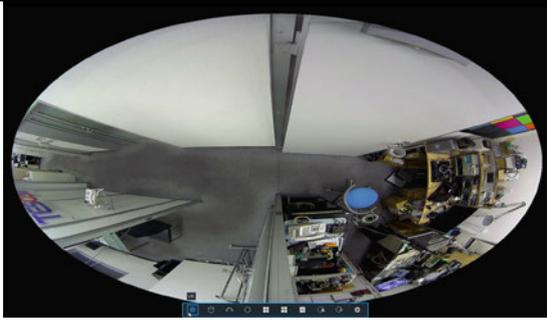
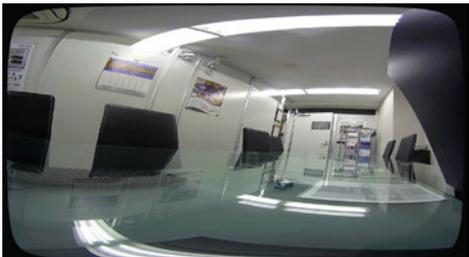
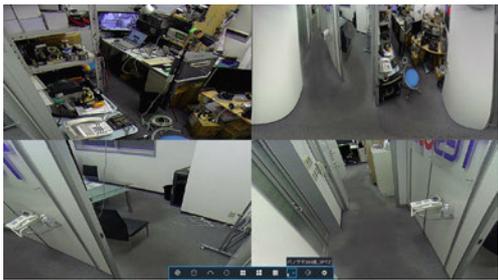
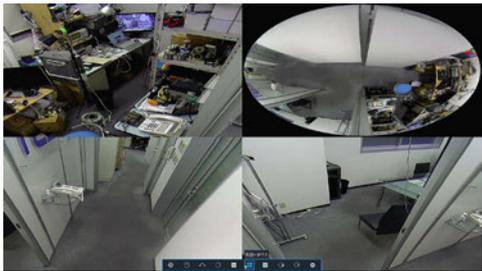


<VR(半円)ビュー(天井)>



<シリンダ(円柱)ビュー(天井)>



	
<p><パノラマ 180 度ビュー></p>	<p><パノラマ 360 度ビュー></p>
	
<p><パノラマ ビュー(壁)></p>	<p><パノラマ ビュー(チルト)></p>
	
<p><パノラマ 360 度_3PTZ></p>	<p><パノラマ 360 度_3PTZ></p>
	
<p><パノラマ_3PTZ></p>	<p><魚眼+3PTZ></p>
	

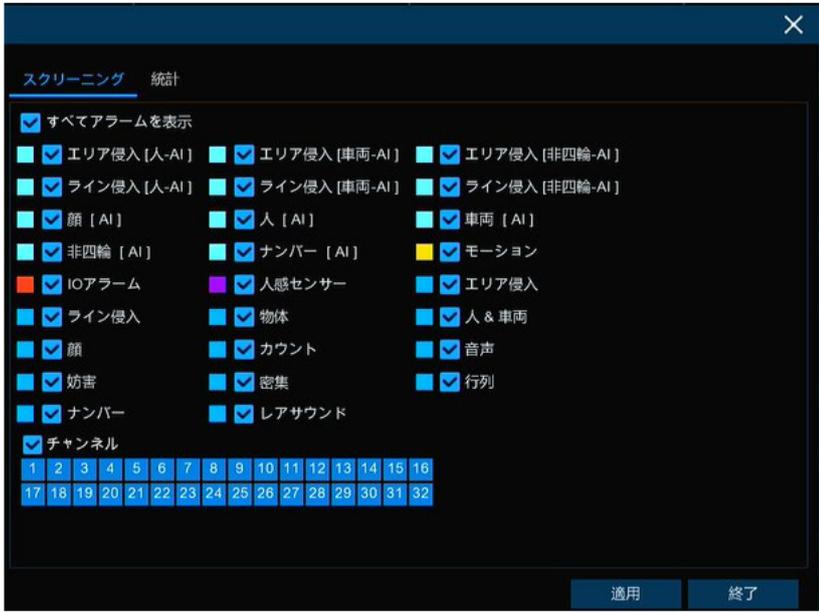
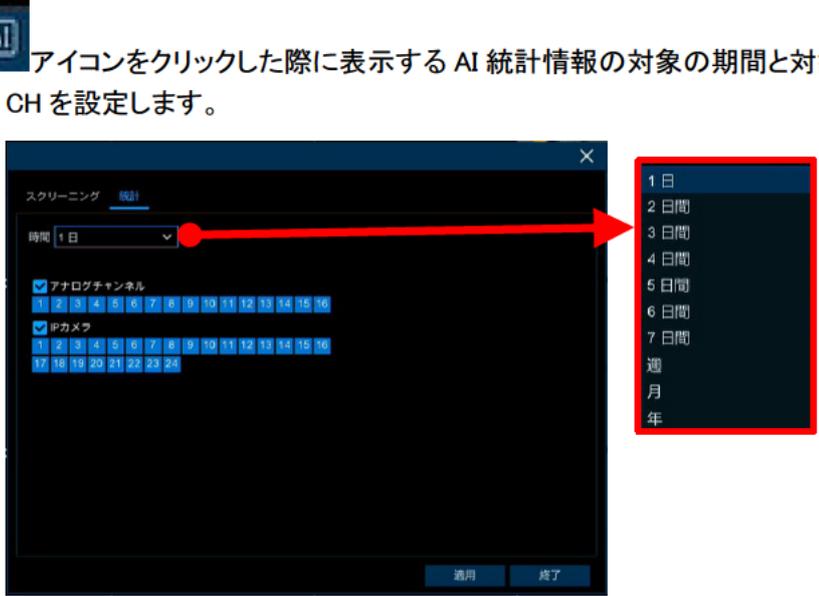
4.2.5 通知ポップアップ

“モーション”或いは“AI”といったトリガの際の映像サムネイルが通知ポップアップで通知されます。

通知ポップアップが表示されていない場合はマウスカーソルを画面右側端へ移動させると表示されます。

- ・イベントの種類によって色分けされています。
- ・マウスのスクロールホイールで上下にスクロールできます。
(最初にマウスカーソルを通知パネルに合わせクリックします)
- ・通知ポップアップのサムネイルをダブルクリックすると録画映像が確認できます。



通知ポップアップ設定		
スクリーニング	<p>“スクリーニング”では、通知ポップアップで通知する内容を選択します。</p> 	
統計	<p>アイコンをクリックした際に表示する AI 統計情報の対象の期間と対象の CH を設定します。</p> 	
AI 統計情報	<p>AI 統計情報が表示されます。統計設定は  の  で行います。</p>	

		 <p>AI統計情報：</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔 0 人 0 車両 0 非四輪 0 エリア侵入【人】 0 エリア侵入【車両】 0 エリア侵入【非四輪】 0 ライン侵入【人】 0 ライン侵入【車両】 0 ライン侵入【非四輪】 0
	サムネイル表示中	<p>通知ポップアップでサムネイルを表示します。</p>  <p>(サムネイル例)</p>
	サムネイル非表示中	<p>通知ポップアップでサムネイルを表示しません。</p>
	オーバーレイで表示中	<p>通知ポップアップはライブ画面右側エリアでオーバーレイ表示されます。3一定時間アラームを通知した後、自動的に閉じます。</p>
	サイドバーで表示中	<p>(ピン留め) 通知ポップアップ表示用にライブ画面右側エリアが確保され、ライブ画面にオーバーレイすることなく通知ポップアップが表示されます。サイドバーでの表示中は通知ポップアップでライブ画面が隠れることはありません。</p>

(サムネイル非表示例)



(サイドバー表示例)



第5章 NVR システムの設定

メインメニューより NVR のチャンネル、録画設定、アラーム、ネット、ストレージ管理、システム、AI 等の各種設定画面へアクセスすることができます。



<メインメニューパネル表示方法>

[スタート]メニュー をクリック → [設定] をクリック。



<メインメニューパネル表示取消方法>

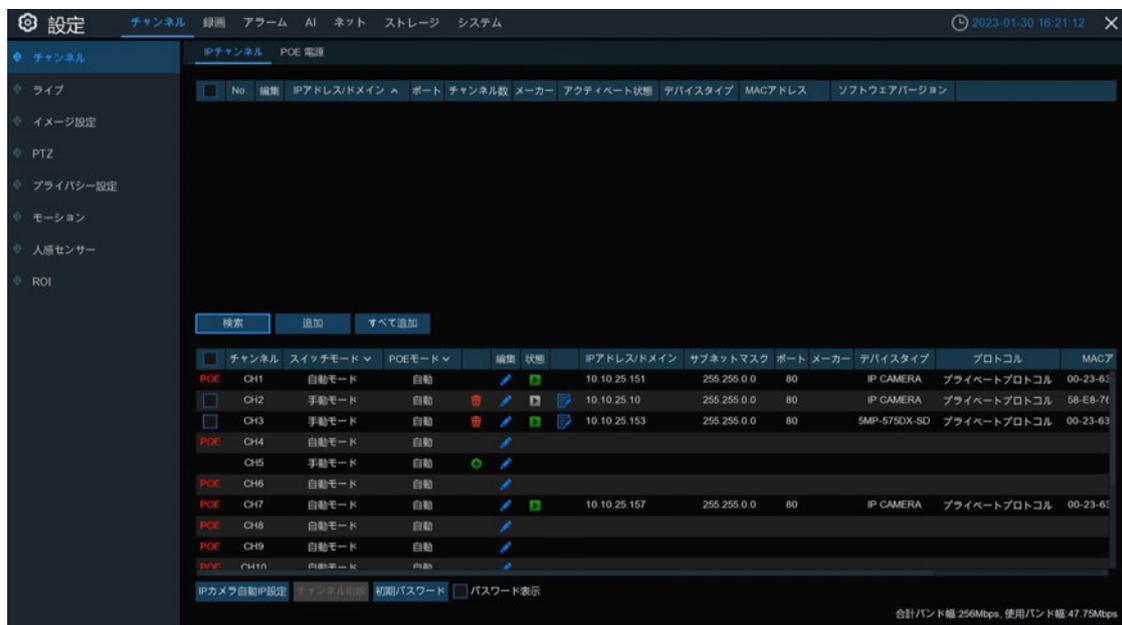
ライブ画面上のメインメニューパネルエリア外(赤塗りの部分)で右クリック。



注意:メインメニューパネルエリア内で右クリックした場合はメインメニューパネル表示取消はできません。

5.1 チャンネル

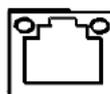
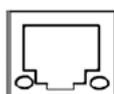
このセクションでは、ライブビュー表示、IP カメラの管理、IP カメラの画像の調整、PTZ 設定、モーション設定、変換モードなど接続カメラの設定をすることができます。



注意:IP カメラの登録が済みましたら、状態表示をご確認ください。



5.1.1 IP チャンネル



注意:[TNV-RH16PW]の LAN 端子、[TNV-RH32PW]の LAN1 端子と LAN2 端子といった非 PoE 端子側のネットワークへ属する IP カメラは、[スイッチモード]が“手動モード”の CH へ登録が可能です。

“POE”非表示はその CH が非 PoE ポートへマッピングされていることを示します。

“POE”表示はその CH が PoE ポートへマッピングされていることを示します。

No.	編集	IPアドレス/ドメイン	ポート	チャンネル数
1		192.168.11.12	80	1
2		192.168.11.45	80	1
3		192.168.11.50	85	1
4		192.168.11.52	80	1
5		192.168.11.55	80	1
6		192.168.11.61	80	10
7		192.168.11.68	80	10
8		192.168.11.72	80	10
9		192.168.11.186	80	10

タイプ	MACアドレス	ソフトウェアバージョン
ERA	00-23-63-8F-32-4F	V21.45.8.2.2.221125
8	00-23-63-83-79-C6	V8.2.2.20220916
	30-57-AC-44-11-4F	
ERA	00-23-63-A2-8C-B0	V21.45.8.2.3.221214
16	00-23-63-9E-7A-89	V8.2.3.20221128
(okyo)	00-23-63-99-29-C8	V8.2.2.20220614
8PW	00-23-63-99-21-52	V8.2.2.20220915
ールーム	00-23-63-99-21-2F	V8.2.2.20220915
	30-57-AC-44-11-4B	

チャンネル	スイッチモード	POEモード	編集	状態	IPアドレス/ドメイン	サブネットマスク	ポート	メーカー	デバイスタイプ	プロトコル	MACア
CH1	手動モード	自動			192.168.11.58	255.255.255.0	80	6MP-3762X-9D	プライベートプロトコル	00-23-91	
POE CH2	自動モード	自動									
POE CH3	自動モード	自動			10.10						
POE CH4	自動モード	自動									
POE CH5	自動モード	自動									
POE CH6	自動モード	自動									
POE CH7	自動モード	自動									
POE CH8	自動モード	自動									
POE CH9	自動モード	自動									
ONVIF CH10	自動モード	自動									

初期パスワード

ボタン: IP カメラへの接続情報入力画面等でプロトコル別に予め入力されるユーザー名とパスワードを設定可能です。

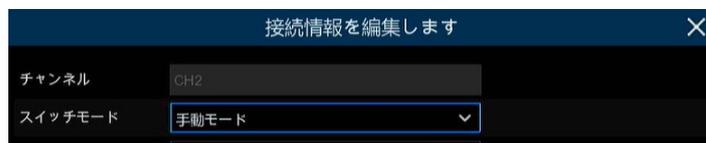
プロトコル初期パスワードを設定する

プロトコル	ユーザー名	パスワード
プライベートプロトコル	admin	*****
Onvif	admin	*****
RTSP	admin	*****

初期化 保存 キャンセル

i. 非 PoE 端子側のネットワークへ属する IP カメラの登録手順

- ① 図中 A のエリアで登録先チャンネルの[編集]列の  ボタンをクリックして IP カメラの接続情報画面で[スイッチモード]を“手動モード”へ設定します。



- ② [スイッチモード]が“手動モード”となっている CH が 1 つ以上存在するようになると、 ボタンをクリックできるようになります。 ボタンをクリックして非 PoE 端子側のネットワークへ属する IP カメラを検索します。同じネットワークセグメント内の IP カメラが検索されます。

- ③ 追加する IP カメラ検索結果より選択して、 ボタンをクリックすると IP カメラ追加の画面が表示されます。 ボタンをクリックして NVR へ選択した IP カメラを追加できます。

No.	IPアドレス/ドメイン	ポート	メーカー	アクティベート状態	デバイスタイプ	MAC
1	192.168.11.12	80		アクティベート	IP CAMERA	00-23-63
2	192.168.11.45	80		アクティベート	N7816	00-23-63
3	192.168.11.50	85		なし		30-57-AC
4	192.168.11.52	80		アクティベート	IP CAMERA	00-23-63
5	192.168.11.55	80		アクティベート	TKV-16	00-23-63
6	192.168.11.61	80		アクティベート	TXV-4EX(tokyo)	00-23-63
7	192.168.11.68	80		アクティベート	TNV-R16PW	00-23-63
8	192.168.11.72	80		アクティベート	東京支店ショールーム	00-23-63
9	192.168.11.186	85		なし		30-57-AC

IPアドレス/ドメイン	192.168.11.52
エイリアス	CH17
ポート	80
プロトコル	Onvif
接続モード	基本
ユーザー名	admin
パスワード	●●●●
チャンネルのバインド	CH17
カメラモード	自動

- **IP アドレス/ドメイン**: IP カメラの IP アドレスまたはドメイン
- **カメラ名**: IP カメラの名前

- ・**ポート**: IP カメラのポート
- ・**プロトコル**: ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します。



- ・**ユーザー名**: IP カメラのユーザー名
- ・**パスワード**: IP カメラのパスワード
- ・**チャンネルのバインド**: 登録先 CH を選択します。

また、**+** ボタンをクリックして、個々の IP カメラを 1 台に追加することもできます。

IP カメラ追加 ✕

No.		IPアドレス/ドメイン	ポート	メーカー	アクティベート状態	デバイスタイプ	MAC
1		192.168.11.12	80		アクティベート	IP CAMERA	00-23-63
2	+	192.168.11.45	80		アクティベート	N7816	00-23-63
3	+	192.168.11.50	85		なし		30-57-AC
4		192.168.11.52	80		アクティベート	IP CAMERA	00-23-63
5	+	192.168.11.55	80		アクティベート	TKV-16	00-23-63
6	+	192.168.11.61	80		アクティベート	TXV-4EX(tokyo)	00-23-63
7	+	192.168.11.68	80		アクティベート	TNV-R16PW	00-23-63
8	+	192.168.11.72	80		アクティベート	東京支店ショールーム	00-23-63
9	+	192.168.11.186	85		なし		30-57-AC

IPアドレス/ドメイン

エイリアス

ポート

プロトコル

ユーザー名

パスワード

カメラモード

検索
初期パスワード
追加
キャンセル

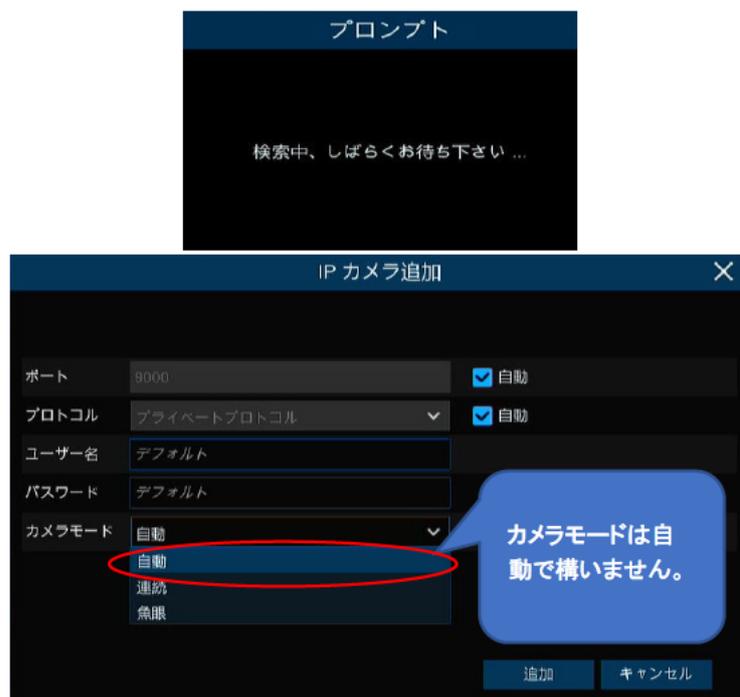
④ IP カメラが追加されたことを御確認下さい。

⑤ また、登録済み IP カメラの**[編集]**列の  ボタンをクリックしますと、登録済み IP カメラの接続情報を編集可能です。



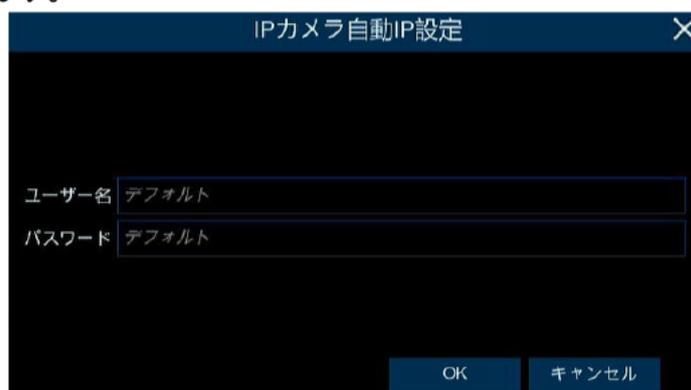
非 POE の CH 設定	
項目	内容
チャンネル	編集中の CH 番号が表示されます
スイッチモード	(非 PoE ポートへのマッピングを維持するために“手動モード”のままにします。“自動モード”へ変更しますと非 PoE ポートへのマッピングが解除され、同時に現在の IP カメラの登録は削除されます)
POE モード	(この場合、非 PoE ポートへマッピング中ため PoE 機能は使用されません。“自動”のままにします)
カメラ名	IP カメラ名
IP アドレス/ドメイン	IP カメラのアドレス又はドメイン
サブネットマスク	IP カメラのサブネットマスク
ポート	IP カメラのポート
プロトコル	IP カメラのプロトコルを次から選択可能です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> プライベートプロトコル Onvif RTSP </div>
ユーザー名	IP カメラのユーザー名
パスワード	IP カメラのパスワード

- ⑥ **すべて追加** ボタンについて: クリックすると先ずネットワークの IP カメラ検索が行われ、“IP アドレス/ドメイン”の若番順で全ての空の非 POE の CH チャンネルへ IP カメラの追加ができます。[ポート], [プロトコル]で登録対象の IP カメラを絞ることができます。



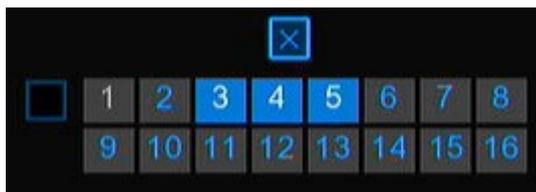
- ⑦ **IPカメラ自動IP設定** ボタンについて: 追加された IP カメラは、その IP アドレスが NVR と同じネットワークセグメントになれば接続できません。**IPカメラ自動IP設定** を使用することで追加されたすべての IP カメラへ IP アドレスを再割り当てすることができます。

注意: 追加されたすべての IP カメラへ **IPカメラ自動IP設定** を使用して IP アドレスの再割り当てを行うには、それらすべての IP カメラのユーザー名とパスワードが同じである必要がございます。



- ⑧ **チャンネル削除** ボタンについて: 追加済みの非 POE の CH チャンネルの IP カメラをチェックして **チャンネル削除** ボタンをクリックしますと、その IP カメラ CH の登録を解除します。🗑️ アイコンも同じ機能を提供いたします。

- ⑨  アイコンについて: 複数のストリームが存在する場合に検索結果の編集列へ表示されません。ご登録の際は登録対象のストリームを御選択ください。



- ⑩  アイコンについて：IP カメラ自体の設定を修正可能です。

- ii. PoE 端子へ接続した IP カメラの登録手順 (PoE 給電機能の使用有無は問いません)

- ① 下側のエリアで[編集]列の  ボタンをクリックして IP カメラの接続情報を編集可能です。

POE モードの CH 設定			
項目	内容	スイッチモード: 自動モード	スイッチモード: 手動モード
チャンネル	編集中のチャンネル番号		
スイッチモード	“自動モード”, “手動モード”を選択します。		
POE モード	<p>“自動”, “EPOE”から選択します。“EPOE”は給電距離が延長されますが、通信帯域が 10Mbps へ制限されます。“自動”の最大帯域幅は 100Mbps です。IP カメラが 100 メートルより長い RJ45 ケーブルを介して PoE で給電されているときに“自動”で接続の問題が発生した場合は、安定した接続のために“EPOE”をお試しください。</p> 		
カメラ名	IP カメラ名	(自動設定されます)	編集可能です
IP アドレス/ドメイン	IP カメラのアドレス又はドメイン	(自動設定されます)	編集可能です
サブネットマスク	IP カメラのサブネットマスク	(自動設定されます)	編集可能です
ポート	IP カメラのポート	(自動設定されます)	編集可能です
プロトコル	<p>IP カメラのプロトコルを次から選択します。</p> 	(自動設定されます)	編集可能です
ユーザー名	IP カメラのユーザー名	(自動設定されます)	編集可能です
パスワード	IP カメラのパスワード	(自動設定されます)	編集可能です
カメラモード	“自動”または“連続”または“魚眼”を選択。通常は“自動”を選択します。	(自動設定されます)	編集可能です

注意: 1つの PoE ポートに 1 台の IP カメラのみを接続できます。PoE ポートにスイッチまたはルーターを介して複数のカメラを接続しないでください。

- ②  アイコン: IP カメラへの接続情報を編集可能です。

接続情報を編集します

チャンネル	CH1
スイッチモード	手動モード
POEモード	自動
エイリアス	CH1
IPアドレス/ドメイン	192.168.11.58
サブネットマスク	255.255.255.000
ポート	80
プロトコル	プライベートプロトコル
ユーザー名	admin
パスワード	●●●●●●●●
カメラモード	自動

OK キャンセル

- ③  アイコンについて： IP カメラ自体の設定を修正可能です。

IPカメラ設定修正

チャンネル	CH1
タイプ	スタティック
IPアドレス	192.168.011.058
サブネットマスク	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.011.001
ポート	80
ユーザー名	admin
パスワード	●●●●●●●●

OK キャンセル

- ④   アイコン：登録のある IP チャンネルの状態列へ表示されます。緑色アイコンの場合は IP カメラの映像を確認できます。グレーアウトしている場合は IP カメラへ接続できないことを示します。この場合はネットワーク環境，ネットワークの設定状況，IP カメラの設定状況をご確認下さい。

	チャンネル	スイッチモード	POEモード	編集	状態	IPアドレス/ドメイン
	CH1	手動モード	自動			192.168.11.58
	CH2	手動モード	自動			
POE	CH3	自動モード	自動			10.10.25.153



- ⑤ **パスワード表示** : 画面下部のこの“パスワード表示”をチェックしますと、登録されている IP カメラチャンネルのパスワード列が追加され、登録されている IP カメラチャンネルのパスワードを一覧表示できます。

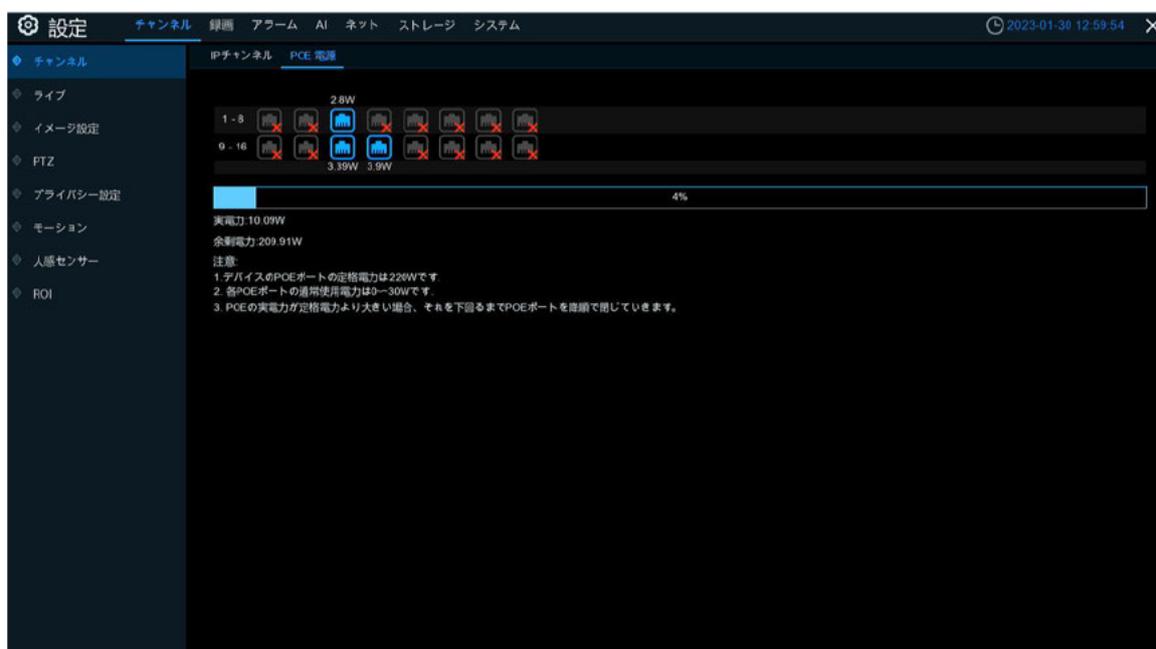
チャンネル	スイッチモード	POEモード	編集	状態	パスワード	IPアドレス/ドメイン	サブネットマスク	ポート	メーカー	デバイスタイプ	プロトコル
<input type="checkbox"/> CH1	手動モード	自動				cctv1212@	192.168.11.58	255.255.255.0	80	8MP-578DX-SD	プライベートプロトコル
<input type="checkbox"/> CH2	手動モード	自動									
<input checked="" type="checkbox"/> POE CH3	自動モード	自動			admin123	10.10.25.153	255.255.0.0	80		IP CAMERA	プライベートプロトコル
<input checked="" type="checkbox"/> POE CH4	自動モード	自動									
<input checked="" type="checkbox"/> POE CH5	自動モード	自動									
<input checked="" type="checkbox"/> POE CH6	自動モード	自動									
<input checked="" type="checkbox"/> POE CH7	自動モード	自動									
<input checked="" type="checkbox"/> POE CH8	自動モード	自動									
<input checked="" type="checkbox"/> POE CH9	自動モード	自動									
<input checked="" type="checkbox"/> POE CH10	自動モード	自動									

IPカメラ自動IP設定 IPカメラ初期設定 初期パスワード: Modify IPC.admin Password ファイルから IPカメラ情報をインポート IPカメラ情報をファイルにエクスポート パスワード表示

5.1.2 POE 電源

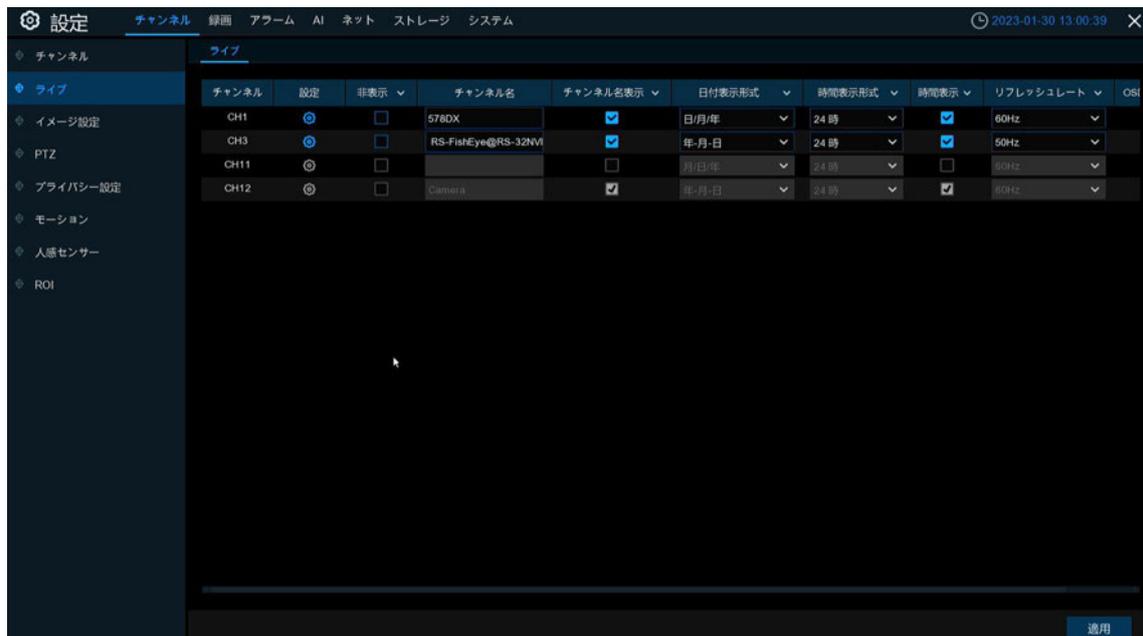
本機 PoE ポートの PoE 使用状況が確認できます。

PoE ポートの注意点	
TNV-RH16PW	TNV-RH32PW
PoE ポートの定格電力は <u>156W</u> です。	PoE ポートの定格電力は <u>220W</u> です。
各 PoE ポートの通常の動作範囲は <u>0W~30W</u> の動作範囲となっております。	
使用電力が定格電力を超えると、定格電力を下回るまで、 チャンネル番号に従って降順で NVR が自身の PoE ポートを 1 つずつ <u>自動的に閉じます</u> 。	



5.1.3 ライブ

カメラパラメータを設定します。



チャンネル:チャンネル番号

設定: アイコンをクリックして設定します

注意:IP カメラが対応していない項目(機能)は御利用いただけません。



チャンネル CH3 → 設定するチャンネルを選択する

チャンネル名 RS-FishEye@RS-32NVF → カメラに名前を付ける

日付表示形式 年-月-日 → カメラ用に表示する日付形式

時間表示形式 24 時 → カメラ用に表示する時刻形式

リフレッシュレート 50Hz → フリッカー周波数

チャンネル名表示 → 録画する映像へチャンネル名を埋め込む
合チェックボックスをオンにする

時間表示 → システム時刻を録画する映像へ埋め込む
場合チェックボックスをオンにする

色相 128 → この CH の色合いを調整する

明るさ 128 → この CH の色の明るさを調整する

コントラスト 128 → この CH の明暗差を調整する

彩度 128 → この CH の色の濃さを調整する

シャープネス 128 → この CH の輪郭強調を調整する

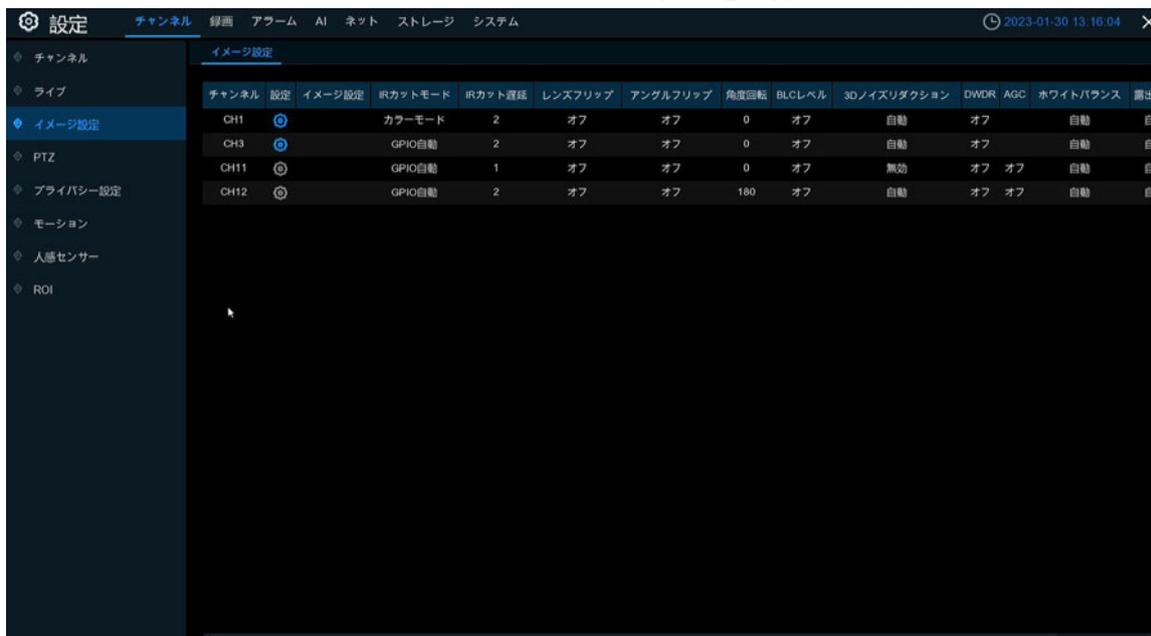
初期化 → この [初期化]ボタンは、その CH の“色相”、
“明るさ”、“コントラスト”、“彩度”、“シャープ
ネス”のみをデフォルトの値へ戻す場合に使
用します。

適用 → 設定を保存するには[適用]をクリックし、
マウスの右ボタンをクリックして終了しま
す。

注意:「非表示」を有効にした場合、VGA, HDMI 出力に対してのみ有効です。Web クライアント等のネットワークアクセスした場合には「非表示」を有効にしたチャンネルであっても非表示となりませんのでご注意ください。

5.1.4 イメージ設定

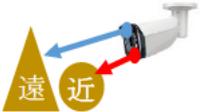
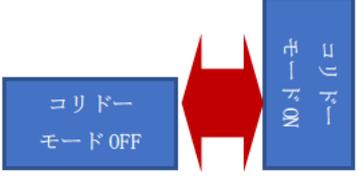
このメニューでは、サポートされている IP カメラのイメージ設定を制御できます。

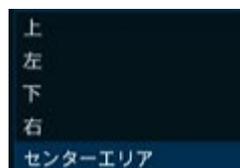


チャンネル:チャンネル番号

設定:  アイコンをクリックして設定します。



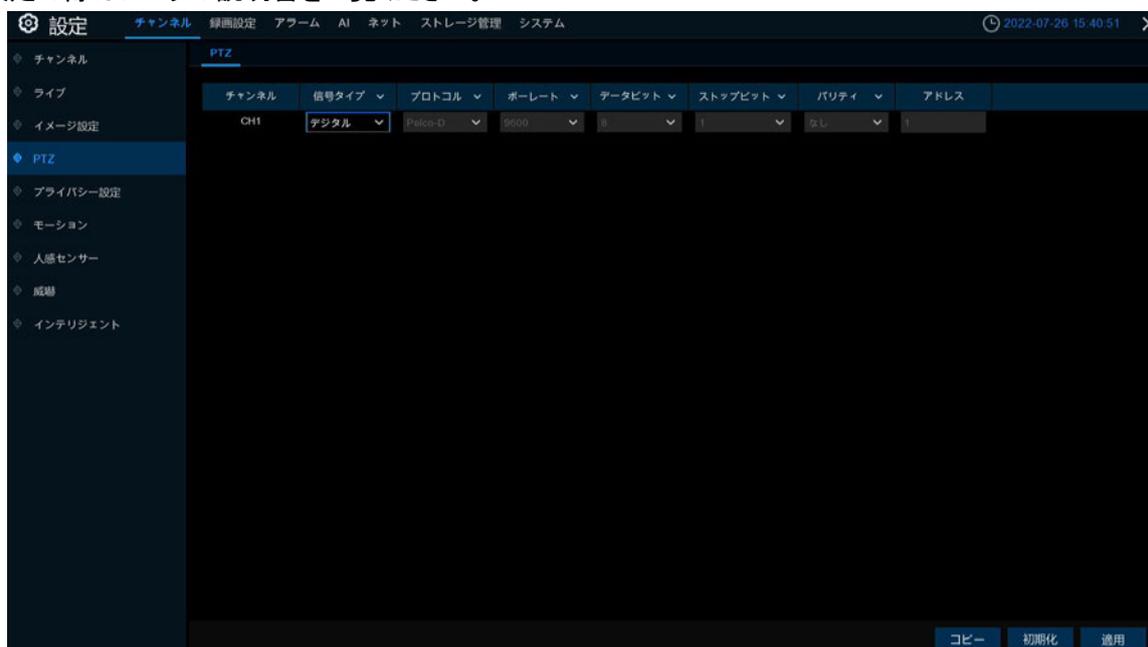
項目	内容	
チャンネル	設定するチャンネルを選択します。	
IR カットモード	<p>通常は自動モードを使用します。</p> <p>自動: IR カットは自動で行います。</p> <p>カラーモード: IR カットします。</p> <p>白黒モード: IR カットしません。</p> <p>ビデオモード: 感度を0~3の間で設定します。</p>  <p>スケジュール(白黒モード): IR カット動作はスケジュールにしたがって行われます。併せて、IR カット動作の開始/終了時刻を御設定下さい。</p> 	
IR カット遅延	<p>IR カット機能の自動モードが安定動作しない場合に調整します。例えばナイトモードへ切り替える場合、設定した時間だけ闇となった場合にナイトモードへ切り替えが行われ、短時間でナイトモードへの切り替えが連続することを抑制します。実際の条件、時期によって調整を行ってください。スライダーを動かして設定します。</p> 	
IR-LED	<p>通常は“SmartIR”を使用します。</p> <p>マニュアル: 赤外 LED の発光の強さを手動設定できます。</p> <p>Smart IR: 赤外 LED の発光の強さは自動で行われます。</p>	
ロービームライト ハイビームライト	<p>IR-LED(赤外)の発光の強さを設定します。</p>  <p>ロービームは近くを、ハイビームは遠くを照らすためのライトです。</p>	
コリドーモード	<p>路地、廊下監視用モードです。アングルとアスペクト比が路地や廊下の監視に特化しております。アングルが右へ90°になり、アスペクト比は逆になります。</p>	
角度回転	<p>0: 0° のアングルです。</p> <p>180: アングルが 180° になります。</p>	

<p>レンズフリップ アングルフリップ</p>	<p>鏡像を選択します。</p> <p>[表示例]</p> <table border="1" data-bbox="558 313 1053 504"> <tr> <td>CCTV</td> <td>(なし)</td> </tr> <tr> <td>CC1A</td> <td>レンズフリップ</td> </tr> <tr> <td>VT00</td> <td>アングルフリップ</td> </tr> <tr> <td>AL00</td> <td>レンズフリップ&アングルフリップ</td> </tr> </table>	CCTV	(なし)	CC1A	レンズフリップ	VT00	アングルフリップ	AL00	レンズフリップ&アングルフリップ
CCTV	(なし)								
CC1A	レンズフリップ								
VT00	アングルフリップ								
AL00	レンズフリップ&アングルフリップ								
<p>バックライト</p>	<p>強い入射光による映像潰れを軽減します。この方法には3種類の補正方法がございます。映像を確認しながら適切な制御方法を御選択下さい。また、補正レベルを、制御方式に合わせて出現したスライダーで設定して下さい。実際の条件によって調整を行ってください。“バックライト”を御選択の場合は“BLC エリア(バックライト補正エリア)”を併せて設定します。実際の条件によって調整を行ってください。</p> <p>WDR: WDR 制御を用います。</p>  <p>HLC: HLS 制御を用います。</p>  <p>BLC: バックライト (BLC) 制御を用います。</p>  <p>BLCエリア</p>  <p>無効: 一切バックライト制御を行いません。</p>								
<p>ホワイトバランス</p>	<p>通常は環境光等により時間とともにホワイトバランスは変化するため、“自動”を使用します。</p> <p>自動: ホワイトバランスは自動調整されます。</p> <p>マニュアル: ホワイトバランスを手動で設定できます。出現した赤, 緑, 青のスライダーでホワイトバランスを調節します。</p> 								
<p>シャッター</p>	<p>シャッタースピードを設定します。</p> <p>自動: シャッタースピードは自動調整されます。</p> <p>マニュアル: シャッタースピードを手動調整します。露出時間で設定します。</p>								

<p>露出時間</p>	<p>露出時間を設定します。</p> <p>1/5 1/120 1/250 1/600 1/5000 1/8 1/150 1/300 1/700 1/10000 1/15 1/180 1/360 1/1000 1/12000 1/30 1/200 1/480 1/1500 1/20000 1/60 1/240 1/500 1/2500 Flickerless</p> 
<p>3D ノイズリダクション</p>	<p>映像のノイズ除去機能を設定します。実際の条件によって調整を行ってください。</p> <p>無効：映像のノイズ除去を行いません。</p> <p>自動：映像のノイズ除去を行います。ノイズ削除レベルは自動設定されます。</p> <p>マニュアル：映像のノイズ除去を行います。ノイズ削除レベルは出現したスライドバーで調節します。</p> 

5.1.5 PTZ 設定

このメニューでは、ドームカメラの PTZ(パン チルト ズーム)設定を行うことができます。
設定の際はカメラの説明書をご覧ください。



チャンネル: チャンネル番号

信号タイプ: デジタル又は、RS-485 を用いる場合にはアナログを選択します。

プロトコル: プロトコルがアナログの場合に設定します。PTZ 対応カメラと NVR 間の通信プロトコルを選択します。“Pelco-D”, “Pelco-P”が選択可能です。

ボーレート: プロトコルがアナログの場合に設定します。NVR から PTZ 対応カメラに送信される情報の速度を設定します。PTZ 対応カメラの互換性レベルと一致していることを確認します。

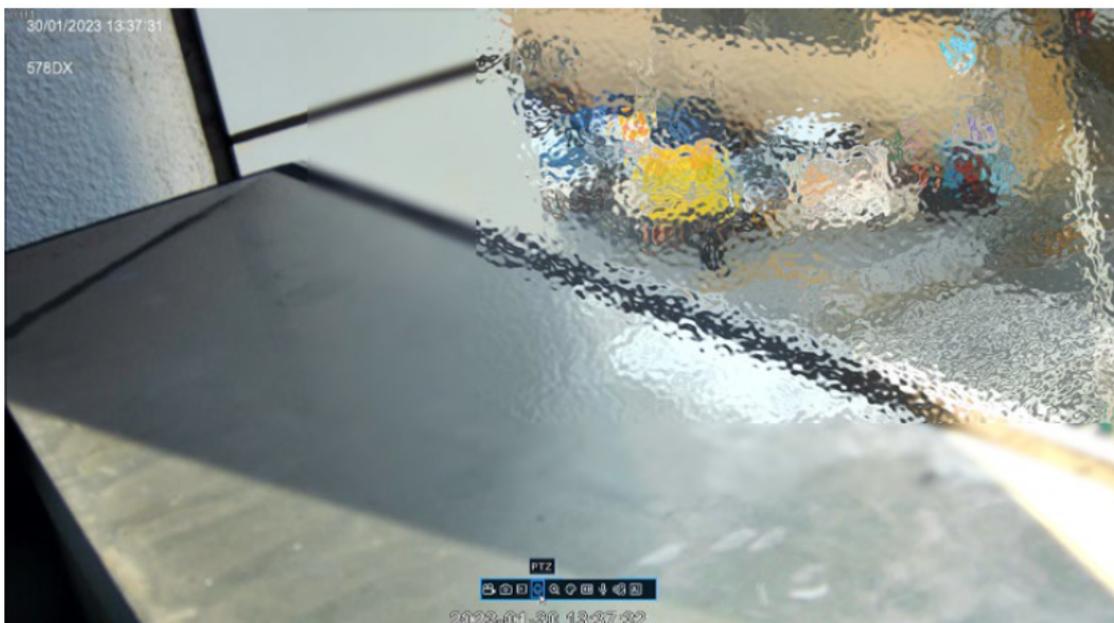
データビット/ストップビット: プロトコルがアナログの場合に設定します。NVR と PTZ 対応カメラ間の情報は、個別のパッケージで送信されます。データビットは送信されたビット数を示し、ストップビットはパッケージの終了と次の (情報) パッケージの先頭を示します。データビットで使用可能なパラメータは、8、7、6、5 で、ストップビットで使用可能な値は 1 または 2 です。

パリティ: プロトコルがアナログの場合に設定します。エラーチェック用です。この設定を構成するには、PTZ 対応カメラのマニュアルを参照してください。

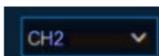
アドレス: プロトコルがアナログの場合に設定します。PTZ システムのコマンドアドレスを設定します。各 PTZ 対応カメラは、適切に一意のアドレスを必要とすることに注意してください。

5.1.5.1 PTZ 制御(操作)

PTZ の設定が終了したら、PTZ 機能を使用して PTZ カメラを制御できます。



- 1) ライブ表示画面のチャンネル上でマウスを左クリックして [カメラクイック ツールバー](#)を開き、PTZ コントロールアイコンを選択  します。

No.	アイコン	アイテム	形容
1		チャンネル	PTZ カメラのチャンネルを選択します。
2		ステップ数	+、- ボタンをクリックした際の 1 クリックのステップ数を選択できます。
3	- ズーム +	ズーム	クリックしてズームイン/アウトします。
	- 焦点+	フォーカス	クリックしてフォーカスを調整します。
4		自動焦点	オートフォーカスするにはクリックします。
5		復旧	デフォルトへ戻します。

- 2) PTZ 操作パネルを操作します。



5.1.6 モーション: パラメータ設定

このメニューでは、モーション検知のパラメータを設定できます。

モーション検知時のカメラ映像/画像が添付されたEメールアラートを送信したり(このオプションが有効になっている場合)、スマートフォンアプリを介してプッシュ通知を送信したりすることが可能となります。

“モーション”検出に未対応のIPCの場合は、“モーション”検出をご利用いただけません。

AI未対応のIPCでは“ターゲット検知”の項目で“モーション”以外を選択しないでください。



設定: アイコンをクリックして設定画面へ移動します。

スイッチ: モーション検出を有効または無効にします。

感度: 感度レベルを設定します。レベル1は最低感度レベル、レベル8は最高感度レベルです。

モーション検出領域: モーション検出する範囲の透明ブロックをクリックまたはドラッグして赤いブロックへ設定します。赤いブロックは検出される領域です。赤いブロックをクリックまたはドラッグすると透明ブロックとなります。透明ブロックの部分は検出されない領域です。

[**すべて選択**]をクリックすると全てのブロックが赤いブロックとなり、全ての領域が検出領域となります。

[**すべてクリア**]クリックで、全てのブロックが透明ブロックとなり、全ての領域が未検出領域となります。



ターゲット設定: 本機のモーション機能はモーションの検知対象を設定可能です。既定値の“モーション”をご選択の場合は全ての物体のモーション(従来のモーション機能をご利用の場合は“モーション”をご選択下さい)を検知します。(“モーション”以外をご設定の場合で感度レベルを上げた場合は同時に誤認識の確率も上がりますので動作確認してご利用ください。また、感度を上げても検知精度は変わりません)

AI未対応のIPCでは“ターゲット検知”の項目で“モーション”以外を選択しないでください。

設定が完了したら、マウスの右ボタンをクリックして戻り、[適用]をクリックしてエリア設定を有効にします。

5.1.6.1 モーション: アラーム設定

[[アラーム](#)]ボタンをクリックして、動き検出アラーム機能を設定します。



ブザー :NVR は、アラーム音を発するために、その内部ブザーを使用することができます。モーションが検出された場合、ブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力:NVR から外部へトリガが発信できます(外部アラーム)。トリガの出力期間はラッチタイムで設定します。

ラッチタイム:動きが検出された場合の外部アラーム時間を設定します。

録画 : [ON icon] アイコンをクリックし、モーション検出がトリガされたときに記録するチャンネルを選択します。



録画継続時間: イベント発生後、NVR が記録を継続する期間を設定できます。推奨される録音時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示 : モーションが検出されたときに、ライブビュー画面に [ON icon] アイコンを表示する場合はチェックボックスをオンにします。

メール送信: モーションが検出されたときに、NVR に自動でメールを送信させることができます。メールの設定については [5.4.3 メール](#) をご覧ください。

全画面表示: (メイン画面出力の SPOT 機能設定)この機能が有効で、チャンネル内でモーションが検出されると、そのチャンネルが全画面表示されます。

FTP 画像送信/FTP 動画送信:動きが検出されたときに、チャンネルの映像/画像を FTP サーバにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

クラウド画像送信/クラウド動画送信:動きが検出されたときに、チャンネルの映像/画像をクラウドストレージにアップロードします。クラウドストレージを有効にするには、[5.5.3 クラウドストレージ](#) を参照してください。

音声警告: イベント発生の際に、設定した音声で案内します (RCA 音声出力と HDMI)。時間帯別で案内する音声を変更できます。“なし”は音声案内を行いません。音声警告の設定については、[「5.3.8 音声警告」](#)を参照ください。

5.1.7 人感センサー:パラメータ設定

(使用しません)

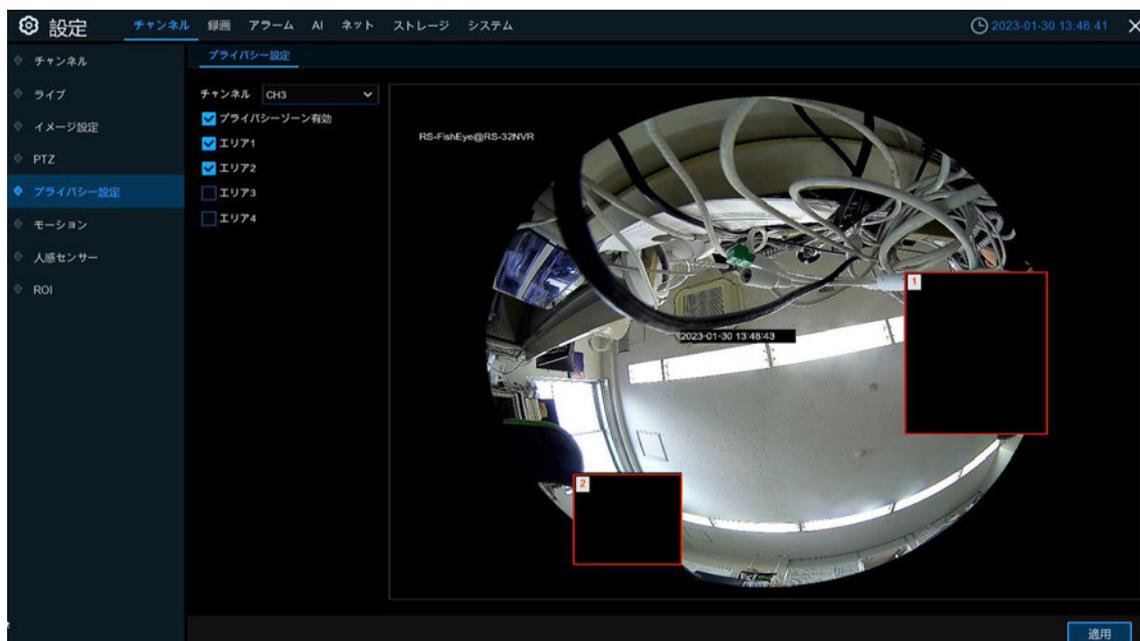
5.1.7.1 人感センサー:アラーム設定

(使用しません)

5.1.8 プライバシー設定

このメニューでは、映像へプライバシーゾーンを作成できます。カメラ映像上の任意のサイズと場所へ最大4箇所 のプライバシーゾーンを作成できます。

プライバシーゾーンを有効にして、必要なゾーン数を選択します。ゾーンは「赤いボックス」として表示されます。赤いボックスの端をクリックし、任意のサイズにドラッグしてプライバシーゾーンを作成します。



注意: 設定したプライバシーゾーンの領域は、ライブビューと録画ビデオの両方で有効になります。

注意: IP カメラがこの機能へ対応している必要があります。

5.2 録画設定

このメニューでは、録画パラメータを設定することができます。

5.2.1 エンコード

このメニューで、各ストリームの画質等を設定します。

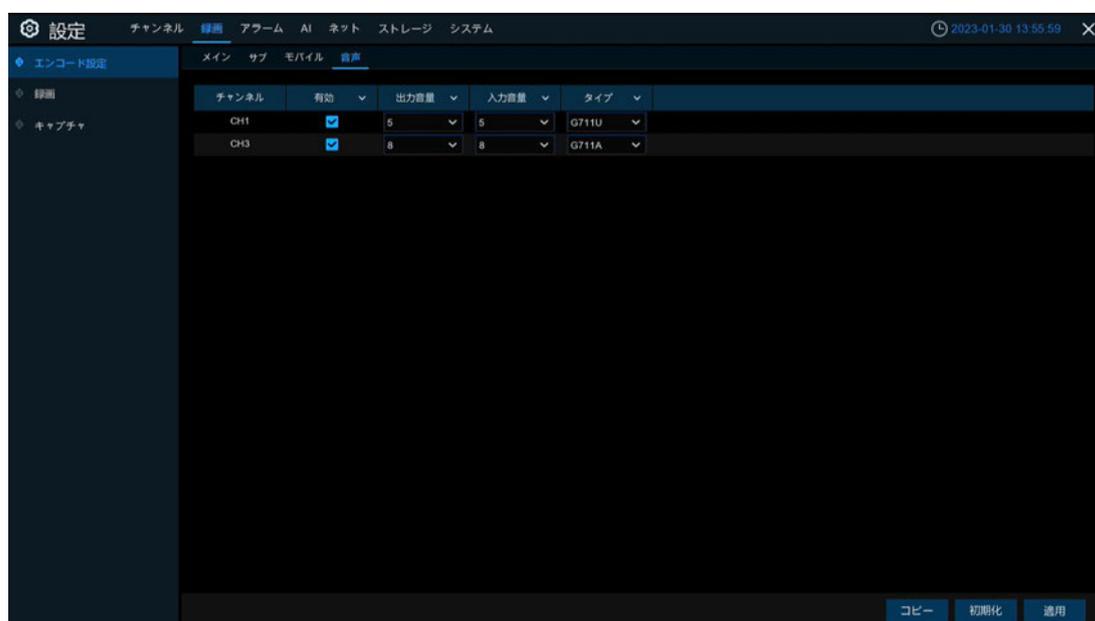
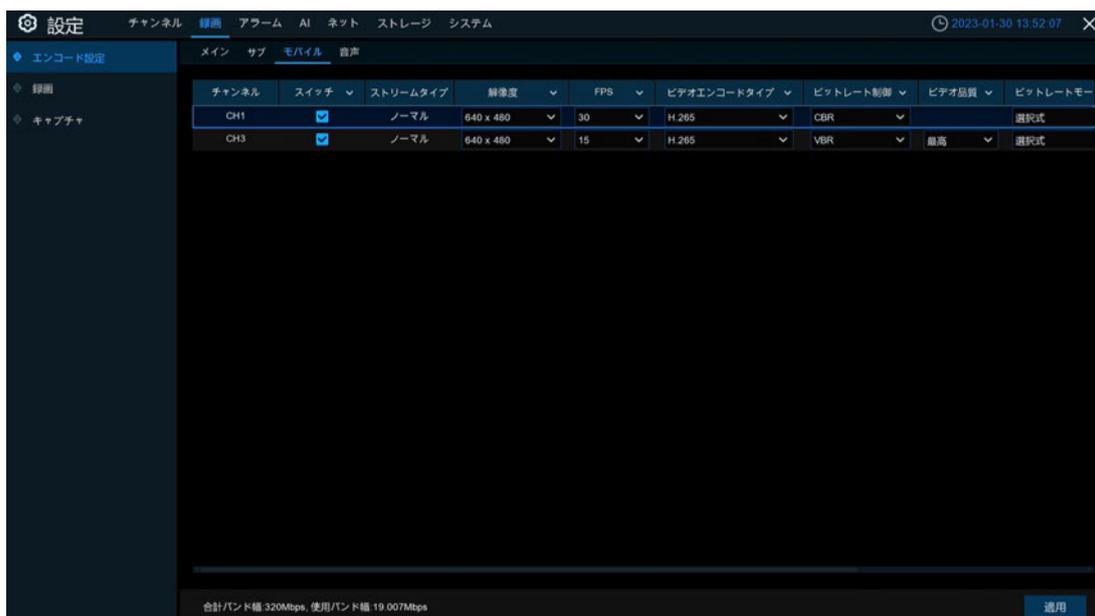
一般的に、メインストリームは、HDD に保存される録画ビデオ品質を定義します。サブストリームは、Web クライアントや CMS など、リモート アクセスを介して表示されるビデオ品質を定義します。モバイルストリームは、スマートフォン デバイス経由でリモートアクセスを介して表示されるビデオ品質を定義します。

チャンネル	ストリームタイプ	解像度	FPS	ビデオエンコードタイプ	ビットレート制御	ビデオ品質	ビットレートモード	ビットレ
CH1	ノーマル	3840 x 2160	30	H.264	VBR	最高	選択式	16384
CH3	ノーマル	4000 x 3000	15	H.265	VBR	最高	選択式	16384
	アワーム	4000 x 3000	15	H.265	CBR		選択式	16384
CH11	ノーマル		1	H.265	CBR		選択式	
CH12	ノーマル		1	H.265	CBR		選択式	

合計バンド幅 320Mbps, 使用バンド幅 35.007Mbps

チャンネル	ストリームタイプ	解像度	FPS	ビデオエンコードタイプ	ビットレート制御	ビデオ品質	ビットレートモード	ビットレート	音声
CH1	ノーマル	1920 x 1080	30	H.265	CBR		選択式	1536	🔊
CH3	ノーマル	1280 x 960	15	H.264	CBR		選択式	1024	🔊
CH11	ノーマル		1	H.265	CBR		選択式		
CH12	ノーマル		1	H.265	CBR		選択式		

合計バンド幅 320Mbps, 使用バンド幅 19.007Mbps



解像度： 解像度を設定します。

FPS(フレームレート)： このパラメータは、NVR が記録する 1 秒あたりのフレーム数です。

ビデオエンコードタイプ： “H.264”または“H.265”を選択します。

<H.264 と H.265 について>

H.265 は H.264 のおおよそ 50%～75%のビットレートで同じ映像品質を保つことが可能な映像フォーマットです。

- ① H.265 と H.264 で同じビットレートで録画した場合、H.265 録画の場合は H.264 録画の場合に比べてブロックノイズ耐性がおおよそ 25～50%向上します。
- ② H.264 録画で映像品質に問題の無かった(ブロックノイズが発生しなかった)ビットレートであれば、H.265 録画で 50～75%のビットレートに抑えることが可能です。

ビットレート制御： “可変ビットレート(VBR)”または“固定ビットレート(CBR)”を選択します。基本的には VBR の方がおすすめです。

<VBRとCBRについて>

動きの少ない映像でVBRなら容量が圧縮でき、動きが多い映像ならCBRの方が安定した容量になります。具体的には、灰色の壁のような単純なシーンの場合は、“**可変ビットレート(VBR)**”を、交通量の多い通りなどより複雑なシーンには、“**固定ビットレート(CBR)**”と使い分ける場合が多いです。しかし、CBRの場合、撮影映像に対して設定したビットレート値が低いと(適切でなかった場合)映像が崩れる場合がございます。**このため、基本的にはVBRの方がおすすめです。**

ビットレートモード: ビットレートを自分で設定したい場合は、“**入力式**”を選択します。定義済みのビットレートを選択する場合は、“**選択式**”を選択します。

ビットレート: より高いビットレートでエンコードされた録画は、より良い品質になります。

推奨範囲
2048kbps～16384kbps

音声: これをチェックすると録画に音声を含めます。このオプションを選択する場合は、アンプとマイクをNVRに接続してご利用ください。

ETR: これをチェックすると、このチャンネルへアラーム用(モーションまたはI/Oアラーム)の、最大フレームレートとビットレートが設定できます。

Iフレーム間隔: 映像のキーフレーム間隔を設定します。

5.2.2 録画

このメニューでは、チャンネルの録画パラメータを設定できます。

5.2.2.1 録画

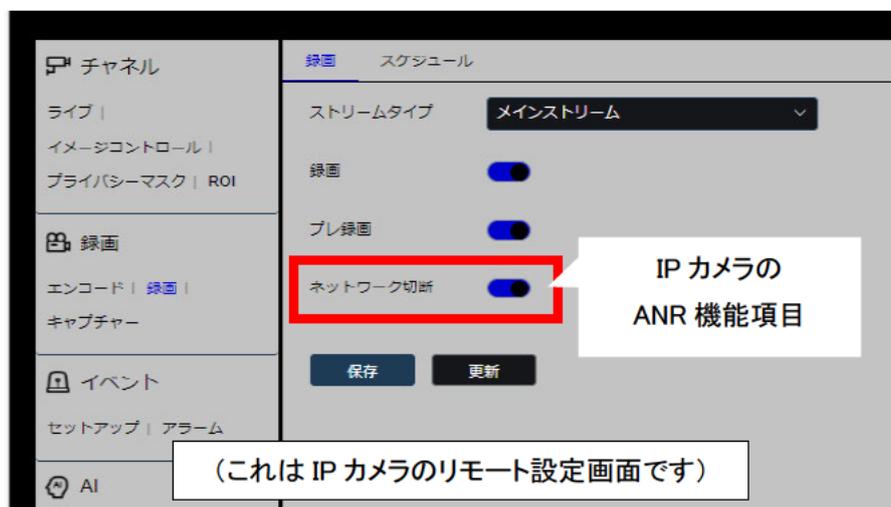


録画スイッチ: このチャンネルで録画を有効にする場合にチェックを入れます。

ストリームモード: 録画するストリームを選択します。[デュアルストリーム]を選択すると、システムはメインストリームとサブストリームの両方で録画します。

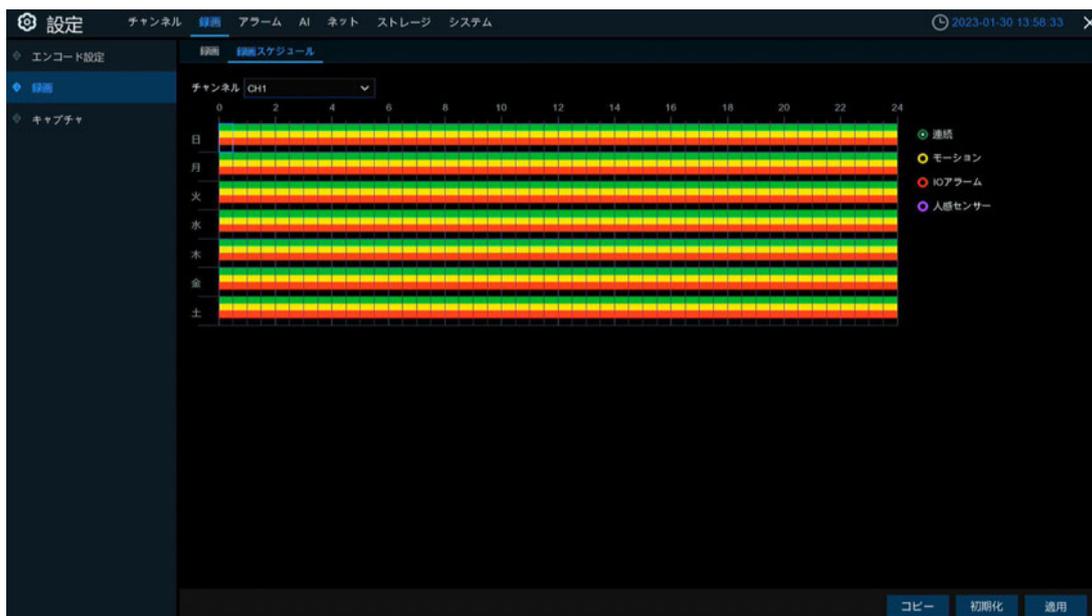
プレ録画: これをチェックした場合、アラームイベント発生の2~3秒前から録画を開始します。

ANR: Automatic Network Recovery。ネットワークが切断されたときに自動的にビデオ録画をカメラのSDカードに保存する機能です。ネットワークが復元されるとその間のビデオ録画データがNVRに転送されます。したがって、ネットワークが一時的に失敗してもすべてのビデオ録画が保存されるように機能します。ANRを使用すると、NVRに“冗長性”が提供されます。この機能を使用するにはIPカメラがANR機能へ対応しているかつDC電源で動作している必要があります(POE電源の場合はANR機能が動作しません)。



5.2.2.2 録画スケジュール

このメニューでは、NVR がビデオを録画するタイミングを指定し、各チャンネルの録画モードを定義できます。録画スケジュールでは、通常の(連続)録画、モーション録画、I/O アラーム録画、人感センサー録画(サポートしている場合)によって、毎日と毎時などのスケジュールを設定できます。録画モードを設定するには、まず、設定するチャンネルを選択します。録画モードラジオボタン(ノーマル、モーション、I/O、人感センサー)をクリックしてから、マウスでクリックまたはドラッグしてブロックへ色付けます。録画モードラジオボタンの色とブロックの色は対応しています。色付のブロックをクリックまたはドラッグすると黒色ブロックとなります。黒色ブロックの部分は、いずれの録画モードが無効となり録画しません。録画スケジュールを他のチャンネルでも使用する場合は、“コピー機能”を使用します。[適用] をクリックして設定を保存します。



チャンネル: チャンネルを選択して、その録画パラメータを設定します。

連続  : タイムブロックが緑色に設定されている場合、チャンネルはそのタイムブロックで連続録画を実行することを示します。

モーション  : タイムブロックが黄色でマークされている場合、チャンネルは、その時間帯にモーションが検出されたときにのみ、チャンネル録画を実行することを示します。

I/O アラーム  : タイムブロックが赤色に設定されている場合、これは、その時間帯にセンサーがトリガされたときにのみチャンネル録画を実行することを示します。

人感センサー  : (この機能は使用しません)

[録画なし] : 黒のみのタイムブロックは、いずれの録画スケジュールがないことを意味します。

5.2.3 キャプチャ

このメニューは、画像キャプチャ機能を設定することができます。

5.2.3.1 キャプチャ

最大解像度は 1080P 解像度となります。



自動キャプチャ: チャンネルでの自動キャプチャを有効または無効にします。

ストリーム: キャプチャするストリームを、メインストリームまたはサブストリームより選択します。

通常間隔: 通常の録画(連続録画)で画像をキャプチャする時間間隔。

アラーム間隔: モーション, IO アラーム, 人感センサーがトリガされたときに画像をキャプチャする時間間隔。

5.2.3.2 キャプチャスケジュール



チャンネル : キャプチャパラメータを設定するチャンネルを選択します。

連続   : タイムブロックが緑色に設定されている場合、チャンネルはそのタイムブロックの通常のキャプチャを実行することを示します。

モーション   : タイムブロックが黄色に設定されている場合、そのチャンネルの画像キャプチャは、そのタイムブロックでモーションが検出された場合にのみ実行することを示します。

IOアラーム   : タイムブロックが赤色に設定されている場合、その時間帯にセンサーがトリガされたときにのみ、そのチャンネルの画像キャプチャを実行することを示します。

人感センサー   : (この機能は使用しません)

[キャプチャなし]  : 黒のみのタイムブロックは、自動でそのチャンネルの画像をキャプチャしないことを意味しますが、チャンネルで手動キャプチャを実行すると手動で画像をキャプチャできます。

5.3 アラーム

このセクションでは、アラームパラメータを設定できます。アラームの動作にはアラームスケジュールの設定が合わせて必要です。

5.3.1 モーション

[5.1.6 モーション\(パラメータ設定\)](#)及び [5.1.6.1 モーション\(アラーム設定\)](#)をご覧ください。

5.3.2 I/O アラーム(外部入力アラーム)

外部センサーI/O アラームデバイスを接続して NVR を使用します。

外部アラームを NVR のトリガとして使用可能です。



アラーム入力: 外部入力アラームチャンネル。

アラームタイプ: センサーの種類に合わせて、ノーマルオープン・ノーマルクローズから選択可能です。**[オフ]** を選択するとその外部入力アラームチャンネルのアラーム入力を無効にします。

ブザー :NVR は、アラーム音を鳴らすのに内部ブザーを使用することができます。外部入力アラームチャンネルからトリガが入力された場合、ブザーの持続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力: 外部入力アラームチャンネルからトリガが入力された場合、外部出力アラームへアラームを発します。

ラッチタイム: 外部入力アラームチャンネルからトリガが入力された場合のブザーの鳴り時間を設定できます(10 秒、20 秒、40 秒、1 分)。

チャンネル:  アイコンをクリックし、外部入力アラームチャンネルからトリガが入力された場合の録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間: 外部入力アラームチャンネルからのトリガ入力終了からのアラーム録画の持続時間を設定できます(30 秒、1 分、2 分、5 分)。

メッセージ表示: 外部入力アラームチャンネルからトリガが入力された場合、チャンネル画面にアラームアイコンを表示します。

メール送信: 外部入力アラームチャンネルからトリガが入力された場合、事前設定されたメールアカウントにメールが送信されます。メールの設定については[「5.4.3 メール」](#)をご覧ください。

全画面表示: (メイン画面出力の SPOT 機能設定)外部入力アラームチャンネルからトリガが入力された場合、対応するチャンネルが全画面モードに切り替わります。

FTP 画像送信/FTP 動画送信:動きが検出されたときに、チャンネルの映像/画像を FTP サーバにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

クラウド画像送信/クラウド動画送信:動きが検出されたときに、チャンネルの映像/画像をクラウドストレージにアップロードします。クラウドストレージを有効にするには、[「5.5.3 クラウドストレージ」](#)を参照してください。

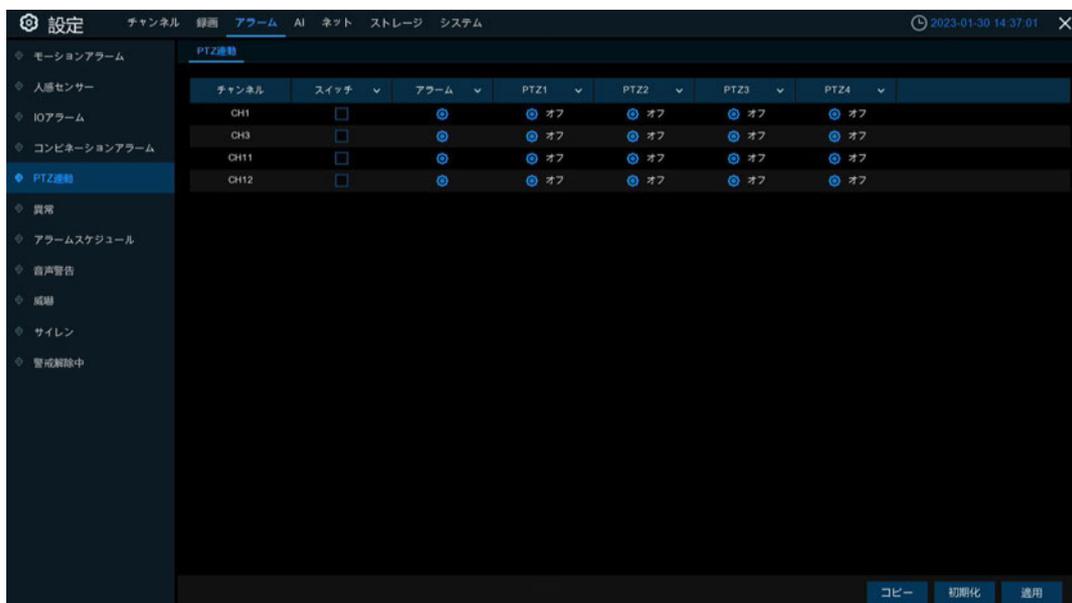
音声警告: イベント発生の際に、設定した音声で案内します (RCA 音声出力と HDMI)。時間帯別で案内する音声を変更できます。“なし”は音声案内を行いません。音声警告の設定については、[「5.3.8 音声警告」](#)を参照ください。

5.3.3 人感センサー

(使用しません)

5.3.4 PTZ 連動

PTZ カメラを接続している場合は、モーションアラーム/外部入力アラーム/人感センサーアラームと PTZ 連動設定できます。PTZ 連動を使用すると、モーションアラーム/外部入力アラーム/人感センサーアラームが発生したときに、PTZ カメラのフォーカスをプリセットポイントに合わせることができます。



スイッチ: PTZ 連動機能を有効または無効にします。

モーション: チェックされている場合、モーション検出アラームをトリガとして使用します。

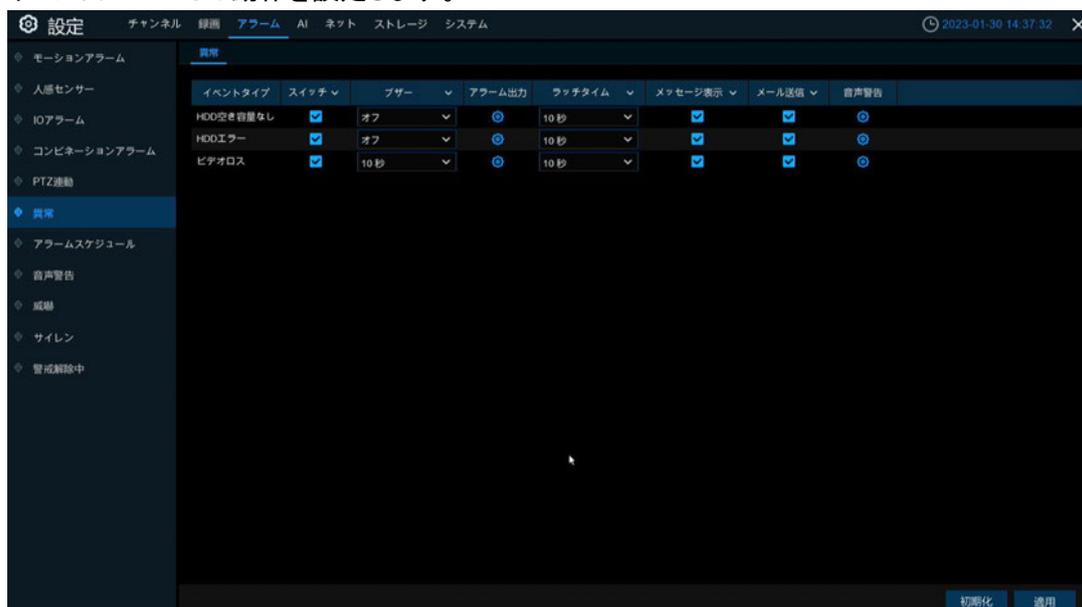
IO アラーム: チェックされている場合、外部入力アラームをトリガとして使用します。

人感センサー: チェックされている場合、人感センサーをトリガとして使用します。

PTZ:  アイコンをクリックして、PTZ カメラをプリセットポイントに関連付けます。プリセットポイントの設定については、[「5.1.5.1 UTC・PTZ 制御\(操作\)」](#)をご覧ください。

5.3.5 異常

異常イベントについての動作を設定します。



イベントタイプ: 以下のオプションからイベントタイプを選択します。

- **HDD 空き領域なし:** HDD がいっぱいするとき。
- **H D D エ ラ ー:** HDD が正しく検出されない場合。
- **ビ デ オ ロ ス:** IP カメラが正しく接続されていない場合。IP カメラのユーザ名またはパスワード認証できなくなった場合。IP カメラがオフラインになった場合。

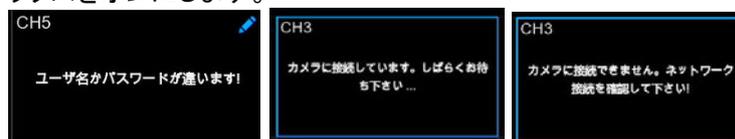
スイッチ: そのイベントの監視を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

ブザー: そのイベントがトリガされたときに NVR は、その内部ブザーを使用してアラーム音を発することができます。ブザーの持続時間を秒単位で設定できます。ブザーを無効にするには、**[オフ]** を選択します。

ラッチタイム: そのイベントがトリガされたときの外部アラームの時間を設定できます (10 秒、20 秒、40 秒、1 分)。

アラーム出力: そのイベントがトリガされたときに NVR から外部へトリガ発信できます (外部アラーム)。トリガの出力期間はラッチタイムで設定します。

メッセージ表示: そのイベントが発生したときに、メッセージアイコンを画面に表示するには、このチェックボックスをオンにします。



メール送信: そのイベントが発生した場合、事前設定されたメールアカウントにメールが送信されます。メールの設定については [5.4.3 メール](#) をご覧ください。

音声警告: イベント発生の際に、設定した音声で案内します (RCA 音声出力と HDMI)。時間帯別で案内する音声を変更できます。“なし”は音声案内を行いません。音声警告の設定については、[「5.3.8 音声警告」](#)を参照ください。

注意: ネットワーク接続異常の場合は、インターネット接続が再開されるまで全てのメール通知がオフになります。

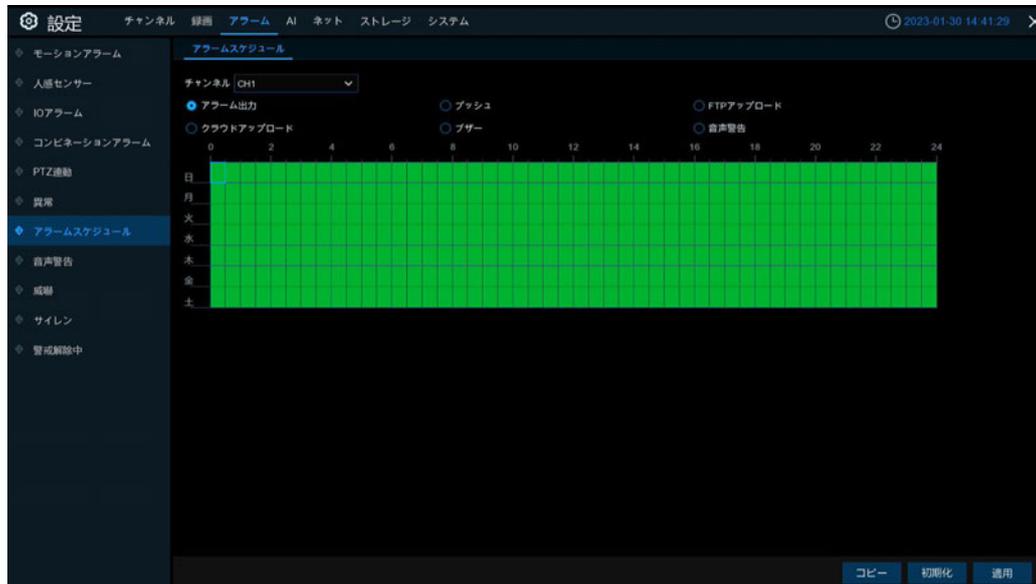
5.3.6 アラームスケジュール(リンケージアクションのスケジュールリング)

このメニューでは、各チャンネル別に次のアラーム動作(リンケージアクション)に関するスケジュール設定が可能です。

- アラーム出力(外部アラーム出力)
- プッシュ(スマートフォンアプリ等、遠隔へのプッシュ通知)
- FTP アップロード
- クラウドアップロード
- (NVR 本体の)ブザー
- 音声警告

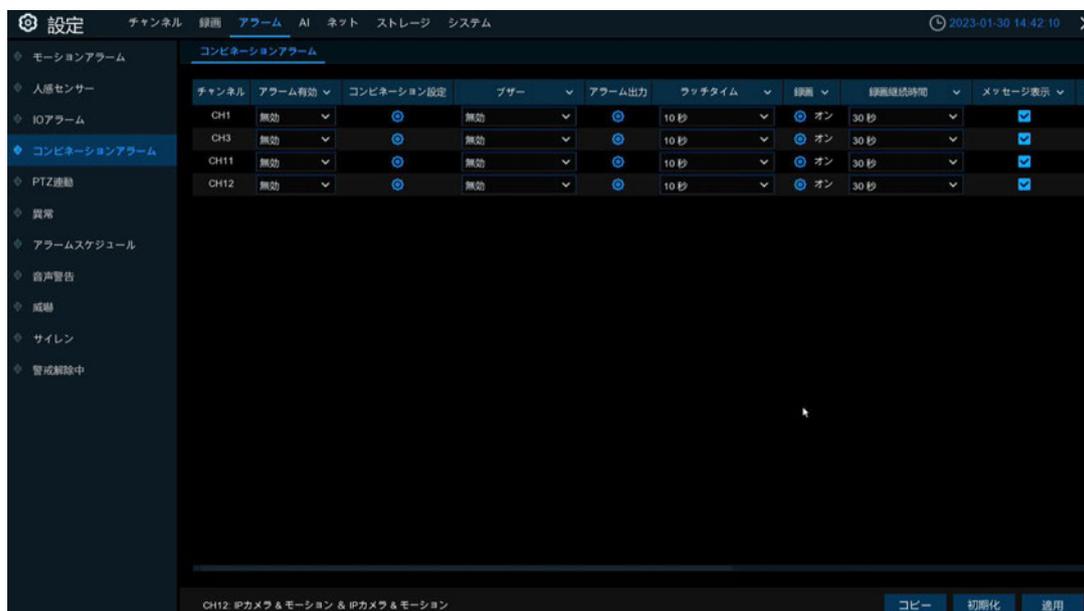
まず、設定するチャンネルを選択します。

次に、設定するリンケージアクションのラジオボタン(アラーム出力、プッシュ、FTP アップロード、クラウドアップロード、ブザー、音声警告)を選択してから、マウスでクリックまたはドラッグしてブロックへ色付けます。色付のブロックの部分はそのリンケージアクションが動作します。色付のブロックをクリックまたはドラッグすると黒色ブロックとなります。黒色ブロックの部分はそのリンケージアクションが無効となり動作しません。スケジュールを他のチャンネルでも使用する場合は、“コピー機能”を使用します。[適用] をクリックして設定を保存します。



5.3.7 コンビネーションアラーム(Combination Alarm)

この機能を使用すると、単独の2つのアラームを複合させて新たなアラームを作成することが可能です。なお、複合元の単独の2つのアラームは無効化されます。



アラーム有効:有効/無効を選択します。

コンビネーション設定(Combination Configure):  アイコンをクリックして、アラームを作成します。



(コンビネーションアラーム作成例 ①)

NVR 外部 IO アラームがトリガされ、且つ、モーションアラームが同時にトリガされた場合に発動するアラームを作成した例。この場合、外部 IO アラームとモーションアラームは単独でトリガ発動しません。



(コンビネーションアラーム作成例 ②)

異常音がトリガされ、且つ、モーションアラームが同時にトリガされた場合に発動するアラームを作成した例。この場合、異常音とモーションアラームは単独でトリガ発動しません。

ブザー :NVR は、アラーム音を発するため、その内部ブザーを使用することができます。コンビネーションアラームがトリガした場合、ブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力: NVR から外部へトリガ発信できます(外部アラーム)。トリガの出力期間はラッチタイムで設定します。

ラッチタイム: トリガ発動した場合の外部アラーム動作時間を設定します。

録画:  アイコンをクリックし、作成したコンビネーションアラームがトリガされたときに記録するチャンネルを選択します。



録画継続時間: 作成したコンビネーションアラームがトリガした際に、NVR が記録を継続する期間を設定できます。推奨される録音時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージ表示: 作成したコンビネーションアラームがトリガされたときに、ライブビュー画面に  アイコンを表示する場合はチェックボックスをオンにします。

メール送信: 作成したコンビネーションアラームがトリガされたときに、NVR に自動でメールを送信させることができます。メールの設定については、[5.4.3 メール](#)をご覧ください。

全画面表示: この機能が有効で、チャンネル内で作成したコンビネーションアラームがトリガされると、そのチャンネルが全画面表示されます。全画面表示期間には録画継続時間が使用されます。

FTP 画像送信/FTP 動画送信: 動きが検出されたときに、チャンネルの映像/画像を FTP サーバにアップロードします。FTP を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

クラウド画像送信/クラウド動画送信: 動きが検出されたときに、チャンネルの映像/画像をクラウドストレージにアップロードします。クラウドストレージを有効にするには、[5.5.3 クラウドストレージ](#)を参照してください。

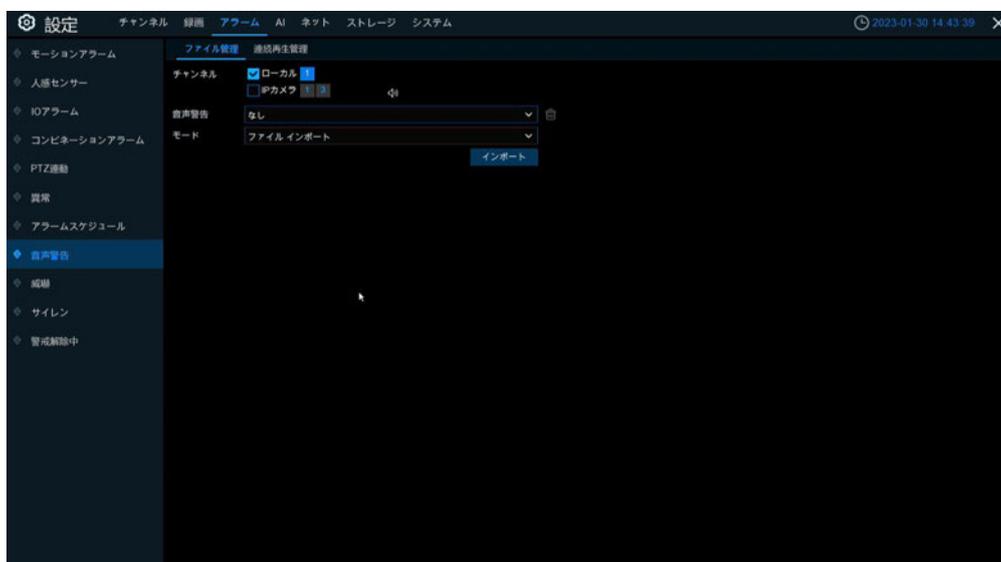
音声警告: 作成したコンビネーションアラームがトリガの際に、設定した音声で案内します (RCA 音声出力と HDMI)。時間帯別で案内する音声を変更できます。“なし”は音声案内を行いません。音声警告の設定については、[5.3.8 音声警告](#)を参照ください。

5.3.8 音声警告

指定した時刻やイベント発生の際に、設定した音声で案内します (RCA 音声出力と HDMI)。

設定後は、**[適用]**をクリックして設定を保存してください。

音声警告再生中はチャンネル音声のみがミュートになります (音声警告再生後にチャンネル音声のみがミュートは解除されます)。

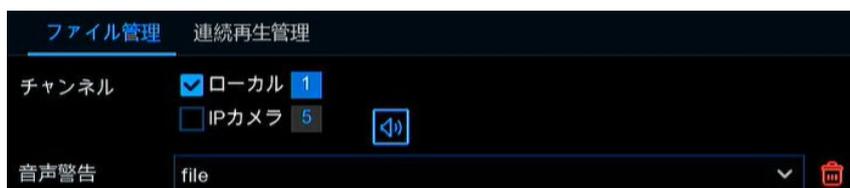


・ファイル管理

ここで、音声警告で使用する音声ファイルを準備します。

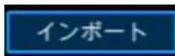
チャンネル : 音声の出力先設定です。

“音声警告”で音声を選択し、をクリックすると試聴できます。



音声警告 : “音声警告”で音声を選択し、をクリックするとその音声を削除できます。

モード : 音声ファイルの取込み、又は、作成を行います。

[ファイル インポート]: をクリックして、USB フラッシュメモリーより音声ファイルの取込みを行います。ステレオの音声ファイルはモノラルで再生されます。

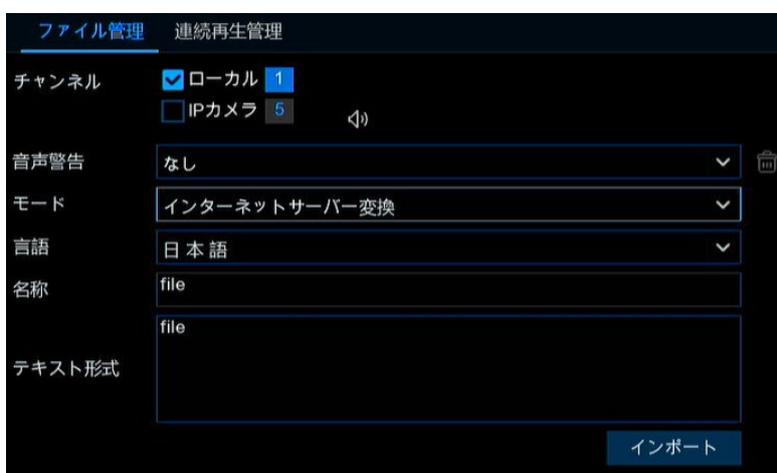


- ・音声ファイルの対応フォーマット: WAV, MP3
- ・音声ファイルの最大ファイルサイズ: 500k Byte

[ローカル変換]: NVR 本体で音声ファイルを作成できます。“名称”に音声ファイル名、“テキスト形式”へ作成する音声を文字入力し、**インポート** をクリックします。(英語のみ対応)

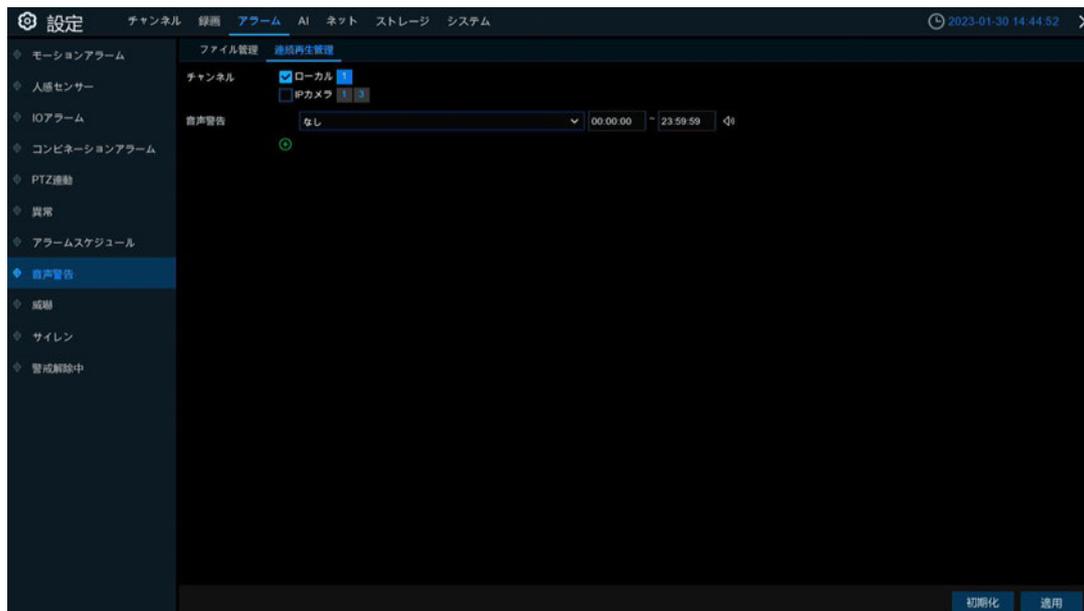


[インターネットサーバー変換] NVR がインターネット上の音声作成サーバーを使用して音声ファイルを作成できます。“言語”に作成音声に使用する言語、“名称”に音声ファイル名、“テキスト形式”へ作成する音声を文字入力し、**インポート** をクリックします。これを使用するには、インターネットへ接続している必要があります。(日本語で作成する場合はローマ字で入力します)



・連続再生管理

ここでは、毎日定時での音声案内設定が可能です。



チャンネル : 音声の出力先設定です。

音声警告 : 定時再生させる音声ファイルを選択し、再生させる時間帯を設定します。音声は設定時間帯内でリピート再生されます。 をクリックすると試聴できます。 をクリックすることで複数設定できます。 をクリックするとその設定は削除されます。

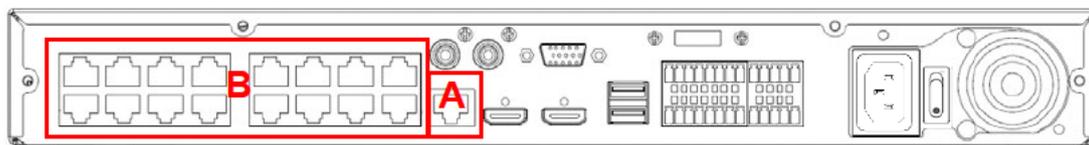
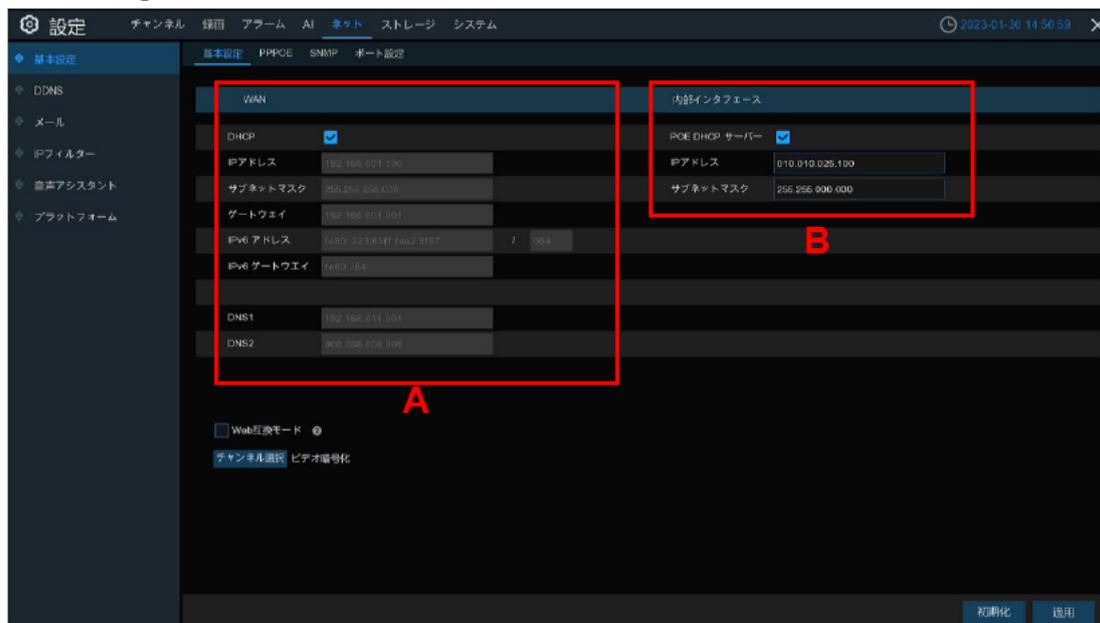
5.4 ネットワーク

このメニューでは、PPPoE、DHCP などのネットワークパラメータを設定できます。

注意: LAN のループ接続にご注意ください。

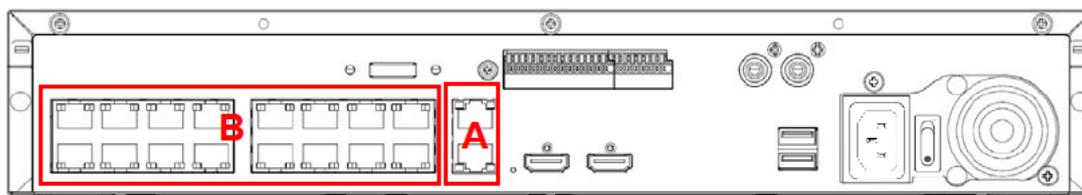
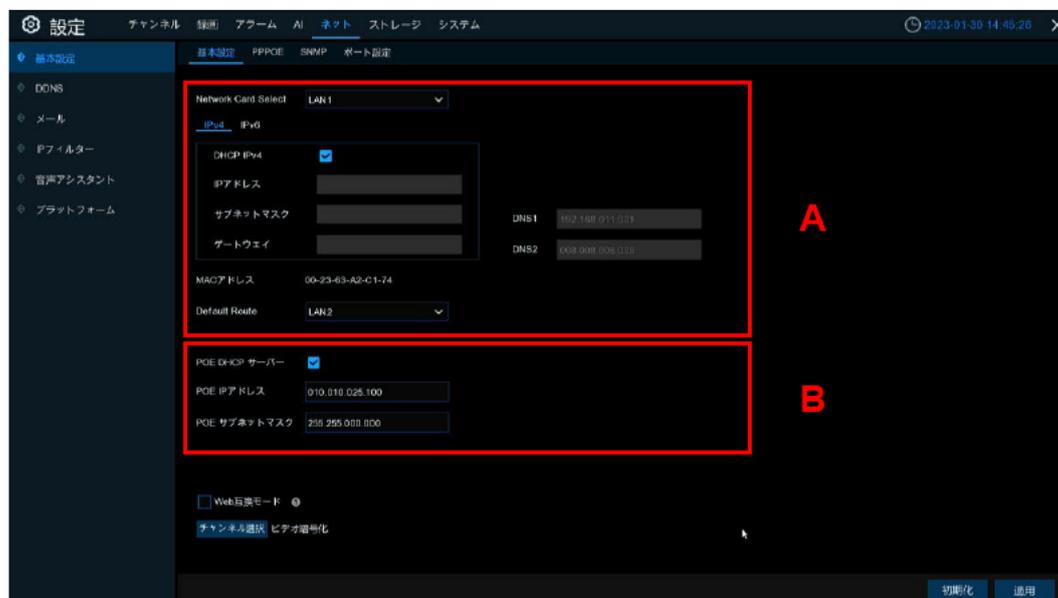
5.4.1 基本設定(ネットワーク)

[TNV-RH16PW]



[TNV-RH32PW] **注意: LAN1、LAN2 のループ接続にご注意ください。**

- **Network Card Select:** 設定する LAN ポート (LAN1 または LAN2) を選択します。
- **Default Route:** デフォルトルートを選択します (LAN1 または LAN2)。



[TNV-RH16PW, TNV-RH32PW 共通設定項目]

<エリア A>

・固定 IP の場合(手動設定)

IP アドレス: IP アドレスはネットワーク内の NVR を識別します。0 から 255 までの 4 つのグループから成り、ピリオドで区切られます。(例“192.168.001.100”)

サブネットマスク: サブネットマスクは、ネットワークで使用できる IP アドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。サブネットアドレスは、ピリオドで区切られた 4 つのグループの数字で構成されています。(例“255.255.255.000”)

ゲートウェイ: このアドレスは、NVR がインターネットにアクセスできるようにします。ゲートウェイアドレスの形式は IP アドレスと同じです。(例“192.168.001.001”)

DNS1/DNS2: DNS1 はプライマリ DNS サーバで、DNS2 はバックアップ DNS サーバです。少なくとも、DNS1 は必ず設定する必要があります。DNS1 から参照されます。

・DHCP の場合

DHCP ボックスをチェックしてください。ルーターは、NVR のすべてのネットワークパラメータを自動的に割り当てます。

・**WEB 互換モード:** ご使用のブラウザでデバイスへのアクセスができない場合、このオプションを有効にします。

<エリア B>

POE DHCP Server: エリア B で DHCP 割り当てる場合はチェックします。変更する場合は再起動を伴います。



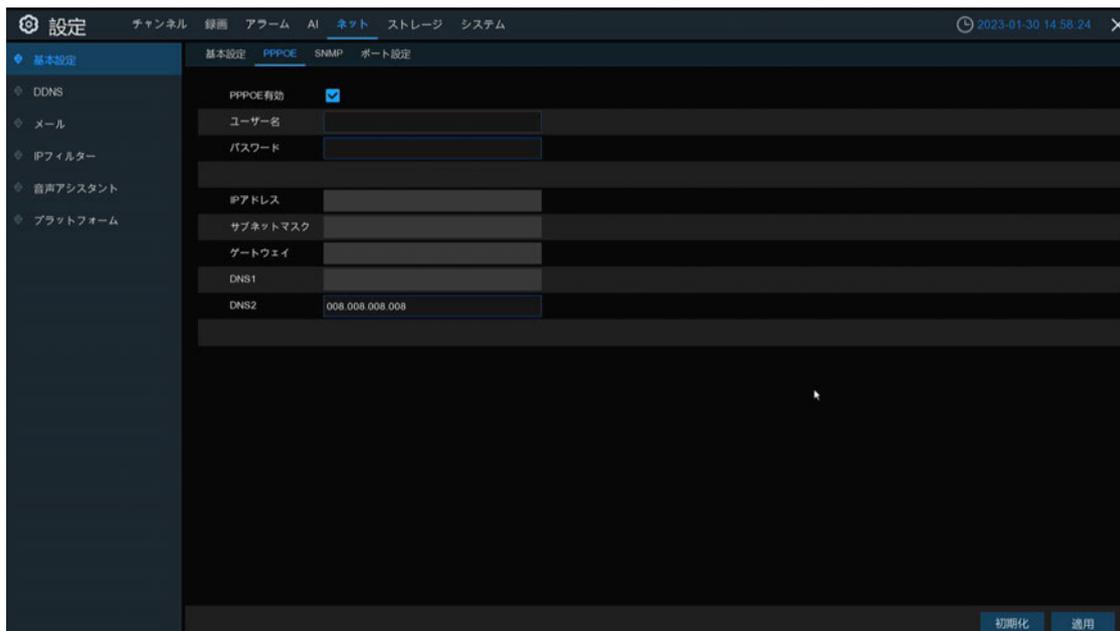
IP アドレス: DHCP 割り当しない場合は IP アドレスを設定します。

サブネットマスク: DHCP 割り当しない場合はサブネットマスクを設定します。

5.4.1.1 PPPoE

これは、NVRを“フレッツ光”や“フレッツ ADSL”などのモデムを介してインターネットへ直接接続する場合に使用します。インターネットサービスプロバイダーから届いたユーザー名とパスワードを設定して使用します。

※ “フレッツ光”、“フレッツ ADSL”は東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。

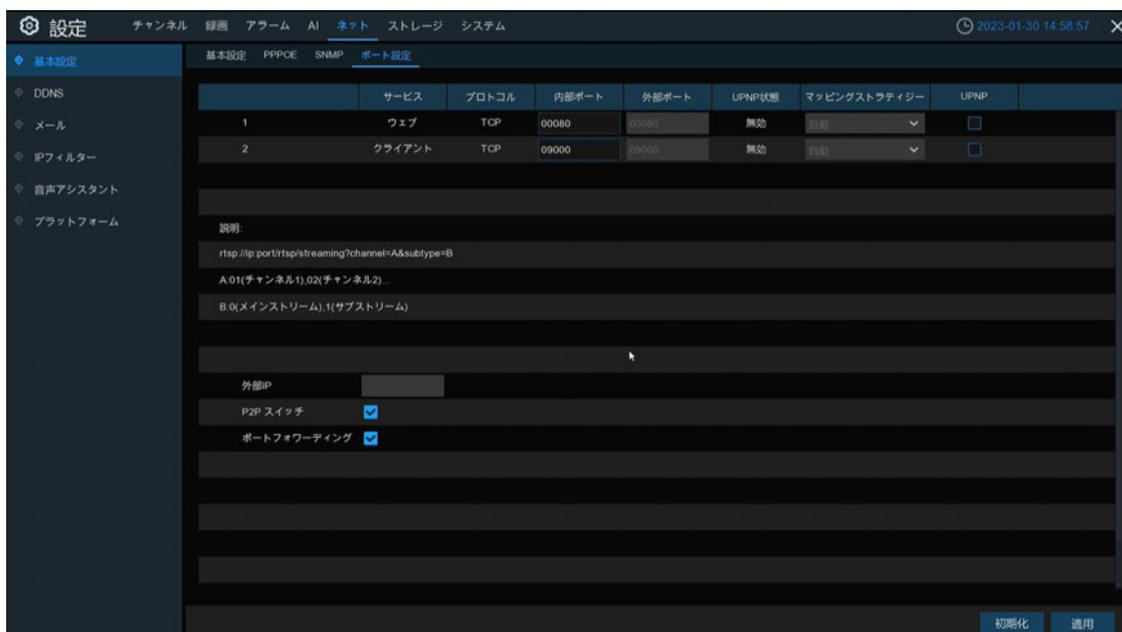


[PPPOE 起動] チェックボックスをオンにし、PPPoE のユーザー名とパスワードを入力します。

[適用] をクリックして保存すると、NVR が再起動して PPPoE 設定が有効になります。

5.4.1.2 ポート設定

注意:ポート競合の場合はネットワーク管理者と協議の上、適宜変更してください。



Http:これは、NVR にリモートでログインする場合 (Web クライアントを使用する場合など) に使用するポートを設定します。デフォルトのポートは 80 です。ONVIF のポート番号はこちらで設定したポート番号が使用されます。

クライアント:これは、NVR が (スマートフォンアプリを使用するなど) を介して情報を送信するために使用するポートです。デフォルトのポートの 9000 が既に他のアプリケーションによって予約済みの場合は変更してください。

RTSP:これは NVR が他のデバイスにリアルタイム ストリーミングを送信することを許可されるポートです。例えば、ストリーミングメディア プレーヤーを使用する場合に使用されます。デフォルトのポート番号は 80 です。

Https:これは NVR へ HTTPS 接続する場合に使用するポートを設定します。デフォルトのポート番号は 80 です。

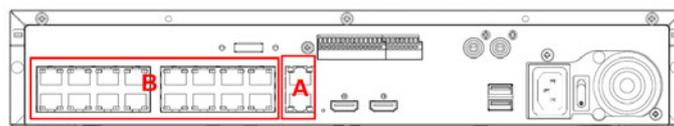
内部ポート:LAN 側 (ルーターの内側) で使用するネットワークポート番号です。

外部ポート:WAN 側 (ルーターの外側) で使用するネットワークポート番号です。UPnP 機能を使用して外部ポートのマッピングを手動設定する場合に設定します。

UPnP: Web クライアントを使用して NVR にリモートでログインする場合やスマートフォンアプリを使用する場合は、ルーターでポート転送 (ポートフォワーディング) 設定を行う必要がございますが、ルーターが UPnP をサポートしている場合は NVR が UPnP 機能を用いることでルーターへポート転送 (ポートフォワーディング) 設定が行えます。外部ポート番号を自動で行う場合は“マッピングプラン”を[自動]へします。外部ポート番号を手動で行う場合は“マッピングプラン”を[手動]へ設定し、“外部ポート”へ外部のポート番号を設定して下さい。設定後、ポート転送 (ポートフォワーディング) が正常に機能しているかを御確認ください。

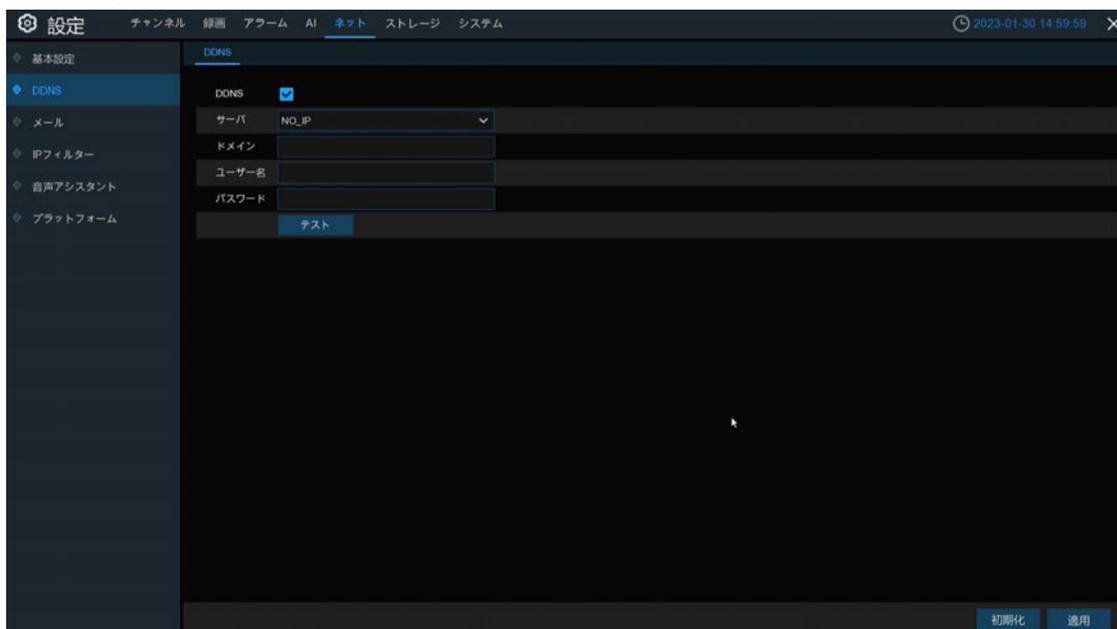
ForwardPort: B 側ポートを A 側ポートへポートフォワーディングを行う場合はチェックします。





5.4.2 DDNS

このメニューでは、DDNS 設定を構成できます。DDNS は、NVR へのリモート接続を簡素化する静的アドレスを提供します。DDNS を使用するには、まず DDNS サービスプロバイダーの Web ページでアカウントを開く必要があります。



DDNS: DDNS を有効にする場合にチェックを入れます。

サーバ: 優先する DDNS サーバ (DDNS_3322, DYNDNS, NO_IP, CHANGEIP, DNSEXIT) を選択します。

ドメイン: DDNS サービス プロバイダーの Web ページで作成したドメイン名を入力します。これは、パソコン経由で NVR にリモート接続する場合に、[URL]ボックスに入力するアドレスになります。(例:nvr.no-ip.org)

ユーザー名/パスワード: DDNS サービス プロバイダーの Web ページで、アカウントを作成するときに取得したユーザー名とパスワードを入力します。

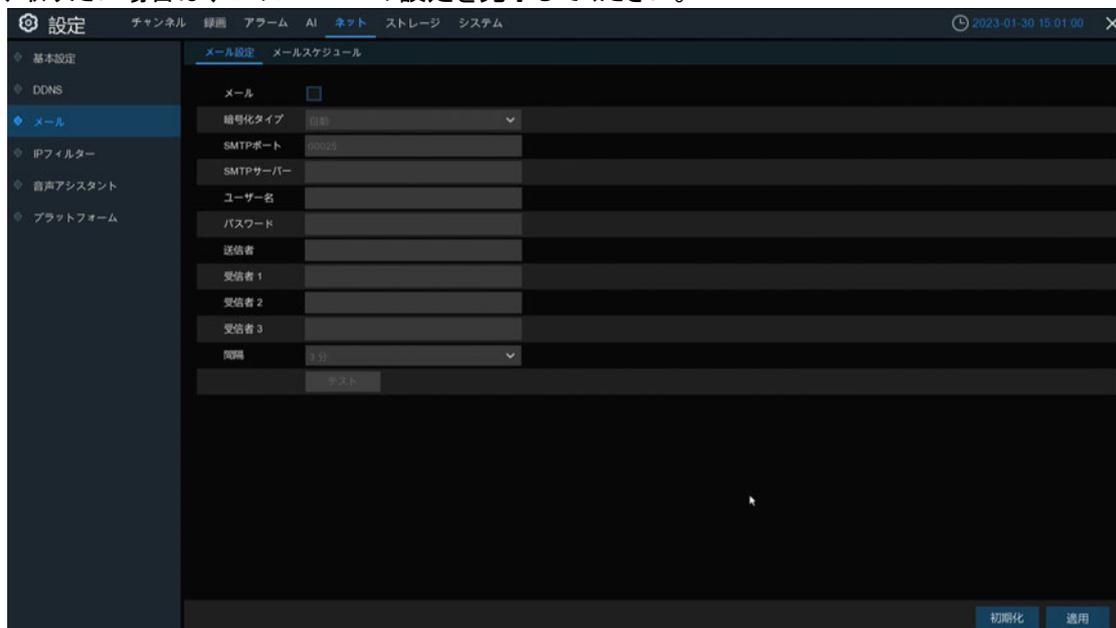
すべてのパラメータを入力したら、[テスト] をクリックして DDNS 設定をテストします。テスト結果が「ネットワークに到達できないか、DNS が間違っています！」である場合は、ネットワークが正常に動作するか、DDNS 情報が正しいかどうかを確認してください。

注意: DDNS 設定後は、[テスト] をクリックして DDNS 設定をテストし、DDNS 情報が正しいかどうかを御確認ください。

注意: DDNS 設定のテスト結果が「ネットワークに到達できないか、DNS が間違っています！」である場合は、ネットワークが正常に動作するか、DDNS 情報が正しいかどうかを御確認ください。

5.4.3 メール

このメニューでは、Eメールの設定を構成できます。アラームがトリガされたとき、HDDが満杯になったとき、HDDがエラー状態にあるとき、IPカメラへの接続断が発生したときに、Eメールでシステム通知を受け取りたい場合は、このメニューの設定を完了してください。



5.4.3.1 メール設定



メール: Eメールでシステム通知を受け取りたい場合は、チェックして有効にする。

暗号化タイプ: メールサーバで SSL または TLS の検証が必要な場合に有効にします。不明な場合は、“自動”に設定します。

SMTPポート: Eメールサーバの SMTP ポートを入力します。

SMTPサーバ: Eメールの SMTP サーバアドレスを入力します。

ユーザー名: メールアドレスを入力します。

パスワード: メールのパスワードを入力します。

送信者: NVR からイベント通知を送信する場合のメール送信者名を入力します。

受信者 1~3: NVR からイベント通知を受信するメールアドレスを入力します。(1~3 全て To へ設定されます)

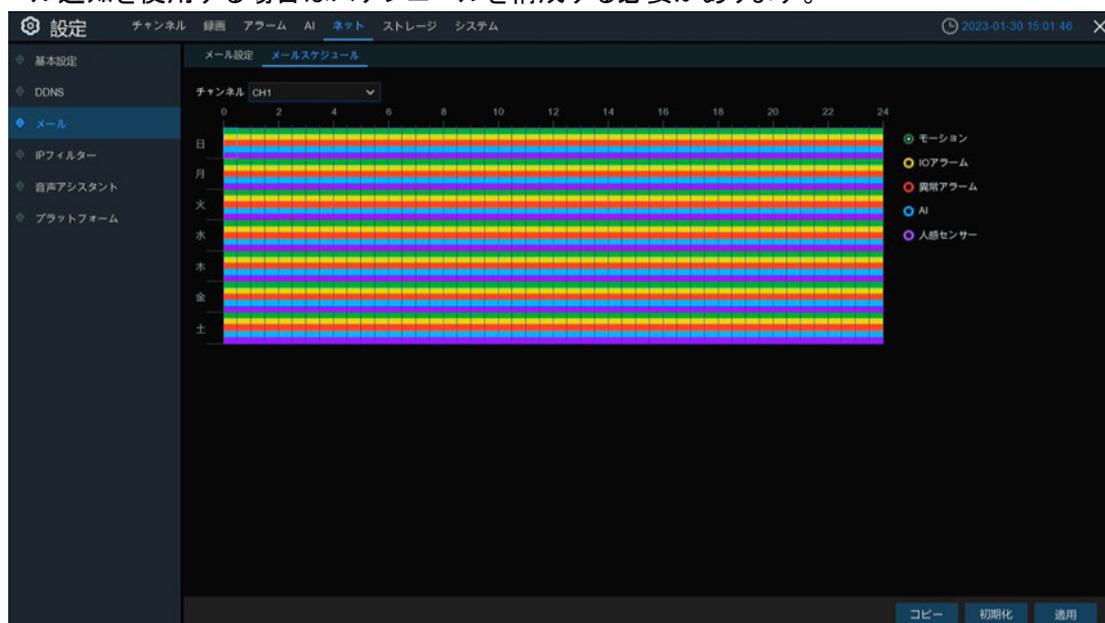
間隔: NVR からの通知メールの最短間隔を設定します。

すべての設定が正しいことを確認するには、[テスト] をクリックします。NVR は、テスト Eメールを送信します。テスト Eメールを受信した場合は、設定パラメータが正しいです。

注意: メール設定後は、[テスト] をクリックして、メールが正しく設定した受信者で受信ができるかどうかを御確認ください。

5.4.3.2 メールスケジュール

E メール通知を使用する場合はスケジュールを構成する必要があります。

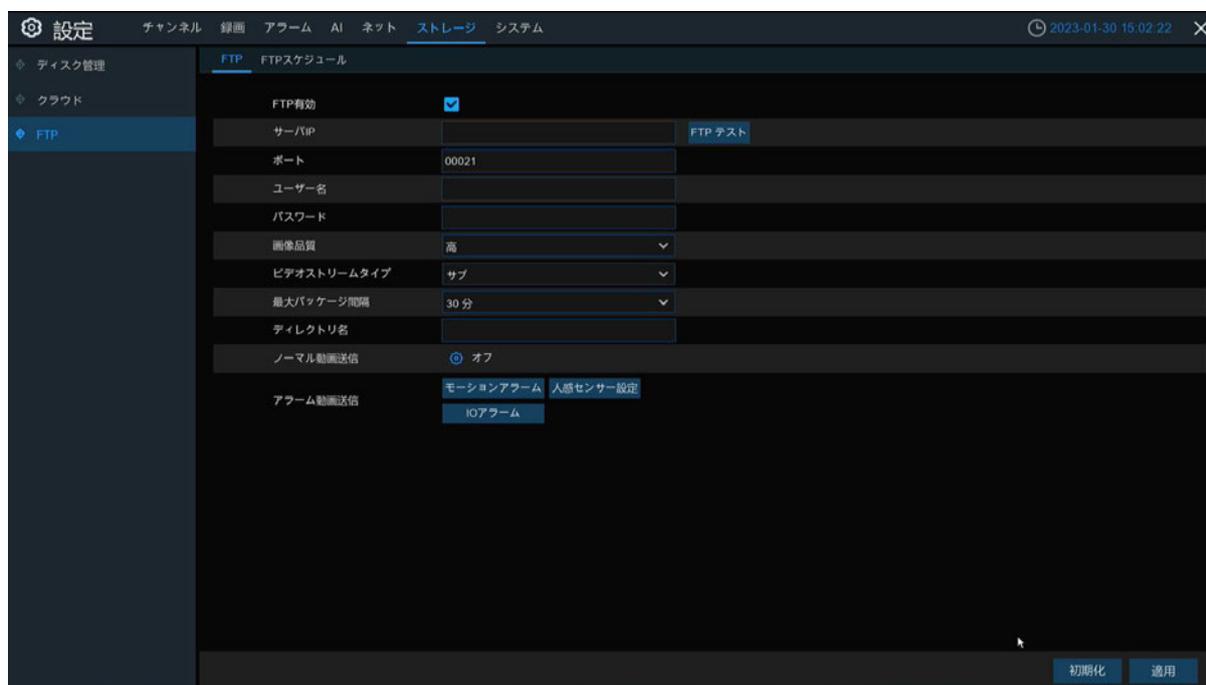


メールスケジュールのカラーコードは次の通りです。

- 緑 ■■■ : モーション検出用スケジュール。
- 黄 ■■■ : アラーム I/O (外部アラーム入力) 用スケジュール。
- 赤 ■■■ : 異常アラーム用スケジュール (HDD フル、HDD エラー)。
- 青 ■■■ : インテリジェント用スケジュール
- 紫 ■■■ : 人感センサー用スケジュール(使用しません)

5.4.4 FTP, FTP スケジュール

このメニューでは、トリガの際の映像/スナップショットを、FTP へ書き込む FTP 機能を有効にできます。FTP 機能を有効にするには FTP 動作スケジュールの設定を併せて行います。



FTP 有効: FTP 機能を使用する場合は、チェックして有効にします。

サーバ IP: FTP サーバの IP アドレスまたはドメイン を入力します。

ポート: FTP で使用するポートを入力します。

ユーザー名/パスワード: FTP サーバのユーザー名とパスワードを入力します。

画像品質: 最低, 低, 中低, 中, 高, 最高より画像の品質を選択します。

ビデオストリームタイプ: メインストリームを使用するか、サブストリームを使用するかを選択します。

最大パッケージ間隔: 10 分, 20 分, 30 分, 45 分, 60 分より選択します。

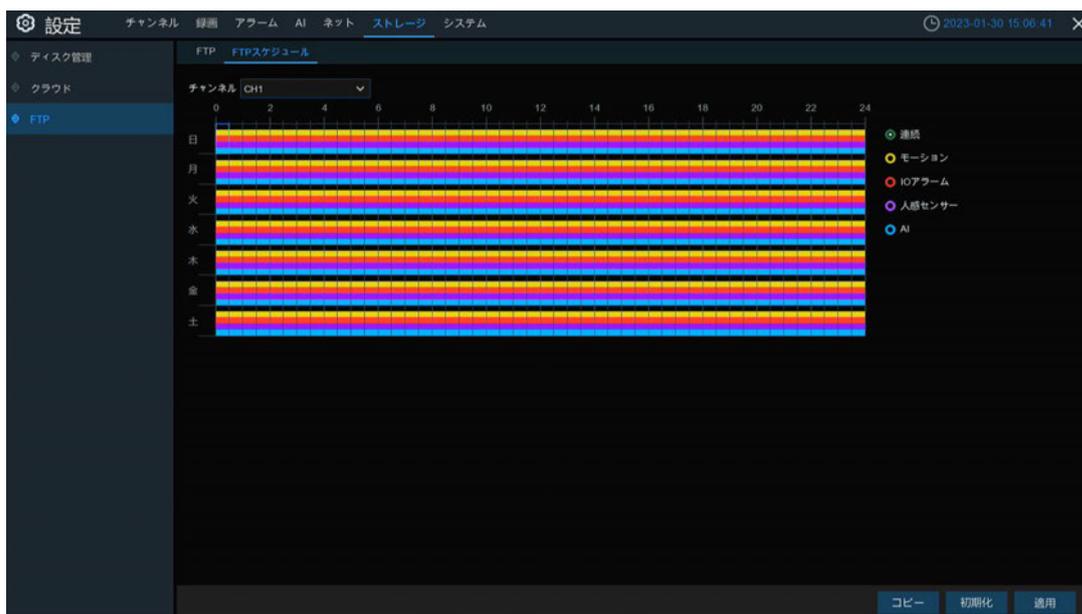
ディレクトリ名: 保存するデフォルトのディレクトリを入力します。

ノーマル動画送信: 設定した CH の連続録画データを FTP へアップロードします。



アラーム動画送信: 各種アラームトリガの際に録画データを FTP へアップロードします。

FTP テスト: クリックして FTP 設定をテストします。設定後は必ず FTP テストを実施して問題が無いかをご確認ください。

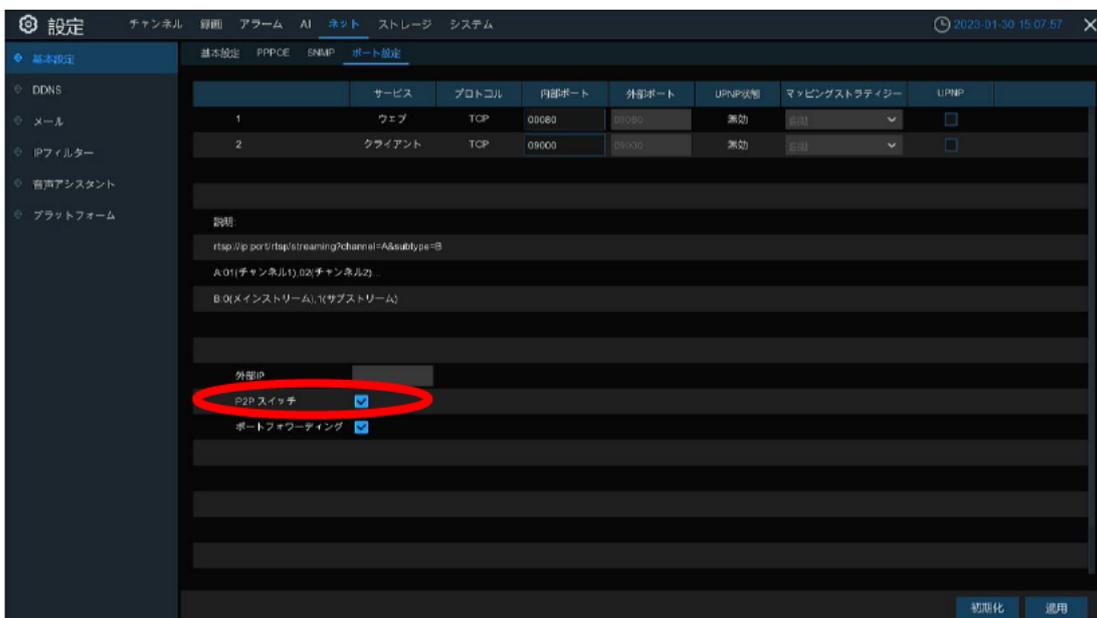
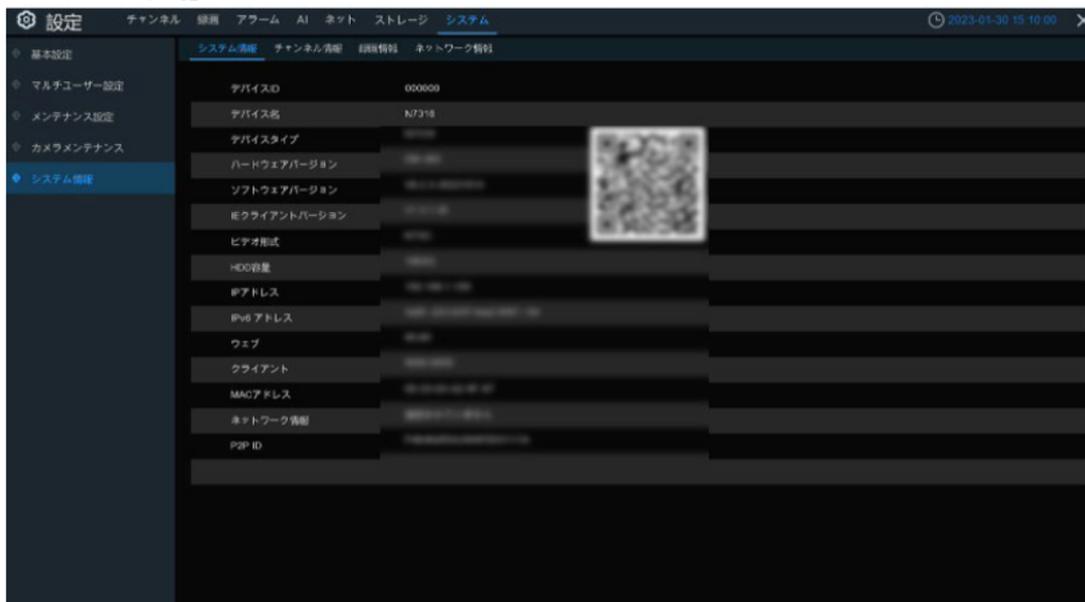


5.4.5 P2P

本 NVR は、“P2P 機能”をサポートしております。

注意: P2P 機能のご利用にはインターネット接続が可能な環境が必要です。

“P2P 機能”が有効化されている場合には、“P2P ID”と“P2P QR コード”が表示されます。スマートフォンアプリで“P2P 機能”を御利用の際は、この QR コードをスキャンします。



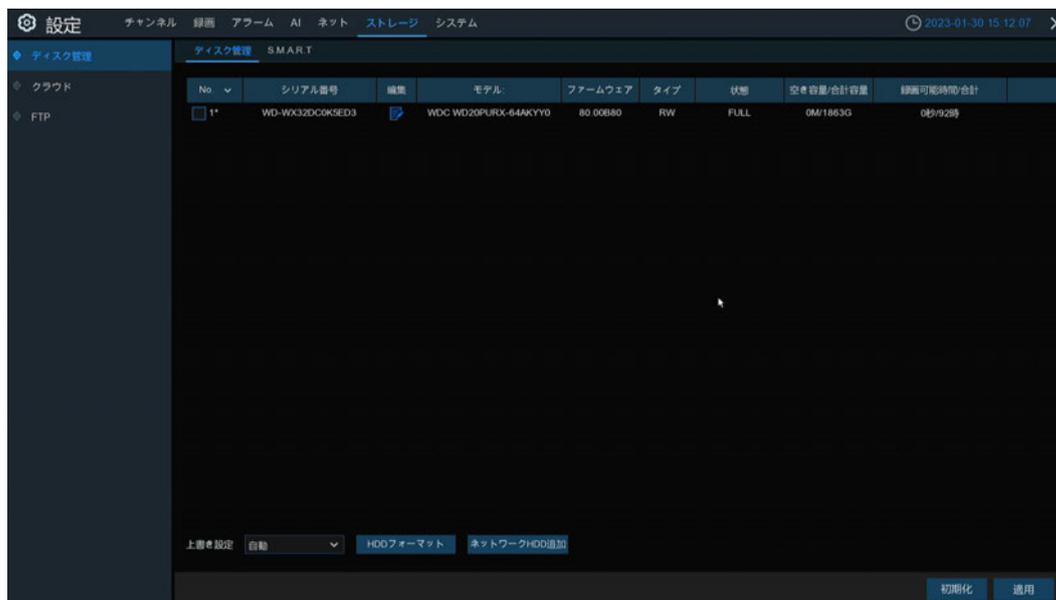
P2P スイッチ: P2P サービスを利用する場合はチェックして **適用** ボタンをクリックします。

5.5 ストレージ管理

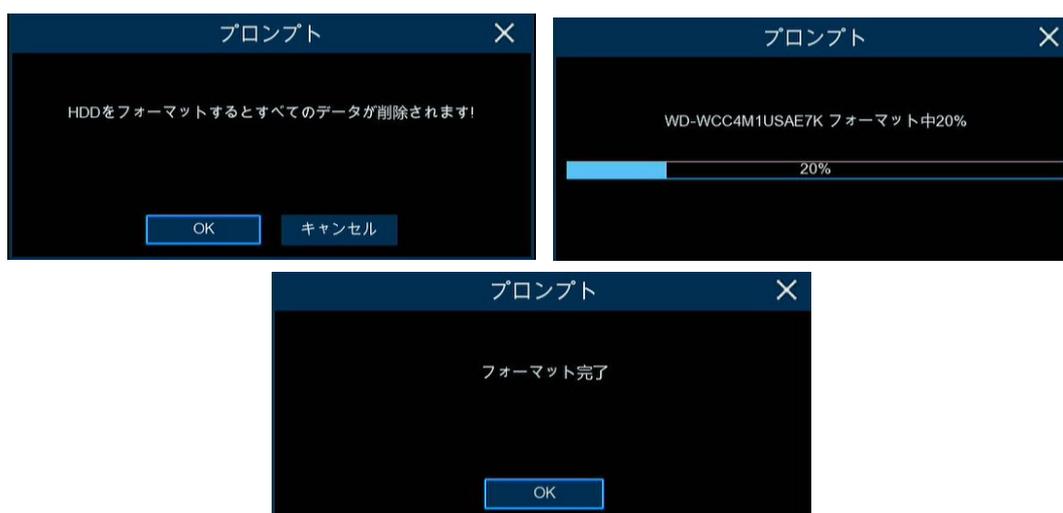
ここでは、内蔵 HDD、ネットワーク HDD、クラウドストレージ機能の設定ができます。

5.5.1 ディスク管理

このメニューでは、内蔵 HDD、ネットワーク HDD の確認や設定ができます。ネットワーク HDD を追加・変更した場合は、HDD をフォーマットする必要があります。



HDD フォーマット : フォーマットする HDD を選択し、[**HDD フォーマット**] をクリックします。そして、HDD のフォーマットを開始するには、ユーザー名とパスワードを入力し、[**OK**] をクリックして HDD フォーマットを続行します。



注意 : HDD フォーマットを行いますと、その HDD 内全てのデータが消去されますのでご注意ください。

注意 : 故障の原因となりますので、HDD フォーマット期間中はシステムの電源を落とさないようにご注意ください。

上書き設定: HDD が満杯になったときに古い録画を上書きするには、このオプションを使用します。たとえば、**[7 日間]**を選択した場合、HDD 上の最新の 7 日間の録画のみが保持されます。このオプションの日数は、**[1 日間]**、**[3 日間]**、**[7 日間]**、**[14 日間]**、**[30 日間]**、**[90 日間]**、**[自動]**が選択可能で、このオプションを使用しないように、**[オフ]**も選択できます(古い録画が上書きされないようにするには、**[オフ]** を選択します)。**[オフ]**へ設定した場合は、HDD の状態を定期的を確認して、HDD が満杯ではないことを確認してください。HDD が満杯になると、録画は停止します。



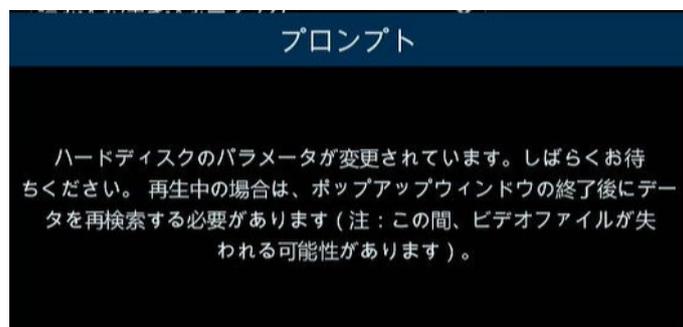
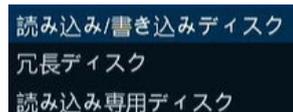
「HDD の残り時間が上書き時間より短くなりました。」:このプロンプト画面が出た場合は上書き設定の見直し、またはバックアップを行って HDD の残り時間を増やす、あるいは大容量 HDD へ変更する必要があります。大容量 HDD へ変更を検討の場合は販売店へご相談下さい。

注意:HDD 変更を御検討の場合は代理店までご相談下さい。

NVR が複数のストレージを組んでいる場合、編集アイコンがシステムに表示されます。



ディスクタイプ:“読み出し/書き込みディスク”、“読み出し専用ディスク”、“冗長ディスク”より選択します。なお、ディスクタイプを変更する場合はプロンプト画面が表示され、録画が途切れます。



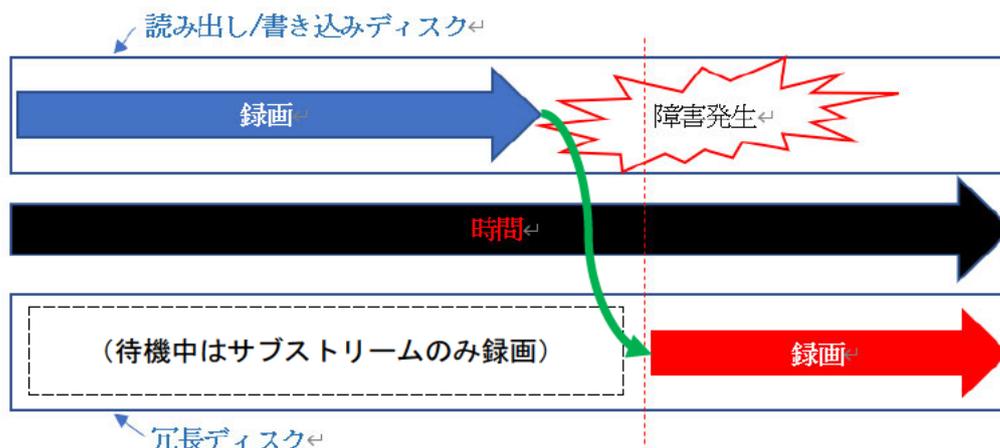
・“読み出し/書き込みディスクモード”は、HDD が録画または録画を再生する場合に使用する通常のモードです。

・上書き録画中に重要なビデオデータが上書きされないように、HDD を“読み込み専用ディスクモード”に設定することもできます。この読み出し専用ディスクモードの HDD から録画を検索し再生することはできませんが、新たに録画保存を行うことはできません。

・“冗長ディスク”が設定されている場合、“読み出し/書き込みディスク”への録画映像を自動的にバックアップします。このように、“冗長ディスクモード”は、読み出し/書き込みディスクと冗長ディスクの両方でカメラを同時に録画するようにシステムが稼働することで、“読み出し/書き込みディスク”へのディスク障害へ備える仕組みです。

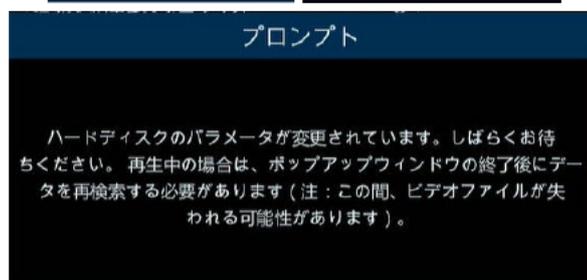
【注意】“冗長ディスク”は“RAID”ではございませんのでご注意ください。 <“冗長ディスク”機能動作イメージ>をご覧ください。

＜“冗長ディスク”機能動作イメージ＞



ディスクグループ: ディスクをグルーピングする場合に使用します。グルーピングするディスクに対して同じディスクグループを御設定下さい。なお、ディスクグループを変更する場合はプロント画面が表示され、録画が途切れます。

録画ディスクグループ 1	冗長ディスクグループ 1
録画ディスクグループ 2	冗長ディスクグループ 2
録画ディスクグループ 3	冗長ディスクグループ 3
録画ディスクグループ 4	冗長ディスクグループ 4
録画ディスクグループ 5	冗長ディスクグループ 5
録画ディスクグループ 6	冗長ディスクグループ 6
録画ディスクグループ 7	冗長ディスクグループ 7
録画ディスクグループ 8	冗長ディスクグループ 8
録画ディスクグループ 9	冗長ディスクグループ 9
録画ディスクグループ 10	冗長ディスクグループ 10



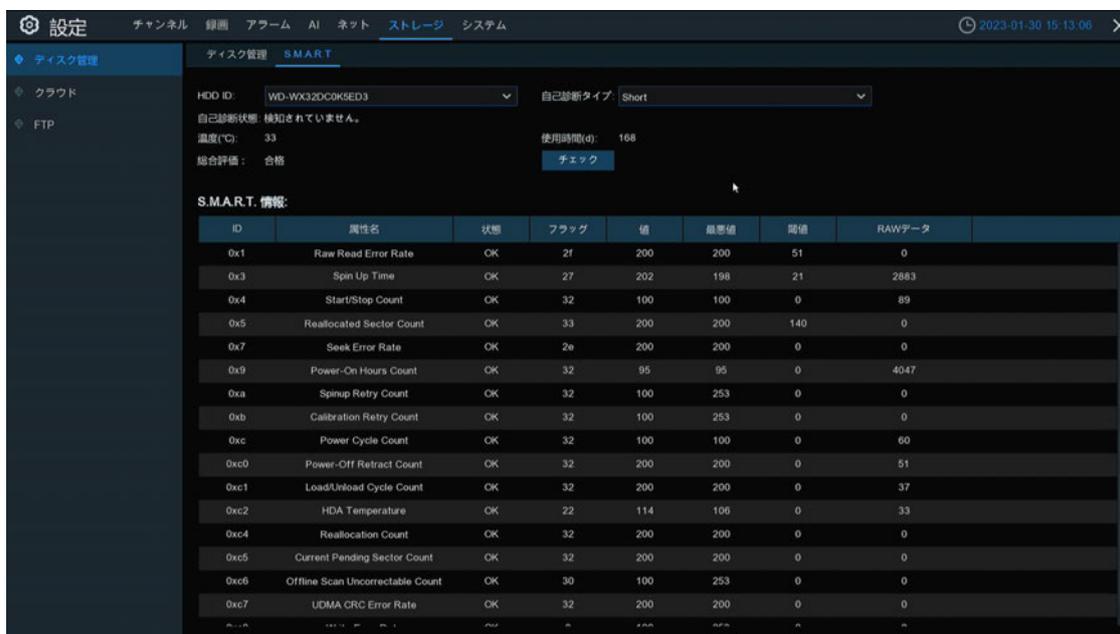
注意: 冗長ディスクは内蔵ディスクに対してのみ設定可能です(e-SATA ディスクも冗長ディスクとしてご利用可能です)。

注意: 冗長ディスク機能は独自の機能であり、RAID とは異なるものです。

注意: 冗長ディスクが待機中にサブストリームを録画する動作はデュアルストリームへ設定されている CH に限ります。

5.5.1.1 S.M.A.R.T.

この機能は、NVR 内部に取り付けられている内蔵 HDD の S.M.A.R.T.情報を表示するために使用することができます。また、テストを実行して(テストは 3 種類あります)、ドライブエラーを検出することもできます。



総合評価が不合格の場合、ディスクの使用を継続する: 何らかの理由でハードドライブが障害(1 つ以上の不良セクタなど)を発生した場合でも、NVR にドライブへの録画を続行するように指示できます。

自己診断タイプ: 3 種類あります

Short: このテストは、読み取り/書き込みヘッド状態、電気的エラー、内部メモリエラーなどのハードドライブの主要なコンポーネントを検証します。

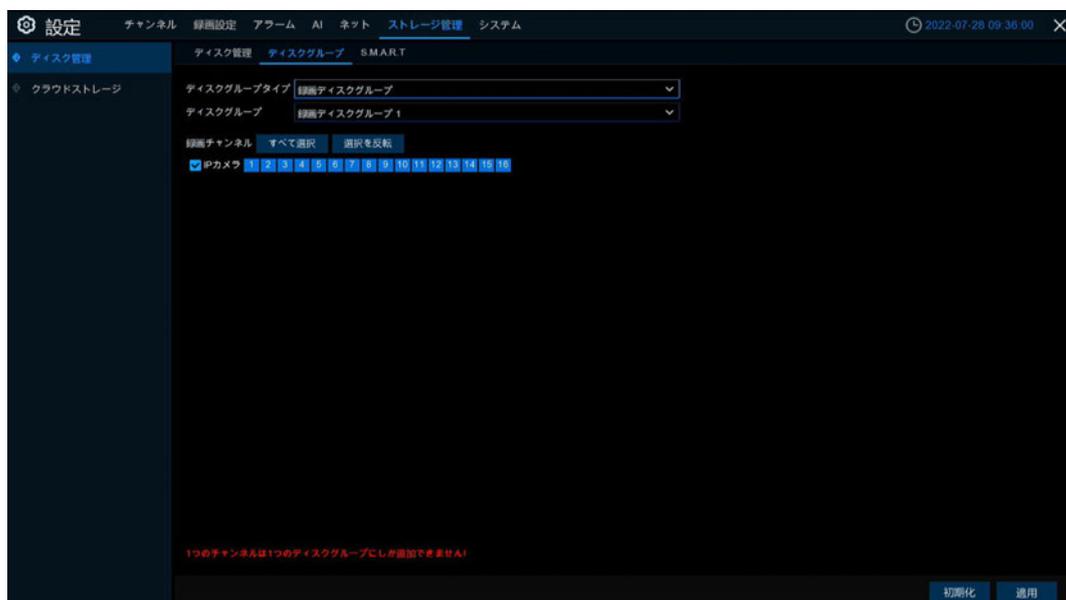
Long: これは、Short の検証に追加して、悪いセクターのある場合、セクターの再配置を実行します。このために表面スキャンを実行するため、診断時間の長いテストです。

Conveyance: これは、ハードドライブの機械部品が動作していることを確認する非常に迅速なテストです。

注意: テストを実行する場合、NVR は通常どおり動作し続けます。HDD の S.M.A.R.T. エラーが検出された場合、HDD は引き続き使用できますが、録画データを失うリスクが非常に高まっている状態でございますので、新しい HDD へ早期交換することをお勧めします。新しい HDD へ交換を検討の場合はお早めに販売店までご連絡下さい。

5.5.2 ディスクグループ

CHをグルーピングしてCHと録画ディスクを振り分けることができます。ディスクのグルーピング設定につきましては、「[5.5.1 ディスク管理](#)」をご参照ください。



ディスクグループタイプ: 設定するディスクグループタイプを選択します。存在するディスクグループタイプのみがプルダウン項目となっております。

録画ディスクグループ
冗長ディスクグループ

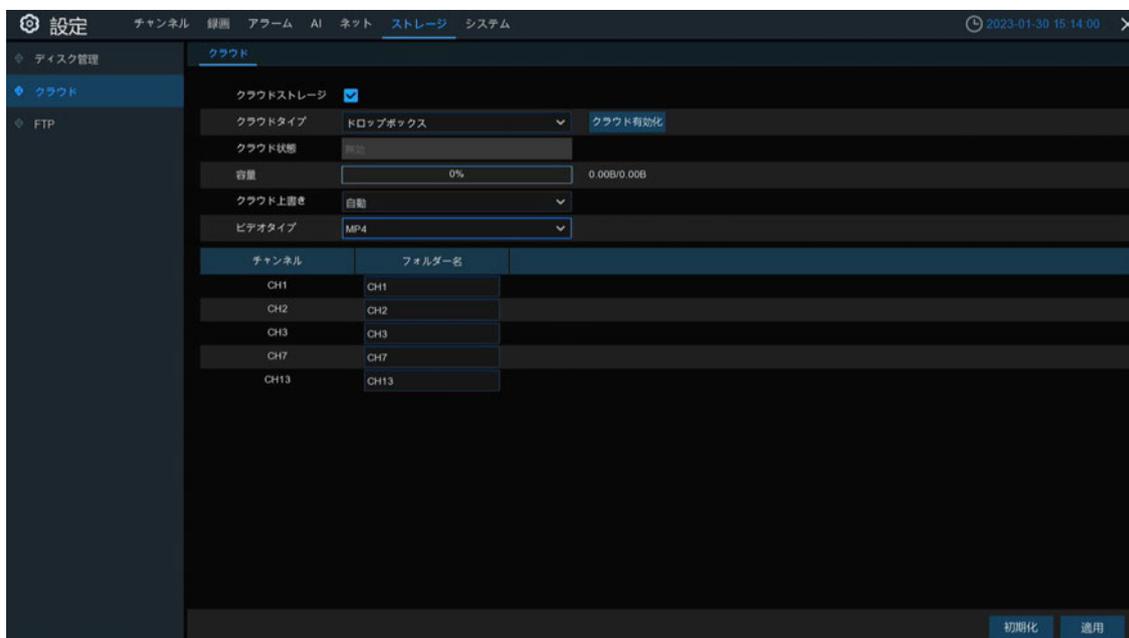
ディスクグループ: 設定するディスクグループを選択してグルーピングするCHをハイライト設定します。存在するディスクグループのみがプルダウン項目となっております。



5.5.3 クラウドストレージ

本 NVR は、映像/画像を Dropbox(ドロップボックス)又は Google ドライブ(グーグルドライブ)へ簡単に保存して共有が可能なクラウド機能を有しております。

注意: クラウドストレージへ連続録画, 連続キャプチャを保存することはできません。



クラウドストレージ: この機能を有効にする場合にチェックします。NVR はアラーム設定でクラウド機能が有効なアラームは、そのアラームによってトリガされたときに、映像/画像を Dropbox や Google ドライブにアップロードします。

クラウドタイプ: Dropbox 又は Google ドライブが利用可能です。

クラウド有効化: クリックして機能をアクティブにします。しばらくすると、アクティベーションリンクがメールに送信されます(5.4.3 メールで設定した受信メールアドレス全てへ送信されます)。メールのメッセージに従って、メールのリンクをクリックしてアクティブ化します。設定したクラウドタイプのウェブサイトへアクセスできます。[許可] をクリックして、アクティベーションを完了します。

クラウド上書き: クラウドが満杯になったときに古い映像/画像を上書きするには、このオプションを使用します。たとえば、[7 日間]を選択した場合、クラウド上の最新の 7 日間の映像/画像のみが保持されます。このオプションの日数は、[1 日間], [3 日間], [7 日間], [14 日間], [30 日間], [90 日間], [自動]が選択可能で、このオプションを使用しないように、[オフ]も選択できます(古い映像/画像が上書きされないようにするには、[オフ]を選択します)。[オフ]へ設定した場合は、クラウドの状態を定期的に確認して、クラウドが満杯ではないことを確認してください。クラウドが満杯になると、映像/画像のクラウドへの保存が停止します。

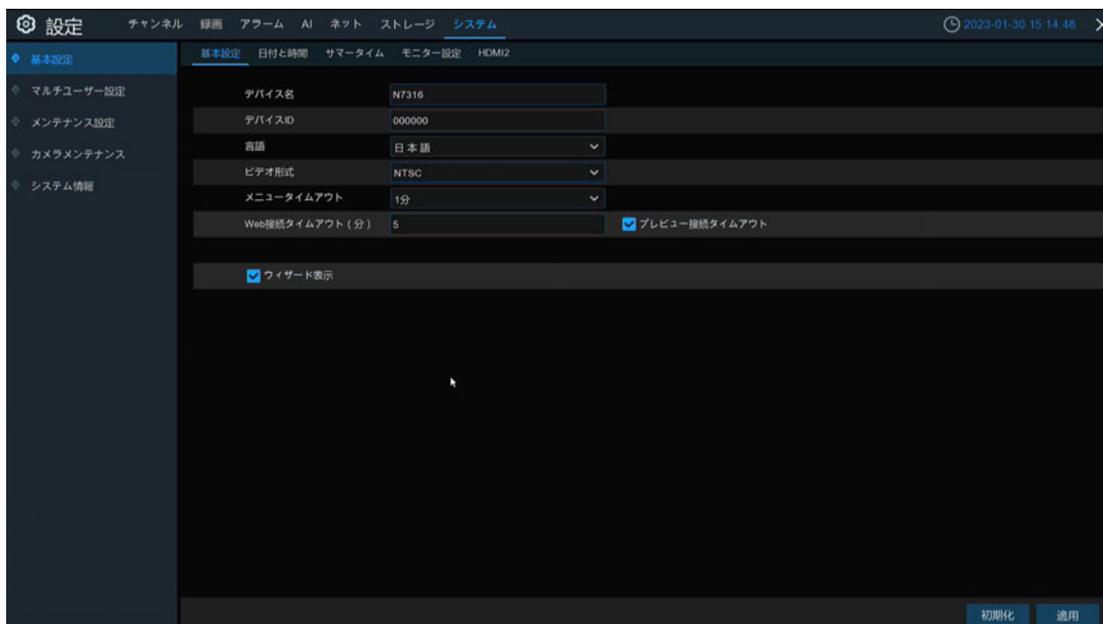
ビデオタイプ: クラウド上へ保存する際の映像フォーマットを“RF”, “AVI”, “MP4”より指定します。“RF”は独自の映像フォーマットとなりますので、専用の再生プレーヤ(「第 8 章 バックアップ映像をパソコンで閲覧する」を御参照ください)または NVR の外部ファイル再生画面(「6.1.7 外部ファイル検索」を御参照ください)での再生が可能です。

フォルダ名: クラウド上でのフォルダ名をそれぞれ設定します。そのフォルダが無い場合は新規で作成されます。既にそのフォルダ名が存在する場合はそのフォルダが使用されます。

5.6 システム

日付, 時刻, 地域などの一般的なシステム情報の変更、パスワードや権限の編集などをおこないます。

5.6.1 基本設定(システム)



デバイス名: NVR の名前を入力します。名前には、英文字と数字を使用出来ます。

デバイス ID: (使用しません。デフォルトの 000000 のままで構いません)

言語: システムメニューで使用する言語を選択します。

ビデオ形式: “NTSC”を選択します。

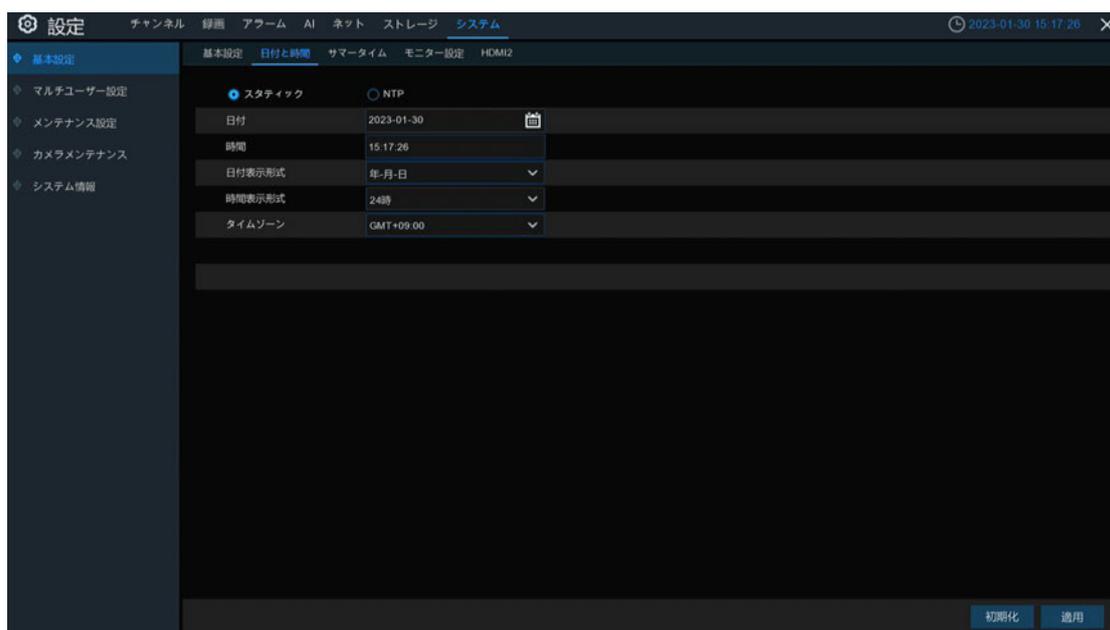
メニュータイムアウト: メニュー未操作状態が続いた場合に NVR がメニューを強制終了する時間を選択します。また、“オフ”を選択して無効にすることもできます (パスワード保護は一時的に無効になります)。

注意: メニュータイムアウトへ“オフ”を選択するのはセキュリティ上、推奨いたしません。

WEB 接続切断時間(分): WEB ブラウザアクセスした際の自動切断までの時間を設定します。なお、VMS クライアント接続には適用されません。

ウィザード表示: NVR をオンまたはリブートするたびにスタートアップウィザードを表示する場合は、このチェックボックスをオンにします。

5.6.1.1 日付と時刻



日付と時刻

スタティック: NTP クライアントを起動しません。

NTP: NTP クライアントを起動します (NTP による時刻同期を行います)。詳しくは、[「5.6.1.2 NTP 設定」](#)をご覧ください。

日付: カレンダーアイコンをクリックして日付を変更します。

時間: ダイアログボックスをクリックして時間を変更します。

日付表示形式: ドロップダウンメニューから選択して、表示する日付形式を設定します。

時刻表示形式: 24 時間と 12 時間の間の時間形式を選択します。

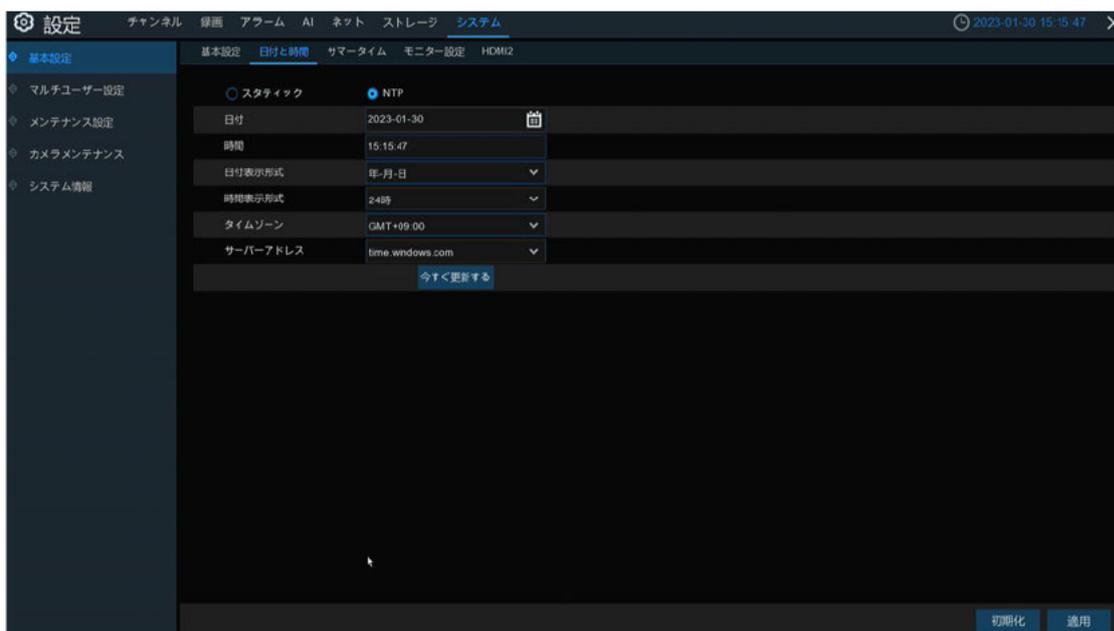
タイムゾーン: 日本標準時である「GMT+09:00」に設定します。

5.6.1.2 NTP 設定

NTP(ネットワークタイムプロトコル)機能により、NVR は自動的にクロックをタイムサーバと同期させることができます。これにより、システム時間は常に正確となります。NTP 機能を使用するには、NTP サーバにアクセスするためのネットワーク環境が必要です。

注意: NTP 機能を使用するにはネットワーク環境が必要です。

注意: NTP 機能が有効になっている場合、システムは 毎日 00:07:50 とシステムの起動時にシステム時刻を更新します。



NTP を有効にする場合はまず”NTP”を選択し、[サーバアドレス]で NTP サーバを選択し、[今すぐ更新する] をクリックして日付と時刻を NTP サーバと同期します。[適用] をクリックして設定を保存します。”ユーザー設定”の場合のサーバアドレスはプルダウン項目の右側へ入力します。



日付と時刻

スタティック: NTP クライアントを起動しません(NTP による時刻同期を行いません)。

NTP: NTP クライアントを起動します(NTP による時刻同期を行います)。

日付: カレンダーアイコンをクリックして日付を変更します。

時間: ダイアログボックスをクリックして時間を変更します。

日付表示形式: ドロップダウンメニューから選択して、表示する日付形式を設定します。

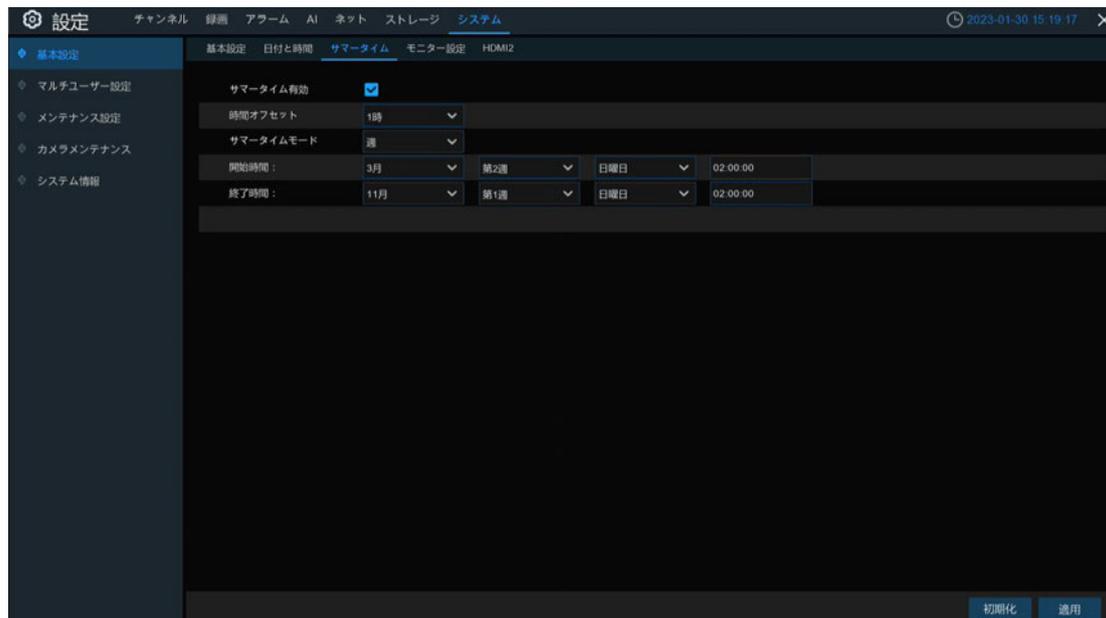
時刻表示形式: 24 時間と 12 時間の間の時間形式を選択します。

タイムゾーン: 日本標準時である「GMT+09:00」に設定します。

注意: NTP 機能を御設定後は、[今すぐ更新する]ボタンで NTP 機能の動作確認を実施して下さい。

5.6.1.3 サマータイム(夏時間 DST) 設定

このメニューではサマータイム (夏時間) 機能を設定します。



DST 起動: サマータイム (夏時間)を設定する場合は有効にします。

時間オフセット: サマータイム (夏時間)期間中の時間差を選択します。これは、世界協定時刻 (UTC) とローカル時間の時間差を示します。

サマータイム: サマータイム (夏時間)の開始と終了の方法を選択できます。



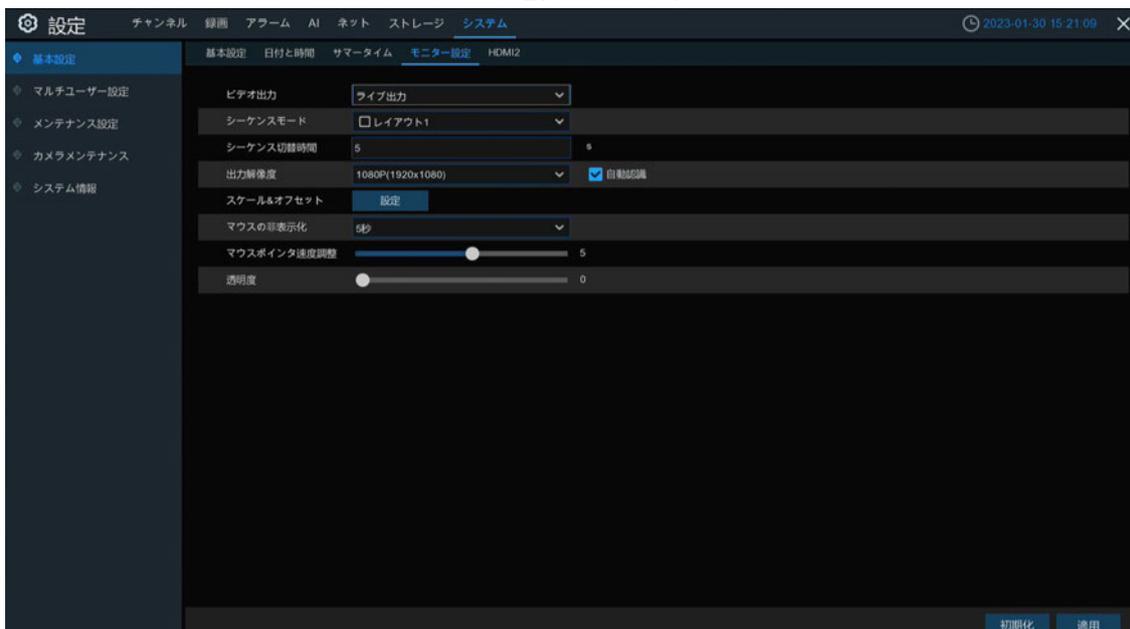
週 : サマータイム (夏時間)の開始と終了を指定する特定の日時を指定します。たとえば、特定の月の最初の日曜日の午前 2 時。

日付: サマータイム (夏時間)の開始日 (カレンダー アイコンをクリック)を選択し、サマータイム (夏時間)の開始日時と終了日時を選択します。

開始時間/終了時間: サマータイム (夏時間)の開始時刻と終了時刻を設定します。

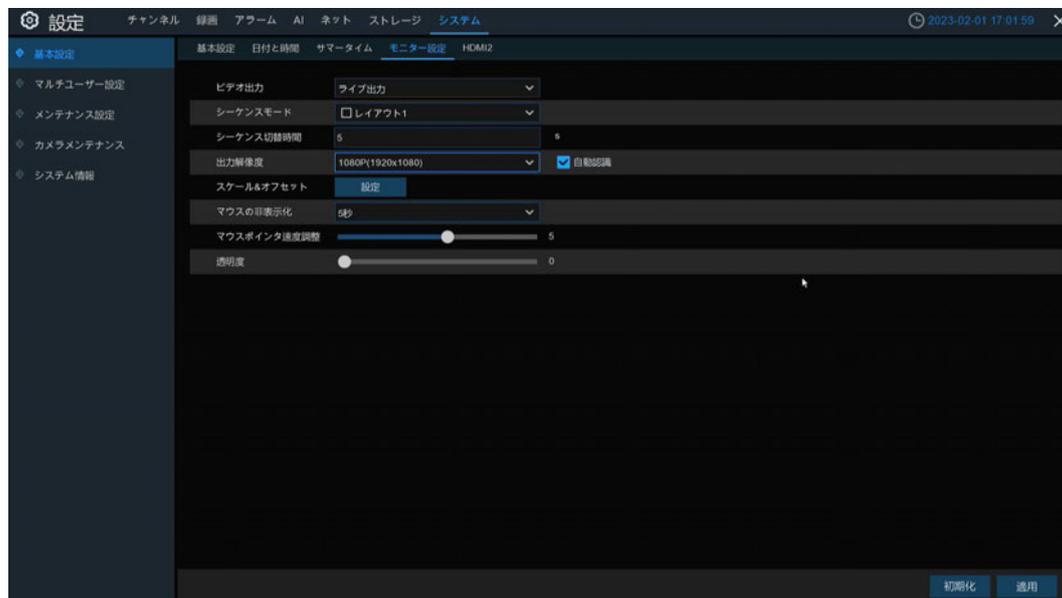
5.6.2 モニター設定

このメニューでは、メイン出力画面のパラメータを設定します。



ビデオ出力: ライブ出力が選択可能です。“**ライブ出力**”は、メイン画面出力を設定するために使用されます。

5.6.2.1 画面出力(ライブ出力)



[**ビデオ出力**]: “**ライブ出力**”が選択されます。

[**シーケンスモード**]: NVR がシーケンスモードのときに表示する分割チャンネル数を選択します。



[シーケンス切替時間]: 次のビデオチャンネルを表示する前に、シーケンスモードでビデオチャンネルを表示したい時間の最大長を秒単位で入力します(最大 300 秒)。

[出力解像度]: お使いのモニターに適したディスプレイ解像度を選択します。2K (2560 x 1440) または 4K (3840 x 2160) といった大画面ディスプレイをご利用いただけます。

[スケール&オフセット]: モニターやテレビに合わせてディスプレイ画面のサイズと位置が調整可能です。**[設定]** ボタンをクリックして調整画面へ入ります。



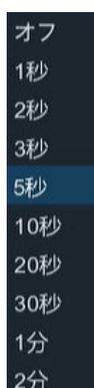
スケール: 表示画面のサイズをパーセントスケールで調整します。

X オフセット: 表示画面を左右に移動します。

Y オフセット: 表示画面を上下に移動します。

矢印の上でマウスの左ボタンを 1 回クリックするか長押ししてサイズと位置を調整するか、マウスのホイールをスクロールして調整します。マウスの右ボタンをクリックして終了し、**[適用]** をクリックして変更を保存します。

[マウスの非表示化]: NVR が未操作状態のときにマウスカーソルを非表示にする時間を選択するには、ドロップダウンメニューをクリックします。また、“OFF” を選択して無効にすることもできます (パスワード保護は一時的に無効になります)。



[マウスポインタ速度調整]: マウスポインタの移動速度を調整します。

[透明度]: スライダーを左右に押し続けると、メニューバーとメインメニューの画面の透明度を変更できます。

5.6.2.2 HDMI2(サブ出力)

いずれの場合も HDMI2(サブ出力)へ OSD は表示されませんのでご注意ください。

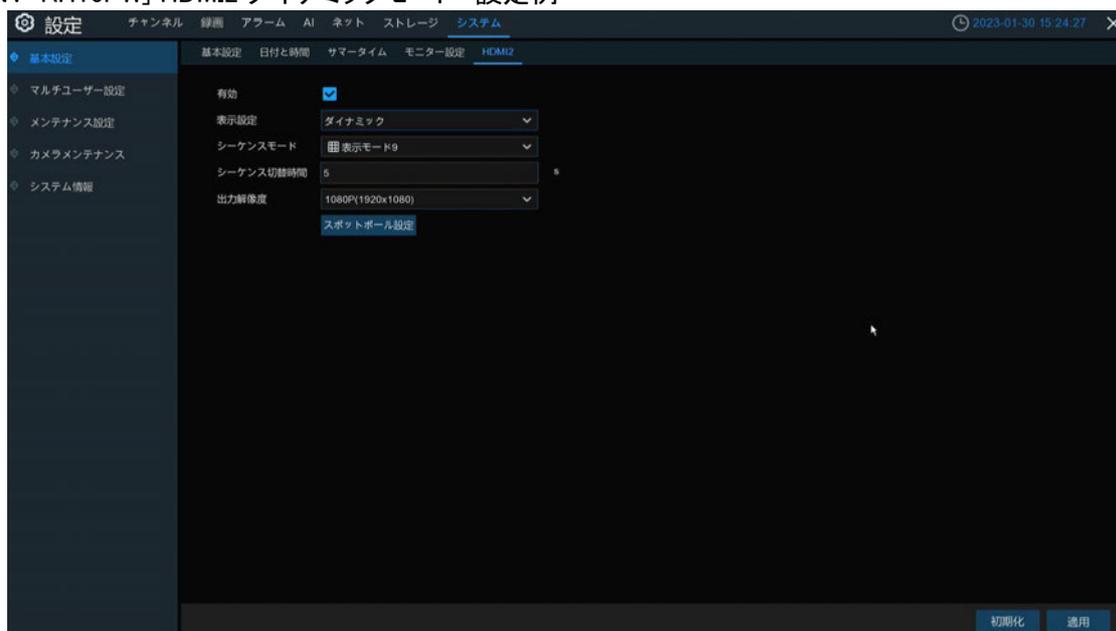
5.6.2.2.1 HDMI2(サブ出力):[TNV-RH16PW の場合]

ここでは TNV-RH16PW の場合の HDMI2(サブ出力)についてご説明いたします。

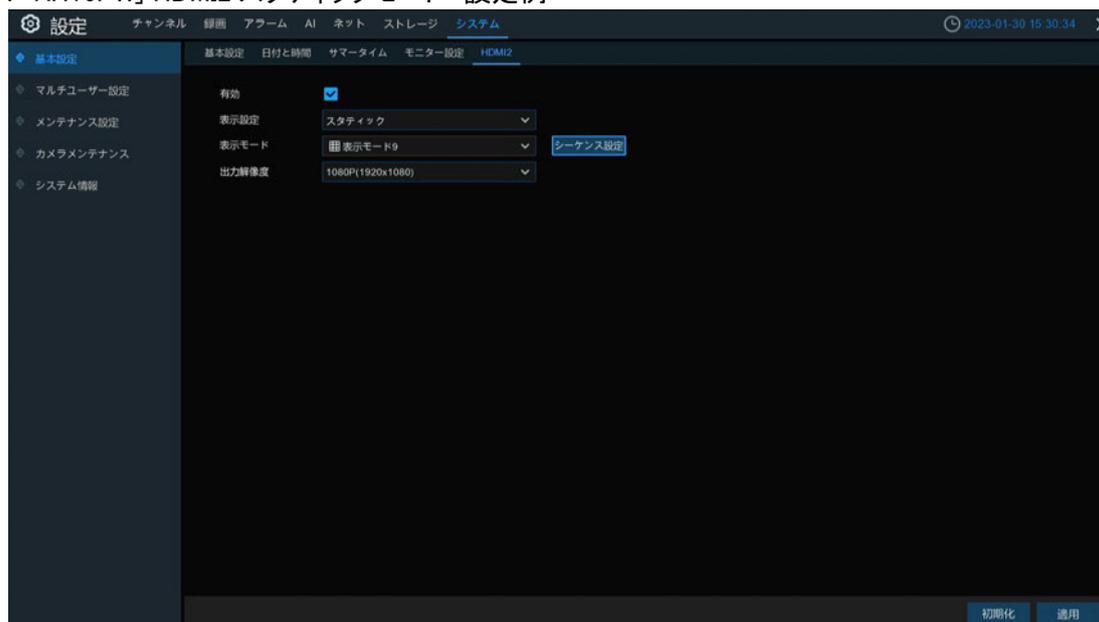
HDMI2(サブ出力)設定画面です。スポット動作及びシーケンス動作を設定する場合は、[\[表示設定\]](#)へ“[ダイナミック](#)”を選択します。なお、HDMI2(サブ出力)へ OSD は表示されません。

注意:HDMI2 へ魚眼モードは表示できません。

[TNV-RH16PW] HDMI2 ダイナミックモード 設定例

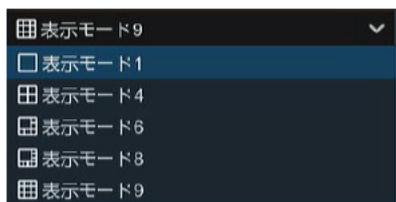


[TNV-RH16PW] HDMI2 スタティックモード 設定例



・[表示方式]へ“ダイナミック”を選択した場合(ダイナミックモード)

[シーケンスモード]: ダイナミックモードのときに表示する分割チャンネル数を選択します。



(TNV-RH16PW の場合)

[シーケンス切替時間]: シーケンスの切替時間を秒単位で入力します(最小 5 秒～最大 300 秒)。

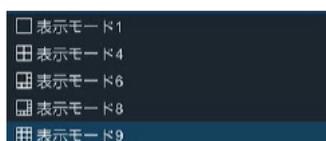
[スポットポール設定]: このボタンをクリックして表示させるチャンネルを選択します。選択されていないチャンネルについては HDMI2 出力では非表示となります。



(TNV-RH16PW の場合)

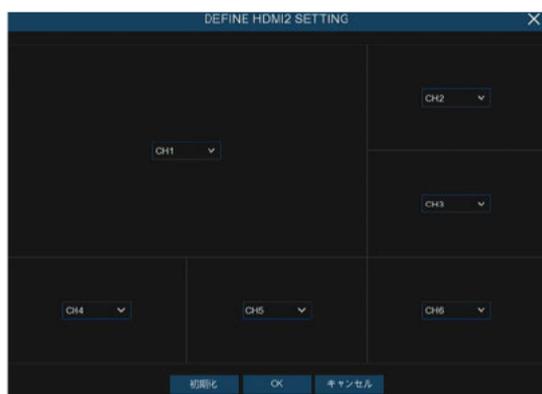
・[表示方式]へ“スタティック”を選択した場合(スタティックモード)

[表示モード]: スタティックモードのときに表示する分割チャンネル数を選択します。



(TNV-RH16PW の場合)

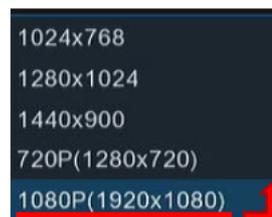
[シーケンス設定]: スタティックモードのときに表示するチャンネル配置を設定します。



(TNV-RH16PW の場合)

[出力解像度]: お使いのモニターに適したディスプレイ解像度を選択します。

注意: TNV-RH16PW の場合は HDMI2 は最大で 1080P までの解像度出力となります。



(TNV-RH16PW の場合)

5.6.2.2.2 HDMI2(サブ出力) : [TNV-RH32PW の場合]

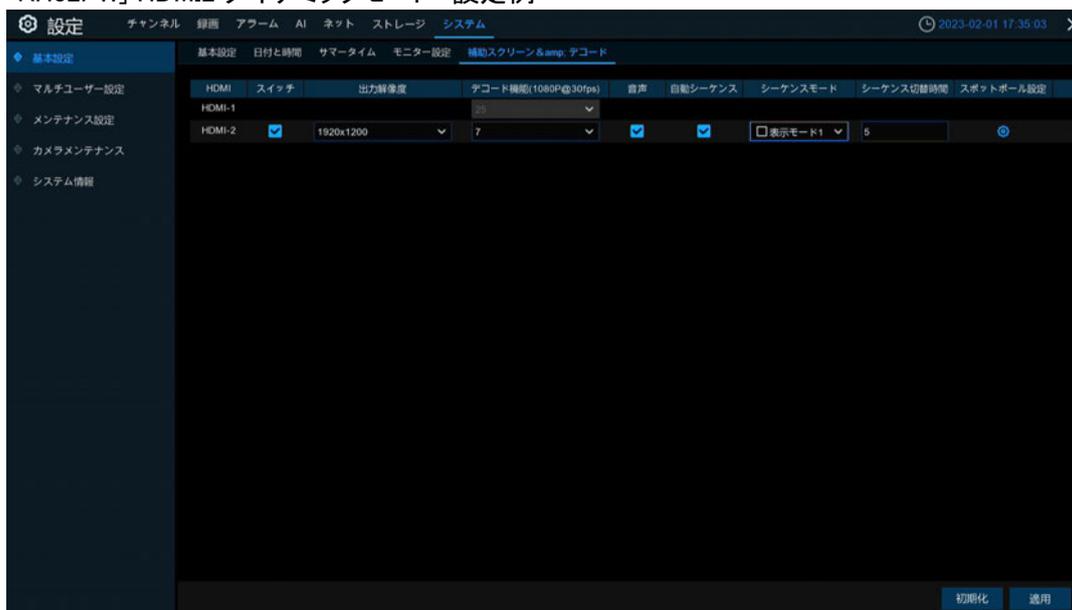
ココでは TNV-RH32PW の場合の HDMI2(サブ出力)についてご説明いたします。

HDMI2(サブ出力)を有効にするには、先ず、HDMI2 の[スイッチ]のチェックボックスをオンにします。

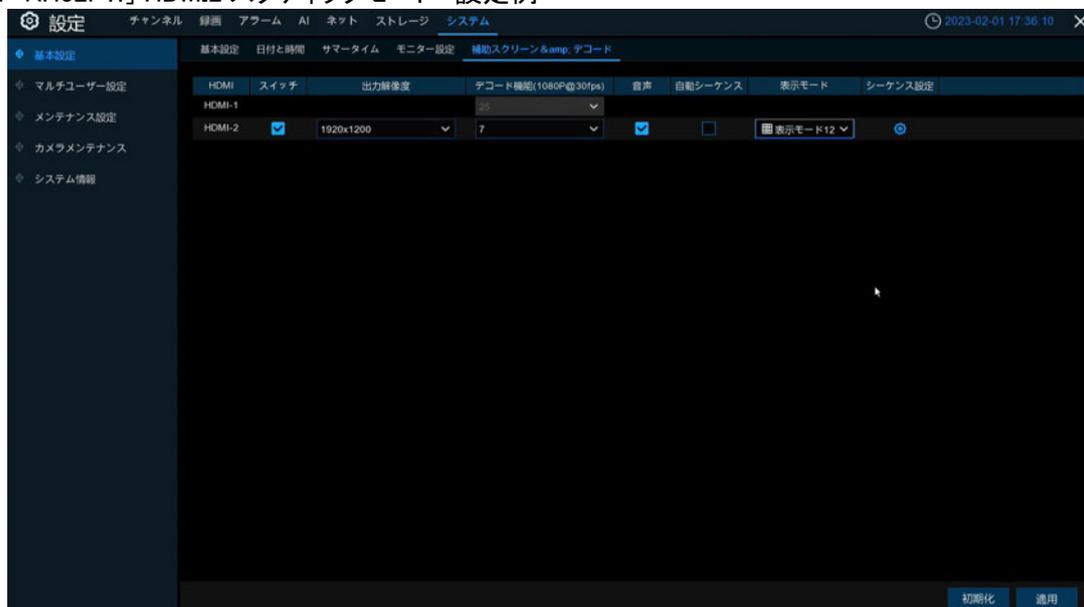
HDMI2(サブ出力)設定画面です。スポット動作及びシーケンス動作を設定する場合は、[自動シーケンス]をオンにします。なお、HDMI2(サブ出力)へ OSD は表示されません。

注意: HDMI2 へ魚眼モードは表示できません。

[TNV-RH32PW] HDMI2 ダイナミックモード 設定例

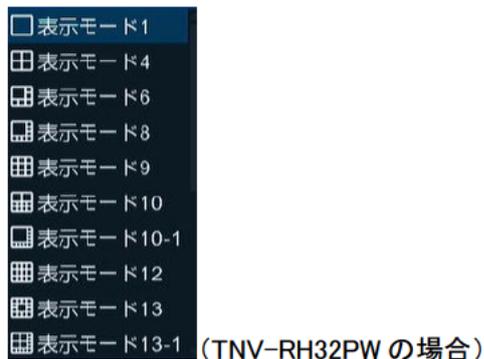


[TNV-RH32PW] HDMI2 スタティックモード 設定例



・[自動シーケンス]をオンにした場合(ダイナミックモード)

[シーケンスモード]: ダイナミックモードのときに表示する分割チャンネル数を選択します。



[シーケンス切替時間]: シーケンス切替時間を秒単位で入力します(最小 5 秒～最大 300 秒)。

[スポットポール設定]: このボタンをクリックして表示させるチャンネルを選択します。選択されていないチャンネルについては HDMI2 出力では非表示となります。



**TNV-RH32PW の場合は
ココをクリックしてスポットポール設定。**

(TNV-RH32PW の場合)

・[自動シーケンス]をオフにした場合(スタティックモード)

[表示モード]: スタティックモードのときに表示する分割チャンネル数を選択します。



TNV-RH32PW の場合は”自動シーケンス”のチェックを外すと”スタティックモード”となります。

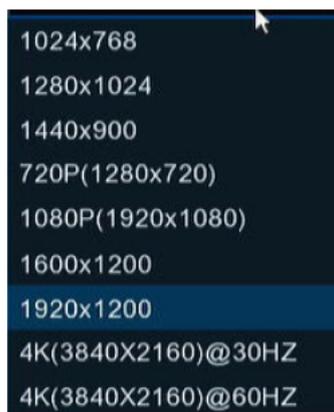
(TNV-RH32PW の場合)

[シーケンス設定]: スタティックモードのときに表示するチャンネル配置を設定します。



(TNV-RH32PW の場合)

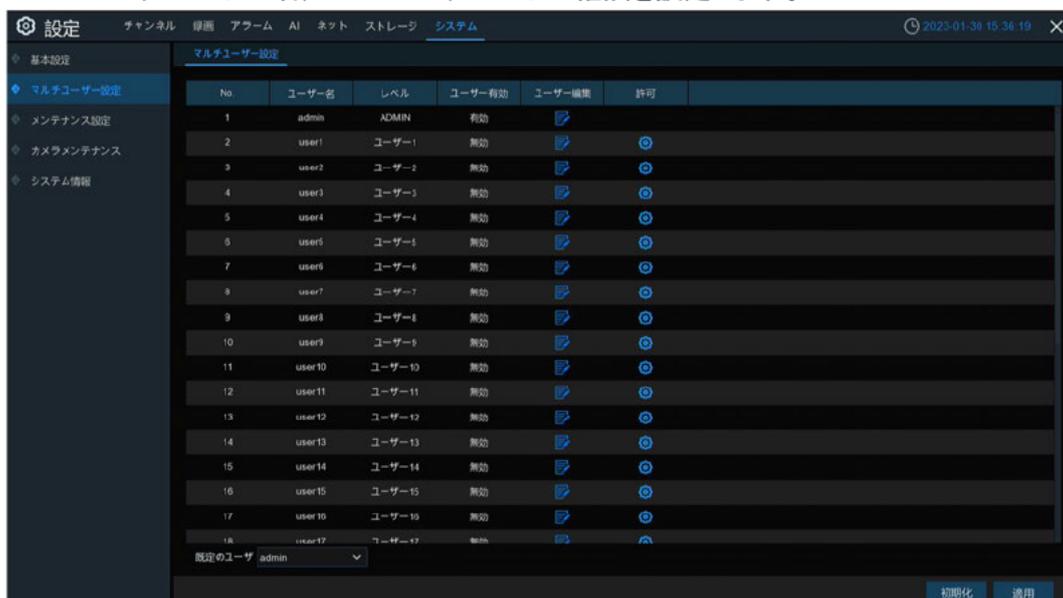
[出力解像度]: お使いのモニタに適したディスプレイ解像度を選択します。



(TNV-RH32PW の場合)

5.6.3 マルチユーザー

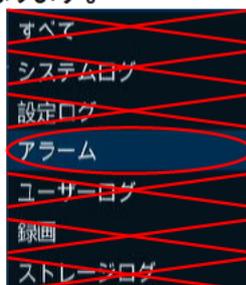
このメニューでは、ユーザー名、パスワード、ユーザー権限を設定します。



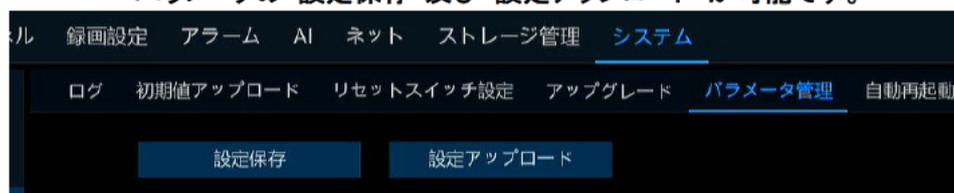
NVR は、次のアカウントタイプをサポートします：

- **ADMIN** – システム管理者: システムをフルコントロールできます。管理者とユーザーの両方のパスワードを変更でき、ユーザーアカウントの有効化/無効化ができます。
- **USER** – 通常のユーザー: ユーザーは許可された機能について権限を有します。また、権限が異なる複数のユーザーアカウントを設定できます。

注意: ログの権限を有するユーザーであってもユーザーはアラームログのみへのアクセス権となります。



注意: システムパラメータの“設定保存”及び“設定アップロード”につきましてはユーザーでログイン中の場合でも ADMIN のパスワードを御存じの場合はシステムパラメータの“設定保存”及び“設定アップロード”が可能です。



5.6.3.1 パスワードの変更

管理者アカウントまたはユーザーアカウントのパスワードを変更するには、[ユーザー編集] アイコン  をクリックします。



スクリーンショットは2つのウィンドウを示しています。左側の「ユーザー編集」ウィンドウには、ユーザー名「user1」、パスワードの強度（赤と緑の表示）、パスワードの再入力、およびシングルユーザーログイン数「3」が設定されています。右側の「ID認証」ウィンドウには、ユーザー名「admin」とパスワードの入力欄（表示/非表示の切り替えボタンあり）が確認できます。

ユーザー有効: アカウントの有効/無効。

パスワードの強度: 赤は簡単に解読され安全ではないことを示し、緑は複雑でとてもセキュリティパフォーマンスが優れていて解読されないことを示します。パスワードの強みと弱さのプロンプトをご参考にセキュリティパフォーマンスが高いパスワードを設定してください。

ユーザー名: 半角文字の英数字とアンダーバーがユーザー名に使用できます。

パスワード: 次の制約に則ってパスワードを設定します。

< 8 ~9 文字のパスワードを設定する際の制約 >

- 8 ~9 文字でパスワードを御設定の場合、“大文字, 小文字, 数字, 特殊文字”から3組以上を組合せる必要がございます。(例: 数字のみは設定できません)

< 10 ~15 文字のパスワードを設定する際の制約 >

- 10 ~15 文字でパスワードを御設定の場合、“大文字, 小文字, 数字, 特殊文字”から2組以上を組合せる必要がございます。(例: 数字のみは設定できません)

< いずれの場合もかかる制約 >

- 4桁以上の繰り返し文字はパスワードとして設定できません。(例: “6666”や“bbbb”といったパスワードはいずれの場合も設定できません)
- 4桁以上の連続文字はパスワードとして設定できません。(例: “1234”や“abcd”といったパスワードはいずれの場合も設定できません)
- 4桁以上のキーボード上で連続している文字はパスワードとして設定できません。(例: “qwer”や“ghjk”といったパスワードはいずれの場合も設定できません)

認証: もう1度パスワードを入力してください。誤設定防止のため、パスワードと一致する必要があります。

パスワードの変更を行う際、USER ログインの場合は古いパスワード、ADMIN ログインの場合はADMIN パスワード認証を行う必要があります。

注意: 設定可能なパスワードには次の制約がございます。

1. 8~9文字：組み合わせは、大文字、小文字、数字、または特殊文字から少なくとも3つで構成する必要があります。
2. 10~15文字：組み合わせは、大文字、小文字、数字、または特殊文字から少なくとも2つで構成する必要があります。
3. 4桁を超える繰り返しおよび連続文字は禁止されています。つまり、6666 / bbbbまたは1234 / abcdです。
4. キーボードパターンが4桁を超える連続キーは禁止されています。つまり、qwerまたはghjk

5.6.3.2 新規ユーザーの追加



No.	ユーザー名	レベル	ユーザー有効	ユーザー編集	許可
1	admin	ADMIN	有効		
2	user1	USER1	無効		
3	user2	USER2	無効		
4	user3	USER3	無効		
5	user4	USER4	無効		
6	user5	USER5	無効		
7	user6	USER6	無効		

既定のユーザ admin

1. 現在無効になっているユーザーアカウントのいずれかを選択し、[ユーザー編集] アイコン をクリックします。



The left screenshot shows the 'ユーザー編集' (User Edit) dialog box. It displays the current user 'user1' with level 'USER1' and status '無効' (Inactive). There are fields for 'ユーザー名' (Username), 'パスワードの強度' (Password strength), 'パスワード' (Password), and '確認' (Confirmation). Buttons for '初期化' (Reset), '保存' (Save), and 'キャンセル' (Cancel) are at the bottom.

The right screenshot shows the 'ID認証' (ID Authentication) dialog box. It has fields for 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). A '表示' (Show) checkbox is next to the password field. Buttons for '認証' (Authenticate) and 'キャンセル' (Cancel) are at the bottom.

2. [ユーザー有効] の横にあるドロップダウンから [有効] を選択します。
3. [ユーザー名] の横にあるフィールドをクリックして、アカウントのユーザー名を変更します。
4. [パスワード] の横にあるフィールドをクリックして、希望のパスワードを入力します。
5. [確認] の横にあるフィールドをクリックして、パスワードを再入力します。
6. [保存] をクリックします。認証するには、管理者パスワードを入力する必要があります。

5.6.3.3 ユーザ権限の設定

管理者アカウントは、すべてのシステム機能を完全に制御できる唯一のアカウントです。各ユーザーアカウントの特定のメニューや機能へのアクセスを有効または無効にできます。

No.	ユーザー名	レベル	ユーザー有効	ユーザー編集	許可
1	admin	ADMIN	有効		
2	user1	USER1	無効		
3	user2	USER2	無効		
4	user3	USER3	無効		
5	user4	USER4	無効		
6	user5	USER5	無効		
7	user6	USER6	無効		

既定のユーザ admin

1. [許可]タブの下にある編集アイコン をクリックします。

ユーザー許可

ユーザー名 user1

<input type="checkbox"/> ログ検索	<input type="checkbox"/> パラメータ	<input type="checkbox"/> 自動再起動	<input type="checkbox"/> 手動録画
<input type="checkbox"/> ディスク管理	<input type="checkbox"/> リモートログイン	<input type="checkbox"/> シーケンスコントロール	<input type="checkbox"/> 手動キャプチャ
<input type="checkbox"/> 音声	<input type="checkbox"/> データベース管理	<input type="checkbox"/> ナンバー管理	<input type="checkbox"/> サブユーザーのパスワード変更

バックアップ

IPカメラ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

ライブ

IPカメラ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

録画再生

IPカメラ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

PTZ

IPカメラ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

2. ユーザーにアクセスするシステムメニューまたは機能の横にあるチェックボックスをオンにします。[すべて] をクリックしてすべてのボックスをオンにします。[クリア] をクリックして、すべてのチェックボックスをオフにします。
3. [保存] をクリックして変更を保存します。

注意: ログの権限を有するユーザーであってもユーザーはアラームログのみへのアクセス権限となります。

注意: パラメータの権限が無効化されているユーザーであっても、システムパラメータの“設定保存”及び“設定アップロード”につきましては ADMIN のパスワードを御存じの場合はシステムパラメータの“設定保存”及び“設定アップロード”が可能です。

注意:パラメータの権限が無効化されているユーザーであっても、システムのアップグレードにつきましては ADMIN のパスワードを御存じの場合はシステムのアップグレードが可能です。

注意:SEQ コントロールの権限が無効化されているユーザーは、ライブ出力 SEQ の実行/停止の処理は出来ませんが SEQ コントロールの設定は可能です。

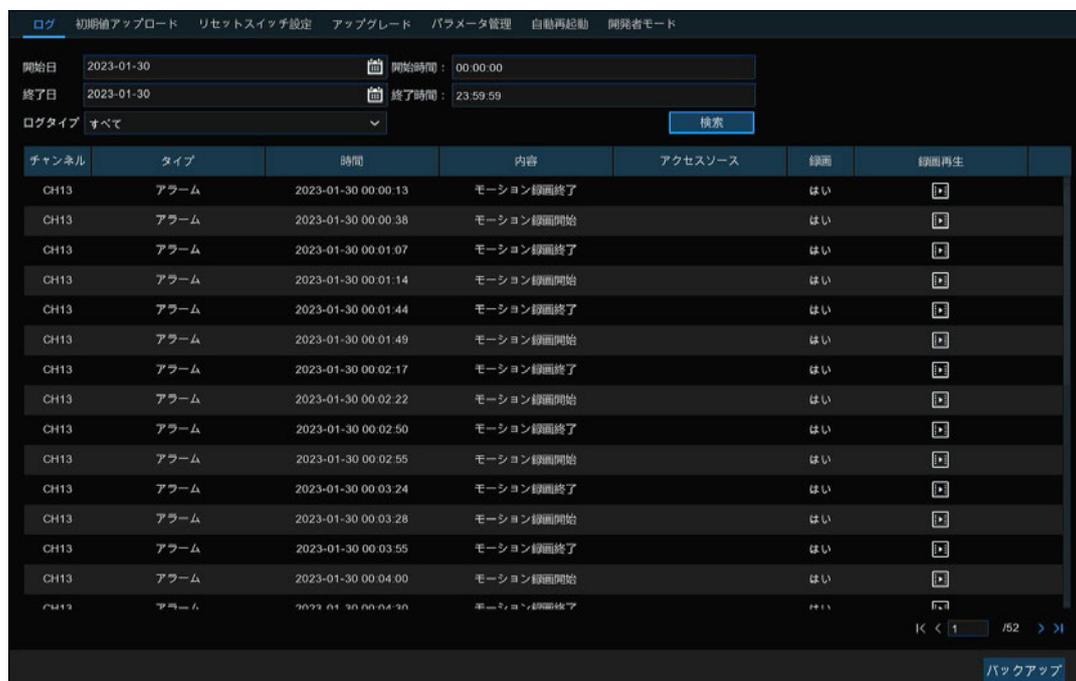
5.6.4 メンテナンス

このセクションでは、システムログの検索と表示、デフォルト設定のロード、システムのアップグレード、システムパラメータのエクスポートとインポート、およびシステムの自動再起動設定が可能になります。

チャンネル	タイプ	時間	内容	アクセスソース	録画	録画再生
CH13	アラーム	2023-01-30 00:00:13	モーション録画終了		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:00:38	モーション録画開始		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:01:07	モーション録画終了		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:01:14	モーション録画開始		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:01:44	モーション録画終了		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:01:49	モーション録画開始		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:02:17	モーション録画終了		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:02:22	モーション録画開始		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:02:50	モーション録画終了		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:02:55	モーション録画開始		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:03:24	モーション録画終了		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:03:28	モーション録画開始		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:03:55	モーション録画終了		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:04:00	モーション録画開始		はい	▶
CH13	アラーム	2023-01-30 00:04:30	モーション録画終了		はい	▶

5.6.4.1 ログ

ログでは、モーションアラームやシステム警告などの重要なシステムイベントが表示できます。指定した期間のログを検索し、USB フラッシュメモリーにバックアップできます。



5.6.4.1.1 ログの検索とバックアップ

1. **【開始日と開始時間】**の横にあるフィールドをクリックして、画面上のカレンダーから検索の開始日と時刻を選択します。
2. **【終了日と終了時間】**の横にあるフィールドをクリックして、画面上のカレンダーから検索の終了日と時刻を選択します。
3. **【ログタイプ】**の横にあるドロップダウンから検索するイベントの種類を選択するか、**【すべて】**を選択して選択した期間のシステム ログ全体を表示します。
4. **【検索】**をクリックします。
5. 検索期間のシステムログイベントを参照するビデオイベントは、**【録画再生】**列の  をクリックすることで即座に再生することができます。右クリックして検索結果に戻ります。
6. メニューの右下隅にある **◀ ◁ / ▷ ▶** ボタンをクリックして、システムログイベントのページ間を移動します。
7. **【バックアップ】** をクリックして、検索期間のシステム ログのバックアップを作成します。USB フラッシュメモリーが NVR の USB ポートに接続されていることを確認してください。
8. バックアップドライブメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダに移動し、**【OK】** をクリックしてログのバックアップを開始します。

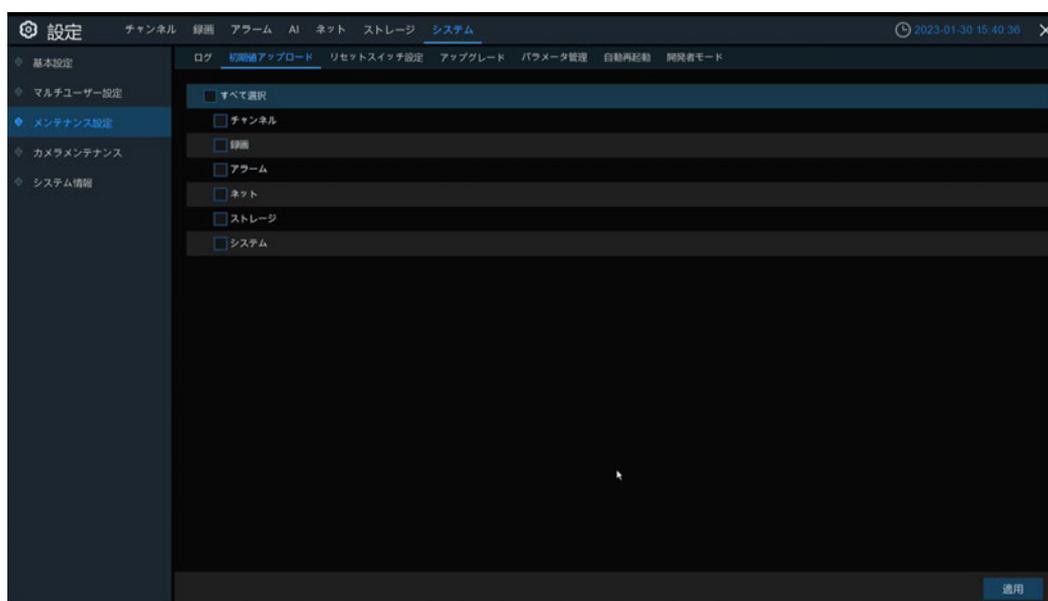
5.6.4.1.2 ログの最大保存件数

ログの最大保存容量は 64MB で HDD ストレージへ保存されます。最大件数は 262,144 件となっております。いっぱいになると上書きされます。

注意: ログは HDD フォーマットしても消えません。いっぱいになると上書きされます。

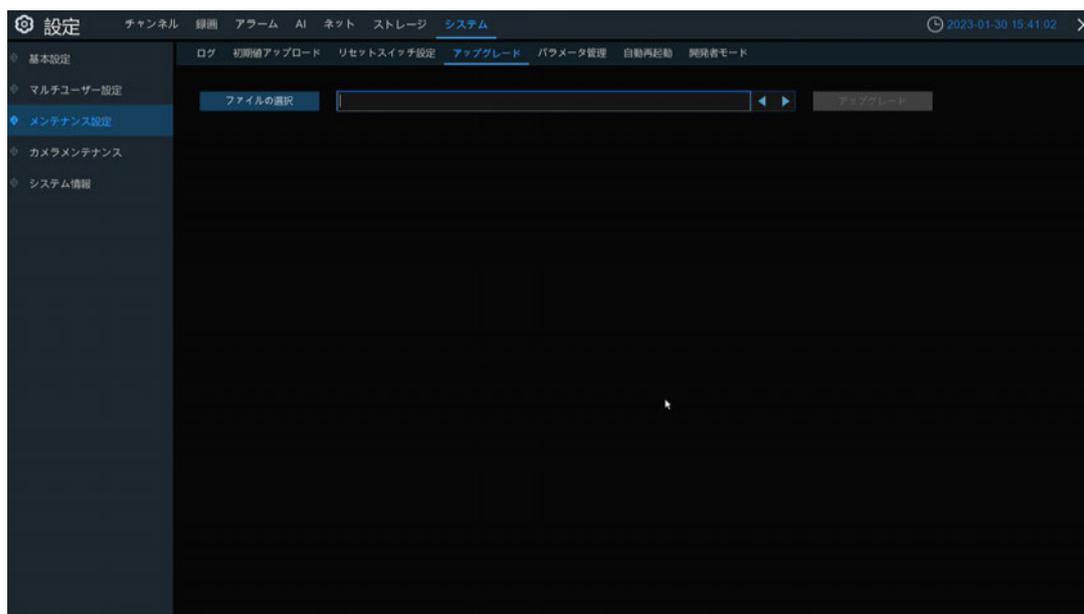
5.6.4.2 初期値のアップロード

NVR 初期値のアップロードができます。すべての設定を一度に初期値へアップロードするか、特定のメニューの設定のみを初期値へアップロードするかを選択できます。初期値へアップロードしても、ハードドライブに保存されている録画とスナップショットは削除されません。



初期値をアップロードする項目をオンにするか、[すべて選択] をオンにしてすべての項目を選択します。[適用] をクリックして、選択した項目の既定の設定を読み込みます。

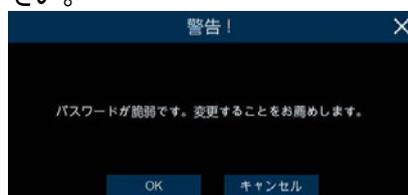
5.6.4.3 アップグレード



1. ファームウェアファイル(ファームウェアファイルの入った USB フラッシュメモリーを NVR の USB ポートに挿入します。
2. **[ファイルの選択]**ボタンをクリックして、USB フラッシュメモリーのファームウェアファイルを選択し、**[OK]**をクリックします。
3. **[アップグレード]** ボタンをクリックして、システムのアップグレードを開始します。システムのアップグレードは約 5～10 分続きます。**アップグレード中に、NVR の電源を切ったり、NVR から USB を取り外したりしないでください。**

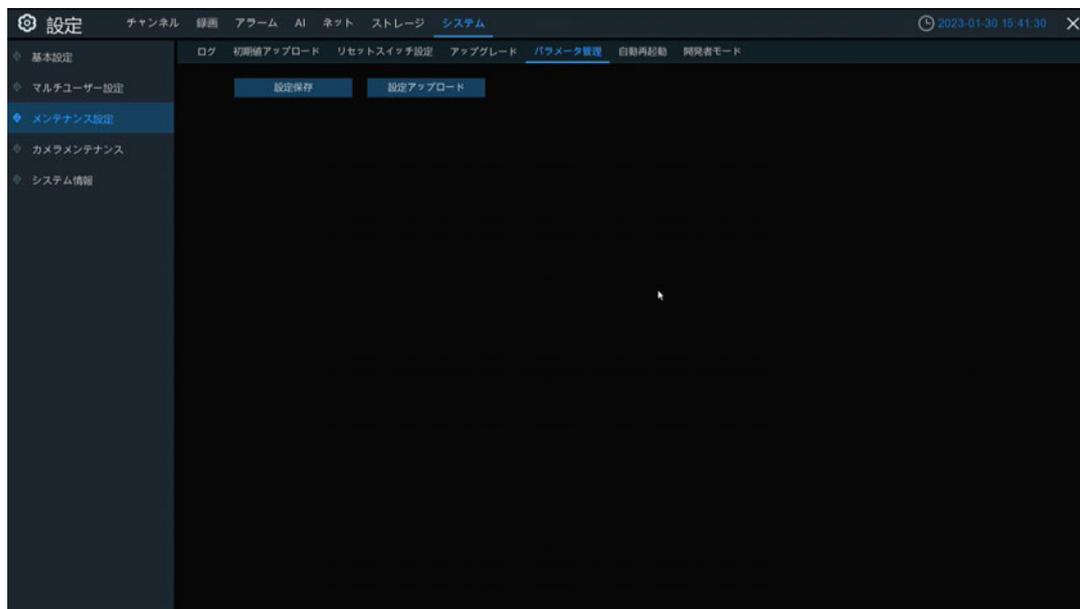
注意:アップグレード中に、NVR の電源を切ったり、NVR から USB フラッシュメモリーを取り外したりということを絶対にしないでください。

注意:ファームウェアアップグレードした際にパスワードが脆弱な場合は再起動後に警告画面が表示されます。そのままご利用いただけますが、セキュリティ上「[5.6.3.1 パスワードの変更](#)」を参考にパスワードを御変更下さい。



5.6.4.4 パラメータ管理

USB フラッシュメモリーに設定したメインメニュー設定をエクスポートしたり、USB フラッシュメモリーから NVR にエクスポートした設定ファイルをインポートしたりできます。

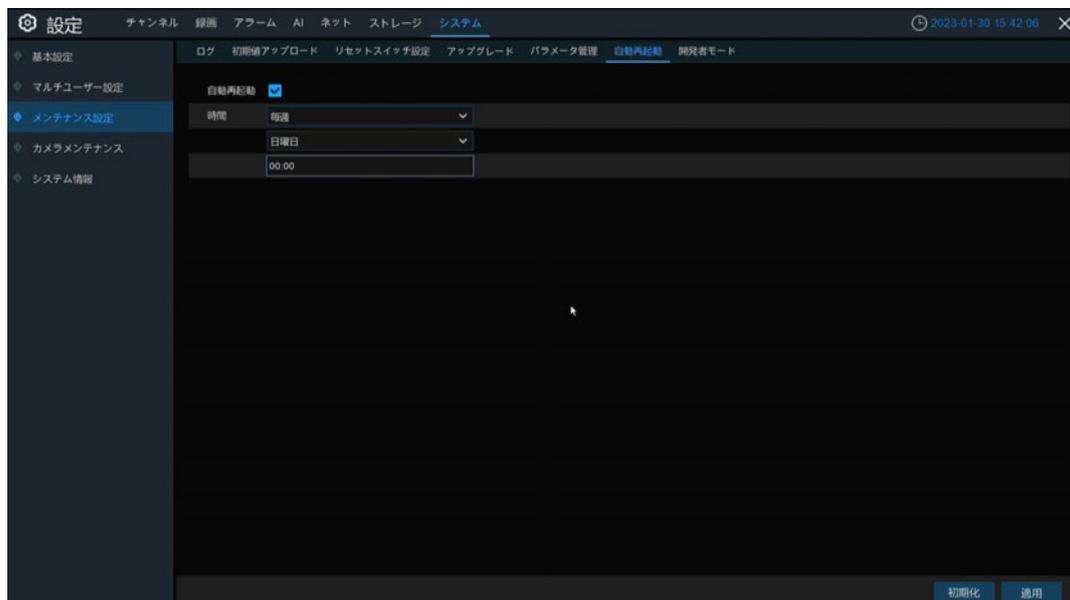


設定保存: クリックすると、NVR の現在のシステム設定が USB フラッシュメモリーへ保存されます。認証するには、管理者パスワードを入力する必要があります。

設定アップロード: システム設定のエクスポートを作成したら、別の NVR に設定をインポートできます。
[設定アップロード] ボタンをクリックして、USB フラッシュメモリーからインポートするシステム設定ファイルに移動します。認証するには、管理者パスワードを入力する必要があります。

5.6.4.5 自動再起動

このメニューを使用すると、システムは NVR を定期的に自動再起動できます。この機能を使用すると、NVR システムの安定性向上を図ることができます。



自動再起動: チェックを入れ、適用ボタンをクリックすると有効になります。

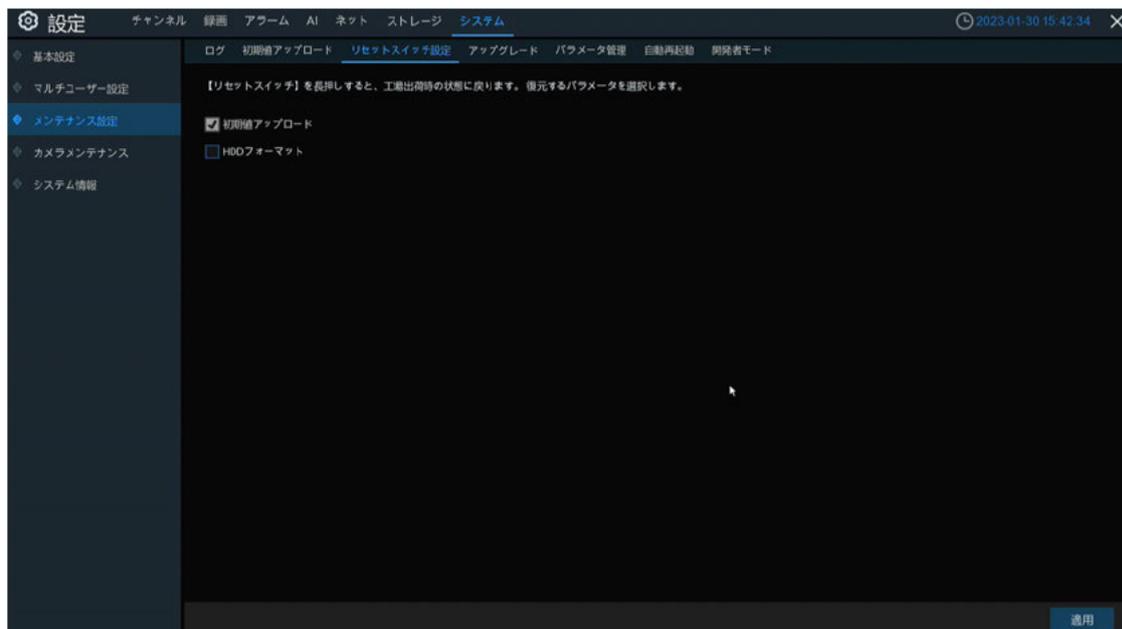
時間: NVR を日、週、月単位で自動再起動するように設定できます。

注意: この機能を使用しない場合、NVR システムの安定性向上を図るために、おおよそ 1～2 週間に 1 度の頻度で手動再起動を実施することを推奨いたします。

5.6.4.6 リセットスイッチ設定

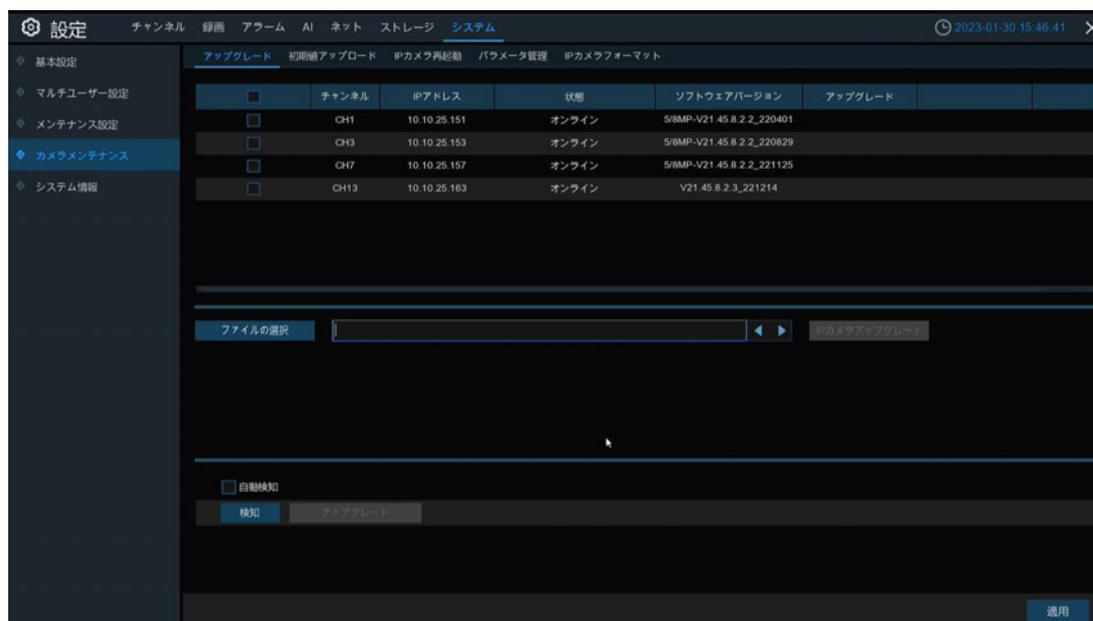
本体裏面のリセットボタンを押したときの動作を設定します。チェック入の項目は有効となります。なお、“初期値アップロード”は必ず実施されます。

“HDD フォーマット”へチェックを入れておきますと、本体裏面のリセットボタンを押したときに“HDD フォーマット”も行われます。これは、悪意を持って本体裏面のリセットボタンでパスワードをリセットされた場合に、録画データ / AI データベース情報 / システム設定情報を抜き取られることを防ぎます。



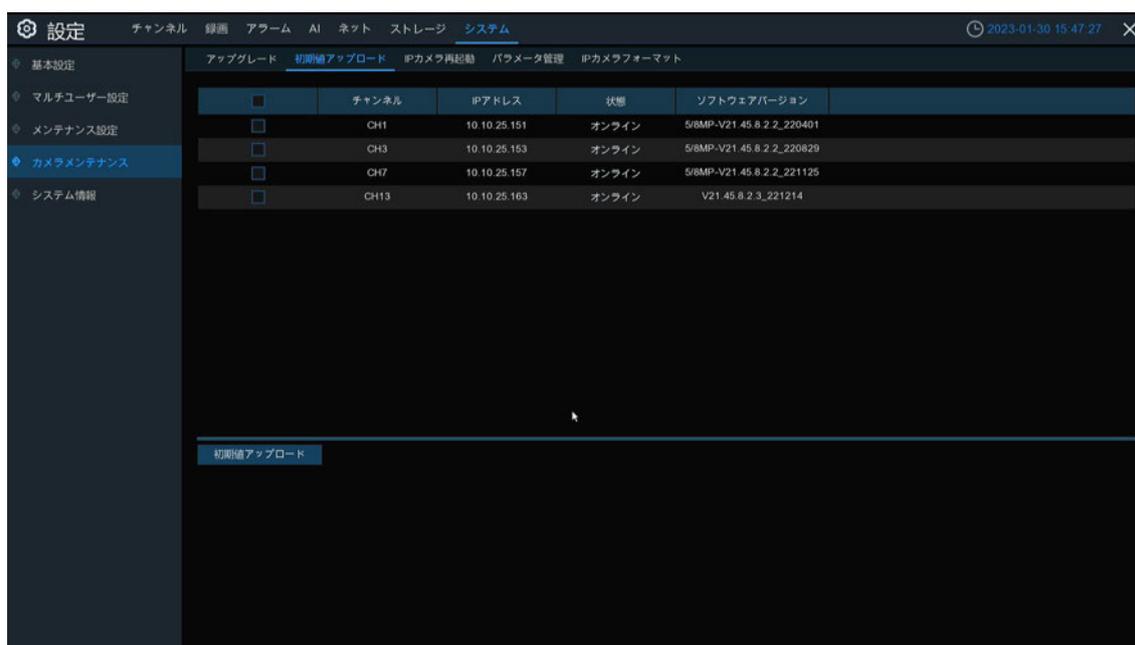
項目	内容
初期値アップロード	<ul style="list-style-type: none"> • 全ての設定がデフォルトの値へ戻ります。 • パスワードは消去されます。
HDD フォーマット (本体裏面のリセットボタンでパスワードをリセットされた場合に、録画データ / AI データベース情報 / システム設定情報を抜き取られることを防ぎます)	<ul style="list-style-type: none"> • 搭載されている全ての HDD フォーマットが実施されます。搭載されている全ての HDD 内の全データが消去されますのでご注意ください。
<p>HDD フォーマットを有効にした場合、リセットボタンによりリセット機能が実行されると本体再起動（リセット実行）前に HDD フォーマット実行確認プロンプト画面が表示されます。30 秒カウント完了前に“キャンセル”を致しますと HDD フォーマットのみ中止することが可能です。この場合、初期値アップロード（全ての設定値をデフォルトの値へ）は実行されます（HDD フォーマットをキャンセルしても本体は再起動されて全ての設定値はデフォルト値がセットされます）。</p>	

5.6.5 IP カメラメンテナンス



このメニューでは、IP カメラのファームウェアをアップグレードし、IP カメラをデフォルト設定に戻すことができます。

5.6.5.2 IP カメラの初期値アップロード

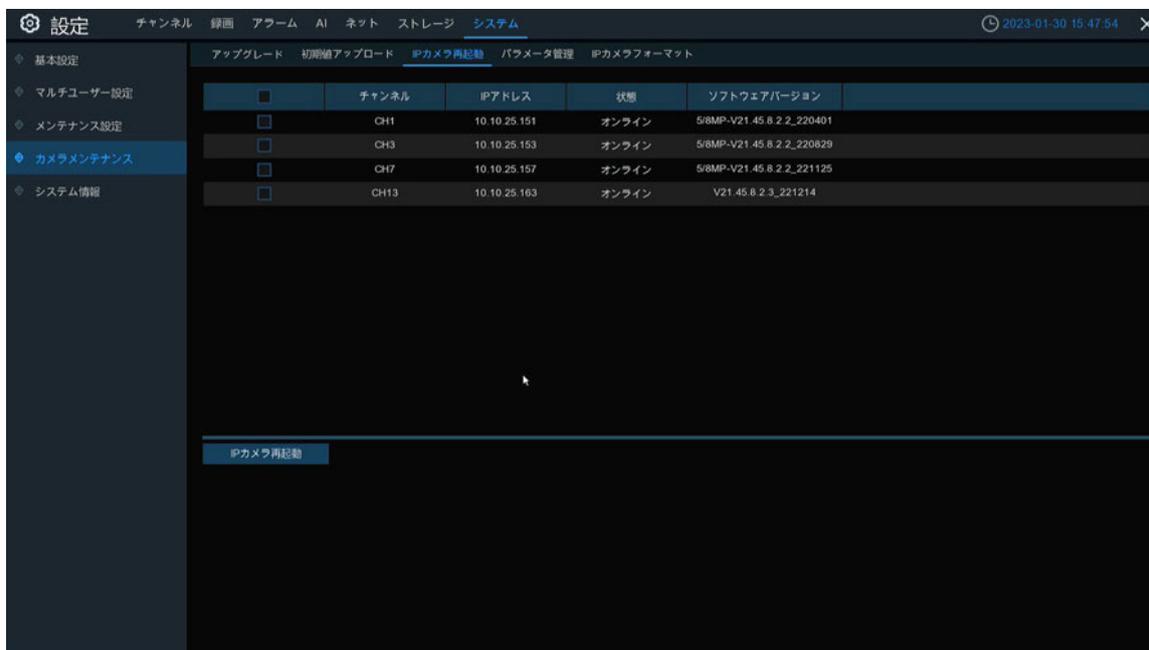


1. 初期値アップロードする IP カメラを選択します。
2. 設定を復元するには、**[初期値アップロード]** をクリックします。認証するには、管理者パスワードを入力する必要があります。

5.6.5.3 IP カメラの再起動

IPカメラ再起動

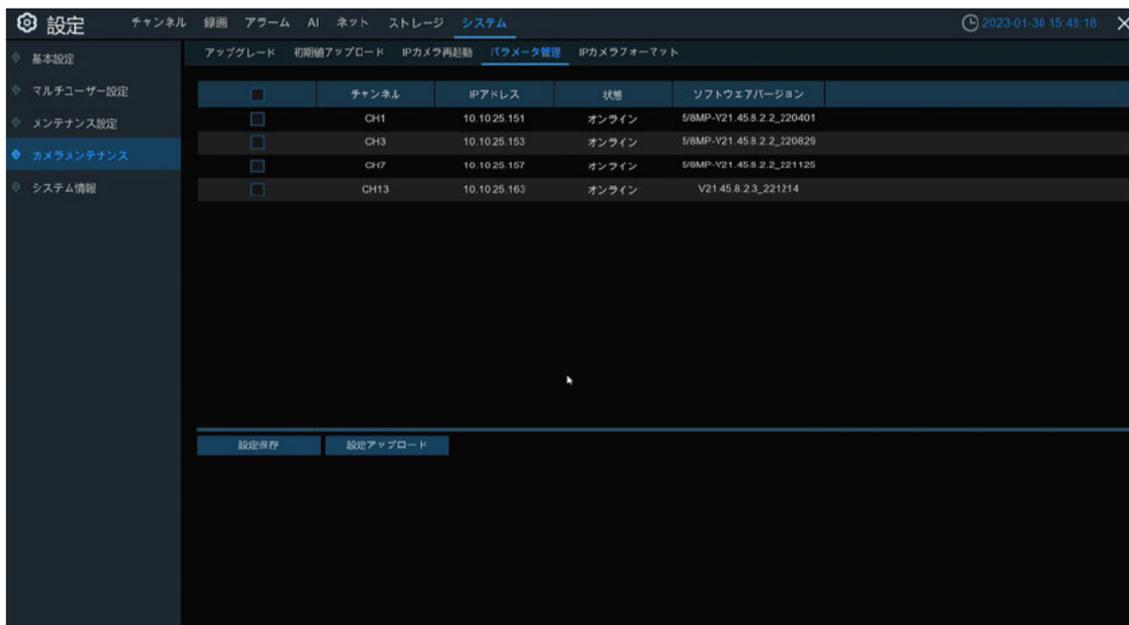
NVR から IP カメラを再起動するには、再起動する IP カメラを選択して、ボタンをクリックします。



5.6.5.4 IP カメラ設定ファイルのバックアップとリストア

NVR に接続した USB フラッシュメモリへ IP カメラの設定をバックアップ/リストアすることが可能です。

USB フラッシュメモリを本機へ接続して、対象の IP カメラをチェックして **設定保存** ボタンをクリックしますと IP カメラの設定を USB フラッシュメモリへバックアップが可能です。リストアするには、対象の IP カメラをチェックして **設定アップロード** ボタンをクリックします。



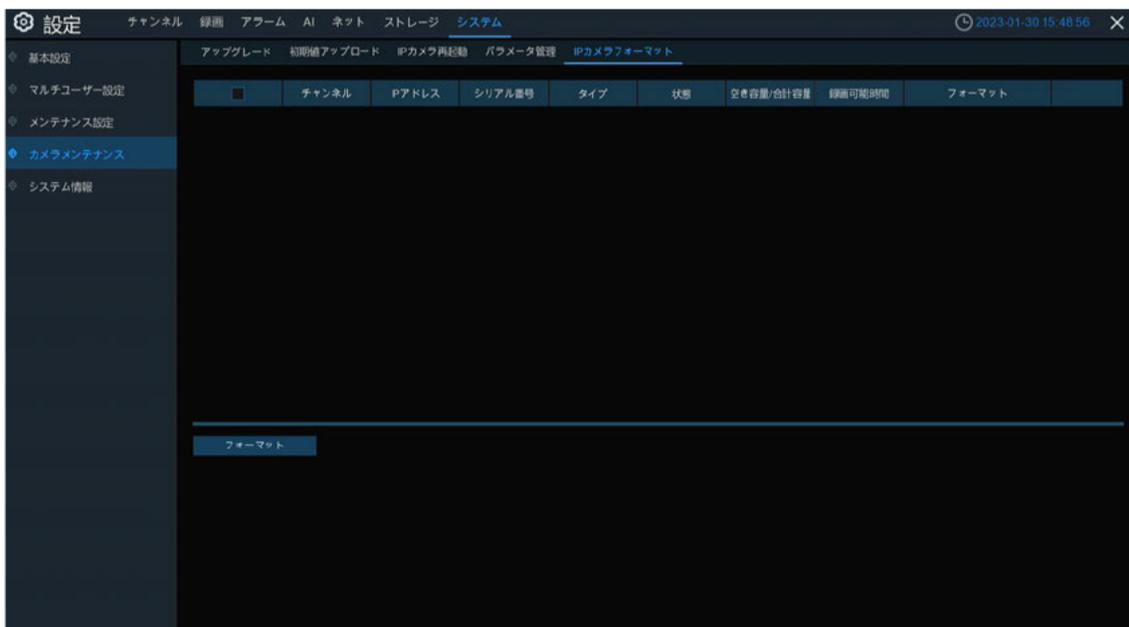
なお、IP カメラの設定をバックアップ/リストアするには本機の admin 認証が必要です。



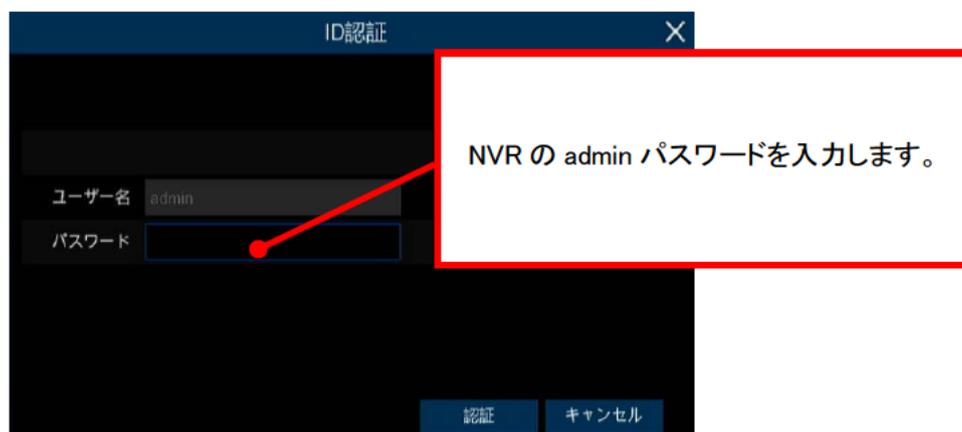
注意: 本機の USB 端子に接続して使用される、USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式にてご使用ください。対応している USB フラッシュメモリーの容量は 128GB までとなっております。

5.6.5.5 IP カメラのストレージの SD カードをフォーマットする

本機で IP カメラのストレージの SD カードをフォーマットすることが可能です。本機で IP カメラのストレージの SD カードをフォーマットするには対象の IP カメラをチェックして **フォーマット** ボタンをクリックします。なお、IP カメラのストレージの SD カードをフォーマットを行いますとその IP カメラのストレージの SD カードのデータは消去されます。



なお、IP カメラのストレージの SD カードをフォーマットするにはストレージの SD カードをフォーマットが必要です。



認証されると処理が進みます。



完了しましたら、IPカメラのストレージのSDカードをフォーマットが完了したことがポップアップメッセージされます。



注意: IPカメラのストレージのSDカードをフォーマットを行いますと、そのIPカメラのストレージのSDカード内全てのデータが消去されますのでご注意ください。

注意: 故障の原因となりますので、IPカメラのストレージのSDカードをフォーマット実行期間中はシステムの電源を落とさないようにご注意ください。

5.6.6 システム情報

このメニューでは、システム情報、チャンネル情報、録画情報、ネットワーク情報を表示します。

5.6.6.1 情報

デバイス ID、デバイスモデル名、IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェアバージョンなどのシステム情報を表示します。なお、P2P オンの場合は P2P ID と P2P ID の QR コードが表示されます。

システム情報	チャンネル情報	録画情報	ネットワーク情報
P2P オフの場合			
デバイスID	000000		
デバイス名	N7316		
デバイスタイプ	N7316		
ハードウェアバージョン	DM-465		
ソフトウェアバージョン	V8.2.3-20221014		
IEクライアントバージョン	V1.3.1.45		
ビデオ形式	NTSC		
HDD容量	1863G		
IPアドレス	[不明]		
IPv6 アドレス	[不明]		
ウェブ	[不明]		
クライアント	[不明]		
MACアドレス	[不明]		
ネットワーク情報	接続されていません		
P2P オンの場合			
デバイスID	000000		
デバイス名	N7316		
デバイスタイプ	[不明]		
ハードウェアバージョン	[不明]		
ソフトウェアバージョン	[不明]		
IEクライアントバージョン	[不明]		
ビデオ形式	[不明]		
HDD容量	[不明]		
IPアドレス	[不明]		
IPv6 アドレス	[不明]		
ウェブ	[不明]		
クライアント	[不明]		
MACアドレス	[不明]		
ネットワーク情報	[不明]		
P2P ID	[不明]		

5.6.6.2 チャンネル情報

システム情報								
チャンネル情報								
チャンネル	エイリアス	状態	メイン	サブ	モバイル	モーション検知	プライバシーゾーン	
CH1	CH1	オンライン	2592x1944, 25Fps, 8Mbps	1920x1080, 25Fps, 1024Kbps	640x 480, 25Fps, 256Kbps	サポート	サポート	
CH2	CH2	オフライン						
CH3	CH3	オンライン	2592x1944, 30Fps, 8Mbps	1920x1080, 30Fps, 4Mbps	640x 480, 30Fps, 512Kbps	サポート	サポート	
CH7	CH7	オンライン	2592x1944, 25Fps, 4Mbps	1280x 720, 25Fps, 1024Kbps	640x 480, 25Fps, 512Kbps	サポート	サポート	
CH13	CH13	オンライン	4000x3000, 15Fps, 16Mbps	1280x 960, 15Fps, 4Mbps	640x 480, 15Fps, 512Kbps	サポート	サポート	

カメラ名、メインストリームとサブストリームの録画仕様、モーション検知及びプライバシーゾーンのステータス情報など、接続された各カメラのチャンネル情報を表示します。

5.6.6.3 録画情報

システム情報							
チャンネル情報							
録画情報							
チャンネル	録画状態	録画スイッチ	ストリームタイプ	解像度	FPS	ビットレート	
CH1	オン	有効	デュアルストリーム	2592x1944 1920x1080	25Fps 25Fps	8Mbps 1024Kbps	
CH2	オフ	有効					
CH3	オン	有効	デュアルストリーム	2592x1944 1920x1080	30Fps 30Fps	8Mbps 4Mbps	
CH7	オン	有効	デュアルストリーム	2592x1944 1280x720	25Fps 25Fps	4Mbps 1024Kbps	
CH13	オン	有効	デュアルストリーム	4000x3000 1280x960	15Fps 15Fps	16Mbps 4Mbps	

ビットレート、ストリームタイプ、録画解像度、フレームレート(FPS)など、接続された各カメラの録画情報を表示します。

5.6.6.4 ネットワーク状態

ネットワーク情報を表示します。

システム情報		チャンネル情報		録画情報		ネットワーク情報	
特徴		値					
WAN							
IPアドレス							
サブネットマスク							
ゲートウェイ							
MACアドレス							
IPv6 アドレス							
IPv6 ゲートウェイ							
DHCP							
内部インターフェース							
IPアドレス							
サブネットマスク							
DNS1							
DNS2				8.8.8.8			
PPPOE				無効			
ポート							
ウェブ				80,80,無効,無効			
クライアント				9000,9000,無効,無効			
合計バンド幅:				256Mbps			
使用バンド幅:				47.75Mbps			

第6章 録画検索(再生, バックアップ)

検索機能を使用すると、以前に録画したビデオや、NVRのハードドライブに保存されているスナップショットを検索して再生することができます。録画スケジュール、手動録画、モーションイベントのみに絞って録画再生する方法が可能です。バックアップ機能を使用すると、重要なイベント(ビデオとスナップショットの両方)をUSBフラッシュメモリーに保存できます。

注意: USBフラッシュメモリーへのバックアップ機能を使用する場合は、本NVRのUSB端子へUSBフラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能なUSBフラッシュメモリーはFAT32のフォーマット形式の総容量128GBまでのものとなっております。

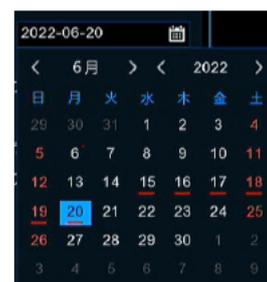
6.1 検索機能の使用

ライブ画面左下の[スタート]メニューアイコンをクリックしてスタートメニュー内の[検索]をクリックし、基本検索画面を表示させます。



1. 検索オプション: 検索する方法に合わせて、“一般”、“イベント”、“マルチ時間”、“スマート”、“タグ”、“外部ファイル”、“写真”、“スライス”をクリックします。

2. 検索日: 再生する日付を指定します。カレンダーアイコン  をクリックしますと、カレンダーを使用して視覚的な日付指定が可能です。



3. 検索タイプ: トリガ内容で検索を絞り込めます(OR検索となります)。

4. ストリーム, チャンネル: 検索して再生したいストリームとチャンネルを選択します。

注意: サブストリーム録画データは、録画設定で“ストリームモード”を“デュアルストリーム”へ設定して録画を行った場合に生成されます。録画設定で“ストリームモード”を“メイン”へ設定して録画を行った場合にはサブストリーム録画データは生成されません。詳しくは、[「5.2.2.1 録画」](#)をご参照ください。

5. ビデオ再生コントロール: ビデオの再生を制御します。

ビデオ再生コントロール 一覧表			
			
	全画面表示再生		再生
	巻き戻し再生 (x2,x4,x8,x16)		早送り (x2,x4,x8,x16)
	スロー再生 (1/2,1/4,1/8,1/16)		再生の一時停止
	コマ送り再生 (クリックしてビデオのフレームをコマ送りします)		再生の停止
	デフォルトタグ追加: タグ名は“Tag”になります。		
	カスタムタグ追加: 任意の半角文字のタグ名を付けれます。		
	映像アスペクト比選択 <input type="radio"/> Original : 映像のアスペクト比で表示します。 <input checked="" type="radio"/> Stretch : 画面 (CH 枠) のアスペクト比で表示します。		
	音量調節: スライダーバーをスクロールして音量調節します。		
	デジタルズーム: 再生(x1)中にアイコンをクリックします。映像上をドラッグして位置を選択、映像上をホイール操作してズーム操作します。右クリックすると通常の再生に戻ります。一時停止等の再生(x1)以外でデジタルズームを使用するには再生(x1)中にデジタルズームしておき、一時停止、スロー再生等を行います。		
	ビデオクリップ: ビデオの一部を USB フラッシュメモリーへ保存します。詳細は、 「6.1.1.2 ビデオクリップのバックアップ」 をご覧ください。		
	バックアップ: ビデオクリップを USB フラッシュメモリーへ保存します。		
	手動キャプチャ: スナップショットイメージを USB フラッシュメモリーにキャプチャします。ビデオの再生が分割画面表示の場合は、キャプチャするチャン		

	<p>ネルにマウスカーソルを移動し、 アイコンをクリックしてスナップショットを表示します。</p>
	<p>フィッシュアイ映像の場合に表示されます。魚眼モードを開きます。</p>

注意: USB フラッシュメモリーへ画像を保存する場合は、本 NVR の USB 端子へ USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能な USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式の総容量 128GB までのものとなっております。

6. **タイムライン:** 録画(ディスプレイの右下隅に表示される凡例)を表す色付きのバーはトリガの種類を表します。 で、プログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 6時間, 12時間, 24時間)。プログレスバー上でマウスホイール操作しても時間枠変更の操作が可能です。

プログレスバー タイムライン 凡例一覧	
<p> 連続  モーション  IOアラーム  人感センサー  AI  アラーム  手動  ANR (回線障害バックアップ)</p>	
<p>緑の色は連続録画又は手動録画</p>	<p>黄の色はモーション録画</p>
<p>オレンジの色はアラーム録画又は ANR 録画データ部分</p>	<p>紫の色は人感センサー録画</p>
<p>青の色は AI 録画</p>	<p>赤の色は I/O アラーム(外部アラーム入力)録画</p>

7. **再生ステータス:** ビデオ再生ステータスを表示します。

6.1.1 録画検索とビデオ再生の一般的な使用方法

録画検索とビデオ再生の一般的な使用方法についてご説明いたします。



1. ビデオ録画を検索する日付をカレンダーから選択します。
2. **[検索タイプ]**を選択します(どのトリガで録画された映像を検索するかを選択します)。検索したいトリガを個別に選択するか、**[検索タイプ]**右横のボックスをチェックしてすべてのトリガを選択します。
3. 検索したいストリームとチャンネルを設定します。検索したいチャンネルは個別に選択するか、**[チャンネル]**右横のボックスをチェックしてすべてのチャンネルを検索します。(選択可能な最大チャンネル数には制約がございます。選択可能な最大チャンネル数につきましては仕様書をご覧ください)

注意: サブストリーム録画データは、録画設定で“ストリームモード”を“デュアルストリーム”へ設定して録画を行った場合に生成されます。録画設定で“ストリームモード”を“メイン”へ設定して録画を行った場合にはサブストリーム録画データは生成されません。詳しくは、[「5.2.2.1 録画」](#)をご参照ください。

4. ▶ ボタンをクリックすると再生が開始されます。録画再生コントロールのボタンで再生を制御します。詳しくは、[「6.1 検索機能の使用」](#)の“[ビデオ再生コントロール 一覧表](#)”をご覧ください。
5. 検索結果は、最大 00:00 から 24:00 までタイムラインに表示されます。タイムラインの最大表示期間はプログレスバー上のマウスホイール操作で変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。又は、でも変更が可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。
6. でプログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。又は、プログレスバー上の

マウスホイール操作でも時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。

7. USBフラッシュメモリーに再生中にビデオの一部を保存する場合は、 **ビデオクリップ**、 **バックアップ機能**を使用します。



注意: USBフラッシュメモリーへ画像を保存する場合は、本NVRのUSB端子へUSBフラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能なUSBフラッシュメモリーはFAT32のフォーマット形式の総容量128GBまでのものとなっております。

8. 再生状態が表示されます。

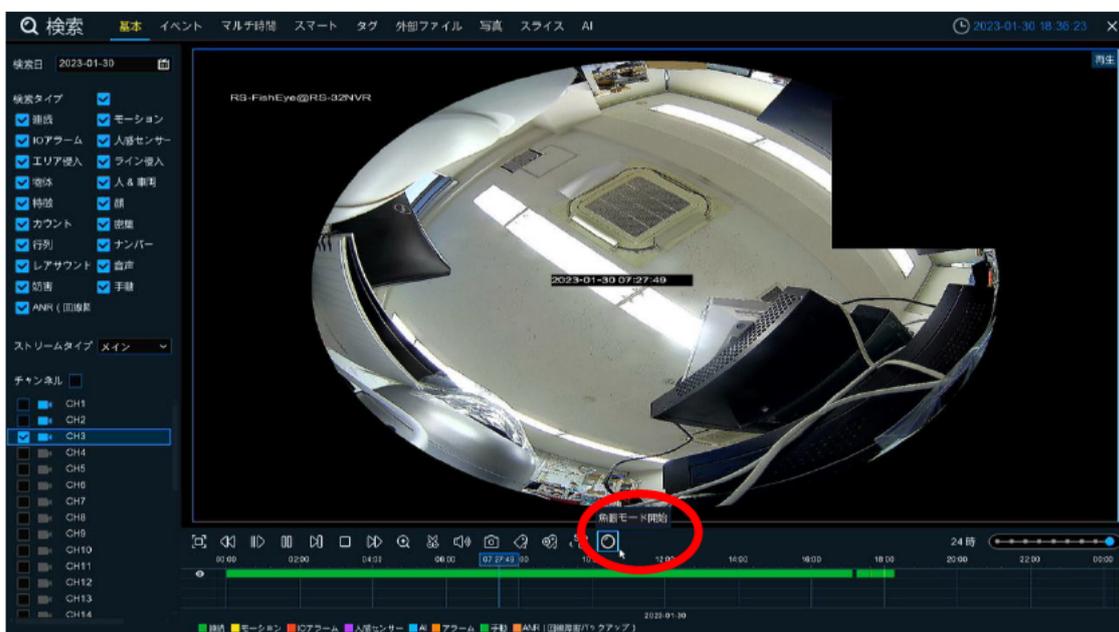
6.1.1.1 魚眼モードでの録画再生

本 NVR はフィッシュアイカメラに対応しており、魚眼モードでフィッシュアイ映像を展開表示可能です。

(録画再生画面の魚眼モード表示例)



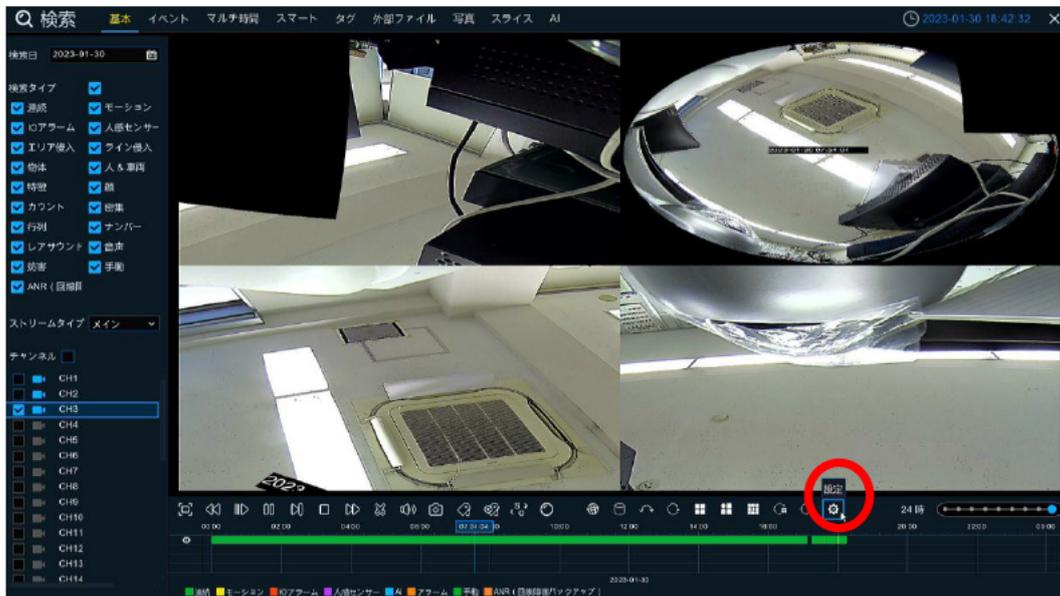
- ① フィッシュアイ IPC のチャンネルのカメラクイックツールバーから  アイコンをクリックして、魚眼モードを開始します。



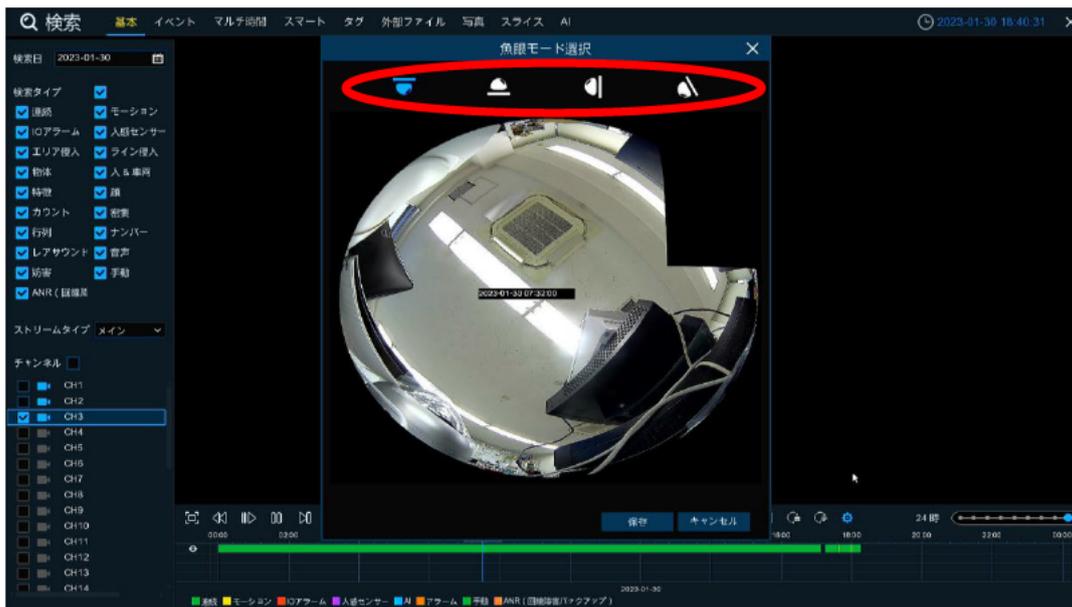
② 魚眼モードが開始されます。

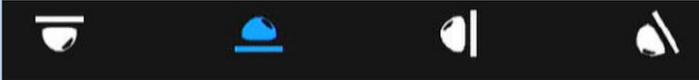


③ “設定”をクリックします。



④ 設置モードを選択して”保存”をクリックします。



魚眼モード									
設置モード									
	<p>フィッシュアイの設置状況に合わせて設置モードを選択します。</p>								
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>天井</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>デスクトップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>傾斜(チルト)</td> </tr> </table>		天井		壁		デスクトップ		傾斜(チルト)
		天井							
	壁								
	デスクトップ								
	傾斜(チルト)								

⑤ フィッシュアイ IPC 映像の展開表示方法を選択します。

フィッシュアイ ビューモード ①	
	
 (天井)  (デスクトップ)	
	VR(半円)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	シリンダ(円柱)モード。平面に延伸することができます。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	4PTZ(クワッド)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	パノラマ 180 度ビュー。2つのサブウィンドウで 360° のデュアルパノラマを構成します。開始点の左右移動(疑似パン)操作をサポートします。
 :1P	パノラマ 360 度オーバービュー。 擬似パンチルト操作をサポートしています。
 :1P+3	パノラマ 360 度オーバービュー + 3PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。
 :1P+8	パノラマ 360 度オーバービュー + 8PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。
 :1+3	魚眼 + 3PTZ ビュー。 3つのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビューではデジタルズームのみをサポートします。
 :1+8	魚眼 + 8PTZ ビュー。 8つのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビューではデジタルズームのみをサポートします。

フィッシュアイ ビューモード ②	
(壁)	傾斜(チルト)
	VR(半円)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	連続(パノラマ 360)モード。(擬似 PTZ 操作はできません)
	4PTZ(クワッド)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
:1+3	魚眼 + 3PTZ ビュー。 3つのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビューではデジタルズームのみをサポートします。
:1+8	魚眼 + 8PTZ ビュー。 8つのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビューではデジタルズームのみをサポートします。
:1P+3	パノラマ + 3PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。
:1P+8	パノラマ + 8PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。

⑥ マウスドラッグで疑似パン・疑似チルト, マウスホイールで疑似ズーム操作が可能です。



6.1.1.2 ビデオクリップのバックアップ



1. USB フラッシュメモリーを NVR の USB 端子へ挿入します。
注意: USB フラッシュメモリーへバックアップする場合は、本 NVR の USB 端子へ USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能な USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式の総容量 128GB までのものとなっております。
2. ビデオ録画を再生してバックアップ部分をご確認ください。
3. アイコンをクリックします (が アイコンへ変化します)。
4. ビデオクリップのバックアップするチャンネルへチェックを入れます。
5. ビデオクリップを開始するタイムラインにマウスカーソルを移動します。
6. マウスの左ボタンを押したまま、ビデオクリップを終了するタイムラインまでドラッグします。
7. アイコンをクリックしてビデオクリップを保存します。
8. バックアップファイルのファイルタイプを“RF”、“AVI”、“MP4”より選択後、[保存]ボタンをクリックしてビデオクリップを保存します。“チャンネル:”の欄で保存対象の CH、“サイズ:”の欄へ表示されているファイルサイズをご覧頂き、USB フラッシュメモリーにビデオクリップを保存するのに十分な容量であることをご確認ください。やり直す場合は“キャンセル”をクリック致しますと最初からやり直しが可能です。



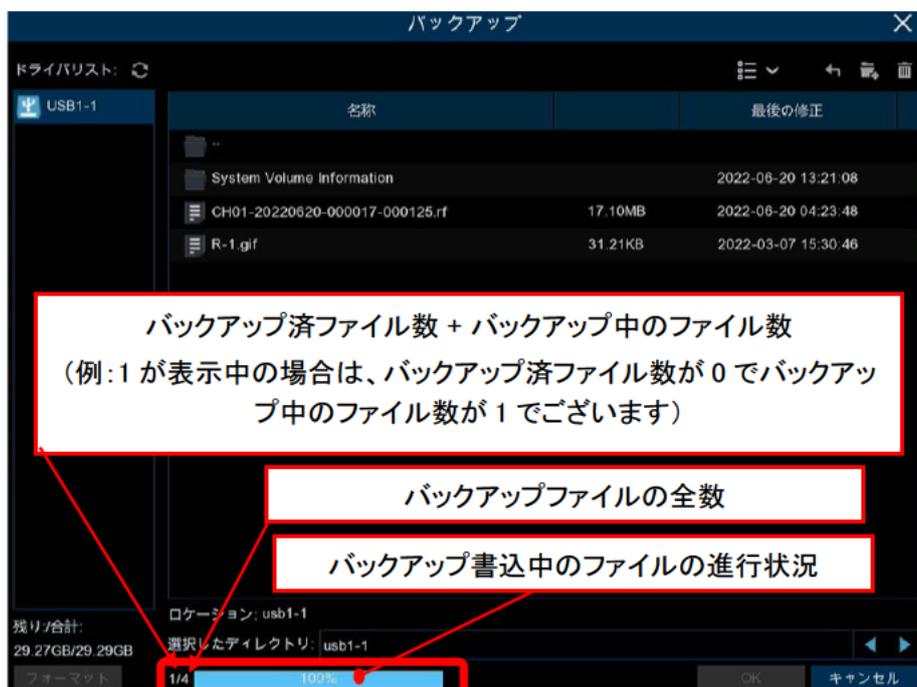
“RF”は独自の映像フォーマットとなりますので、専用の再生プレーヤ([「第 8 章 バックアップ映像をパソコンで閲覧する」](#)を御参照ください)または NVR の外部ファイル再生画面([「6.1.7 外部ファイル検索」](#)を御参照ください)での再生が可能です。

9. [保存]ボタンがクリックされると、バックアップドライブメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダへ移動してください。もしも、USB フラッシュメモリーを差し替えた等の場合はドライバリストの アイコンをクリックして表示を更新します。バックアップ画面

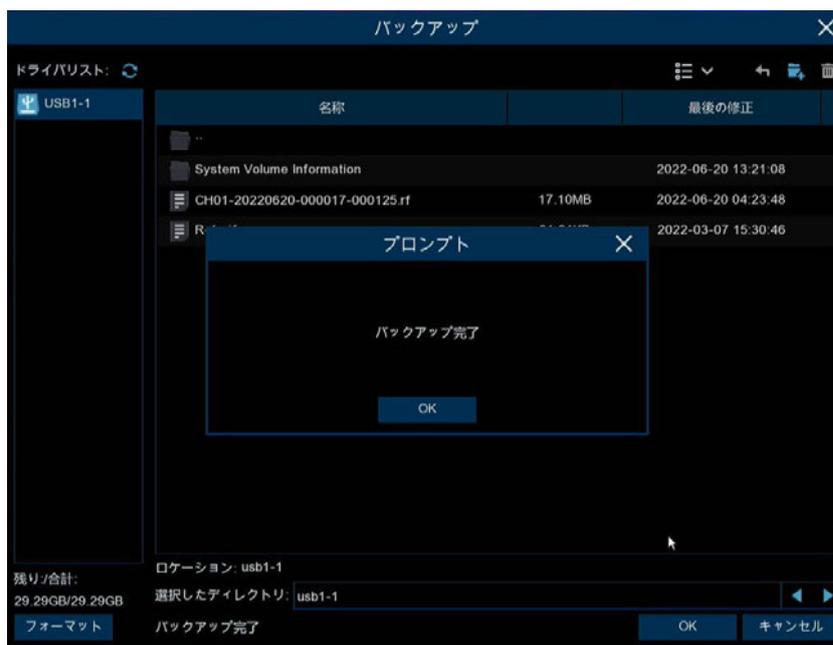
左下には表示中の USB フラッシュメモリーの現時点での“残り容量/合計容量”が表示されています。[OK] をクリックしますとバックアップが開始されます。



10. ウィンドウの下部に進行状況が表示されます。



11. バックアップが完了いたしますと“バックアップ完了”のプロンプト画面が表示されます。[OK] をクリックしてバックアップ操作を完了します。USB フラッシュメモリーを本機から取り外します。



6.1.1.2.1 フィッシュアイ映像のバックアップ

注意: フィッシュアイ映像は、“RF”映像形式でバックアップする必要があります。



1. USB フラッシュメモリーを NVR の USB 端子へ挿入します。

注意: USB フラッシュメモリーへバックアップする場合は、本 NVR の USB 端子へ USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能な USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式の総容量 128GB までのものとなっております。

2. ビデオ録画を再生してバックアップ部分をご確認ください。
3.  アイコンをクリックします( が  アイコンへ変化します)。
4. ビデオクリップのバックアップするチャンネルへチェックを入れます。
5. ビデオクリップを開始するタイムラインにマウスカーソルを移動します。
6. マウスの左ボタンを押したまま、ビデオクリップを終了するタイムラインまでドラッグします。
7.  アイコンをクリックしてビデオクリップを保存します。
8. バックアップファイルのファイルタイプに“RF”を選択して、[保存]ボタンをクリックしてビデオクリップを保存します。“チャンネル:”の欄で保存対象の CH、“サイズ:”の欄へ表示されているファイルサイズをご覧頂き、USB フラッシュメモリーにビデオクリップを保存するのに十分な容量であることをご確認ください。やり直す場合は“キャンセル”をクリック致しますと最初からやり直しが可能です。



注意: フィッシュアイ映像は、“RF”映像形式でバックアップする必要があります。

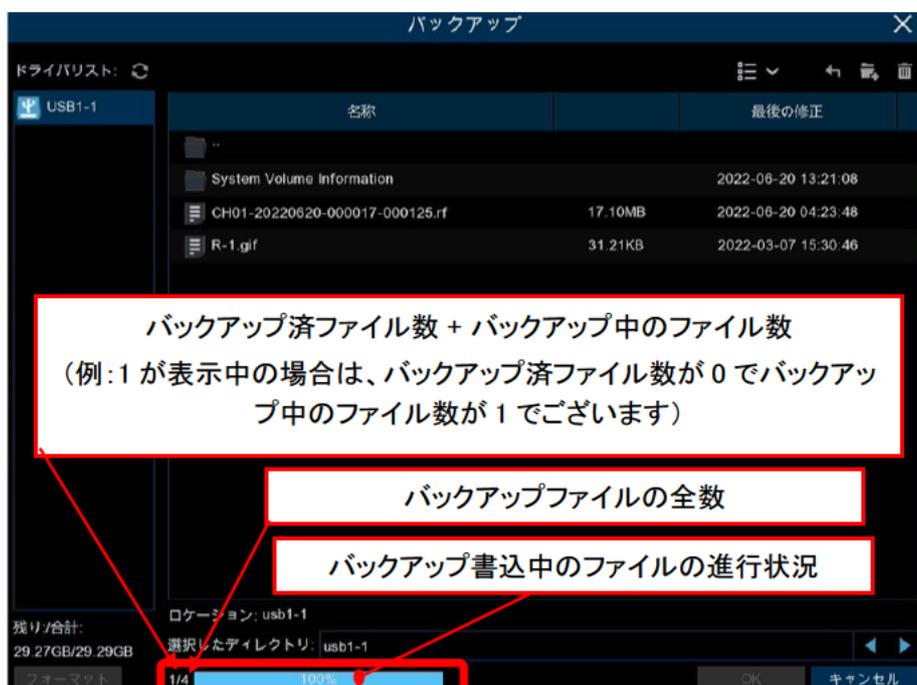
この“RF”形式のフィッシュアイ映像は PC にインストールした“VMS Pro ソフトウェア”で再生が可能です。詳しくは、[「6.1.1.1.2 バックアップしたフィッシュアイ映像の再生方法」](#)をご覧ください。

9. [保存]ボタンがクリックされると、バックアップドライブメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダへ移動してください。もしも、USB フラッシュメモリーを差し替えた

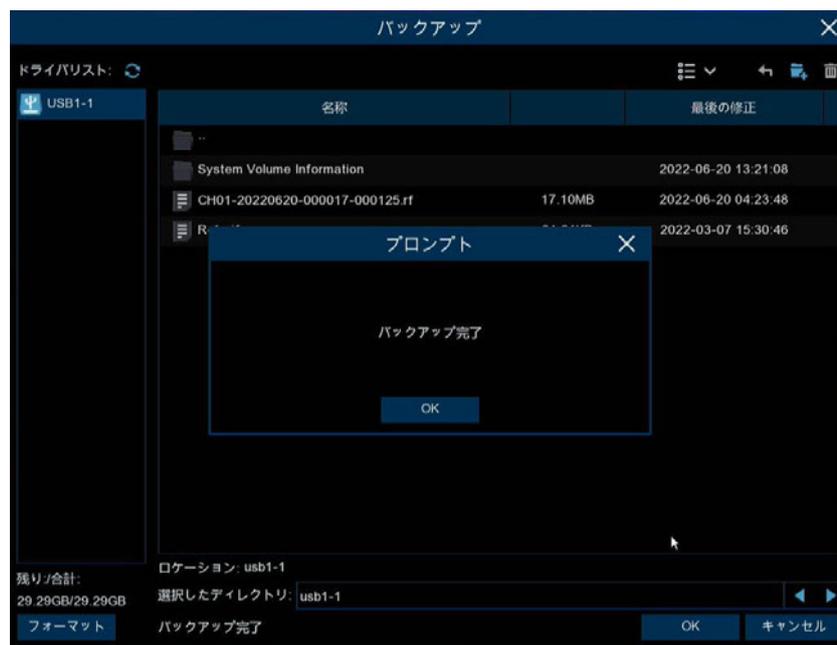
等の場合はドライバリストの  アイコンをクリックして表示を更新します。バックアップ画面左下には表示中の USB フラッシュメモリーの現時点での“残り容量/合計容量”が表示されています。[OK] をクリックしますとバックアップが開始されます。



10. ウィンドウの下部に進行状況が表示されます。



11. バックアップが完了いたしますと“バックアップ完了”のプロンプト画面が表示されます。[OK] をクリックしてバックアップ操作を完了します。USB フラッシュメモリーを本機から取り外します。

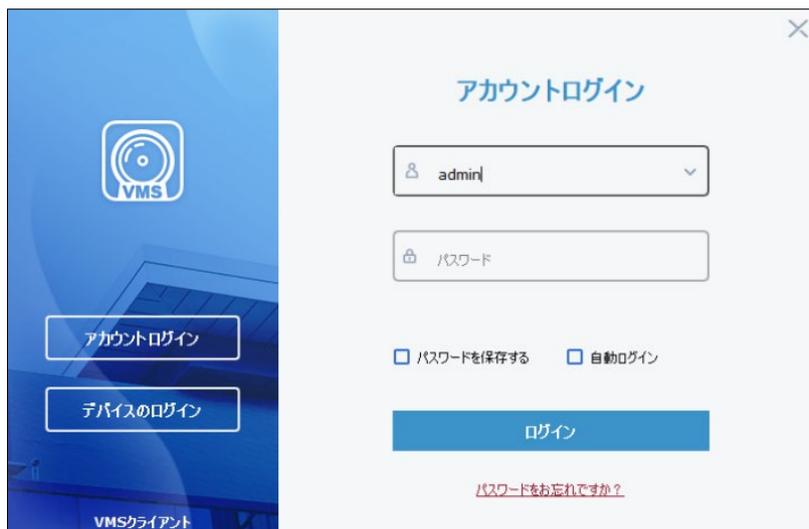


6.1.1.2.2 バックアップしたフィッシュアイ映像を PC で再生する(VMS Pro ソフトウェア)

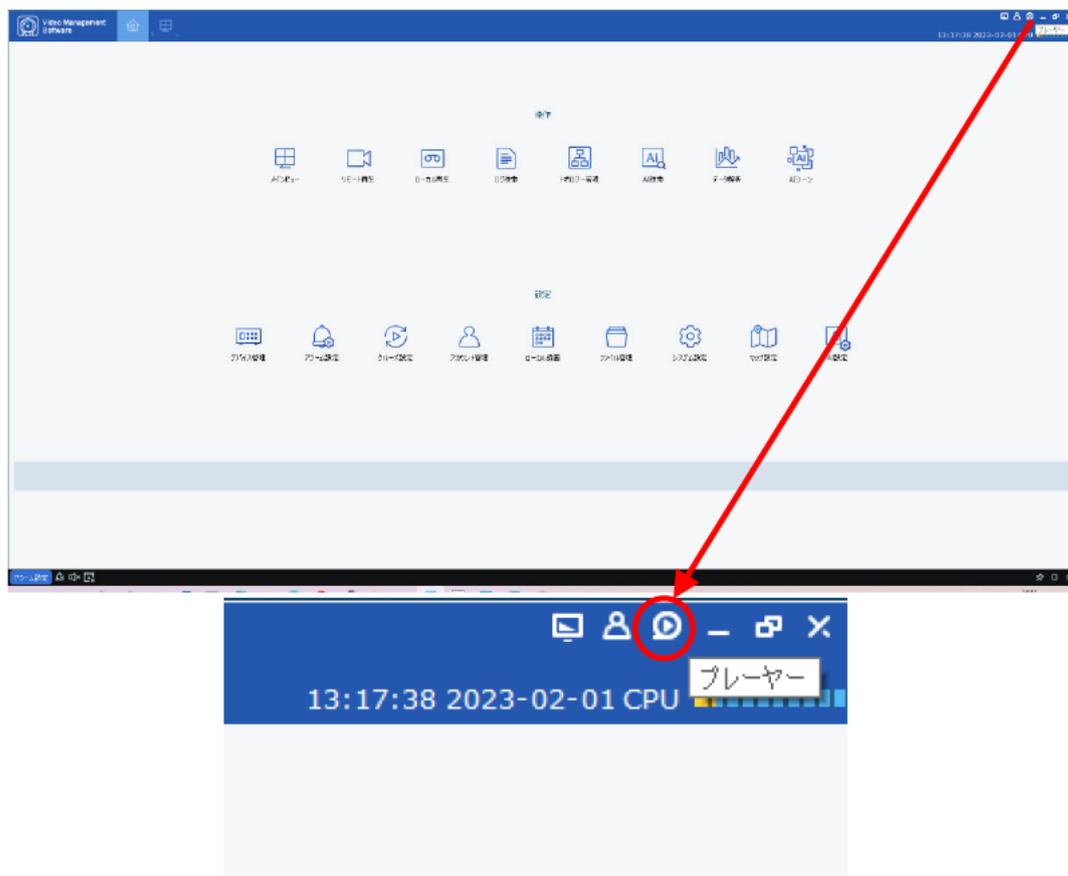
注意: フィッシュアイ映像は、“RF”映像形式でバックアップされている必要があります。

バックアップしたフィッシュアイ映像(.rf 形式ファイル)は PC にインストールした “VMS Pro ソフトウェア” に内蔵の “プレーヤー” で展開再生が可能です。

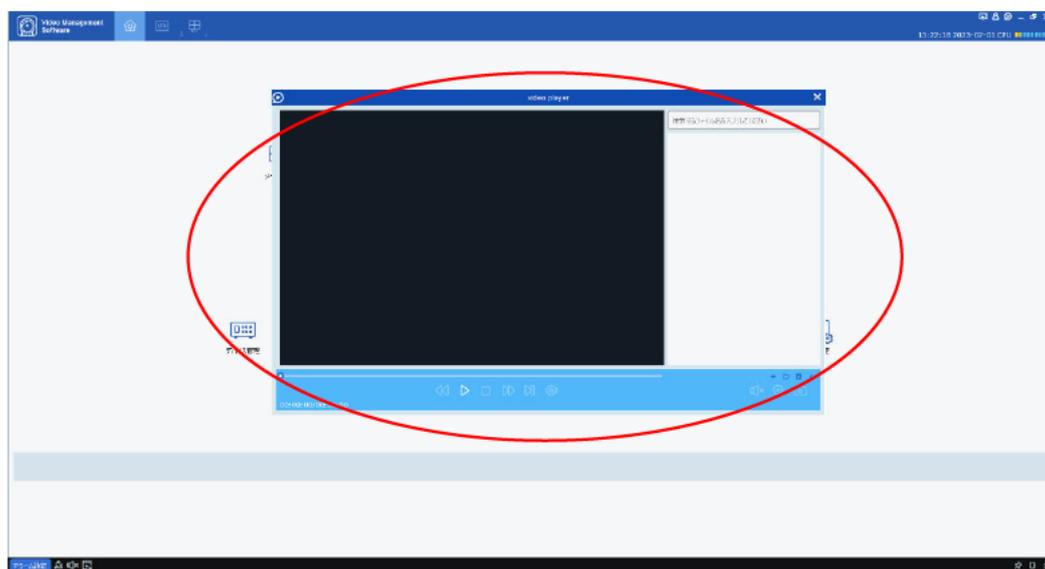
① “VMS Pro ソフトウェア”を起動して、“VMS Pro ソフトウェア”へログインします。



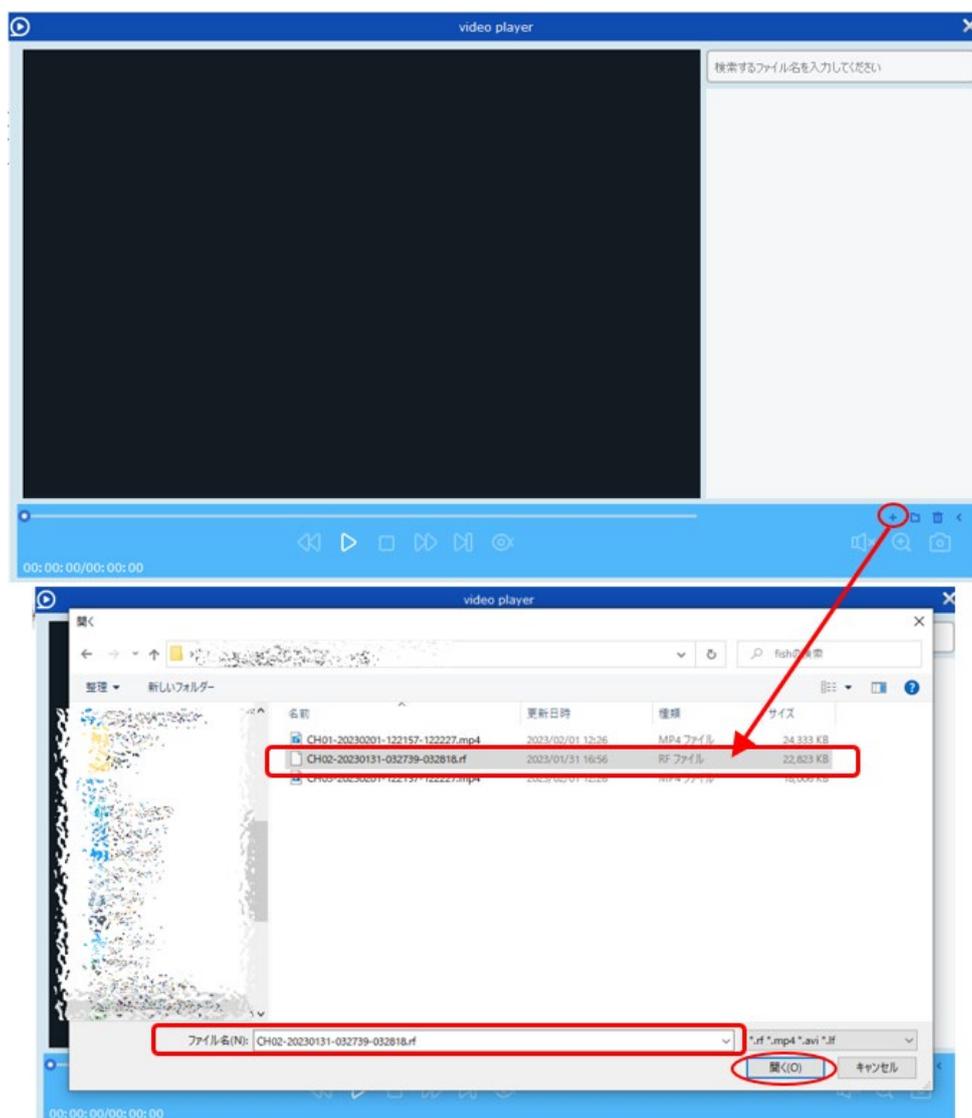
② “VMS Pro ソフトウェア”へログインしたら、ウィンドウの右上にある  “プレーヤー” アイコンをクリックします。



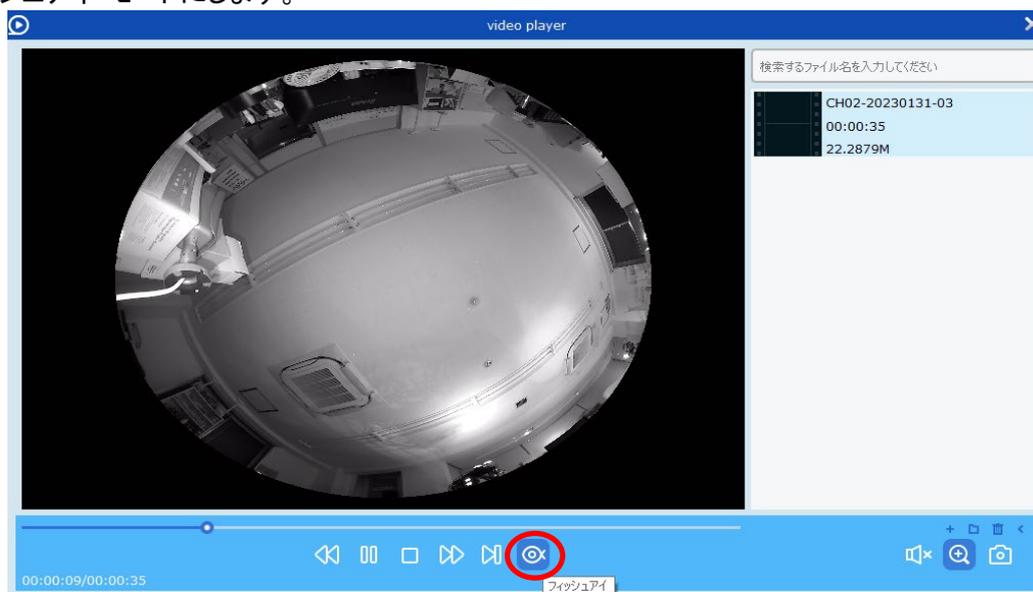
③ “video player”が開きます。



④ ウィンドウ右下の、+ アイコンをクリックして、“.flv”映像ファイルを開きます。



- ⑤ “.rf”映像ファイルを開きましたら、 “フィッシュアイ” アイコンをクリックして、“video player”を“フィッシュアイ”モードにします。





⑥ “設置モード”と“ビューモード”を選択します。映像が“設置モード”と“ビューモード”に合わせて展開表示されます。マウスドラッグで疑似パン・疑似チルト、マウスホイールで疑似ズームが可能です。



フィッシュアイ 設置モード		
設置モード		天井
		壁
		デスクトップ

		傾斜(チルト)
--	---	---------

フィッシュアイ ビューモード	
        	
	原映像モード。 (擬似 PTZ 操作はできません)
	VR(半円)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	シリンダ(円柱)モード。平面に延伸することができます。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	スプライトモード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	4PTZ(クワッド)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	パノラマ 180 度ビュー。2 つのサブウィンドウで 360° のデュアルパノラマを構成します。開始点の左右移動(擬似パン)操作をサポートします。
 :1P	パノラマ 360 度オーバービュー。 擬似パンチルト操作をサポートしています。
 :1P+1	パノラマ 360 度オーバービュー + 1PTZ ビュー。 シングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。
 :1P+3	パノラマ 360 度オーバービュー + 3PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。
 :1P+6	パノラマ 360 度オーバービュー + 6PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。
 :1P+8	パノラマ 360 度オーバービュー + 8PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしています。
 :1+8	魚眼 + 8PTZ ビュー。 8 つのシングルビューでは擬似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビューではデジタルズームのみをサポートします。

6.1.1.3 録画再生画面の手动キャプチャ(静止画バックアップ)

USB フラッシュメモリーへ手动キャプチャ(静止画バックアップ)が可能です。なお、1つのCHを1画像(1ファイル)として手动キャプチャすることはサポートしておりますが、多分割画面を1画像(1ファイル)としてキャプチャすることをサポートしておりません。



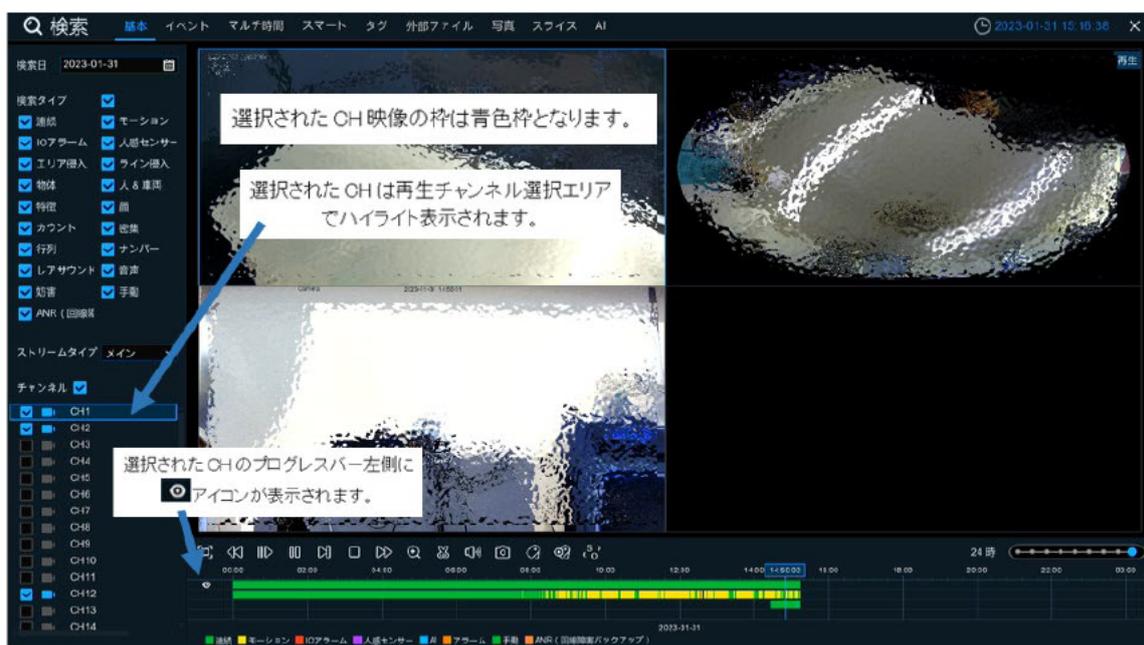
1. USB フラッシュメモリーを NVR の USB 端子へ挿入します。

注意: USB フラッシュメモリーへバックアップする場合は、本 NVR の USB 端子へ USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能な USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式の総容量 128GB までのものとなっております。

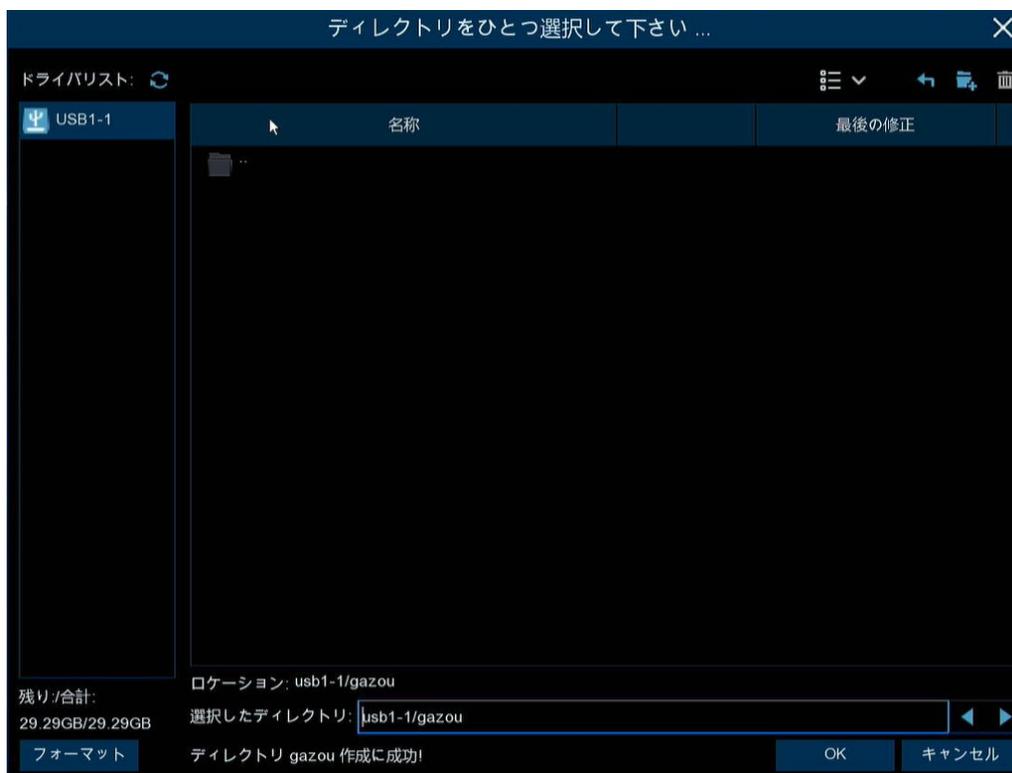
2. ビデオ録画を再生して手动キャプチャする部分を表示ください。
3. 手动キャプチャする CH が選択されていることを御確認下さい。

(ご確認方法)

- ・ご選択された CH 映像の枠は青色枠となります。
- ・ご選択された CH は再生チャンネル選択エリアでハイライト表示されます。
- ・ご選択された CH のプログレスバー左側に  アイコンが表示されます。



4.  アイコンをクリックします。保存するディレクトリのある場合は保存するディレクトリを表示させます。もしも、前回の手動キャプチャから USB フラッシュメモリーを取外していない場合はこの画面は表示されず、前回の手動キャプチャと同じ USB フラッシュメモリーの同じディレクトリへ保存が実行されます。



5. 「キャプチャ成功！」のプロンプト画面が表示されましたら、[OK]ボタンをクリックして手動キャプチャ操作を完了します。



6.1.1.3.1 フィッシュアイ映像の録画再生画面の手動キャプチャ(魚眼モードでの静止画バックアップ)

録画再生画面では USB フラッシュメモリーへフィッシュアイ映像の展開映像の手動キャプチャ(静止画バックアップ)をサポートしております。



1. USB フラッシュメモリーを NVR の USB 端子へ挿入します。

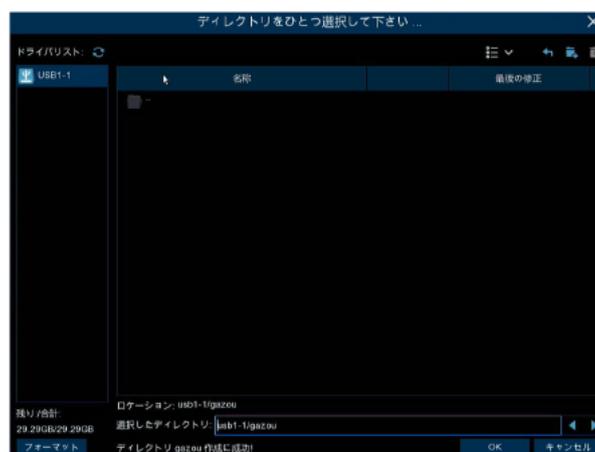
注意: USB フラッシュメモリーへバックアップする場合は、本 NVR の USB 端子へ USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能な USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式の総容量 128GB までのものとなっております。

2. ビデオ録画を魚眼モードで再生して手動キャプチャする部分を表示してください。

3. 手動キャプチャする CH が選択されていることを御確認下さい。

(ご確認方法) ご選択された CH は再生チャンネル選択エリアでハイライト表示されます。

4.  アイコンをクリックします。保存するディレクトリのある場合は保存するディレクトリを表示させます。



5. 「キャプチャ成功！」のプロンプト画面が表示されましたら、[OK]ボタンをクリックして手動キャプチャ操作を完了します。JPG で画像保存されます。



(手動キャプチャ画像例)



6.1.1.4 USB フラッシュメモリーのディレクトリ操作画面

ここでは、「[6.1.1.2 ビデオクリップのバックアップ](#)」及び「[6.1.1.3 録画再生画面の手動キャプチャ\(静止画バックアップ\)](#)」等の場合の USB フラッシュメモリーのディレクトリ操作画面についてご説明いたします。

- ・USB フラッシュメモリーを差し替えた、USB フラッシュメモリーの表示内容がうまくない等の場合は

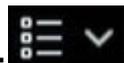
ドライバリスト:  の  アイコンをクリックして表示の更新をお試しください。

- ・USB フラッシュメモリーが認識されて USB フラッシュメモリーが選択された場合は、画面左下へ USB フラッシュメモリーの残り容量(残りの空き容量)と合計容量(総容量)が表示されます。

- ・“ロケーション”へ現在のディレクトリ位置が表示されています。

- ・“選択したディレクトリ”へ選択しているディレクトリ位置が表示されます。





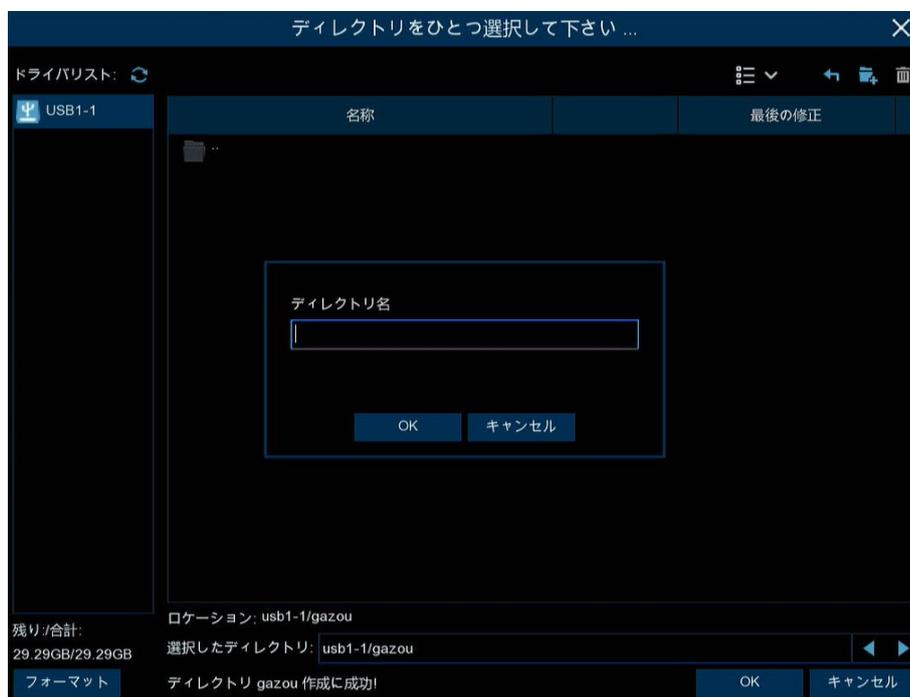
をご選択の場合はリスト表示となります。リスト表示ではそれぞれのファイルのファイル容量と最終更新日(最後の修正)の御確認が可能です。



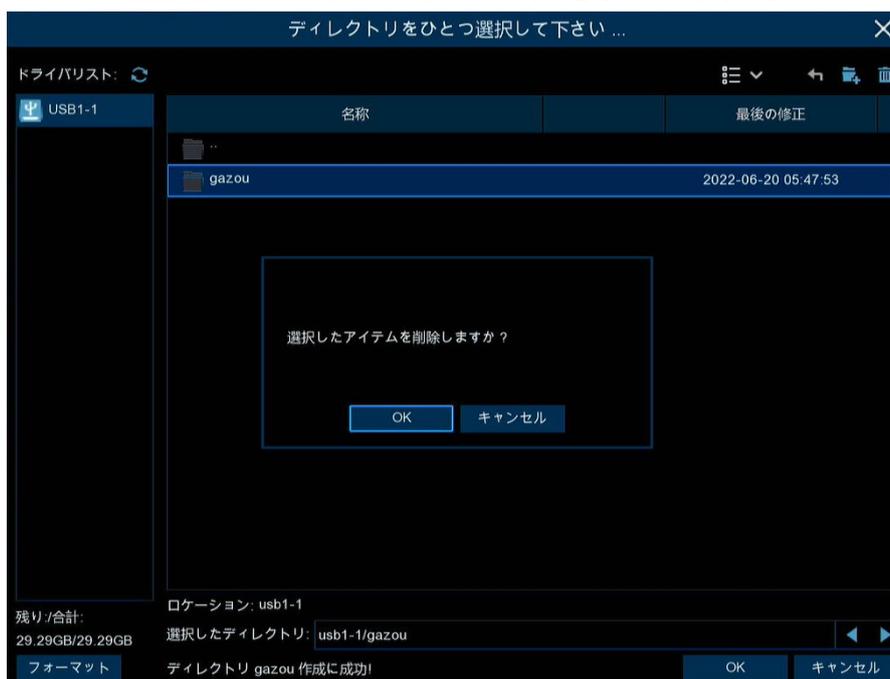
をご選択の場合はサムネイル表示となります。なお、サムネイル画像は対応画像のファイルのみ表示されます。



- ・ディレクトリの追加: 現在のディレクトリ内へ新たにディレクトリを作成する場合は、 アイコンをクリックしますとディレクトリ名を入力することでディレクトリの追加操作が可能となります。



- ・ディレクトリの削除: ディレクトリを削除するには削除するディレクトリをクリックして、対象のディレクトリをハイライト状態へした後、 アイコンをクリックします。なお、グレーアウトした  アイコンの場合は削除が実行できないことを示します。

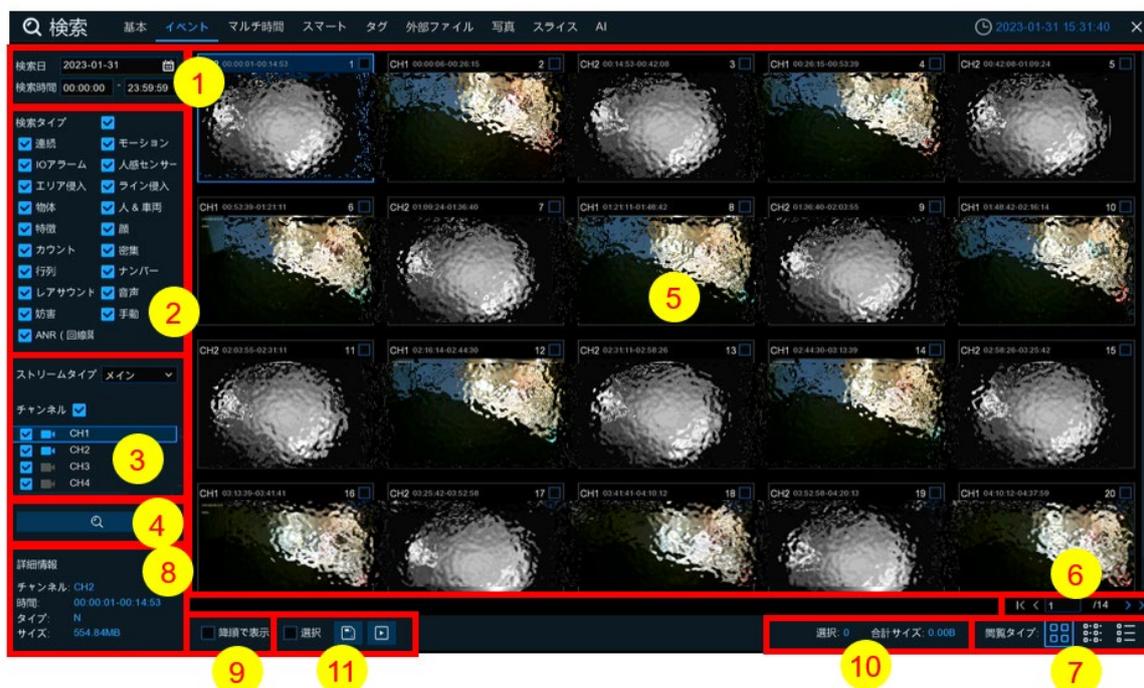


- ・ディレクトリの移動: 上の階層のディレクトリへ移動するには、 アイコンをクリックします。グレイアウトした  アイコンの場合はこれより上の階層のディレクトリへ移動できないことを示します。



6.1.2 イベント検索(再生,バックアップ,録画ファイルのロック・アンロック)

イベント検索では、チャンネル、開始時刻と終了時刻、記録の種類を簡単に要約したビデオ録画のリストを表示できます。イベント検索して USB フラッシュメモリーへデータをすばやくバックアップすることもできます。録画の上書きを禁止するために、録画ファイルをロックすることも可能です。

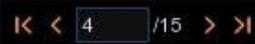


イベントを検索、再生、バックアップするには：

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. [検索タイプ]を選択します(どのトリガで録画された映像を検索するかを選択します)。検索したいトリガを個別に選択するか、[検索タイプ]右横のボックスをチェックしてすべてのトリガを選択します。
3. 検索したいストリームとチャンネルを設定します。検索したいチャンネルは個別に選択するか、[チャンネル]右横のボックスをチェックしてすべてのチャンネルを検索します。(選択可能な最大チャンネル数には制約がございます。選択可能な最大チャンネル数につきましては仕様書をご覧ください)

注意:サブストリーム録画データは、録画設定で“ストリームモード”を“デュアルストリーム”へ設定して録画を行った場合に生成されます。録画設定で“ストリームモード”を“メイン”へ設定して録画を行った場合にはサブストリーム録画データは生成されません。詳しくは、「[5.2.2.1 録画](#)」をご参照ください。

4. 🔍 ボタンをクリックして検索を開始します。
5. 検索条件に適合するイベントは、リスト形式で表示されます。いずれかのイベントでマウスの左ボタンをダブルクリックすると、すぐにビデオを再生できます。

6. メニューの右下隅にある  アイコンをクリックして、イベントのページ間を参照するか、参照するページを入力します。

7. 画面の右下隅に表示されているアイコンの下をクリックすると、リストフォームのビュー(サムネイルビュー・リストビュー・詳細ビュー)を切り替えることができます。

 サムネイルビュー: イベントのスナップショットを表示できます。



 リスト(List)ビュー: イベントが一覧に表示されます。

1 CH1 00:00:00	2 CH1 00:00:45	3 CH1 00:18:30	4 CH1 00:44:03	5 CH1 01:10:48	6 CH1 01:19:22	7 CH1 01:35:37	8 CH1 01:43:32
9 CH1 02:01:12	10 CH1 02:25:38	11 CH1 02:43:17	12 CH1 03:02:08	13 CH1 03:08:37	14 CH1 03:10:01	15 CH1 03:14:54	16 CH1 03:42:12
17 CH1 04:07:23	18 CH1 04:19:35	19 CH1 04:36:40	20 CH1 05:00:20	21 CH1 05:24:12	22 CH1 05:45:55	23 CH1 06:04:07	24 CH1 06:14:27
25 CH1 06:41:12	26 CH1 06:44:25	27 CH1 07:01:42	28 CH1 07:20:43	29 CH1 07:31:23	30 CH1 07:48:04	31 CH1 08:17:33	32 CH1 08:40:16
33 CH1 08:50:34	34 CH1 09:07:05	35 CH1 09:25:12	36 CH1 09:44:07	37 CH1 09:46:08	38 CH1 10:00:52	39 CH1 10:14:18	40 CH1 10:34:42
41 CH1 10:45:57	42 CH1 11:12:48	43 CH1 11:20:27	44 CH1 11:48:18	45 CH1 12:07:25	46 CH1 12:30:12	47 CH1 12:44:43	48 CH1 12:55:49
49 CH1 13:06:48	50 CH1 13:30:46	51 CH1 13:37:51	52 CH1 13:57:01	53 CH1 14:10:24	54 CH1 14:11:16	55 CH1 14:18:12	56 CH1 14:36:25
57 CH1 14:40:31	58 CH1 14:44:42	59 CH1 14:48:38	60 CH1 15:15:44	61 CH1 15:39:06	62 CH1 16:01:07	63 CH1 16:16:00	64 CH1 16:24:41
65 CH1 16:27:29	66 CH1 16:43:47	67 CH1 16:45:43	68 CH1 17:01:14	69 CH1 17:05:03	70 CH1 17:28:30	71 CH1 17:54:23	72 CH1 18:08:49
73 CH1 18:36:07	74 CH1 18:44:14	75 CH1 18:57:14	76 CH1 19:07:37	77 CH1 19:12:12	78 CH1 19:36:50	79 CH1 19:50:34	80 CH1 20:01:42
81 CH1 20:25:40	82 CH1 20:34:32	83 CH1 20:49:48	84 CH1 21:04:51	85 CH1 21:21:09	86 CH1 21:42:12	87 CH1 21:47:36	88 CH1 22:02:49
89 CH1 22:29:59	90 CH1 22:39:14	91 CH1 22:54:42	92 CH1 22:57:45	93 CH1 23:08:03	94 CH1 23:22:59	95 CH1 23:35:50	

 詳細(Detail)ビュー: イベントの詳細を表示できます。

	チャンネル	タイプ	日付	開始時間	終了時間	サイズ	録画再生	ロック
1	CH1	N	2022-05-31	02:39:15	03:01:00	16MB		
2	CH1	SMN	2022-05-31	03:00:57	03:01:31	440KB		
3	CH1	SMN	2022-05-31	03:01:29	03:02:02	424KB		
4	CH1	SN	2022-05-31	03:01:59	03:04:23	2MB		
5	CH1	SMN	2022-05-31	03:04:20	03:04:54	436KB		
6	CH1	SN	2022-05-31	03:04:51	03:06:41	1MB		
7	CH1	SN	2022-05-31	03:06:38	03:11:31	4MB		

<ファイルのロック>

詳細ビューでは、ビデオイベントをロックして、ハードドライブでイベントが上書きされないようにすることができます。 アイコンをクリックしてロックするか、または、 アイコンをクリックしてイベントのロックを解除します。

注意: ハードドライブで上書きしたくないデータがロック状態()であることをご確認ください。

8. イベントの左下隅でマウスの左ボタンをクリックすると、システムは画面の左下隅にイベント情報を表示します。“タイプ”はトリガの種類を示します。

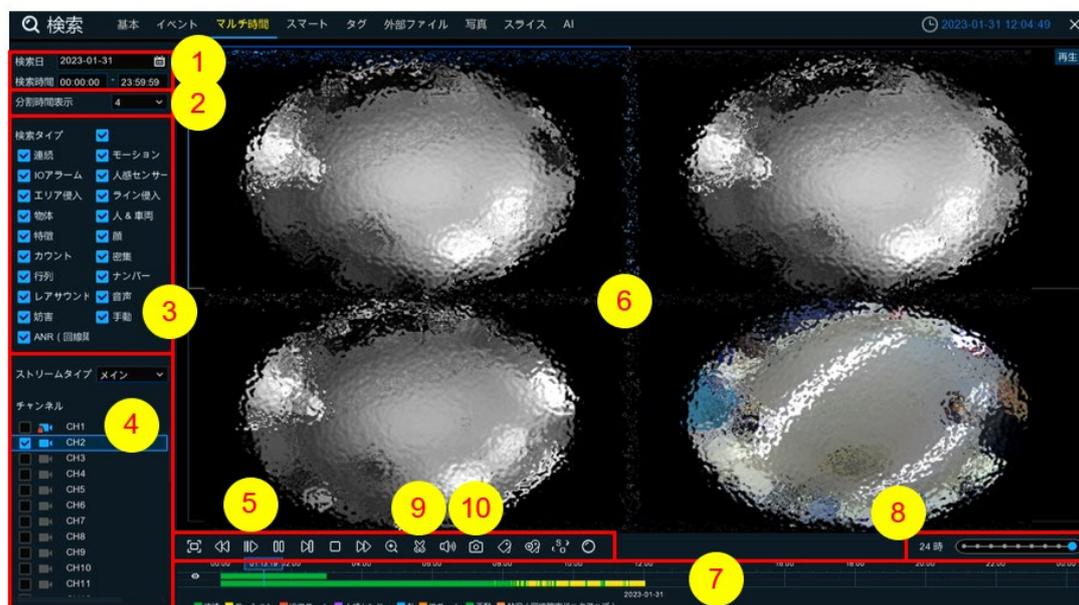
トリガ(イベント)略記 一覧表					
連続	N	手動	C	モーション	M
IO アラーム	I	音声	S	エリア侵入	S
カウント	S	物体	S	ライン侵入	S
人&車両	S	特徴	S	顔	S
密集	S	行列	S	ナンバー	S
妨害	S	レアサウンド (異常音)	S	ANR(回線障害パッ クアップ)	A

9. イベントの番号の横にあるチェックボックスをオンにしてファイルを個別に選択、または、[選択]の横にあるチェックボックスをオンにしてページ内のすべてのイベントを選択します。
10. 選択したファイルの数、合計サイズ情報が画面右下に表示されます。
11. ファイルを選択した後、アイコンをクリックすると USB フラッシュメモリーへビデオを保存することができます。または、イベント再生コントロールウィンドウの アイコンをクリックしますとビデオを再生します。

注意: USB フラッシュメモリーへ画像を保存する場合は、本 NVR の USB 端子へ USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能な USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式の総容量 128GB までのものとなっております。

6.1.3 マルチ時間再生

マルチ時間再生では、1つのチャンネルから複数の通常の録画とモーションイベントを同時に再生できます。通常とイベントの録画では、選択した分割画面モードに応じてビデオが均等に分割されます。たとえば、1時間の長さのビデオを分割画面 x 4 に選択した場合、各分割画面は 15 分間再生されます。



マルチ時間再生で動画を検索して再生するには：

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 動画を再生する分割画面を選択します。
3. **[検索タイプ]**を選択します(どのトリガで録画された映像を検索するかを選択します)。検索したいトリガを個別に選択するか、**[検索タイプ]右横**のボックスをチェックしてすべてのチャンネルを検索します。
4. 検索したいストリームとチャンネルを設定します。この機能は、一度に1つのチャンネルを検索して再生することしかサポートしませんのでご注意ください。

注意:サブストリーム録画データは、録画設定で“ストリームモード”を“デュアルストリーム”へ設定して録画を行った場合に生成されます。録画設定で“ストリームモード”を“メイン”へ設定して録画を行った場合にはサブストリーム録画データは生成されません。詳しくは、[「5.2.2.1 録画」](#)をご参照ください。

5. 再生ボタンをクリックして再生を開始します。録画再生コントロールのボタンで再生を制御します。詳しくは、[「6.1 検索機能の使用」の“ビデオ再生コントロール 一覧表”](#)をご覧ください。
 アイコンをクリック又はマウスの右ボタンをクリックして再生を終了し、イベント検索画面に戻ることができます。
6. ビデオは分割画面で再生されています。

7. 特定の分割画面でマウスの左ボタンをクリックすると、ビデオの分割画面の期間がタイムラインに表示されます。タイムラインの上部にあるカラーバーは、クリックしたビデオの分割画面の期間を示します。タイムラインの下部にあるカラーバーは、検索したビデオ全体の期間を示します。プログレスバー上ではマウスホイール操作でプログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です。



8.  でプログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。又は、プログレスバー上のマウスホイール操作でも時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。

9. USBフラッシュメモリーに再生中にビデオの一部をすばやく保存する場合は、

 [ビデオクリップ](#)、 [バックアップ機能](#)を使用します。詳しくは、[「6.1.1.2 ビデオクリップのバックアップ」](#)をご参照ください。

10. USBフラッシュメモリーへ選択しているCHの手動キャプチャを保存するには  アイコンをクリックします。保存するディレクトリのある場合は保存するディレクトリを表示させます。もしも、前回の手動キャプチャからUSBフラッシュメモリーを外していない場合はこの画面は表示されず、前回の手動キャプチャと同じUSBフラッシュメモリーの同じディレクトリへ保存が実行されます。詳しくは、[「6.1.1.3 録画再生画面の手動キャプチャ\(静止画バックアップ\)」](#)をご参照ください。

注意: USBフラッシュメモリーへデータを保存する場合は、本NVRのUSB端子へUSBフラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能なUSBフラッシュメモリーはFAT32のフォーマット形式の総容量128GBまでのものとなっております。

6.1.3.1 イベント検索の検索画面と再生コントロール画面



1. “タイプ”でトリガの種類を確認できます。

トリガ(イベント)略記 一覧表					
連続	N	手動	C	モーション	M
IO アラーム	I	音声	S	エリア侵入	S
カウント	S	物体	S	ライン侵入	S
人&車両	S	特徴	S	顔	S
密集	S	行列	S	ナンバー	S
妨害	S	レアサウンド (異常音)	S	ANR(回線障害バックアップ)	A

USB フラッシュメモリーに保存するビデオにはそのビデオの左側のボックスをチェックします。画面中央下付近へ“選択”したファイル数とバックアップファイルの“総サイズ”が表示されます。

2. 再生したいビデオをクリックして選択し アイコンをクリック、または、ビデオを直接ダブルクリックすると選択したビデオの録画再生が開始されます。

USB フラッシュメモリーに保存する場合は、ビデオリスト左側のボックスをチェックします。画面中央下付近へ“選択”したファイル数とバックアップファイルの“総サイズ”が表示されます。選択したイベントのビデオは アイコンをクリックしてバックアップを実行します。

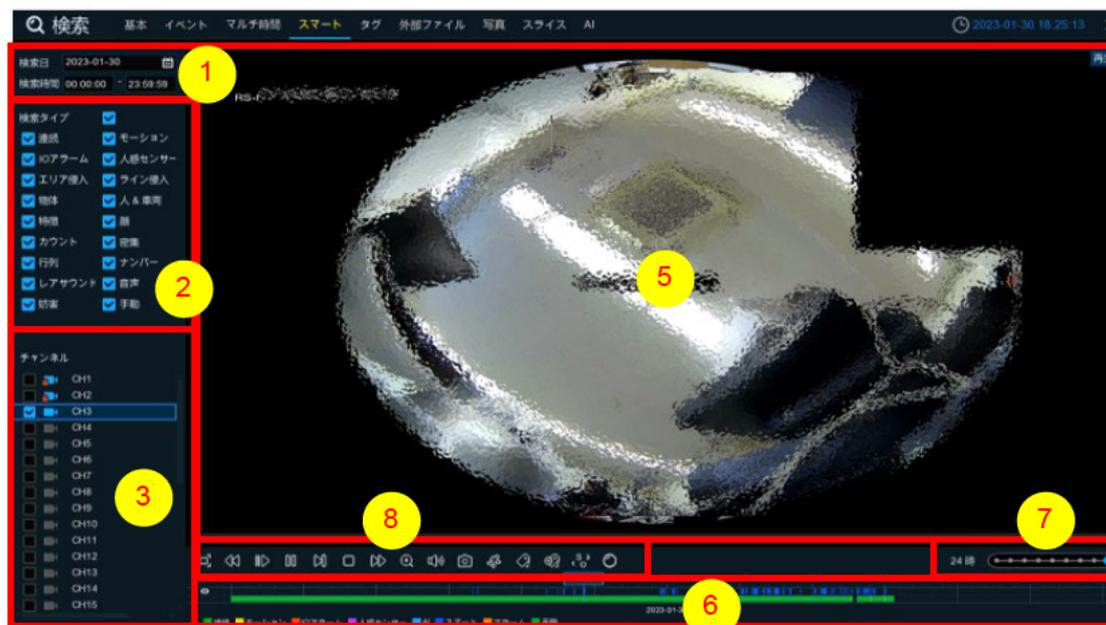
注意: USB フラッシュメモリーへバックアップする場合は、本 NVR の USB 端子へ USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能な USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式の総容量 128GB までのものとなっております。

3. 録画再生コントロールのボタンで再生を制御します。詳しくは、「[6.1 検索機能の使用](#)」の「[ビデオ再生コントロール 一覧表](#)」をご覧ください。 アイコンをクリック又はマウスの右ボタンをクリックして再生を終了し、イベント検索画面に戻ることができます。
4. 現在再生しているイベントがタイムラインに表示されます。プログレスバー上でのマウスホイール操作でプログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です。

5.  でプログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。又は、プログレスバー上のマウスホイール操作でも時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。

6.1.4 スマート検索と再生

スマート検索では、チャンネルの1つまたは複数の特定の領域でモーションイベントを簡単に検索して再生できます。なお、スマート検索では映像のバックアップは行えません。



スマート検索と再生を開始するには:

1. 検索する日付と時刻期間を選択します。
2. [検索タイプ]を選択します(どのトリガで録画された映像を検索するかを選択します)。検索したいトリガを個別に選択するか、[検索タイプ]右横のボックスをチェックしてすべてのチャンネルを検索します。
3. 検索したいストリームとチャンネルを設定します。この機能は、一度に1つのチャンネルを検索して再生することしかサポートしませんのでご注意ください。

注意: サブストリーム録画データは、録画設定で“ストリームモード”を“デュアルストリーム”へ設定して録画を行った場合に生成されます。録画設定で“ストリームモード”を“メイン”へ設定して録画を行った場合にはサブストリーム録画データは生成されません。詳しくは、[「5.2.2.1 録画」](#)をご参照ください。

4. 再生ボタンをクリックして再生を開始します。録画再生コントロールのボタンで再生を制御します。詳しくは、[「6.1 検索機能の使用」](#)の“[ビデオ再生コントロール 一覧表](#)”をご覧ください。↶アイコンをクリック又はマウスの右ボタンをクリックして再生を終了し、イベント検索画面に戻ることができます。

再生コントロール:

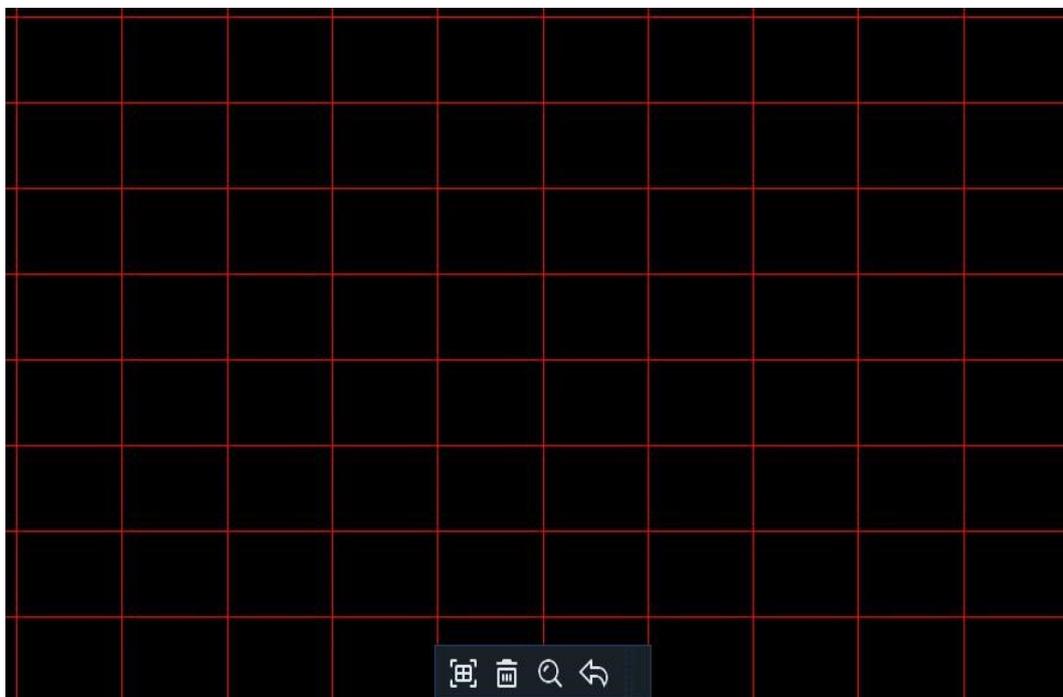
5. ビデオが画面で再生されます。
6. タイムラインの上部にあるカラーバーは、検索したモーション録画の期間を示します。タイムラインの下部にあるカラーバーは、指定した録画全体の完全な期間を示します。プログレスバー上でのマウスホイール操作でプログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です。



7.  でプログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。又は、プログレスバー上のマウスホイール操作でも時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。
8. USB フラッシュメモリーへ選択している CH の手動キャプチャを保存するには  アイコンをクリックします。保存するディレクトリのある場合は保存するディレクトリを表示させます。もしも、前回の手動キャプチャから USB フラッシュメモリーを取出していない場合はこの画面は表示されず、前回の手動キャプチャと同じ USB フラッシュメモリーの同じディレクトリへ保存が実行されます。詳しくは、[「6.1.1.3 録画再生画面の手動キャプチャ\(静止画バックアップ\)」](#)をご参照ください。

6.1.4.1 スマート検索エリア

スマート検索では、チャンネルの1つまたは複数の特定の領域でモーションイベントを簡単に検索して再生できます。**ビデオ再生コントロール**でこの  アイコンをクリックすると、カメラが全画面表示され、スマートコントロールバーが表示されます。検索結果の USB フラッシュメモリーへの CSV 保存をサポートしております。



スマートコントロールバー: コントロールバーの端をドラッグしますと、コントロールバーの位置を変更できます。



全画面を検出領域とするには、このアイコンをクリックします。



このアイコンをクリックすると、検出領域を全削除します。



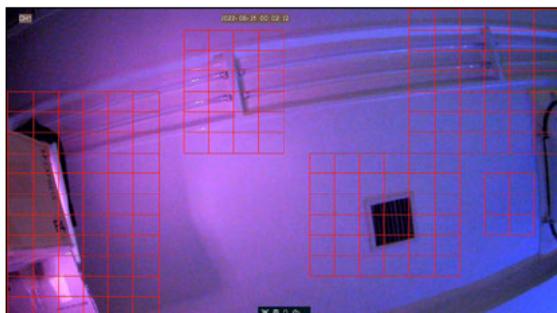
このアイコンをクリックすると、定義された領域に基づいてビデオを検索および再生できます。



再生インターフェイスに戻るには、このアイコンをクリックします。

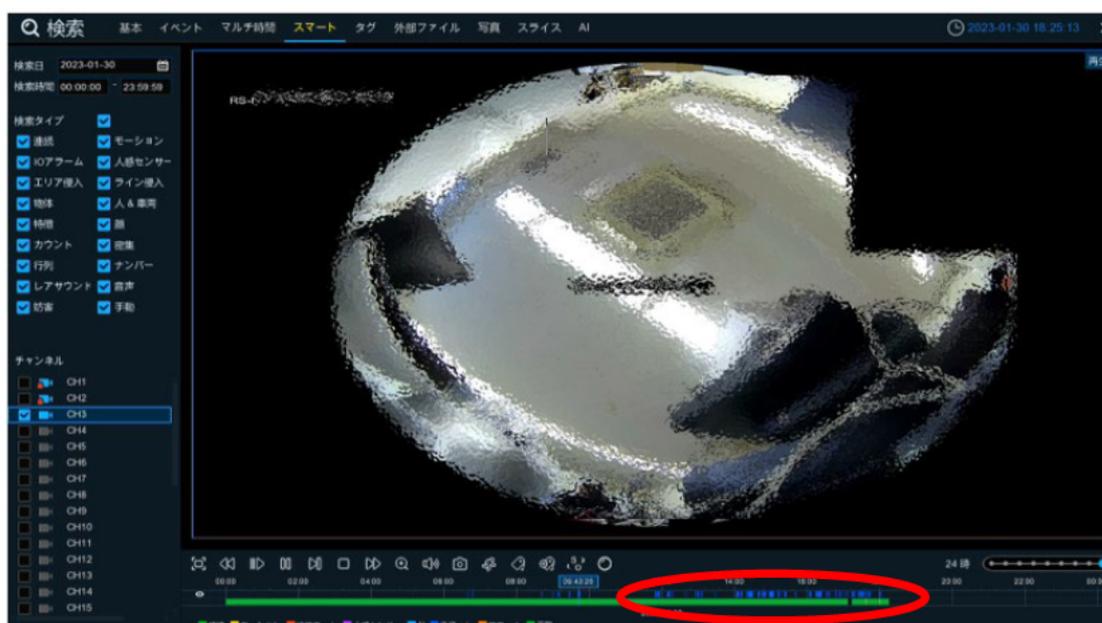
検出領域を設定してスマート検索を行う場合:

1. 映像画面上でクリック&ドラッグして検出領域を設定します。赤枠部分が検出領域となります。複数の検出領域を定義できます。設定した検出領域を再度クリック&ドラッグしますと検出領域のキャンセルが可能です。完全に検出領域を削除する場合は、 アイコンをクリックします。検出領域を設定致しましたら、 検索アイコンをクリックしてスマート検索再生を実行します。



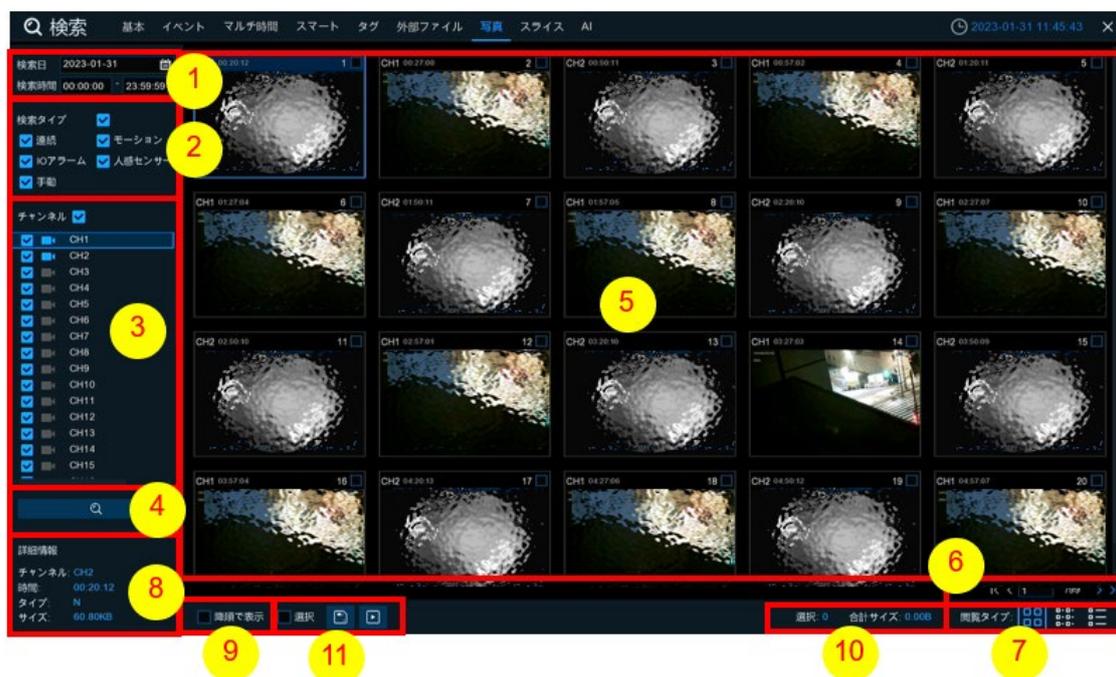
(複数の検出領域を設定した例)

2. 検索アイコンをクリックしてスマート検索再生を実行しますと、スマート検索再生画面へ戻ります。検索条件に一致するセグメントは、タイムライン上に青色で表示されます。



6.1.5 画像検索

この機能を使用して、スナップショットの検索、再生、バックアップを行うことができます。



注意: 検索結果は一度に 5000 枚を超える検索結果を表示できません。5000 枚を超える検索結果の場合は検索時間の期間条件等を見直してご利用ください。



画像を検索、再生、バックアップするには:

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. **[検索タイプ]**を選択します(どのトリガで録画された映像を検索するかを選択します)。検索したいトリガを個別に選択するか、**[検索タイプ]**右横のボックスをチェックしてすべてのチャンネルを検索します。
3. 検索したいストリームとチャンネルを設定します。検索したいチャンネルは個別に選択するか、**[チャンネル]**右横のボックスをチェックしてすべてのチャンネルを検索します。

注意: 画像の画質及び解像度についてはキャプチャされた際の設定により決定されます。詳しくは [「5.2.3 キャプチャ」](#)をご参照ください。

4.  ボタンをクリックして検索を開始します。
5. 検索条件に合致する画像がリスト形式で表示されます。画像の 1 つをダブルクリックすると、大きな画像が表示されます。
6. メニューの右下隅にある  アイコンをクリックして、画像のページ間を参照するか、参照するページを入力します。
7. 画面の右下隅に表示されているアイコンの下をクリックすると、リストフォームのビュー(サムネイルビュー・リストビュー・詳細ビュー)を切り替えることができます。

 サムネイルビュー: イベントのスナップショットを表示できます。



 リスト(List)ビュー: イベントが一覧に表示されます。

<input type="checkbox"/> 1 CH1 00:00:00	<input type="checkbox"/> 2 CH1 00:00:45	<input type="checkbox"/> 3 CH1 00:19:30	<input type="checkbox"/> 4 CH1 00:44:03	<input type="checkbox"/> 5 CH1 01:10:48	<input type="checkbox"/> 6 CH1 01:19:22	<input type="checkbox"/> 7 CH1 01:35:07
<input type="checkbox"/> 9 CH1 02:01:12	<input type="checkbox"/> 10 CH1 02:25:38	<input type="checkbox"/> 11 CH1 02:43:17	<input type="checkbox"/> 12 CH1 03:02:06	<input type="checkbox"/> 13 CH1 03:08:37	<input type="checkbox"/> 14 CH1 03:10:01	<input type="checkbox"/> 15 CH1 03:14:54
<input type="checkbox"/> 17 CH1 04:07:23	<input type="checkbox"/> 18 CH1 04:19:35	<input type="checkbox"/> 19 CH1 04:35:40	<input type="checkbox"/> 20 CH1 05:00:20	<input type="checkbox"/> 21 CH1 05:24:12	<input type="checkbox"/> 22 CH1 05:45:55	<input type="checkbox"/> 23 CH1 06:04:07
<input type="checkbox"/> 25 CH1 06:41:12	<input type="checkbox"/> 26 CH1 06:44:25	<input type="checkbox"/> 27 CH1 07:01:42	<input type="checkbox"/> 28 CH1 07:20:43	<input type="checkbox"/> 29 CH1 07:31:23	<input type="checkbox"/> 30 CH1 07:48:04	<input type="checkbox"/> 31 CH1 08:17:33
<input type="checkbox"/> 33 CH1 08:50:31	<input type="checkbox"/> 34 CH1 09:07:05	<input type="checkbox"/> 35 CH1 09:25:12	<input type="checkbox"/> 36 CH1 09:44:07	<input type="checkbox"/> 37 CH1 09:46:08	<input type="checkbox"/> 38 CH1 10:00:52	<input type="checkbox"/> 39 CH1 10:14:18
<input type="checkbox"/> 41 CH1 10:45:57	<input type="checkbox"/> 42 CH1 11:12:48	<input type="checkbox"/> 43 CH1 11:20:27	<input type="checkbox"/> 44 CH1 11:48:18	<input type="checkbox"/> 45 CH1 12:07:25	<input type="checkbox"/> 46 CH1 12:30:12	<input type="checkbox"/> 47 CH1 12:44:43
<input type="checkbox"/> 49 CH1 13:06:48	<input type="checkbox"/> 50 CH1 13:30:46	<input type="checkbox"/> 51 CH1 13:37:31	<input type="checkbox"/> 52 CH1 13:57:01	<input type="checkbox"/> 53 CH1 14:10:24	<input type="checkbox"/> 54 CH1 14:11:15	<input type="checkbox"/> 55 CH1 14:18:12
<input type="checkbox"/> 57 CH1 14:40:31	<input type="checkbox"/> 58 CH1 14:44:42	<input type="checkbox"/> 59 CH1 14:49:38	<input type="checkbox"/> 60 CH1 15:15:44	<input type="checkbox"/> 61 CH1 15:30:06	<input type="checkbox"/> 62 CH1 16:01:07	<input type="checkbox"/> 63 CH1 16:16:00

 詳細(Detail)ビュー: イベントの詳細を表示できます。

	チャンネル	タイプ	日付	時間	サイズ	録画再生
<input type="checkbox"/> 1	CH2	N	2023-01-31	00:20:12	60.80KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 2	CH1	N	2023-01-31	00:27:00	183.80KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 3	CH2	N	2023-01-31	00:50:11	60.71KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 4	CH1	N	2023-01-31	00:57:02	183.54KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 5	CH2	N	2023-01-31	01:20:11	60.66KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 6	CH1	N	2023-01-31	01:27:04	187.05KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 7	CH2	N	2023-01-31	01:50:11	60.73KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 8	CH1	N	2023-01-31	01:57:05	186.92KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 9	CH2	N	2023-01-31	02:20:10	60.65KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 10	CH1	N	2023-01-31	02:27:07	187.29KB	<input type="checkbox"/>

8. 画像をクリックすると画面の左下隅に画像情報が表示されます。“タイプ”でトリガの種類を確認できます。

略記	タイプ	トリガの種類	略記	トリガの種類	略記
連続	N	手動	C	モーション	M
IO アラーム	I	音声	S	エリア侵入	S
カウント	S	物体	S	ライン侵入	S
人&車両	S	特徴	S	顔	S
密集	S	行列	S	ナンバー	S
妨害	S	レアサウンド (異常音)	S	ANR(回線障害バックアップ)	A

9. 降順で表示 をチェックしますと最新順で検索結果が並べ替えられます。

10. チェックされているファイルの数、合計サイズ情報が画面右下に表示されます。

11. 検索画像の USB フラッシュメモリーへのバックアップが可能です。イベントの番号の横にあるチェックボックスへチェックしてファイルを個別に選択、あるいは、画面下部の[選択]チェックボックスをチェックしてページ内のすべての画像を選択可能です。

選択したファイルを USB フラッシュメモリーへ保存を行うにはファイル選択後に  ボタンをクリックします。“バックアップ”画面が表示されますのでバックアップ先を指定後、[OK]をクリックしてバックアップを実行します。



バックアップ処理が完了いたしますと、“バックアップ完了”プロンプト画面が表示されます。[OK]をクリックしてバックアップ処理を完了します。



注意: USB フラッシュメモリーへ画像を保存する場合は、本 NVR の USB 端子へ USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能な USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式の総容量 128GB までのものとなっております。

スライドショー機能につきましては、[「6.1.5.1 画像プレビューコントロール\(検索画像のスライドショー\)」](#)をご参照ください。

 アイコンをクリックしますと、ハイライトされた画像から検索結果画像のスライドショーが開始されます。スライドショー実行中に  アイコンをクリックしますとスライドショーが一時停止されます。  アイコンをクリックしますとスライドショーを再開致します。  アイコンをクリックしますと

現在表示中画像の1つ次の画像、 アイコンをクリックしますと現在表示中画像の1つ前の画像を表示できます。



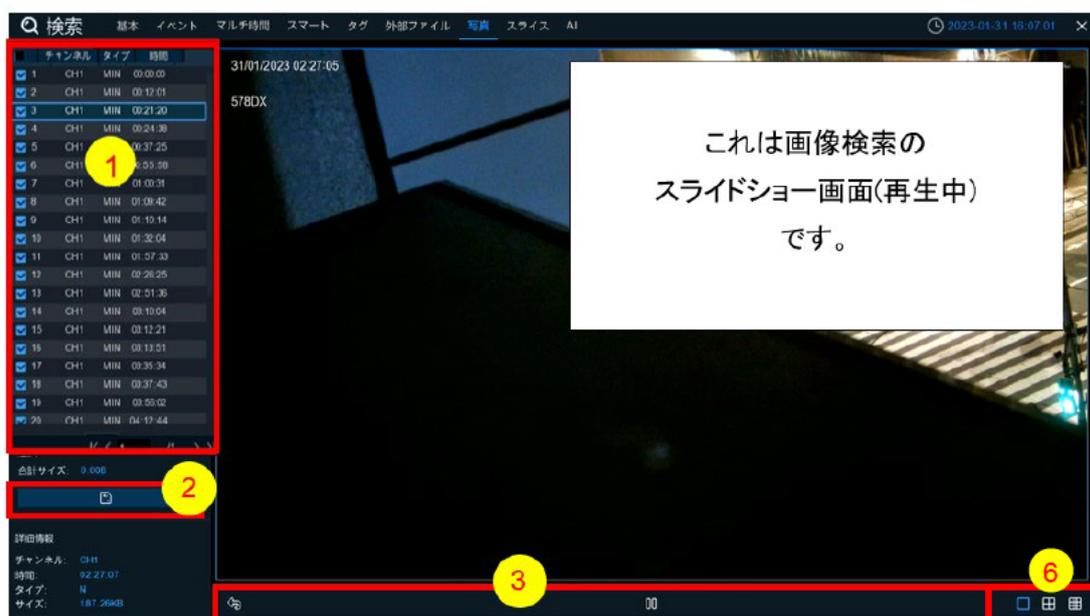
画面右下  アイコン をご選択の場合は、スライドショーは1 サイクルに4 画像を画面へ同時に表示して実行されます。

スライドショーが最後の画像へ到達しますと次のプロンプト画面が表示され、スライドショーは停止いたします。



画像検索結果へ戻るには、 ボタンをクリックします。

6.1.5.1 画像プレビューコントロール(検索画像のスライドショー)



1. 画像リストは、ここで画像を選択することができます。

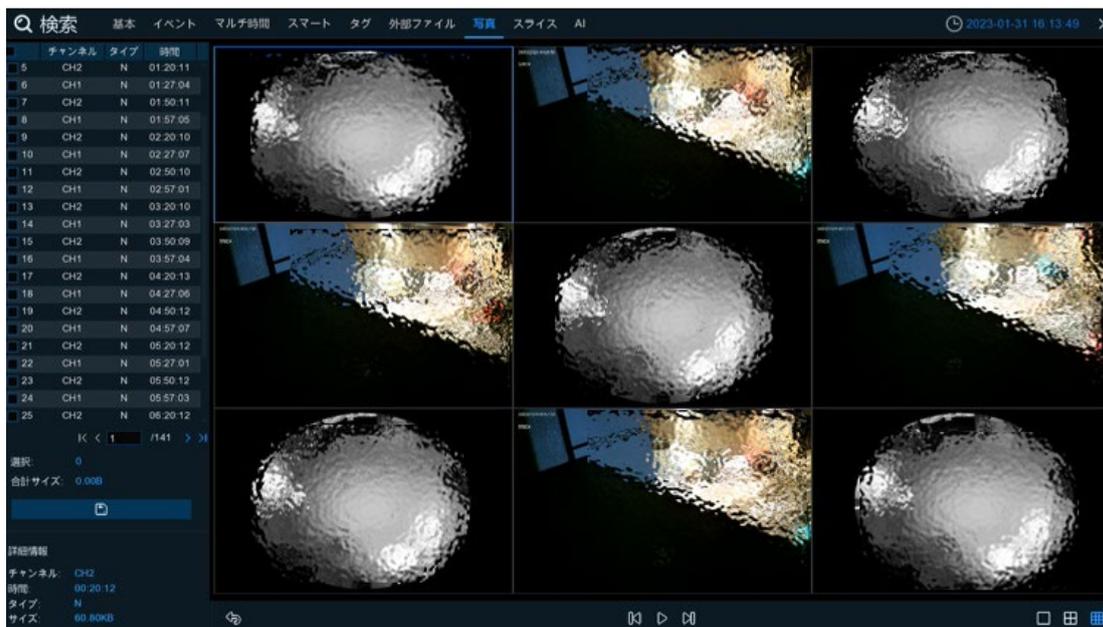
タイプ(イベント)略記 一覧表					
連続	N	手動	C	モーション	M
IO アラーム	I	音声	S	エリア侵入	S
カウント	S	物体	S	ライン侵入	S
人&車両	S	特徴	S	顔	S
密集	S	行列	S	ナンバー	S
妨害	S	レアサウンド (異常音)	S	ANR(回線障害バツクアップ)	A

2. 選択した画像を USB フラッシュメモリーに保存するには、 ボタンをクリックします。スライドショーで画像を表示するには  ボタンをクリックします。

注意: USB フラッシュメモリーへ画像を保存する場合は、本 NVR の USB 端子へ USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能な USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式の総容量 128GB までのものとなっております。

3.  ボタンを押してプレビューコントロールウィンドウを終了し、画像検索ウィンドウに戻ります。
4.  ボタンを押して一時停止し、 ボタンを押してスライドショーを再開します。
5.  ボタンを押して、前のスナップショットまたはグループを表示し、 キーを押して次のスナップショットまたはグループを表示します。
6. 画面右下の  ボタンをクリックすると、1 画面に 1 つのスナップショットが表示され、 ボタンをクリックすると 1 画面に 4 つのスナップショットを一度に表示、 ボタンをクリックすると 1 画面に 9 つのスナップショットを一度に表示できます。

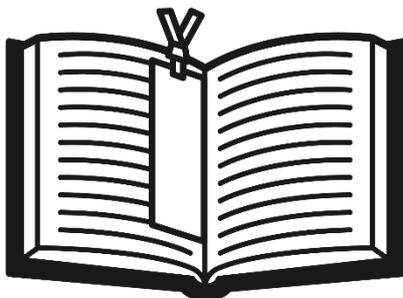
(9分割での表示例)



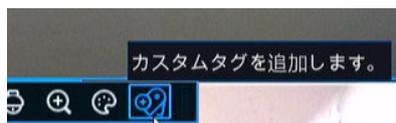
6.1.6 タグ検索

<“タグ”についての解説>

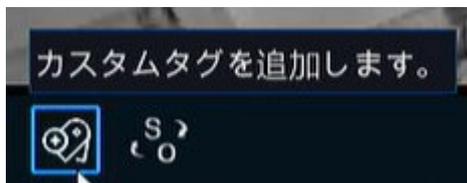
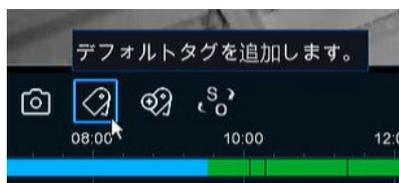
“タグ”とは、本で例えるならば“栞(しおり)”のような機能です。ライブ画面及び録画再生で付けたタグを検索できます。



ライブ画面でタグをつける場合は“カメラクイックツールバー”（詳しくは[「4.2.1 カメラクイックツールバー」](#)をご覧ください）より行います。カスタムタグアイコン（任意の半角文字のタグ名を付けれます）でタグ付けを行えます。



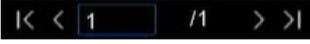
録画再生画面でタグをつける場合はプログレスバー上部にある、デフォルトタグアイコン（タグ名は“Tag”になります）、カスタムタグアイコン（任意の半角文字のタグ名を付けれます）でタグ付けを行えます。



6.1.6.1 タグ検索画面



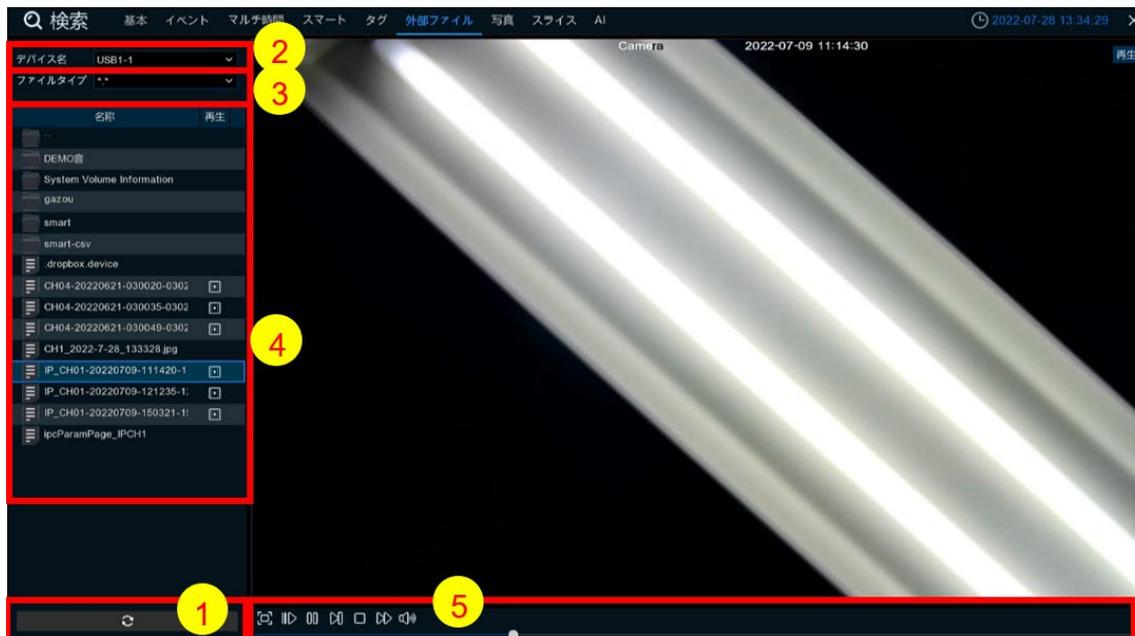
1. 検索する期間の日付と時刻を選択します。
2. 検索するタグのキーワードを入力します。未入力の場合は全てのタグを検索します。
3. 検索対象のチャンネルを設定します。検索対象のチャンネルは個別に選択するか、**[チャンネル]**右横のボックスをチェックしてすべてのチャンネルを選択します。
4. ボタンをクリックして検索を開始します。
5. 検索結果がリスト形式で表示されます。再生したいものをダブルクリック、または、ファイルを選択後に をクリックすると再生画面へ偏移し再生が開始されます。

6. メニューの右下隅にある  アイコンをクリックして、画像のページ間を参照するか、参照するページを入力します。
7. ビデオ再生コントロールのそれぞれのボタンで再生を制御します。  アイコンをクリック又はマウスの右ボタンをクリックして再生を終了し、タグ検索画面へ戻ることができます。
8. 現在再生しているイベントがタイムラインに表示されます。プログレスバー上ではマウスホイール操作でプログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です。
9.  でプログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。又は、プログレスバー上のマウスホイール操作でも時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。
10. USB フラッシュメモリーに再生中にビデオの一部をすばやく保存する場合は、  **ビデオクリップ**、  **バックアップ機能**を使用します。詳しくは、[「6.1.1.2 ビデオクリップのバックアップ」](#)をご参照ください。
11. USB フラッシュメモリーへ選択している CH の手動キャプチャを保存するには  アイコンをクリックします。保存するディレクトリのある場合は保存するディレクトリを表示させます。もしも、前回の手動キャプチャから USB フラッシュメモリーを取外していない場合はこの画面は表示されず、前回の手動キャプチャと同じ USB フラッシュメモリーの同じディレクトリへ保存が実行されます。詳しくは、[「6.1.1.3 録画再生画面の手動キャプチャ\(静止画バックアップ\)」](#)をご参照ください。
12. 魚眼モードでの再生は、  アイコンをクリックして魚眼モードを起動します。
13. 魚眼モードへ移行したら、“設置モード”と“ビューモード”を選択します。魚眼モードにつきましては、[「6.1.1.1 魚眼モードの録画再生」](#)をご参照ください。

注意: USB フラッシュメモリーへ画像を保存する場合は、本 NVR の USB 端子へ USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能な USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式の総容量 128GB までのものとなっております。

6.1.7 外部ファイル検索

USB フラッシュメモリーへバックアップした動画を再生することが可能です。



1. USB フラッシュメモリーを USB 端子へ挿入し、 ボタンをクリックします。
2. デバイスを選択します。
3. 検索する拡張子タイプを“h264”, “rf”, “avi”, “mp4” より選択します。*.* を選択した場合は全てのファイルタイプを検索します。
4. 検索されたファイルが一覧表示されます。マウスホイールでファイル一覧をスクロールできます。再生したいものをダブルクリック、または、選択後  アイコンをクリックすると再生が開始されます。
5. 録画再生コントロールのボタンで再生を制御します。詳しくは、「[6.1 検索機能の使用](#)」の“[ビデオ再生コントロール 一覧表](#)”をご覧ください。 アイコンをクリック又はマウスの右ボタンをクリックして再生を終了し、ライブ画面に戻ることができます。

6.1.8 スライス検索



1. 検索するストリームを選択します。
2. 検索するチャンネルを選択します。
3. 検索する日時を選択します。
4. プレビューウィンドウエリアです。サムネイル画像をクリックするとプレビュー再生されます。サムネイル画像をダブルクリックまたはプレビューウィンドウ右上の  をクリックすると拡大表示します。
5. 再生ファイルの情報が表示されます。

6. 録画再生コントロールのボタンで再生を制御します。詳しくは、[「6.1 検索機能の使用」](#)の“[ビデオ再生コントロール 一覧表](#)”をご覧ください。アイコンをクリック又はマウスの右ボタンをクリックして再生を終了し、スライス検索画面に戻ることができます。
7. 現在再生しているイベントがタイムラインに表示されます。プログレスバー上ではマウスホイール操作でプログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です。
8. でプログレスバーの時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。又は、プログレスバー上のマウスホイール操作でも時間枠(表示期間の大小)を変更可能です(30分, 1時間, 2時間, 4時間, 8時間, 12時間, 16時間, 20時間, 24時間)。
9. USB フラッシュメモリーに再生中にビデオの一部をすばやく保存する場合は、 [ビデオクリップ](#)、 [バックアップ機能](#)を使用します。詳しくは、[「6.1.1.2 ビデオクリップのバックアップ」](#)をご参照ください。
10. USB フラッシュメモリーへ選択している CH の手動キャプチャを保存するには  アイコンをクリックします。保存するディレクトリのある場合は保存するディレクトリを表示させます。もしも、前回の手動キャプチャから USB フラッシュメモリーを外していない場合はこの画面は表示されず、前回の手動キャプチャと同じ USB フラッシュメモリーの同じディレクトリへ保存が実行されます。詳しくは、[「6.1.1.3 録画再生画面の手動キャプチャ\(静止画バックアップ\)」](#)をご参照ください。
11. “プレ再生”, “ポスト再生”を変更した場合は、 ボタンをクリックして設定を反映させます。“プレ再生”, “ポスト再生”はそれぞれ、0 秒, 5 秒, 10 秒, 20 秒, 30 秒, 1 分, 2 分, 5 分, 10 分より選択可能です。
12. 魚眼モードでの再生は、 アイコンをクリックして魚眼モードを起動します。
13. 魚眼モードへ移行したら、“設置モード”と“ビューモード”を選択します。魚眼モードにつきましては、[「6.1.1.1 魚眼モードの録画再生」](#)をご参照ください。

注意: USB フラッシュメモリーへデータを保存する場合は、本 NVR の USB 端子へ USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。使用可能な USB フラッシュメモリーは FAT32 のフォーマット形式の総容量 128GB までのものとなっております。

注意: プレ再生”, “ポスト再生”で選択した期間全ての録画データが無い場合は録画データが存在する期間の中で再生再生されます。

第 7 章 Web クライアント経由のリモートアクセス

Web クライアントを使用して、パソコンでいつでも NVR にリモートアクセスできます。Web クライアントにアクセスする前に、NVR のインターネット設定が正しく構成されていることを確認する必要があります。

7.1 基本的なシステム環境要件

Web クライアントを実行するために必要なハードウェアと OS の最小要件は、以下のとおりです。

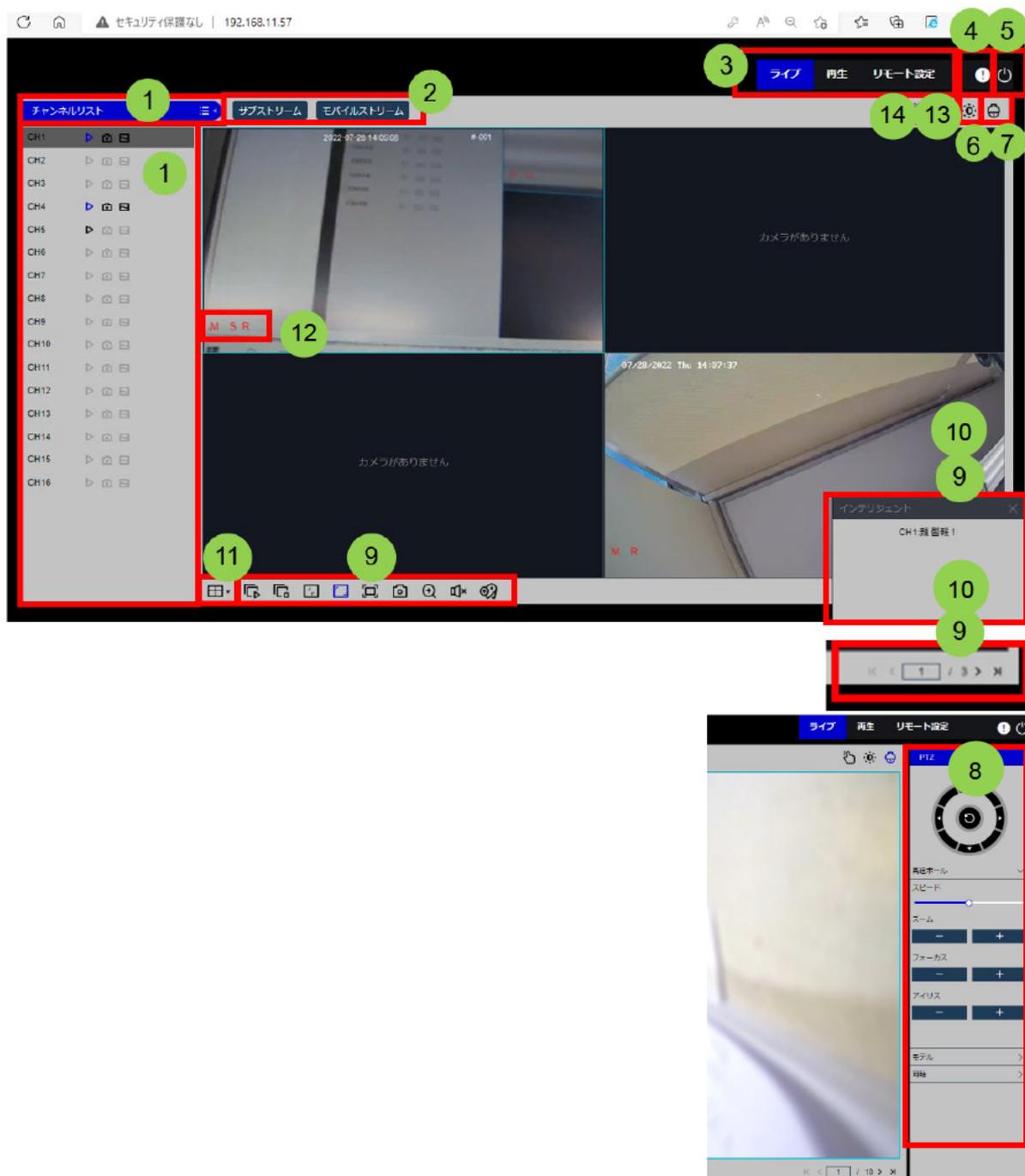
項目	推奨スペック
CPU	Intel® Core™ i5 CPU
メインメモリ	8GB 以上
ハードディスク	1TB 以上
ビデオメモリ	4GB 以上
ディスプレイ解像度	1920x1080
OS	Windows10 以上
DirectX	DirectX 11
Direct3D	Acceleration Function
イーサネット・アダプター (LAN)	1Gbps 以上

7.2 Web クライアント・マネージャー

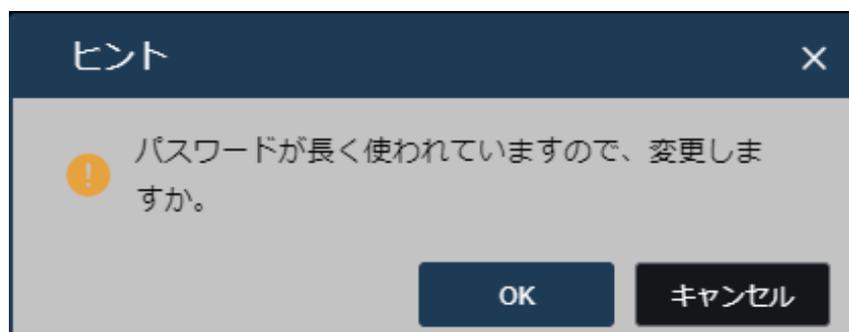
Web クライアントは、管理者アカウントを使用して NVR を完全に制御することをサポートしています。不正なログインを防止するため、ユーザー名とパスワードは大切に管理してください。

注意: 不正なログインを防止するため、ユーザー名とパスワードは大切に管理してください。

注意: ログインパスワードを5回間違えたアカウントは 180 秒程度ロックされます。



注意: 暫くパスワードの変更が行われていない場合、パスワード変更を促すダイアログが表示される場合がございます。セキュリティ上、定期的なパスワード変更を推奨します。なお、ここで変更したパスワードは本体のパスワードも同じように変更されます。パスワードについては、[「3.3 パスワード」](#)をご参照ください。



1. 8~9文字: 組み合わせは、大文字、小文字、数字、または特殊文字から少なくとも3つで構成する必要があります。
2. 10~15文字: 組み合わせは、大文字、小文字、数字、または特殊文字から少なくとも2つで構成する必要があります。
3. 4桁を超える繰り返しおよび連続文字は禁止されています。つまり、6666 / bbbbまたは1234 / abcdです。
4. キーボードパターンが4桁を超える連続キーは禁止されています。つまり、qwerまたはghjk

7.2.1 ライブ

これは、Web クライアントにログインした後に開く最初の画面です。ここでは、ライブプレビューの視聴、ローカルコンピュータへの手動録画、画面のスナップショット撮影、PTZ コントロール、カラー調整などを行うことができます。

1- チャンネルリスト: クイックカメラ機能クリックボタン  のチャンネルリストを開き、チャンネルリストを表示します。クリックボタン  をクリックしてチャンネルリストを非表示にします。



: ライブビデオストリームのオン/オフを切替えます。ライブビデオストリームがオンの場合、ボタンは青色です。



: 手動スナップショットボタン。現在のライブディスプレイのスナップショットをコンピュータに保存するときにクリックします。



: ビットレートボタン。メインストリーム、サブストリーム、スマートフォンストリームを選択できます。スマートフォンストリームは IPC チャンネルでのみ使用できます。

2- ライブビデオストリームオプション:

メインストリーム: 高品質のメインストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。

サブストリーム: 中間品質のサブストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。

スマートフォンストリーム: 帯域幅を節約するために、低品質のスマートフォンストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。IPC チャンネルに対してのみ使用できます。

3- メインメニュー:

ライブ: ライブ映像の受像。

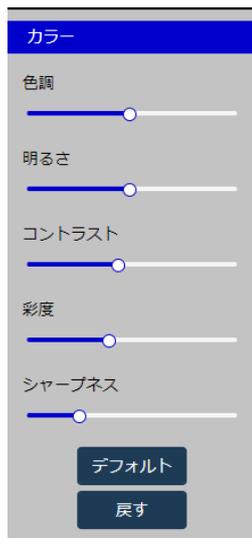
再生: NVR の HDD に保存されている録画ビデオ/画像を検索して表示します。

リモート設定: NVR 設定メニューへアクセス。

4- 情報: マウスカーソルを合わせると、システムの詳細が表示されます。

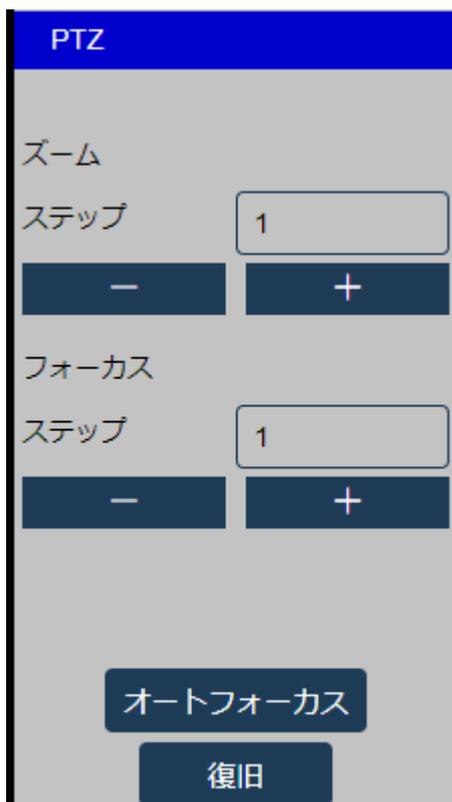
5- 終了: Web クライアント・マネージャーを終了します。使用しない場合等はセキュリティのためログアウトしてください。

6- カラー コントロール: カラーコントローラーの表示/非表示を切り替えます。



7- PTZ コントロール: PTZ コントローラーを表示または非表示を切り替えます。

8- PTZ コントローラー



ズーム: -/+をクリックして拡大または縮小します。

ステップ: 1クリックでのステップ数を1, 5, 20 より選択可能です。

フォーカス: -/+をクリックしてフォーカスを調整します。

ステップ: 1クリックでのステップ数を1, 5, 20 より選択可能です。

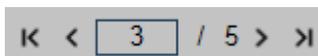
オートフォーカス: 自動焦点

復旧: デフォルトへ戻します

9- ライブビューコントロールボタン:

	画面の分割数を選択できます。
	すべてのライブチャンネルを開きます。
	すべてのライブチャンネルを閉じます。
	オリジナルのアスペクト比でライブビデオを表示します。
	ストレッチ:アスペクト比を画面に合わせて伸ばします。
	Web クライアントを全画面表示に拡大します。
	スナップショット: 現在表示されているすべてのチャンネルのスナップショットをコンピュータに保存します。
	デジタルズーム:ライブ画像をクリックし、ライブ画像の領域をクリックしてドラッグして拡大します。右クリックすると、標準表示に戻ります。
	ボリュームコントロール。
	ミュート状態です。

10- ナビゲーション, 通知ポップアップエリア: 画面に表示されるチャンネルの現在のページ番号を表示します。方向キーを使用してページを切り替えます。

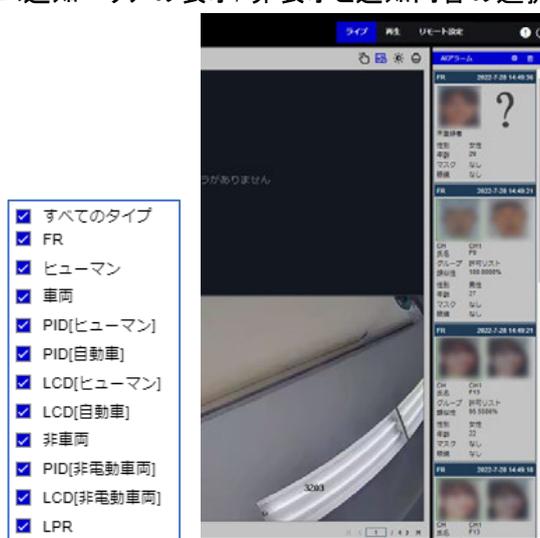


通知がある場合はポップアップ表示されます。

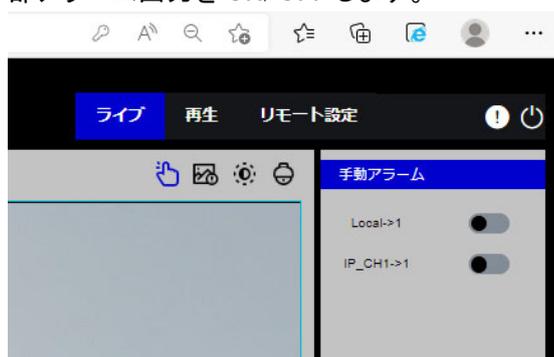
11- ステータスアイコン:

- R** : 録画中であることを示します。
- M** : モーションイベントを検知したことを示します。
- M** : モーションイベントによってモーション録画中であることを示します。
- I** : IO 外部トリガを検知したことを示します。
- I** : IO 外部トリガによって IO 外部トリガ録画中であることを示します。
- S** : インテリジェント又は AI のイベントを検知したことを示します。
- S** : インテリジェント又は AI のイベントによってイベント録画中であることを示します。
- PIR** : これは、IPC が PIR イベントを検知したことを示します。
- PIR** : これは、IPC が PIR イベントによってイベント録画中であることを示します。

12- AI アラーム: AI アラーム通知エリアの表示/非表示と通知内容の選択が可能です。

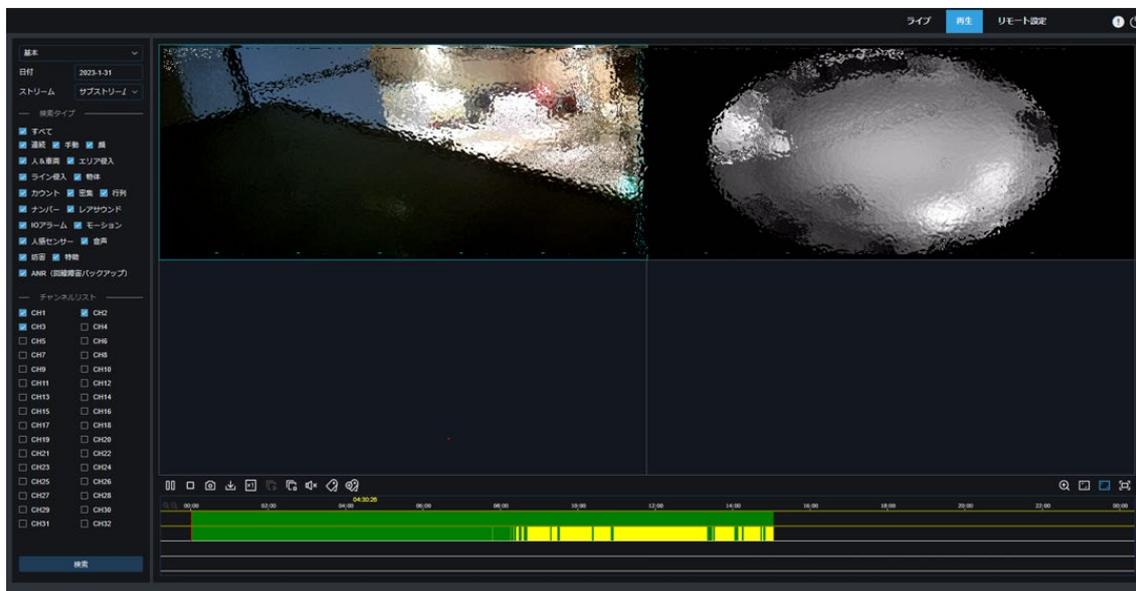


13- 手動アラーム: 手動で外部アラーム出力を ON/OFF します。



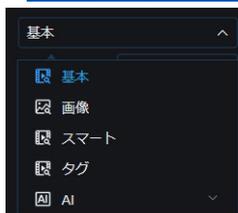
7.2.2 録画再生

NVR 内の HDD に保存されている録画ビデオを検索して再生し、ビデオをパソコンにダウンロードできます。



録画を検索するには:

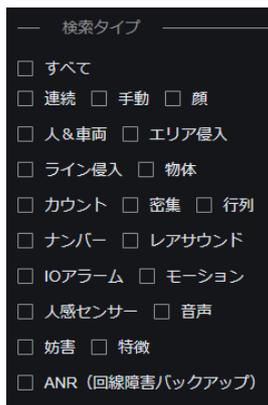
1. ウィンドウの右上隅にある[再生]をクリックします。
2. ウィンドウの左上隅のプルダウンより再生対象を選択します。通常の録画検索の場合は“基本”を選択します。その他の項目につきましては、「[6.1 検索機能の使用](#)」をご参考にご利用ください。



3. [日付]で、録画を検索する日を選択します。録画の日付には赤い下線が表示されます。



4. [検索タイプ]から検索する種類を選択します。



5. ストリームから検索して再生したいビデオストリームを選択します。



注意: サブストリームを再生したい場合は、デュアルストリームで録画するように NVR を設定したことを確認してください。

6. 録画を検索したいチャンネルを確認してください。すべてのチャンネルを一度に再生するには、



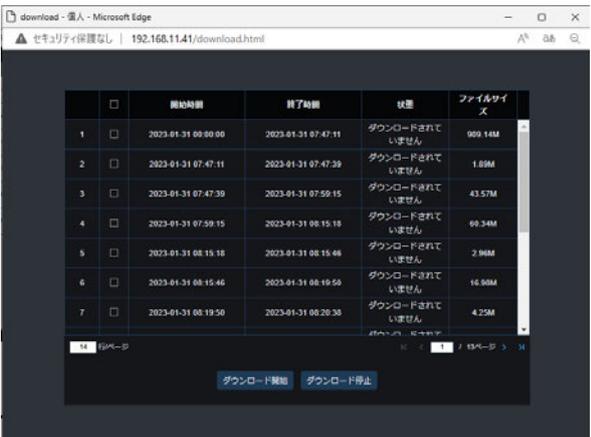
(すべて再生)をクリックします。

7. **[検索]**をクリックします。

8. 検索に合った録画がタイムラインに表示されます。再生を開始するビデオのセクションをクリック

し、再生ボタン▶をクリックします。

7.2.2.1 再生コントロールボタン

	
	停止
	再生
	一時停止
	再生中のチャンネルのいずれかをクリックし、このキャプチャボタンをクリックすると静止画をパソコンに保存します。
	<p>[ダウンロード] メニューを開くと、複数のビデオ録画を一度にダウンロードできます。ダウンロードしたいファイルを選択し、[ダウンロード開始]ボタンを押すとダウンロードを開始しダウンロードの状態が表示されます。停止するには、[ダウンロード停止] ボタンを押します。</p> 
	再生速度: クリックして再生速度を選択します。 
	すべてのチャンネルを再生: クリックすると、検索対象に選択したすべてのチャンネルを再生します。同期再生オプションがチェックされていない場合にのみ使用できます。
	すべてのチャンネルを停止: クリックすると、すべてのチャンネルの再生を停止します。同期再生オプションがチェックされていない場合にのみ使用できます。
	デジタルズーム: ビデオを再生してクリックし、ビデオの領域をクリックしてドラッグすると拡大します。右クリックすると、標準表示に戻ります。

	<p>オリジナルの比率: 元のアスペクト比で再生ビデオを表示</p>
	<p>ストレッチ: アスペクト比を画面に合わせて伸ばします。</p>
	<p>全画面: Web クライアントを全画面表示に拡大します。</p>

7.2.3 リモート設定

ここでは、NVR の設定をリモートで設定できます。詳細については、「[第 5 章 NVR システムの設定](#)」をご参考ください。

The screenshot shows the 'Remote Configuration' (リモート設定) tab in the NVR interface. The main area displays a table of channel configurations. The left sidebar contains navigation menus for Channels, Recording, Alarm, and AI.

チャンネル	操作	編集	状態	IPカメラ修正	IPアドレス	サブネットマスク	ポート	メーカー	デバイスタイプ	プロトコル	MACアドレス	ファームウェアバージョン
CH1	ON	ON	▶	ON	192.168.11.58	255.255.255.000	80		BMP-5780X-SD	Private	00-23-63-9C-6C-B5	58MP-V21.4
CH2	ON	ON	▶	ON	192.168.11.52	255.255.255.000	80		IP CAMERA	Private	00-23-63-A3-8C-B0	V21.43.8.2.3
CH3	ON	ON										
CH4	ON	ON										
CH5	ON	ON										
CH6	ON	ON										
CH7	ON	ON										
CH8	ON	ON										
CH9	ON	ON										
CH10	ON	ON										
CH11	ON	ON										
CH12	ON	ON	▶		10.10.25.162	255.255.000.000	80		IP CAMERA	Private	58-E8-76-06-6E-F7	58MP-V21.4
CH13	ON	ON										
CH14	ON	ON										
CH15	ON	ON										
CH16	ON	ON										
CH17	ON	ON										
CH18	ON	ON										
CH19	ON	ON										
CH20	ON	ON										
CH21	ON	ON										
CH22	ON	ON										
CH23	ON	ON										
CH24	ON	ON										
CH25	ON	ON										

第 8 章 バックアップ映像をパソコンで閲覧する (VMS Pro)

このセクションでは、“VMS Pro ソフトウェア”のビデオプレーヤーでバックアップファイルを再生する方法をご紹介します。

“VMS Pro ソフトウェア”最小システム要件

- CPU: Intel® Core™ i5 CPU 以上 (内蔵グラフィック)
- ※内蔵グラフィック非搭載の場合は DirectX 11 へ対応した 1920*1080 出力可能な 4GB 以上のビデオメモリを搭載しているグラフィックカードが別途必要です。
- メインメモリ (RAM): 8GB 以上
- HDD: 空容量 1TB 以上
- ディスプレイ: 1920*1080
- LAN: 10/100/1000M
- Windows 10

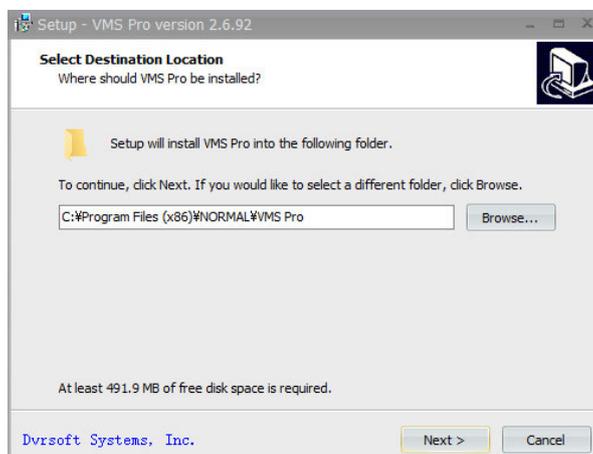
8.1 VMS Pro ソフトウェアのインストール

“VMS Pro ソフトウェア”のインストールについてご説明いたします。

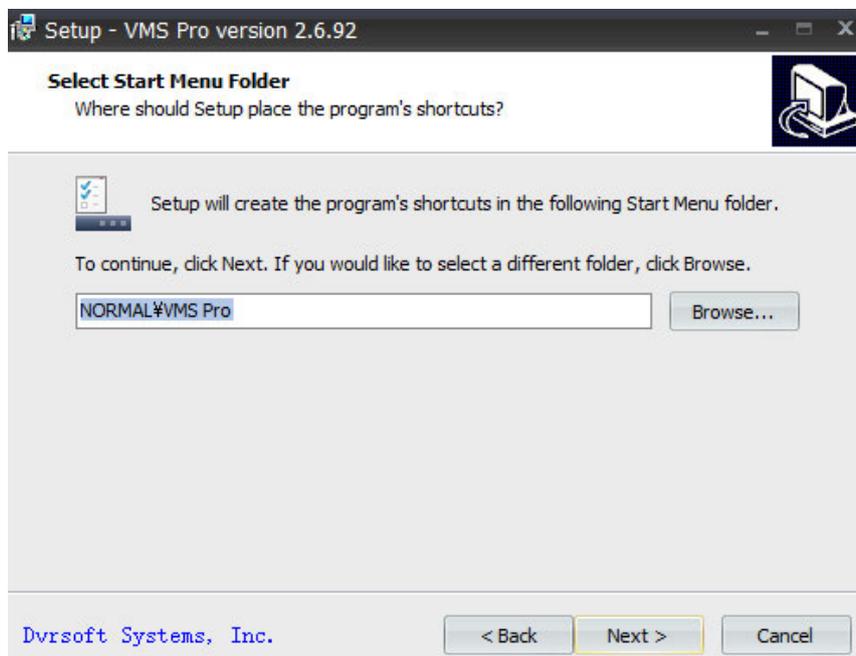
STEP 1: “VMS Pro_P2P_2.6.92_2022_01_14.exe”を実行し、インストールプログラムを開始します。



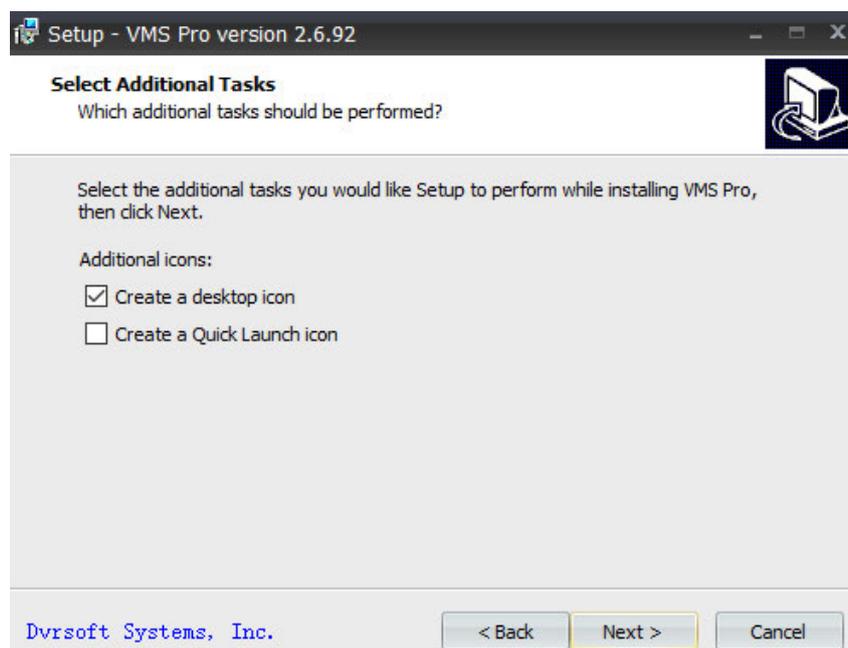
STEP 2: “Select Destination Location”画面ではインストール先を設定します。[Browse...]ボタンによりGUIによるインストール先の設定が可能です。[Cancel]ボタンでインストールプログラムを中止できます。インストール先を設定しましたら、[Next >]をクリックしてインストールプログラムを進めます。



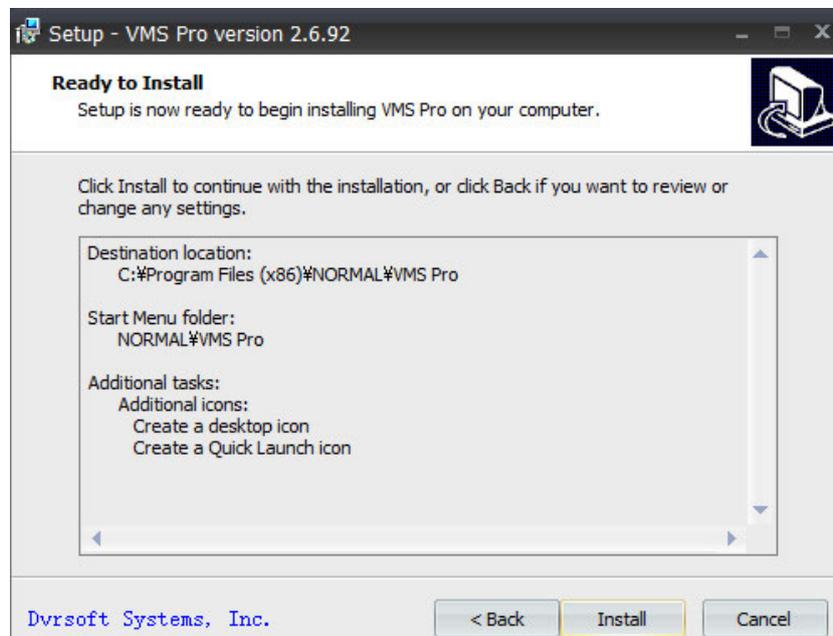
STEP 3: “Select Start Menu Folder”画面ではスタートメニューへの登録設定を行います。[Browse...]ボタンにより GUI による設定が可能です。[< Back]ボタンで前の画面へ戻り修正が可能です。また、[Cancel]ボタンでインストールプログラムを中止できます。必要に応じてご利用ください。スタートメニューへの登録設定を済ませましたら、[Next >]をクリックしてインストールプログラムを進めます。



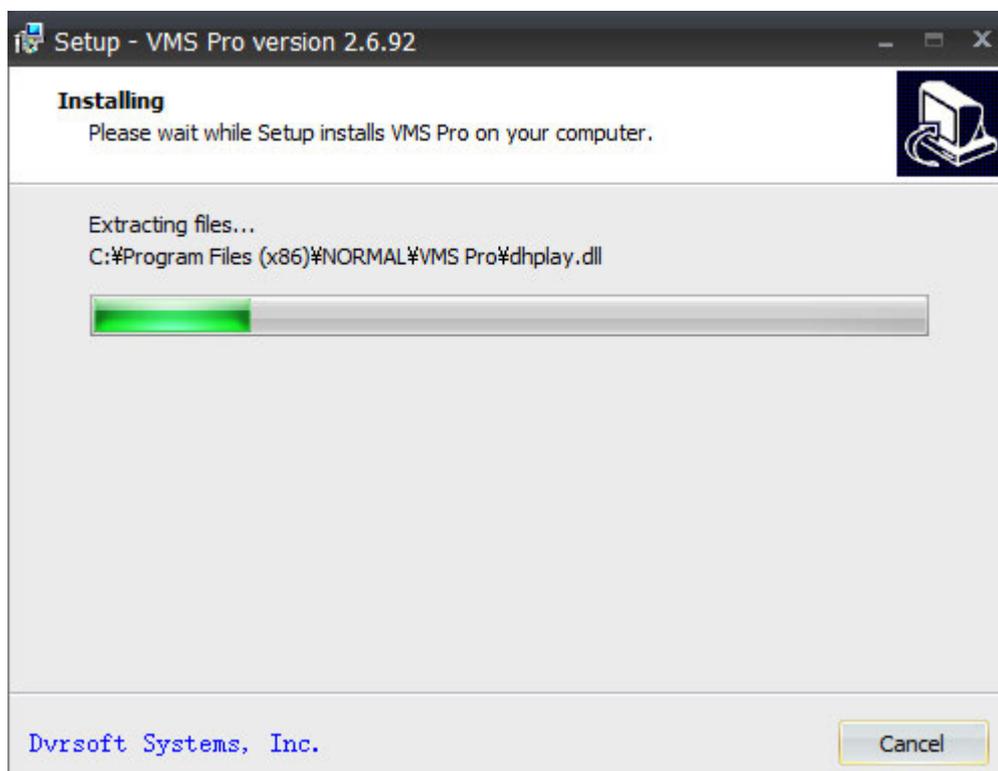
STEP 4: “Select Additional Tasks”画面では当ソフトウェア“VMS Pro”のショートカットアイコンの設定を行います。“Create a desktop icon”への場合はデスクトップへショートカットアイコンが作成されます。“Create a Quick Launch icon”への場合はデスクトップへショートカットアイコンが作成されます。[< Back]ボタンで前の画面へ戻り修正が可能です。また、[Cancel]ボタンでインストールプログラムを中止できます。必要に応じてご利用ください。ショートカットアイコンの設定を済ませましたら、[Next >]をクリックしてインストールプログラムを進めます。



STEP 5: “Ready to Install”画面ではインストール設定内容の確認画面です。内容についてご確認ください。[< Back]ボタンで前の画面へ戻り修正が可能です。また、[Cancel]ボタンでインストールプログラムを中止できます。必要に応じてご利用ください。問題の無い場合は、[Install]ボタンをクリックしてインストールを実行します。



STEP 6: 当ソフトウェアのインストール実行中は“Installing”画面が表示されます。[Cancel]ボタンでインストールプログラムを中止できます。



STEP 7: 当ソフトウェア“VMS Pro”のインストールが無事に完了致しましたら、次の様な“Completing the VMS Pro Setup Wizard”画面が表示されます。[Finish]ボタンをクリックしてインストールプログラムを終了します。この際、“Launch VMS Pro”が☑の場合、インストールプログラムの終了に当ソフトウェア“VMS Pro”が起動を開始いたします。



8.2 管理者パスワード登録(VMS Pro)

当ソフトウェアに初めてログインする際には、まず、管理者のログインパスワードとセキュリティの問題を設定する必要があります。設定したログインパスワードは、当ソフトウェアへログインするために使用されます。なお、セキュリティの質問はパスワードのリセットに用います。質問に答えることによってリセットすることができます。



ステップ 1: デスクトップの **VMS** アイコンダブルクリック等で当ソフトウェアを起動します。VMS Pro の管理者設定画面が表示されますので、VMS Pro の管理者パスワードの設定を行います。

(VMS Pro の管理者パスワード設定画面 表示例)

VMS Pro の管理者パスワード設定画面 初期化パラメータの説明	
項目	内容
パスワード	英半角大文字, 英半角小文字, 半角数字, 半角記号文字がパスワードへ使用できます。8~32 文字である必要があります。
パスワードの強度	赤は簡単に解読され安全ではないことを示し、緑は複雑でとてもセキュリティパフォーマンスが優れていて解読されないことを示します。 パスワードの強みと弱さのプロンプトをご参考にセキュリティパフォーマンスが高いパスワードを設定してください。
パスワードの確認	誤設定防止のため、パスワードと一致する必要があります。

登録後、自動的にログインします	選択するとログイン認証画面が省略されます。未選択の場合はログイン認証画面が表示されます。
-----------------	--

ステップ 2: パスワードを設定したら、[次へ(Next)]をクリックします。

ステップ 3: パスワードを忘れた場合にパスワードをリセットするための”セキュリティの質問”を設定します。質問と対応する答えを設定します。

ステップ 4: 設定が完了したら、[はい(Finish)]をクリックして設定を保存します。

(セキュリティの質問設定画面 表示例)

The screenshot shows a web interface for setting up security questions. The title bar says 'Initialization'. There are two progress steps: '1. Password Setting' (completed) and '2. Password Protection' (pending). An information icon and the text 'Please set security questions.' are shown. The first question is 'What is your nickname?' with the answer 'milk'. The second question is 'When is your father's birthday?' with the answer '0518'. A 'Finish' button is located at the bottom right.

8.3 ログイン(VMS Pro)

ログインには、「アカウントログイン」と「デバイスのログイン」の2つがございます。

① アカウントログイン



ステップ 1: デスクトップの VMS アイコンダブルクリック等で当ソフトウェアを起動します。起動が完了しますと、当ソフトウェアへのログイン画面が表示されます。

(VMS Pro ソフトウェアへのログイン画面)



ステップ 2: VMS Pro ソフトウェアへのログイン情報を入力し、[ログイン]をクリックします。

VMS Pro ソフトウェアのログイン画面の項目説明	
	ログインユーザーを選択し、対応するパスワードを入力します。
<input type="checkbox"/> パスワードを保存する	選択すると、パスワードが記憶され、最後にログインしたときに最後のログインパスワードが記憶されます。
<input type="checkbox"/> 自動ログイン	選択すると、パスワードが自動的に記憶され、次回の起動からシステムへ自動的にログインします。
パスワードをお忘れですか?	パスワードを忘れた場合は、「セキュリティの質問」に答えてパスワードをリセットできます。 [8.4 セキュリティの質問, パスワードリセット (VMS Pro)] をご参照ください。

② デバイスのログイン



ステップ 1: デスクトップの VMS アイコンダブルクリック等で当ソフトウェアを起動します。

ステップ 2: ログイン画面左側の「デバイスのログイン」をクリックして、「デバイスのログイン」画面へ切り替えます。

(デバイスのログイン画面)

ステップ 3: ログイン先のデバイス情報とログイン先デバイスへのログインパラメータを入力して、[ログイン]をクリックします。

ログインパラメータ	
項目	内容
<input type="text" value="デバイスIP / ID"/>	デバイスの IP 又は ID (P2P ID) を入力します。
<input type="text" value="HTTPポート"/>	デバイスのポート番号を入力します。
<input type="text" value="ユーザー名"/>	デバイスへのログインに使用するユーザー名とパスワードを入力します。
<input type="password" value="パスワード"/>	
<input type="checkbox"/> パスワードを保存する	選択するとパスワードが記憶され、次回、最後にログインしたときのログインパスワードが呼出されます。

8.4 セキュリティの質問, パスワードリセット(VMS Pro)

VMS Pro ソフトウェアへのログインパスワードを忘れた場合、セキュリティの質問に答えることでリセットできます。



ステップ 1: デスクトップの **VMS** アイコンダブルクリック等で VMS Pro ソフトウェアを起動します。ログイン画面が表示されます。

ステップ 2: [パスワードをお忘れですか？](#) をクリックします。“パスワードのリセット”画面が表示されます。

(パスワードのリセット画面)

ステップ 3: セキュリティの質問に答え、「次」をクリックします。セキュリティの質問へ正しく答えた場合、パスワードリセット画面が表示されます。

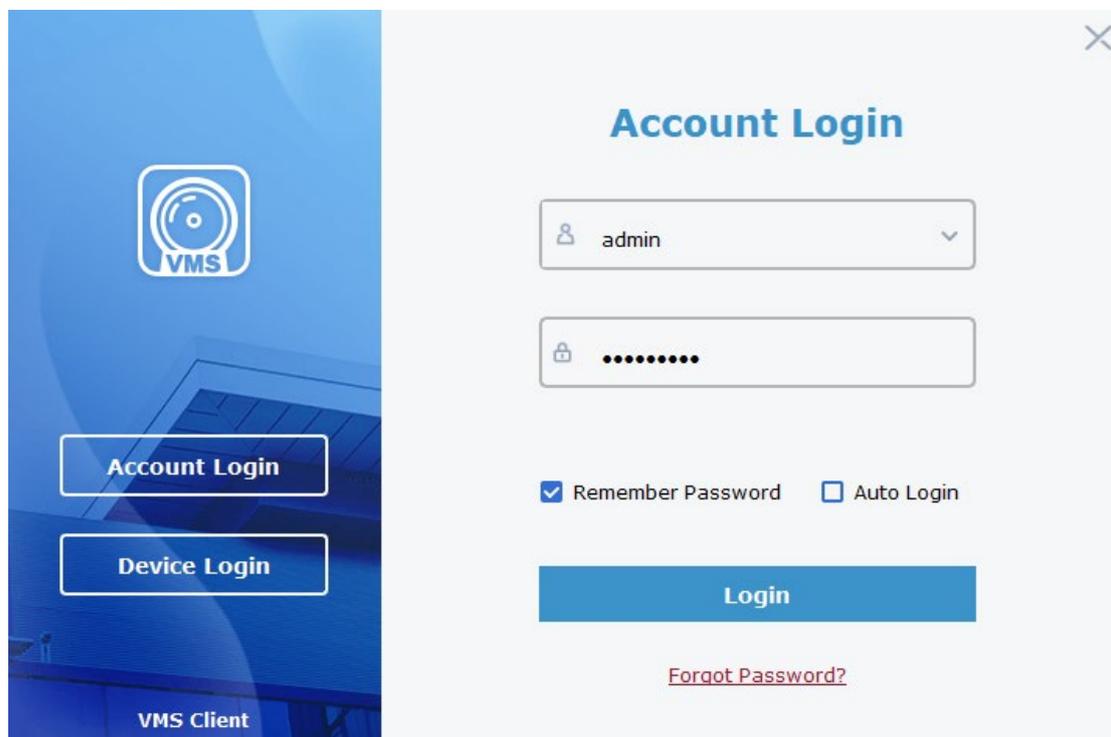
ステップ 4: パスワードを再設定します。「はい(Finish)」をクリックしてパスワード再設定を実行します。

パスワードリセット(Password Reset)画面	
項目	内容
パスワード	英半角大文字, 英半角小文字, 半角数字, 半角記号文字がパスワードへ使用できます。8~32文字である必要があります。
パスワードの強度	赤は簡単に解読され安全ではないことを示し、緑は複雑でとてもセキュリティパフォーマンスが優れていて解読されないことを示します。 パスワードの強みと弱さのプロンプトをご参考にセキュリティパフォーマンスが高いパスワードを設定してください。
パスワードの確認	誤設定防止のため、パスワードと一致する必要があります。

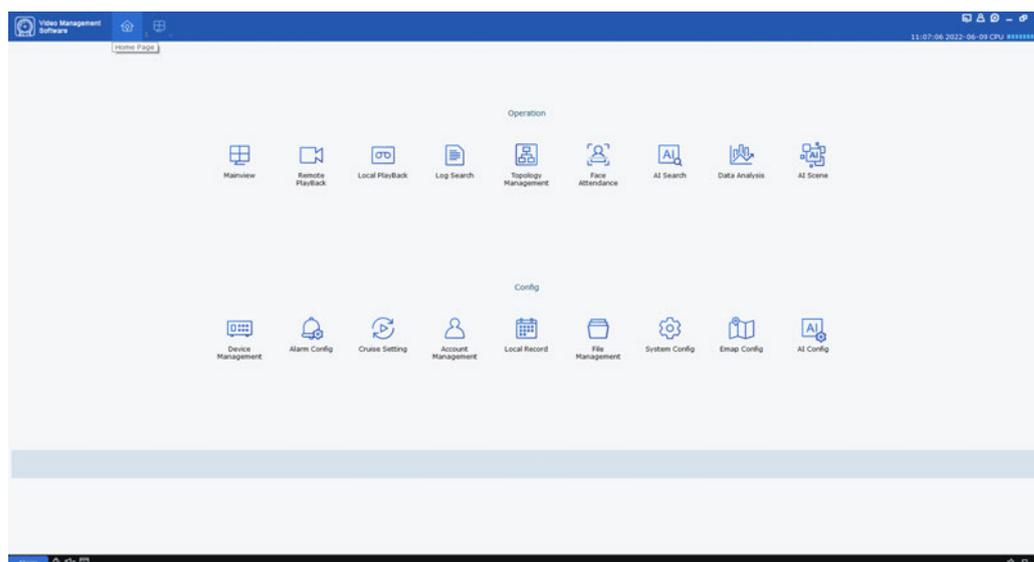
8.5 “VMS Pro”の言語を日本語へ設定する

インストール後に表示言語が日本語ではない場合は日本語へ変更が可能です。

ステップ 1: “Account Login”でアカウントログインします。

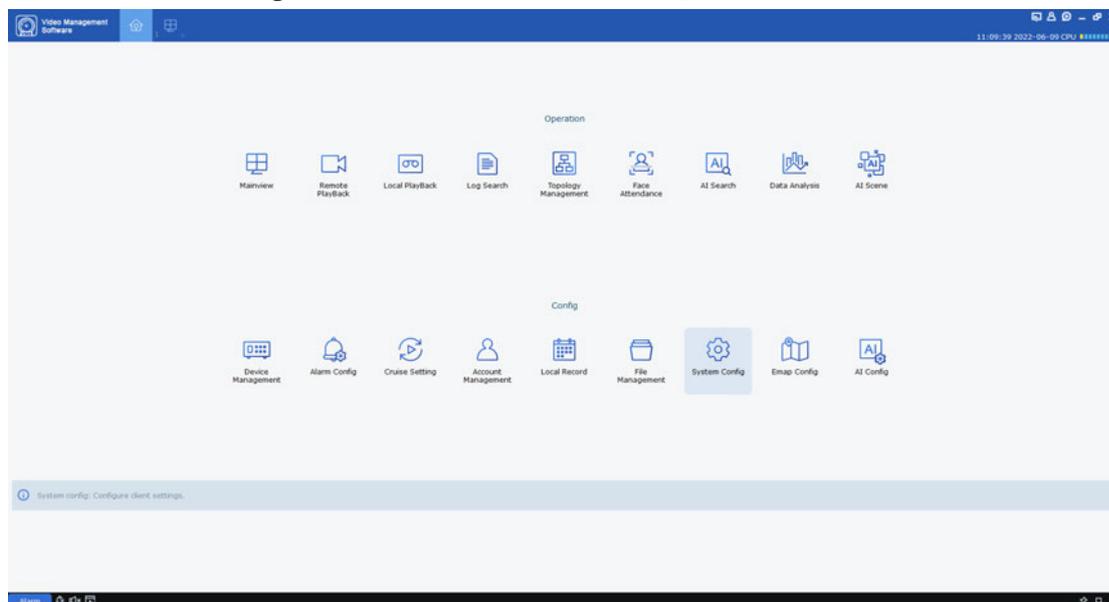


ステップ 2: “Home Page”画面を表示させます。

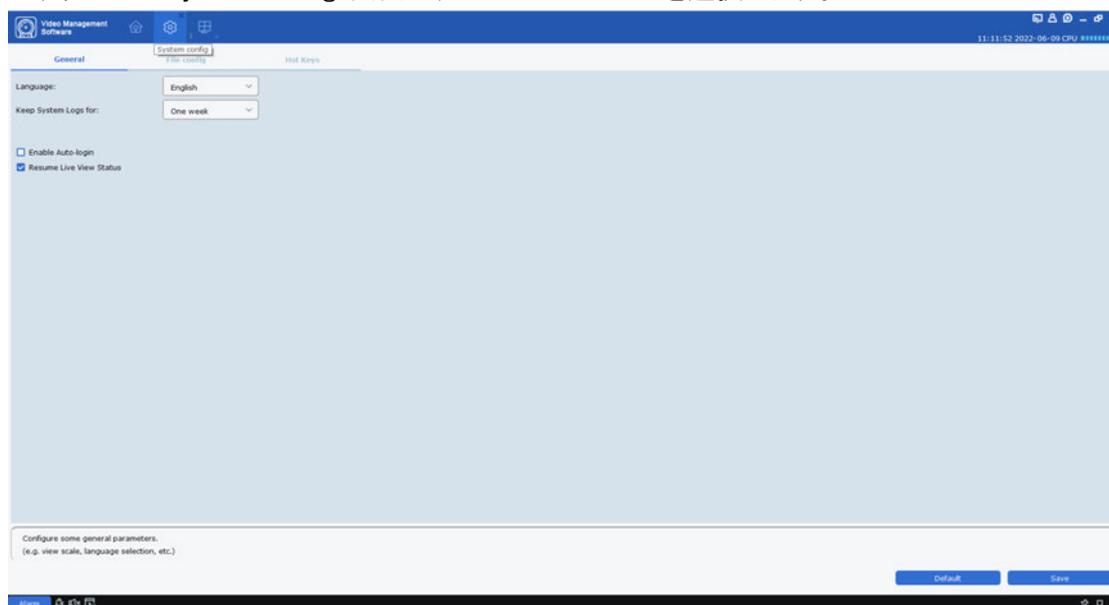




ステップ 3: “Home Page”画面で、**System Config** アイコンをクリックします。



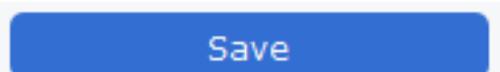
ステップ 4: “System Config”画面で、**General** を選択します。



ステップ 5: “General”画面の **Language:** へ”日本語”を選択します。”VMS Pro ソフトウェア”を再び起動させるまで変更は適用されません。次のステップへお進み下さい。



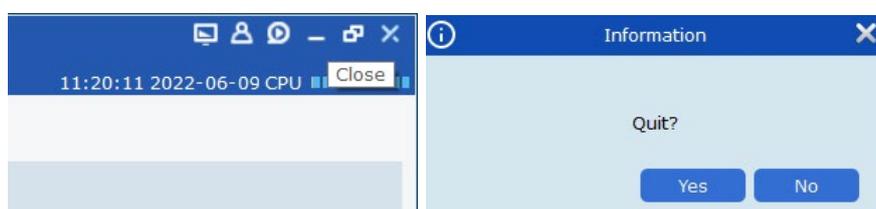
ステップ 6: ”VMS Pro ソフトウェア”画面右下の“Save”をクリックしてください。



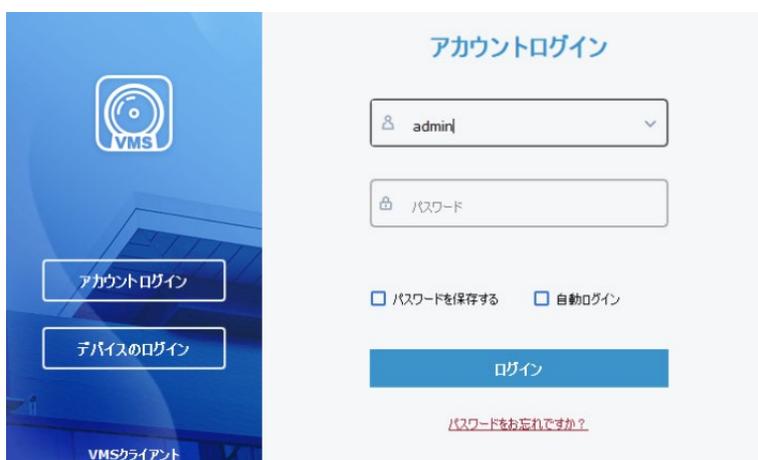
ステップ 7: “Save”をクリックした後、”VMS Pro ソフトウェア”画面右下へ“Saving setting successful!”がポップアップ表示されることを御確認下さい。これで設定が完了したことを表します。



ステップ 8: 当ソフトウェア画面右上の  (Close)をクリックした後、“Quit?”のポップ画面が出現致しますので“Yes”をクリックして一旦”VMS Pro ソフトウェア”を終了します。



ステップ 9: デスクトップの  アイコンダブルクリック等で”VMS Pro ソフトウェア”を再び起動させます。当ソフトウェアが日本語へ変更されていることを御確認下さい。



8.6 ビデオプレイヤーの操作(VMS Pro)

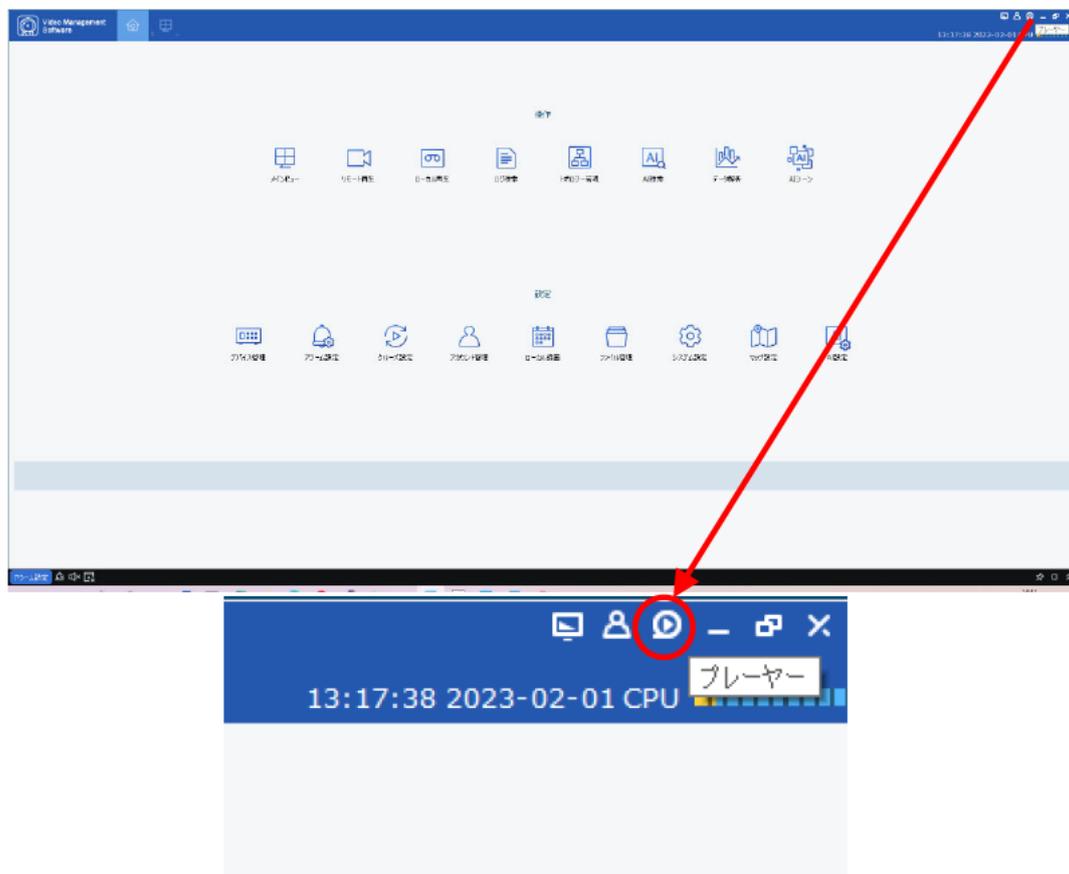
注意: フィッシュアイ映像は、“RF”映像形式でバックアップされている必要があります。

バックアップしたフィッシュアイ映像(.rf形式ファイル)はPCにインストールした“VMS Pro ソフトウェア”に内蔵の“プレイヤー”で展開再生が可能です。

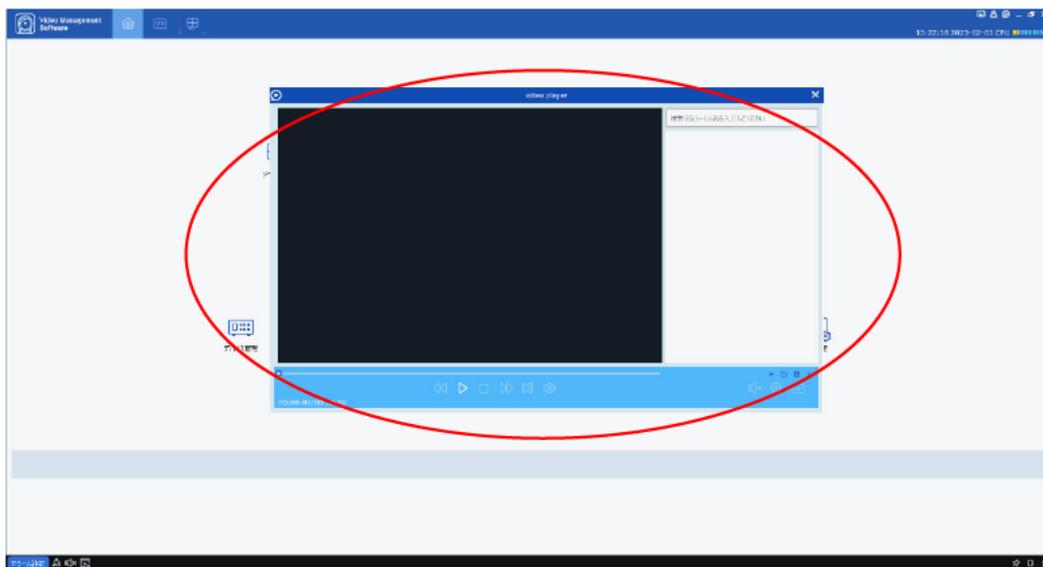
① “VMS Pro ソフトウェア”を起動して、“VMS Pro ソフトウェア”へログインします。



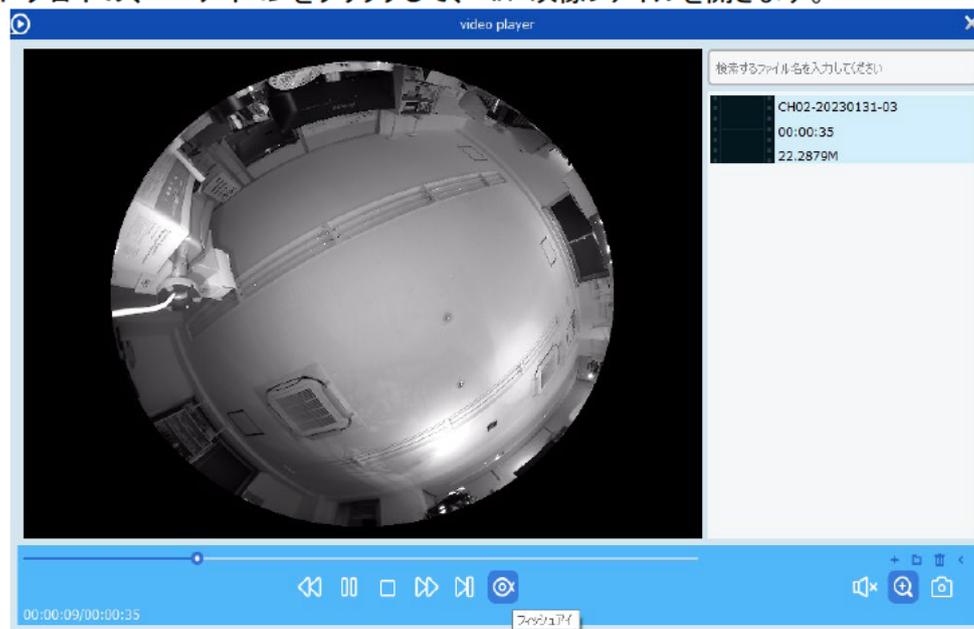
② “VMS Pro ソフトウェア”へログインしたら、ウィンドウの右上にある  “プレイヤー”アイコンをクリックします。



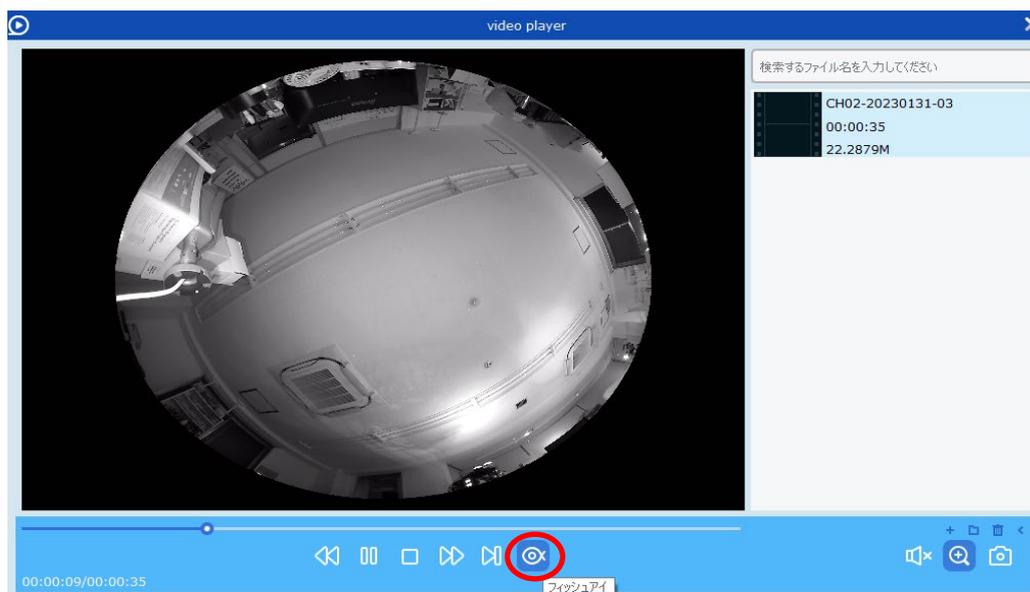
③ “video player”が開きます。



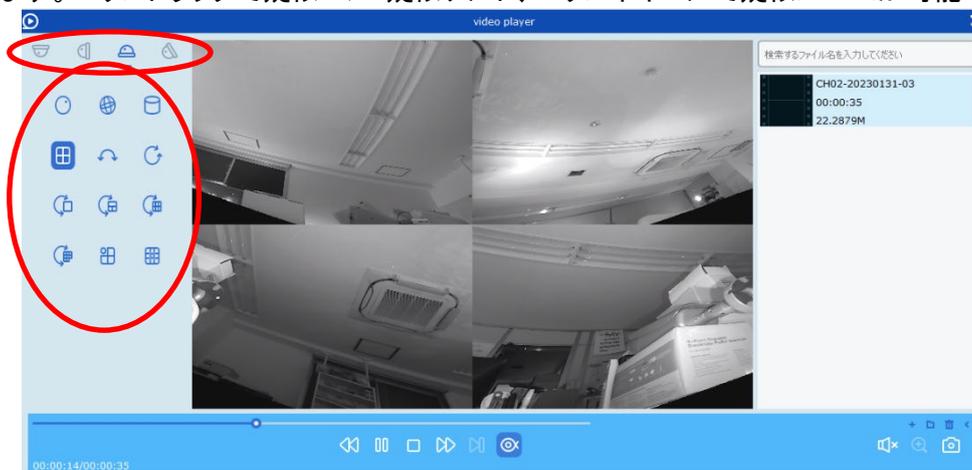
④ ウィンドウ右下の、**+** アイコンをクリックして、“.rf”映像ファイルを開きます。



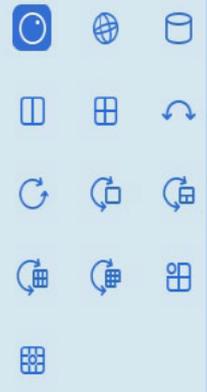
⑤ “.rf”映像ファイルを開きましたら、**🐟** “フィッシュアイ” アイコンをクリックして、“video player”を“フィッシュアイ”モードにします。



⑥ “設置モード”と“ビューモード”を選択します。映像が“設置モード”と“ビューモード”に合わせて展開表示されます。マウスドラッグで疑似パン・疑似チルト、マウスホイールで疑似ズームが可能です。

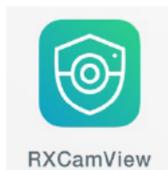


フィッシュアイ 設置モード	
	
設置モード	フィッシュアイの設置状況に合わせて設置モードを選択します。
	 天井
	 壁
	 デスクトップ
	 傾斜(チルト)

フィッシュアイ ビューモード	
	
	原映像モード。 (擬似 PTZ 操作はできません)
	VR(半円)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	シリンダ(円柱)モード。平面に延伸することができます。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	スプライトモード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。
	4PTZ(クワッド)モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。

	<p>パノラマ 180 度ビュー。2 つのサブウィンドウで 360° のデュアルパノラマを構成します。開始点の左右移動(疑似パン)操作をサポートします。</p>
 <p>:1P</p>	<p>パノラマ 360 度オーバービュー。 疑似パンチルト操作をサポートしています。</p>
 <p>:1P+1</p>	<p>パノラマ 360 度オーバービュー + 1PTZ ビュー。 シングルビューでは疑似 PTZ 操作をサポートしています。</p>
 <p>:1P+3</p>	<p>パノラマ 360 度オーバービュー + 3PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは疑似 PTZ 操作をサポートしています。</p>
 <p>:1P+6</p>	<p>パノラマ 360 度オーバービュー + 6PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは疑似 PTZ 操作をサポートしています。</p>
 <p>:1P+8</p>	<p>パノラマ 360 度オーバービュー + 8PTZ ビュー。 全てのシングルビューでは疑似 PTZ 操作をサポートしています。</p>
 <p>:1+8</p>	<p>魚眼 + 8PTZ ビュー。 8 つのシングルビューでは疑似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビューではデジタルズームのみをサポートします。</p>

第9章 Android・iOS から NVR を使用する



NVR は、Android と iOS のスマートフォンデバイスからのリモートアクセスをサポートしています。

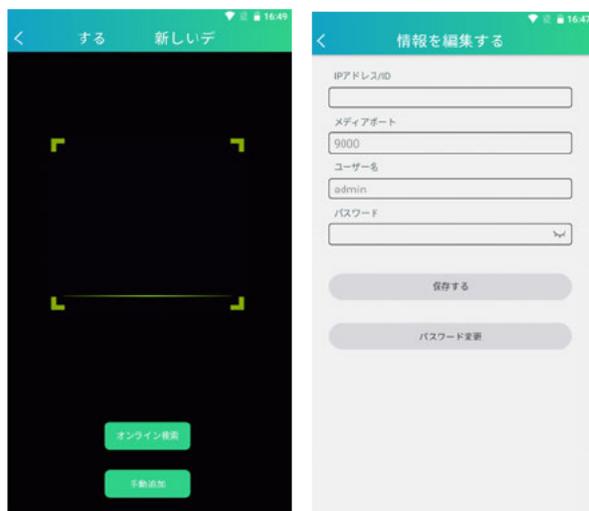
App ストア、Google Play ストア から「RXCamView」を検索してインストールして使用します。

9.1 「RXCamView」へ NVR の登録

- ①  アイコンをタップして、[デバイスリスト]をタップし、[+]をタップして、[IPC/NVR/DVR] をタップし、デバイスを追加していきます。

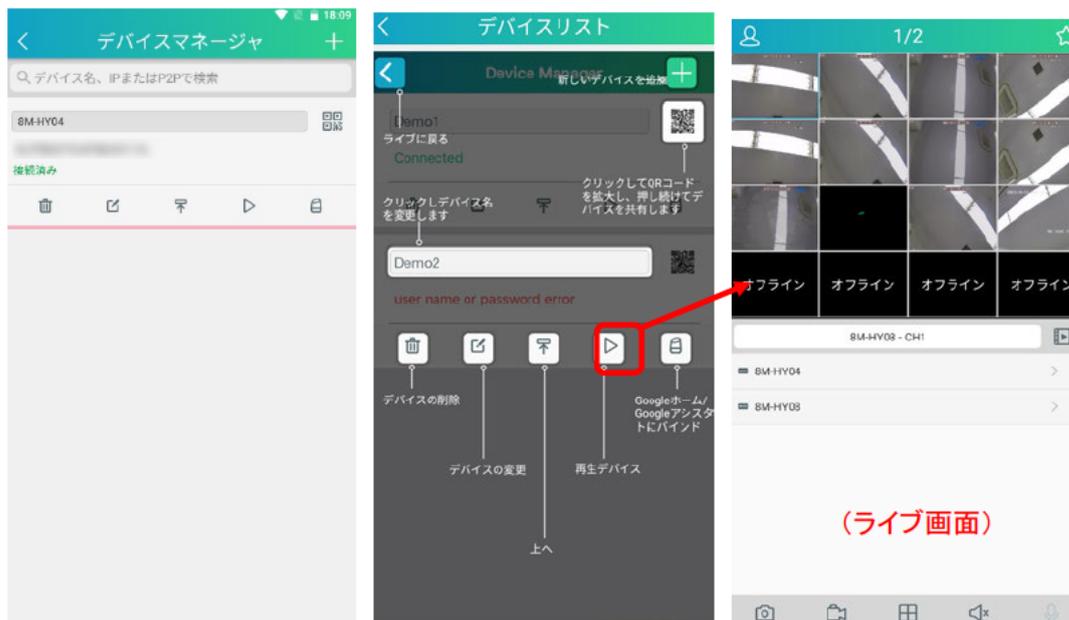


- ② P2P QR コードをスキャンします。
または、「手動」を選択して NVR 情報を入力して[保存する]をタップします。



③デバイスマネージャーへ登録されます。

▷ボタンをタップでライブ画面が表示されます。



9.2 「RXCamView」の各操作

9.2.1 ライブ画面

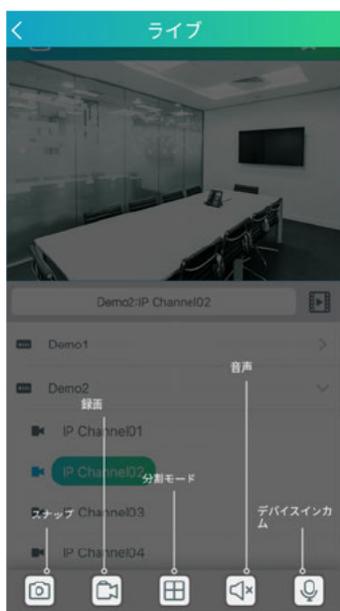
ライブ画面は1画面表示、分割画面表示が可能です。CHグループ作成はライブ画面より可能です。

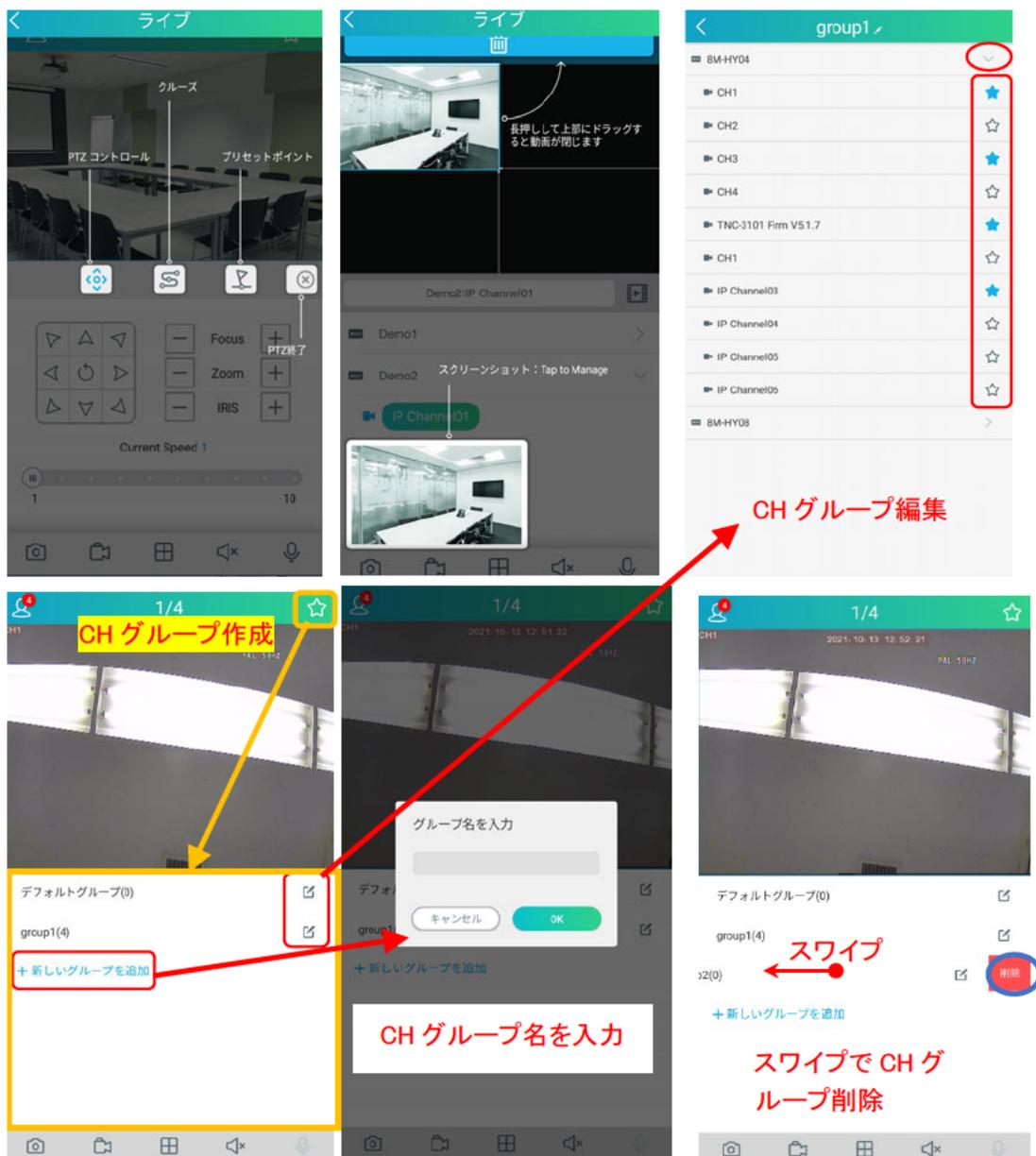


- 4分割画面
- 6分割画面
- 8分割画面
- 9分割画面
- 16分割画面

1画面に最大16チャンネルが表示可能です。
画面をスワイプすると次のチャンネルが表示可能です。
最大80チャンネルが受信可能です。

- 静止画撮影
- 手動録画(スマホへ保存)
- PTZ制御
- 画質調整
- 音声オン/オフ
- 双方向音声(NVRが対応している場合使用可能)



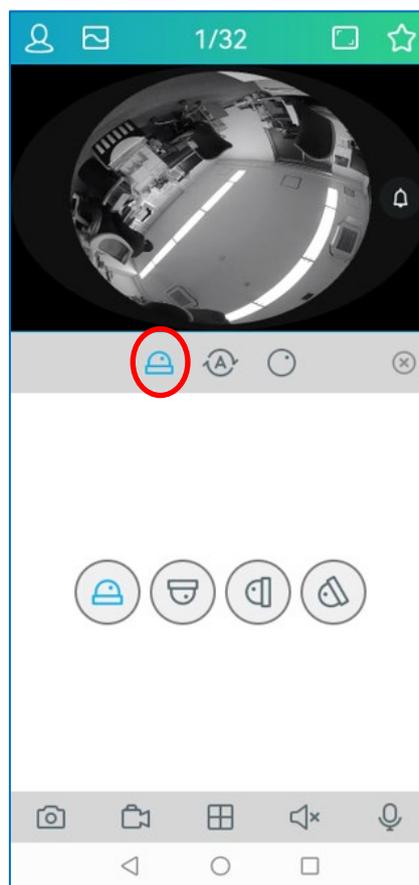


9.2.1.2 魚眼モード(ライブ)

フィッシュアイ IPC の CH で、“魚眼モード”を選択します。



フィッシュアイの設置モードを選択します。

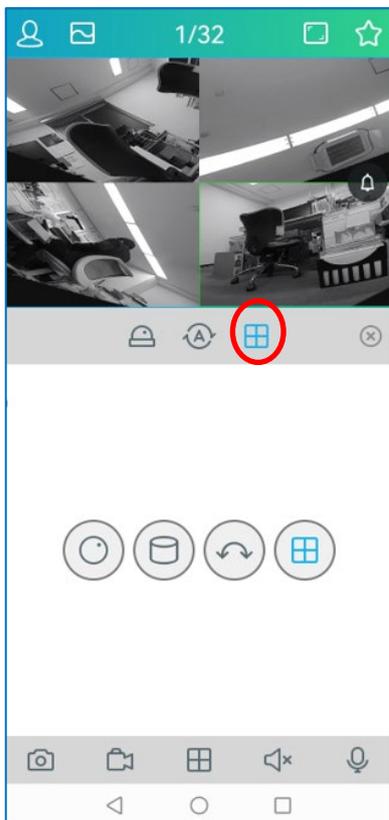


フィッシュアイ映像の展開モードを選択します。

スワイプ操作で疑似パン・疑似チルト、ピンチ操作で疑似ズームが可能です。



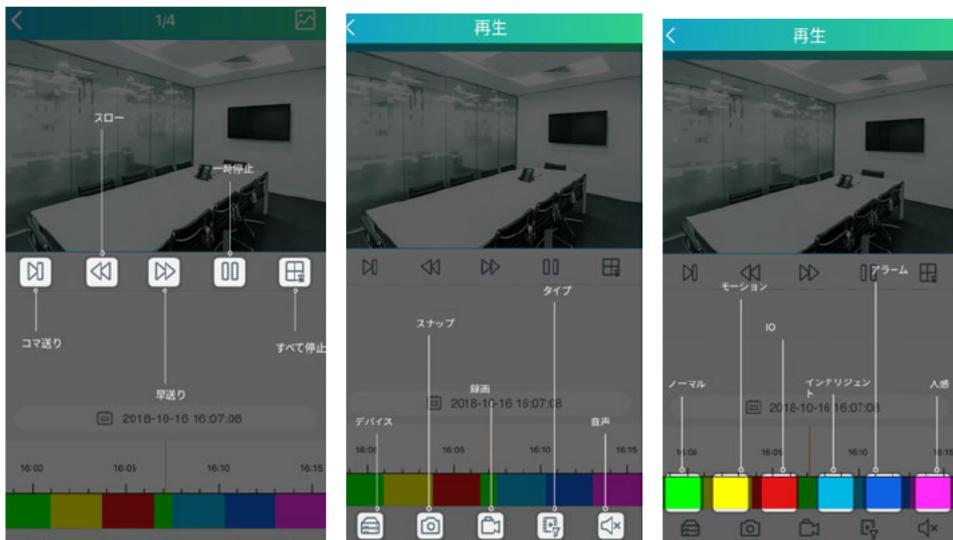
はオートクルーズを実行します。



	未修整ビュー(原画像)を表示します。
	シリンダ(円柱)モード。平面に延伸することができます。
	4PTZ(クワッド)モード。
	パノラマ 180 度ビュー。2つのサブウィンドウで 360° のデュアルパノラマを構成します。

9.2.2 録画検索・再生

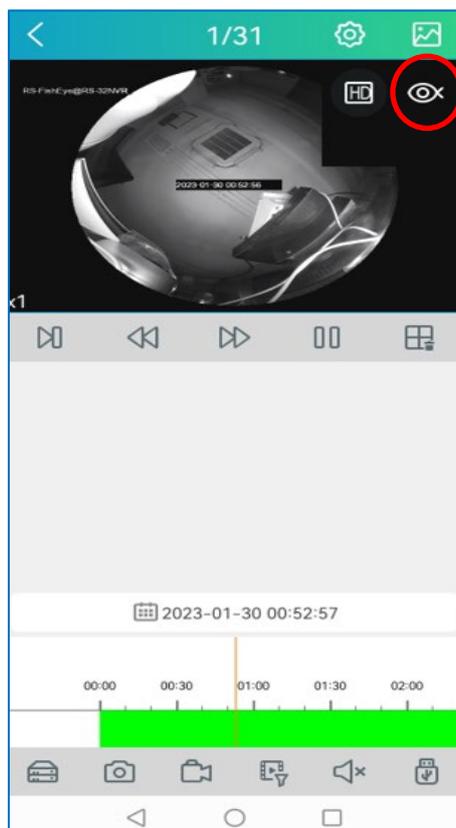
日時検索、サムネイル検索、イベント検索が可能。



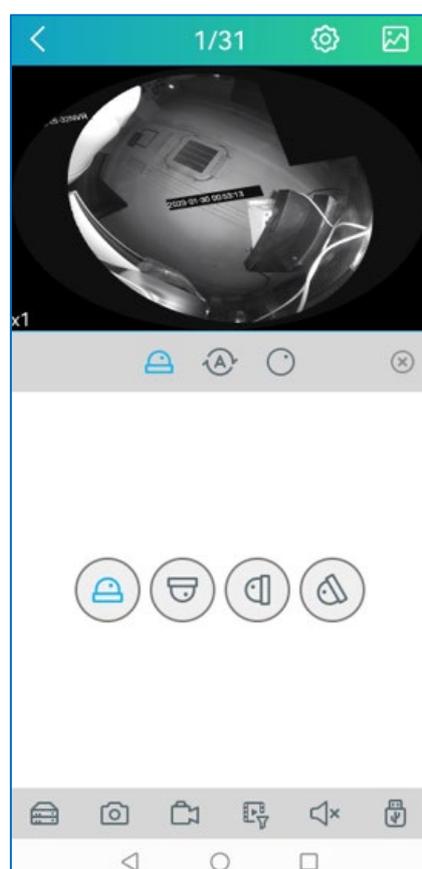


9.2.2.1 魚眼モード(録画再生)

フィッシュアイ IPC の CH で、“魚眼モード”を選択します。



フィッシュアイの設置モードを選択します。

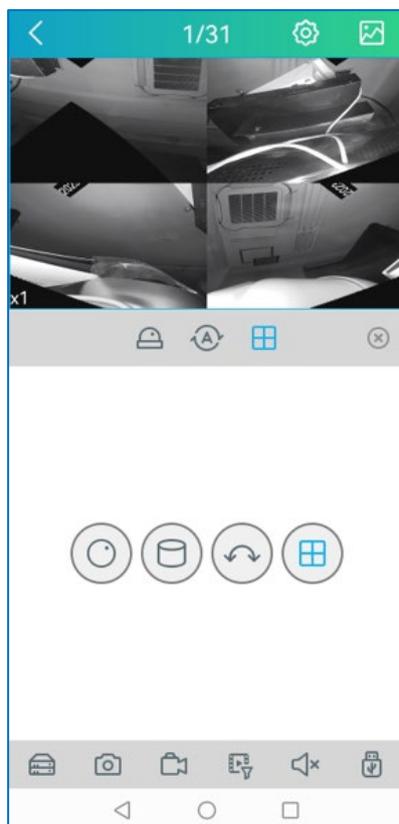


フィッシュアイ映像の展開モードを選択します。

スワイプ操作で疑似パン・疑似チルト、ピンチ操作で疑似ズームが可能です。



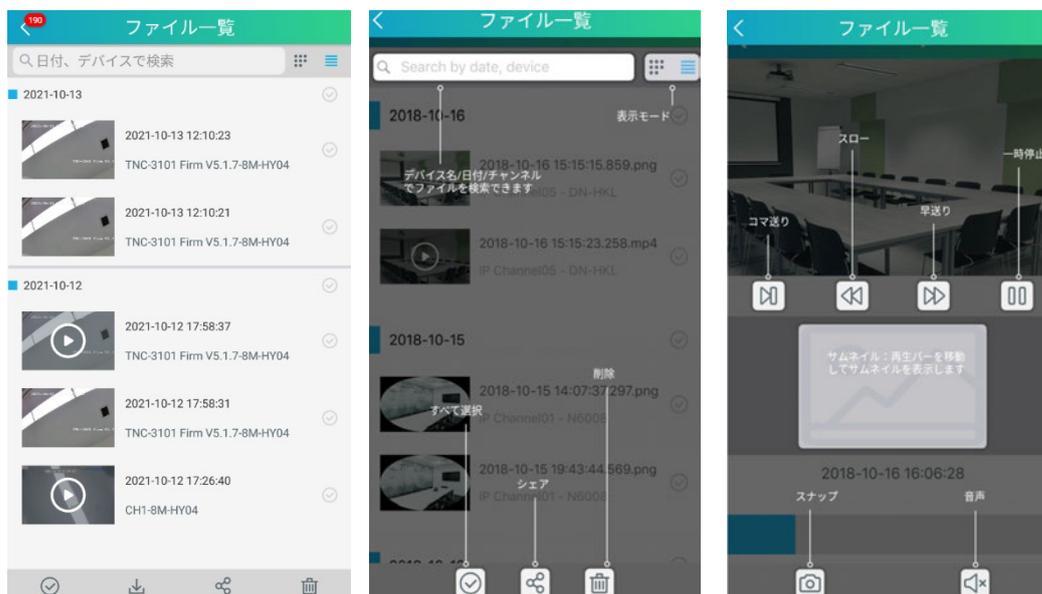
はオートクルーズを実行します。



	未修整ビュー(原画像)を表示します。
	シリンダ(円柱)モード。平面に延伸することができます。
	4PTZ(クワッド)モード。
	パノラマ 180 度ビュー。2 つのサブウィンドウで 360° のデュアルパノラマを構成します。

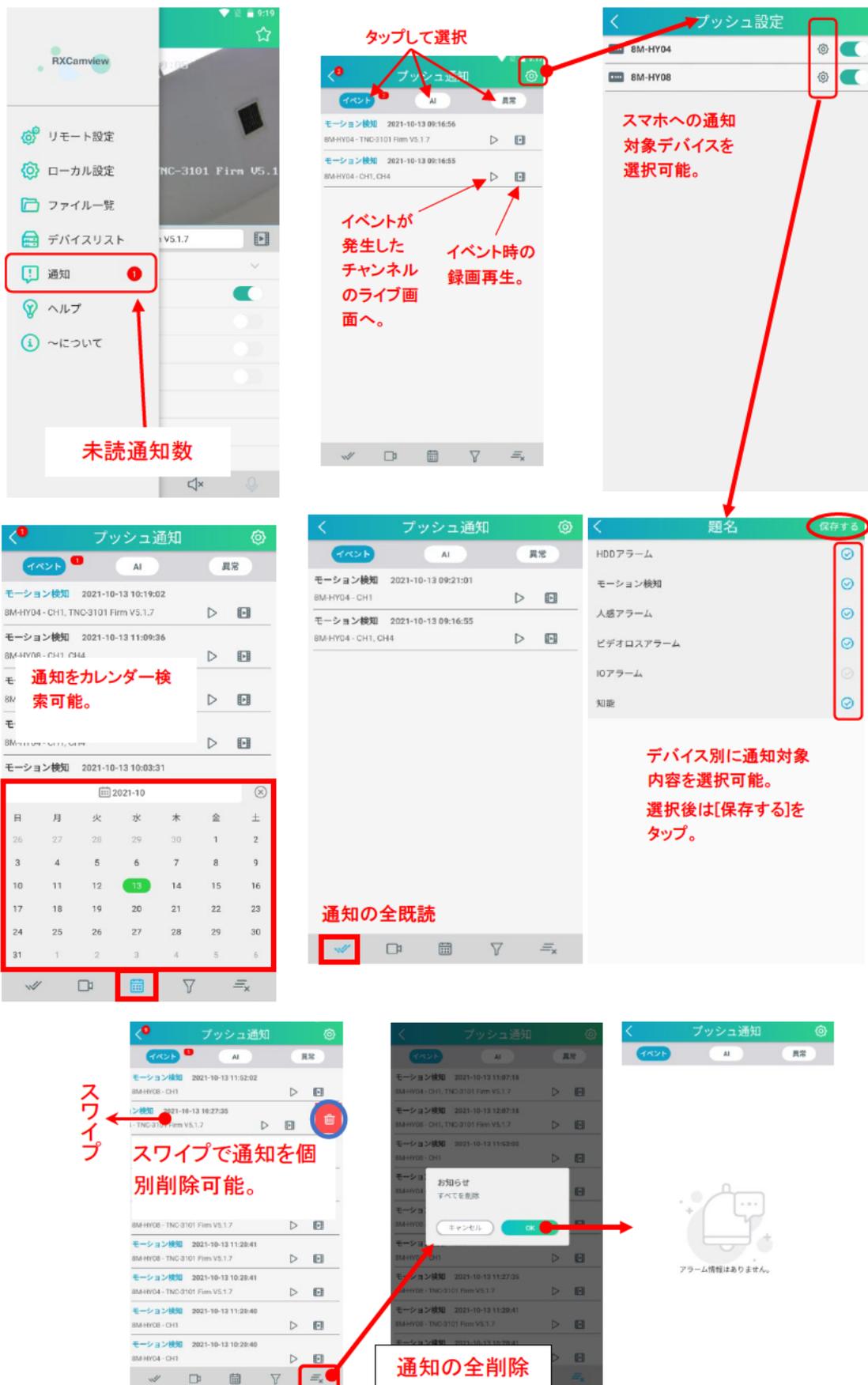
9.2.3 ファイル一覧

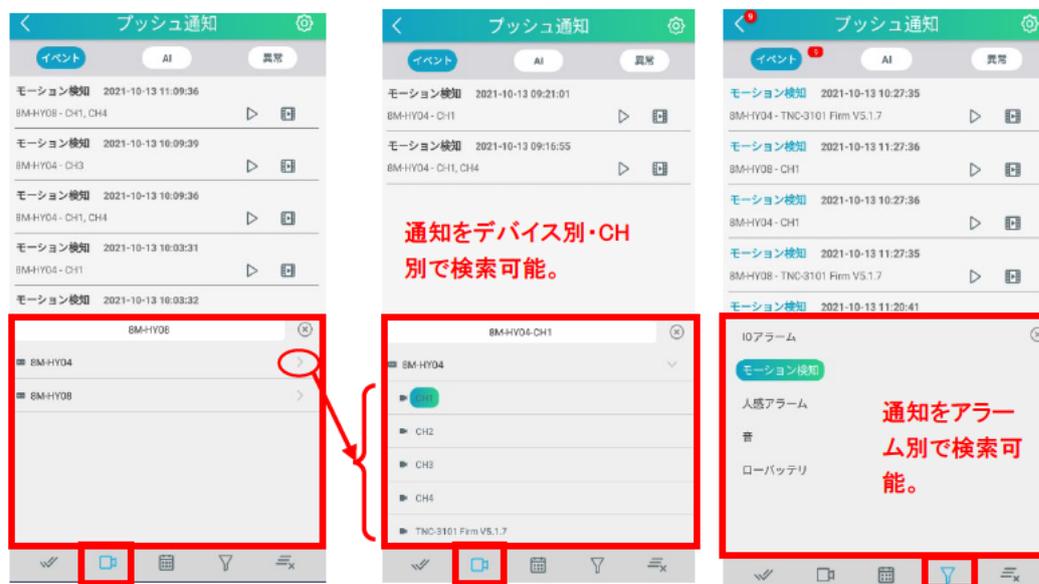
スマホで行った録画や静止画の閲覧が可能です。



9.2.4 イベント通知

スマホでNVRからのイベント通知を受け取れます。





9.2.5 ローカル設定

The image illustrates the configuration steps for local settings:

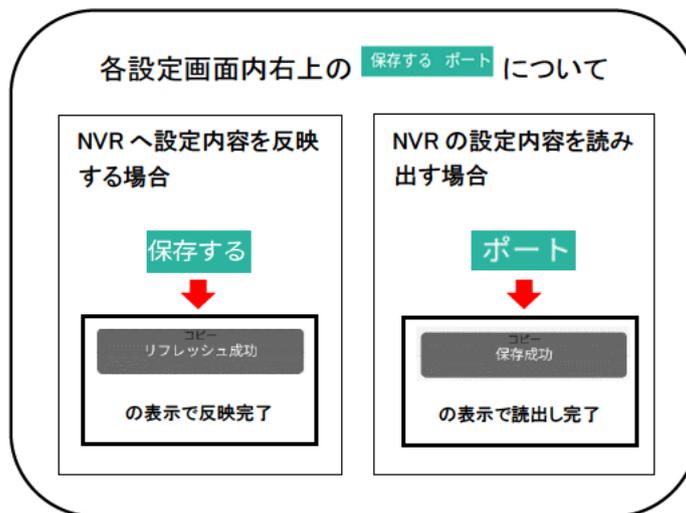
- ローカル設定 (Local Settings):** The main menu with options for Password Protection, Full Screen Mode Live Video Quality, Video Aspect Ratio, Start Settings, Auto Lock Screen, and Hardware Decoding.
- パスワード保護 (Password Protection):** Options for Password Protection, Change Password, and Touch ID/Face ID Lock Removal.
- オープン保護 (Open Protection):** Option for New Password.
- ライブビデオ品質設定 (Live Video Quality Settings):** Options for Default Stream, Remember Last Selection, and None.
- ライブビデオ品質設定 (Live Video Quality Settings):** Options for H0 (Main Stream) and クリア (Sub Stream).
- ビデオアスペクト比 (Video Aspect Ratio):** Options for 4:3, 14:9, and 16:9.
- 起動設定 (Start Settings):** Options for On/Off, Refresh Group on Entry, Recommended Device (BM-HY04), and Last Playback Time.
- 起動設定 (Start Settings):** Option for Default Group (group1).
- 起動設定 (Start Settings):** Options for BM-HY04 and BM-HY08.

ライブ画面でデフォルト表示するCHグループを選択。
ライブ画面でデフォルト表示するデバイスを選択。

9.2.6 リモート設定

スマホでNVR本体の設定が可能です。

設定を反映させるためには、それぞれの設定画面で保存を実行します。



9.2.6.1 [ライブ]設定画面

設定の詳細は「[5.1.3 ライブ](#)」を参照してください。



9.2.6.2 [日時]設定画面

設定の詳細は、「[5.6.1.1 日付と時刻](#)」、「[5.6.1.2 NTP 設定](#)」、「[5.6.1.3 サマータイム\(夏時間 DST\)設定](#)」を参照してください。

The image displays two side-by-side screenshots of the system configuration interface. Both screenshots have a green header with '戻る' (Back) on the left and '保存する' (Save) and 'ポート' (Port) on the right.

Left Screenshot (DST Settings):

- システム時間: 2021-10-13 12:57:12
- 日付形式: YY-MM-DD
- 時間形式: 24時間
- タブ: DST (selected), NTP
- DSTを有効:
- 時間モード: 週
- 時間オフセット: 1時間
- 開始時間: 3月 第2日 02:00:00
- 終了時間: 11月 第1日 02:00:00

Right Screenshot (NTP Settings):

- システム時間: 2021-10-13 12:57:40
- 日付形式: YY-MM-DD
- 時間形式: 24時間
- タブ: DST, NTP (selected)
- NTPを有効:
- サーバーアドレス: pool.ntp.org
- タイムゾーン: GMT+09:00

9.2.6.3 [HDD]設定画面

設定の詳細は、「[5.5.1 ディスク管理](#)」を参照してください。

The screenshot shows the HDD settings interface with a green header containing '戻る' (Back) and '保存する' (Save) and 'ポート' (Port).

上書き: 自動

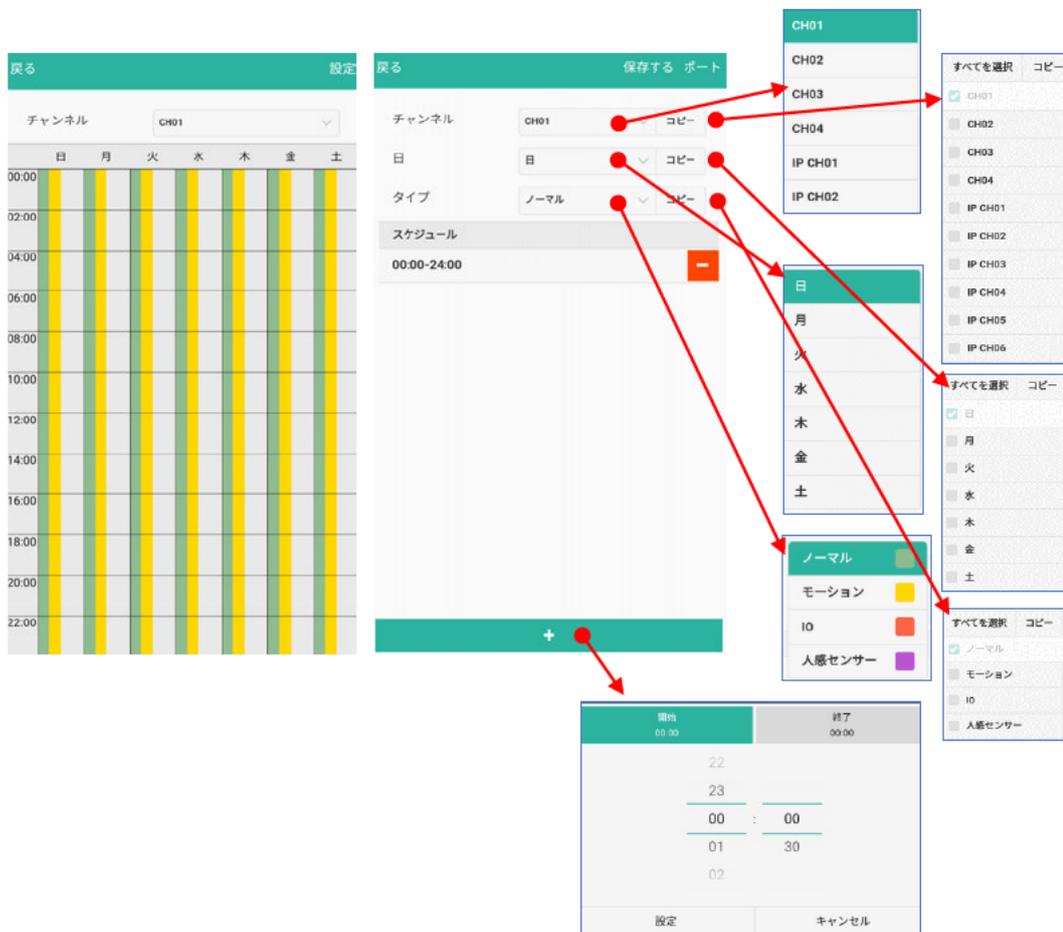
WD-WCC4M5JVUF76

ステータス	OK
合計	222G / 1863G
録画時間	18時間

フォーマット

9.2.6.4 [録画スケジュール]設定画面

設定の詳細は、「[5.2.2.2 録画スケジュール](#)」を参照してください。



9.2.6.5 [ネットワーク]設定画面

設定の詳細は、[「5.4 ネットワーク」](#)を参照してください。

The image displays two screenshots of a network configuration interface. The left screenshot shows the general network settings, and the right screenshot shows the port configuration table.

Left Screenshot: General Network Settings

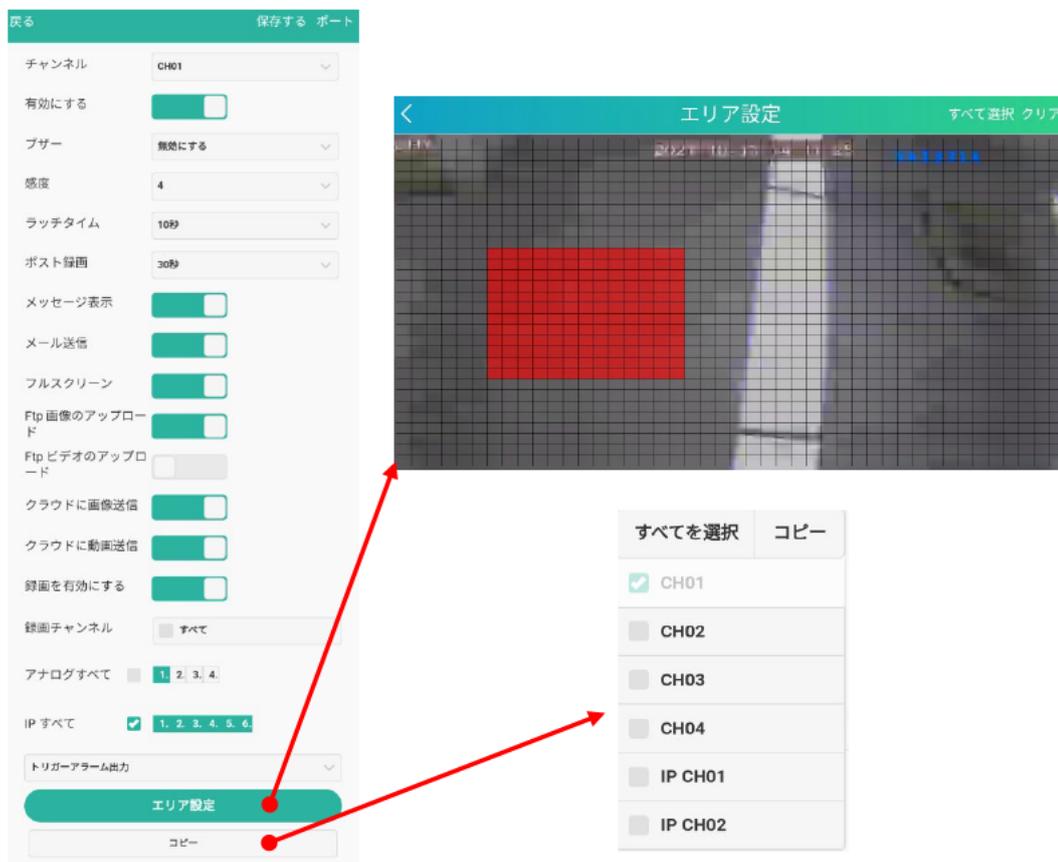
戻る	保存する	ポート
全般		
タイプ	DHCP	
有効にする	<input type="checkbox"/>	
IPアドレス	[Input field]	
サブネットマスク	[Input field]	
ゲートウェイ	[Input field]	
DNS 1	[Input field]	
DNS 2	[Input field]	
IPv6アドレス	[Input field]	
IPv6アドレス	[Input field]	
P2Pスイッチ	<input checked="" type="checkbox"/>	

Right Screenshot: Port Configuration Table

戻る	保存する	ポート		
全般		港		
		内部	外部	
HTTPポート	80	80	UPNP	
クライアントポート	9000	9000	UPNP	
RTSPポート	554	554	UPNP	
HTTPSポート	443	443	UPNP	

9.2.6.6 [モーション]設定画面

設定の詳細は、「[5.1.6 モーション\(パラメータ設定\)](#)」、「[5.1.6.1 モーション\(アラーム設定\)](#)」を参照してください。



9.2.6.7 [IO 制御] (外部入力アラーム) 設定画面

設定の詳細は、[「5.3.2 I/O アラーム \(外部入力アラーム\)」](#)を参照してください。

The screenshot displays the configuration interface for external input alarms. On the left, a list of settings is shown, including 'Alarm Input' set to 'IO-1', 'Alarm Type' set to 'Off', and 'Buzzer' set to 'Disable'. Below these are various notification options like 'Message Display', 'Email Delivery', and 'Full Screen', along with recording settings like 'Post-recording' (30s) and 'Recording Channel'. At the bottom of the left panel, there is a 'Copy' button. On the right, a separate panel shows a list of alarm inputs: 'IO-1' (checked), 'IO-2', 'IO-3', and 'IO-4'. This panel includes a 'Select All' button and a 'Copy' button. A red arrow points from the 'Copy' button in the left panel to the 'Copy' button in the right panel.

9.2.6.8 [システム情報]画面

システム情報が閲覧可能です。詳細は、[「5.6.6 システム情報」](#)を参照してください。



9.2.6.9 [メール]設定画面

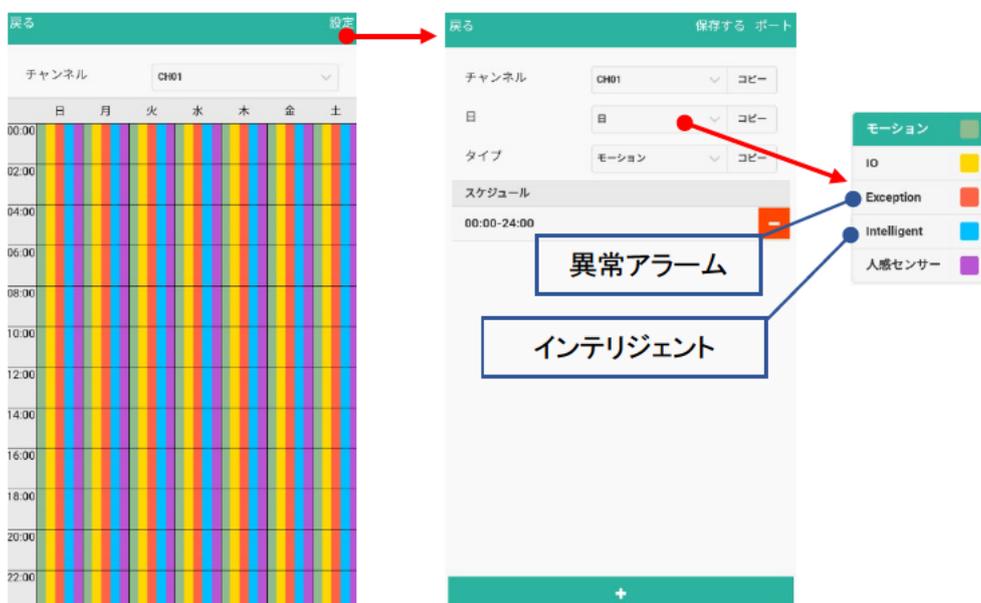
設定の詳細は、[「5.4.3.1 メール設定」](#)を参照してください。



戻る	保存する	ポート
メール	<input checked="" type="checkbox"/>	
暗号化	TLS	▼
SMTPポート	587	
SMTPサーバー		
ユーザー名		
パスワード		
送信者		
受信者1		
受信者2		
受信者3		
インターバル	1分	▼
メールテスト		

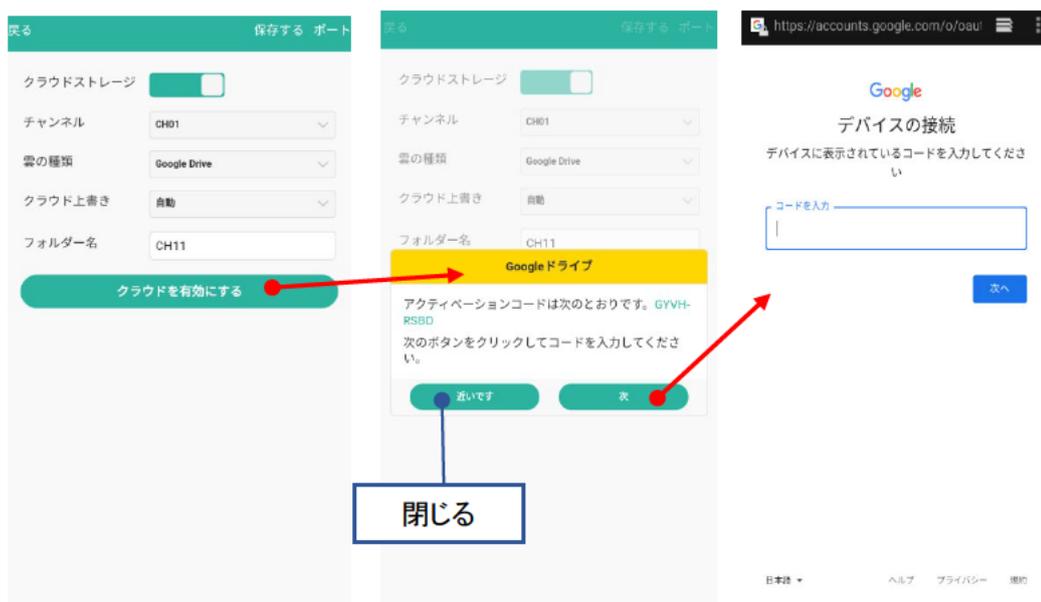
9.2.6.10 [メールスケジュール]設定画面

設定の詳細は、「[5.4.3.2 メールスケジュール](#)」を参照してください。



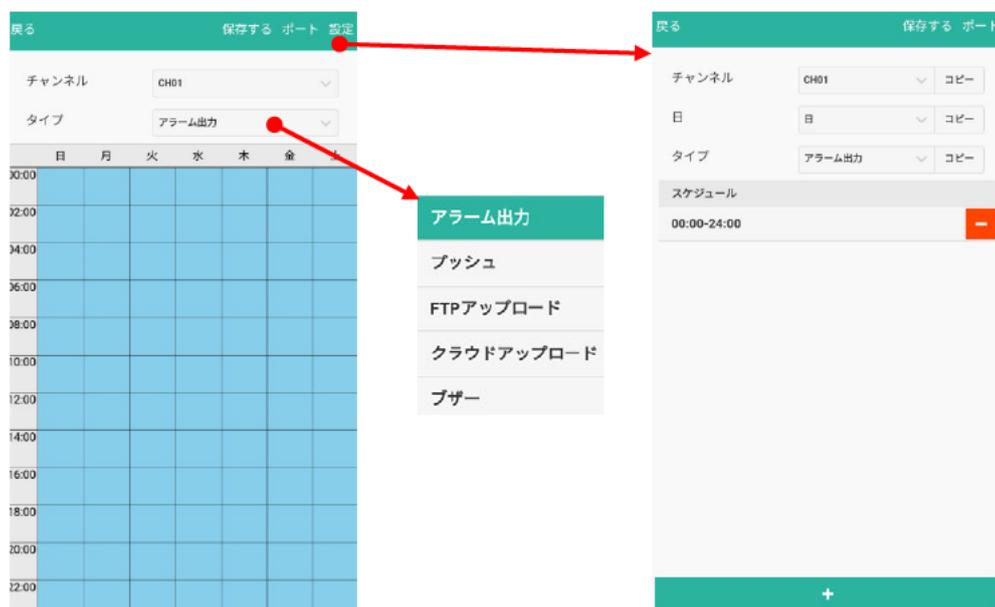
9.2.6.11 [クラウドストレージ]設定画面

設定の詳細は、「[5.5.2 クラウド](#)」を参照してください。



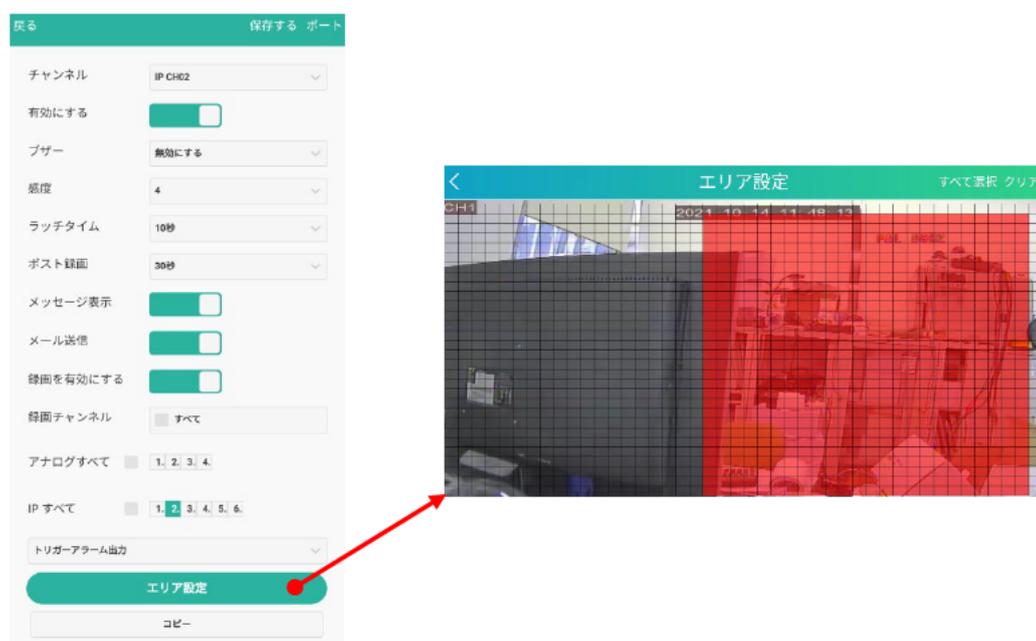
9.2.6.12 [アラームプッシュスケジュール]設定画面

設定の詳細は、[5.3.6 アラームスケジュール\(リンケージアクションのスケジュールリング\)](#)を参照してください。



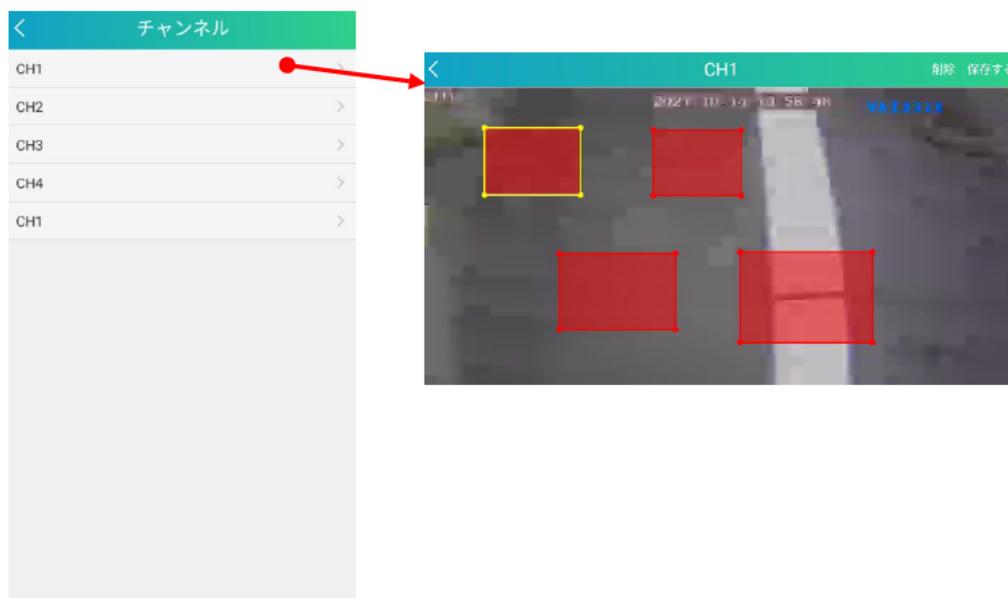
9.2.6.13 [PIR] (人感センサー)設定画面

設定の詳細は、[5.1.7 人感センサー\(パラメータ設定\)](#)、[5.1.7.1 人感センサー\(アラーム設定\)](#)を参照してください。



9.2.6.14 [ビデオブロック](プライバシー設定)設定画面

設定の詳細は、[「5.1.8 プライバシー設定」](#)を参照してください。

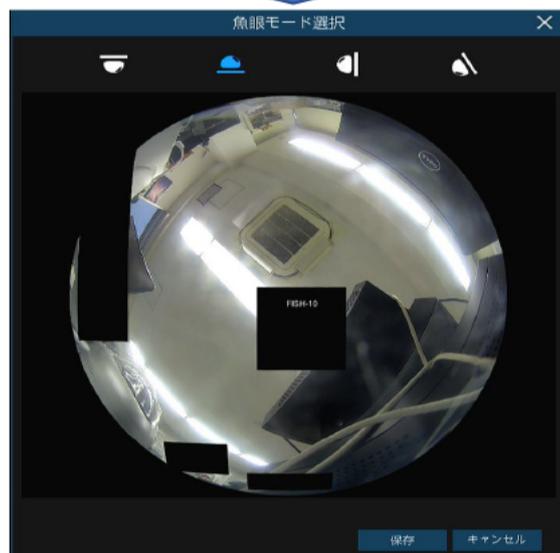


第 10 章 付録

10.1 トラブルシューティング, FAQ

1. Q: フィッシュアイカメラのチャンネル映像が丸い。どうにかならないか。

A: フィッシュアイカメラのチャンネル映像は”魚眼モード”で展開可能です。詳しくは、[「4.2.4 魚眼モード」](#)をご参照ください。



2. Q: パスワードを変更しましたが、新しいパスワードを忘れた場合、システムにアクセスするにはどうすればいいですか？
A: 設定が全て出荷状態へ戻りますがリセットを行うとパスワードもリセットされます。“リセットスイッチ設定”でHDDフォーマットを御設定の場合は同時に搭載されている全てのHDDフォーマットが実施され、搭載されている全てのHDD内の全データが消去されます。詳しくは、[「1.1 リアパネル」](#)、[「5.6.4.6 リセットスイッチ設定」](#)をご参照ください。
3. Q: NVRとカメラを接続しました。しかし、ビデオが表示されません。両方のデバイスの電源はOKです。何が間違っていますか？
A: NVR側のネットワークケーブルを確認して、ケーブルがしっかりと接続されているか、設定が正しいかを確認します。
4. Q: NVR が熱の影響を受けないようにするには？
A: NVRは、稼働中に十分に放熱する必要があります。NVRの安定性と寿命を確保するために、空気循環が良好で熱源から離れた場所にNVRを置いてください。
5. Q: 録画中に検索再生できますか？
A: システムは、録画動作中の検索再生機能をサポートします。
6. Q: NVR の HDD でレコードを消去できますか？
A: ファイルのセキュリティを考慮して、レコードの一部をクリアすることはできません。録画ファイルのロックの有無にかかわらず全てのレコードを削除する場合は、HDD のフォーマットを行います。
7. Q: NVRにリモートログインできないのはなぜですか？
A: ネットワーク接続の設定が正しいか、RJ-45 ポートが良好な接続状態にあるか確認してください。アカウントとパスワードが正しく入力されているかどうかを確認します。
8. Q: NVRがRS-485接続したPTZを制御できません。どうしたらよいですか？
A: 以下についてご確認ください。
1) 手前のPTZが誤動作しています。
2) PTZデコーダの設定、接続、インストールが正しくない。
3) NVRの PTZ 設定が正しくない。
4) PTZ デコーダのプロトコルが NVR のプロトコルと一致しません。
5) PTZ デコーダのアドレスが NVR のアドレスと一致しません。
6) 多くのデコーダが接続されている場合、PTZデコーダのABラインの最も遠い側に120Ωの抵抗を加えて、インピーダンスマッチングを実現する必要があります。そうしないと、PTZ制御が不安定になります。
9. Q: アラームが機能しないのはなぜですか？
A: アラーム設定、アラームスケジュール設定、アラーム接続、アラーム入力信号が正しいか確認してください。
10. Q: WEBクライアントからファームウェアアップデートできません。
A: ADMINパスワード認証ができない場合はファームウェアアップデートを実施できません。また、本体が設定操作中/録画検索中の場合はファームウェアアップデートができません(メニュー一覧画面表示中だけの場合は可能です)。
11. Q: なぜブザーは鳴り続けるのですか？
A: アラーム設定を確認し、モーション検出機能が有効になっているか、オブジェクトの動きが常に検出されているか、I/Oアラームのノーマルオープン・ノーマルクローズの設定が誤っていないかどうかを確認してください。また、対応するHDDアラーム設定を参照してください。

12. Q: [停止]ボタンを押したり、コンテキストメニューの[録画の停止]をクリックして録画を停止できないのはなぜですか？

A: [停止] または [録画の停止] を押すと、手動録画の録画停止しかできません。特定の時間にスケジュールされた録画を停止したい場合は、スケジュール設定を「録画なし」に変更してください。スタートアップ録画を停止するには、予約録画または手動録画にレコードモードを変更します。その後、所定の方法で録画を停止することができます。また、録画を停止する別の方法は、チャンネルを録画設定で録画スイッチをオフへ設定することです。

13. Q:「非表示」設定中チャンネルのライブ音声が出ない。

A:如何なる場合でもNVRのライブ画面では、「非表示」設定中のチャンネルの音声は出ません。（「非表示」設定中においても録画設定で音声の項目が有効となっている場合、そのチャンネルの録音は行われます）

14. Q:「非表示」設定したチャンネルがWebクライアントやRXCamViewで表示されている。

A:「非表示」設定はVGA, HDMI出力に対してのみ有効です。

15. Q:録画が上書きされない。

A:上書き設定をご確認ください。又は、ロックしているファイルをご確認ください。

16. Q:指定した検出領域でスマート検索を行いたい。

A:[「6.1.4.1 スマート検索エリア」](#)をご覧ください。

17. Q:録画再生のタイムラインの凡例の“アラーム”とは何ですか。

A:凡例の“アラーム”は、イベントが重複した場合に表示されます。

18. Q:そのCHでトリガが重複した際はどのような動作を行いますか。

A:(ブザー/ラッチタイム/録画継続時間)最終のトリガからカウントダウンが開始されます。

19. Q:アラームでの全画面表示中に別CHでトリガが発生した場合、切り替わりますか？

A:切り替わります。

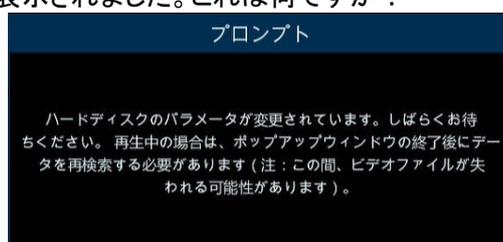
20. Q:本体内部の外部IOアラームリレーは修理/メンテナンス可能ですか？

A: 本体内部の外部IOアラームリレーは修理/メンテナンスができません。

21. Q: “WEB SESSION TIMEOUT” はウェブブラウザアクセスへのみ適用されますか？

A: “WEB SESSION TIMEOUT” はウェブブラウザアクセスへのみ適用され、VMSクライアント接続へは適用されません。

22. Q:次の画像のプロンプトが表示されました。これは何ですか？



A: このプロンプト画面はディスクタイプを変更した場合、又は、ハードディスク(内蔵ディスク)を交換又は一旦お取外された場合に表示される場合がございます。なお、ご自身で内蔵ディスクの取外しや交換を行われた場合は保証対象外となりますのでご注意ください。ハードディスク(内蔵ディスク)の交換及び増設をご検討の際は代理店までご相談いただきますようお願いいたします。

23. Q: “冗長ディスク”について教えてください。

A: [「5.5.1 ディスク管理」](#)をご覧ください。

24. Q: NVRは正常に動作するが、フロントパネルでNVRを制御できないのはなぜですか？

A: [「5.6.1.4 パネルキー設定」](#)をご覧ください、システム設定とキーロック状態をご確認ください。

25. Q: ログは削除できますか？

A: セキュリティを考慮して、HDDフォーマットしてもログは消えないようになっております。

26. Q: リモートコントローラーは別売りで取扱いがございますか？

A: リモートコントローラーの取扱いはございません。ご了承ください。

27. Q: コンセントに接続した後にNVRが起動できないのはなぜですか？

A: 本機でACコードが抜けていないか確認してください。

28. Q: NVRをオンにした後、ブルースクリーンで何も表示されない。

A: NVR背面パネルのVGA/HDMI出力ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。

29. Q: NVRのチャンネルに映像が表示されないのはなぜですか？

A:

- 1) NVR設定: NVRで非表示のカメラ機能を有効にしているかどうかを確認してください。
- 2) 接続: ケーブルとインターフェース、ネットワーク設定を確認してください。
- 3) カメラ: カメラをご確認ください。

30. Q: 1時間ごとに使用されるストレージ容量が期間によって異なるのはなぜですか？

A:

- 1) 録画設定と密接に関連しています。異なるレコードフレームレート、解像度、画質では異なるビットレートをもちます。レコードのフレームレート、解像度、画質が低いほどビットレートは低くなります。
- 2) 使用されるストレージは映像変化の大小と密接に関連しています。映像変化が静かな場合は使用されるストレージが少なくなります。映像の変化が大きい場合は使用されるストレージが大きくなります。つまり、異なる映像では使用されるストレージ量に大きなギャップが発生する可能性があります。

31. Q: 動きがありますがNVRはトリガを発動せず記録しません。なぜですか？

A:

- 1) モーションの場合、モーション検出時間、モーション検出範囲設定が正しいか、感度が低すぎないかどうかを御確認ください。
- 2) モーションの場合、モーション記録するにはモーション機能をONにしてスケジュール設定を行う必要があります。[「5.1.6 モーション\(パラメータ設定\)」](#)、[「5.1.6.1 モーション\(アラーム設定\)」](#)、[「5.2.2.2 録画スケジュール」](#)、[「5.2.3.2 キャプチャスケジュール」](#)をご覧ください。
- 3) 音声検知の場合、映像に動きがあっても音声検知の無い場合は記録しません。
- 4) コンビを組んでいませんか？ コンビ元の単独の2つのアラームは無効化されます。[「5.3.7 コンビネーションアラーム\(COMBINATION ALARM\)」](#)をご覧ください。
- 5) AIによるトリガが発動しない場合: (トリガへ設定している仮想エリアをご確認ください) 仮想ライン/仮想エリアの縁がカメラ映像のエッジ/コーナーに近すぎている場合はトリガできない場合がございます。
- 6) AIによるトリガが発動しない場合: (パラメータをご確認ください) 顔認識の最小/最大ピクセルの誤設定等がないかご確認ください。
- 7) AIによるトリガが発動しない場合: [「5.1.9.8 インテリジェント機能のスケジュール設定」](#)を御参考にスケジュール設定をご確認ください。
- 8) スケジュール動作が実時間とズレていませんか？ 時刻設定をご確認ください。

32. Q:音声検知して良いはずだがNVRはトリガを発動せず記録しません。なぜですか？

A:

- 1) 音声入力ケーブルに不具合がないことをご確認ください。
- 2) [システム] - [基本設定] の“音声入力タイプ”をご確認ください。
- 3) 音声入力音圧が低い場合は増幅アンプの導入をご検討ください。
- 4) 音声入力端子の差し間違いがないことをご確認ください。
- 5) 音声検知のライトスケジュールをご確認ください。詳しくは、[「5.1.9.9 音声検知」](#)を御参照ください。

33. Q: LANでNVRにアクセスすることができますが、インターネットからNVRにアクセスできません。なぜですか？

A:

- 1) そのLANネットワークは物理的にあるいは理論的にインターネットから隔離されています。又はそのLANネットワークに不具合があります。
- 2) そのネットワークはNVRに対して適切なポートフォワーディング設定が行われていません。
- 3) P2P機能を使用しない場合で固定IPではない場合にはDDNSサービスが必要ですが、NVRのLAN環境、DDNSサーバで適切にDDNSが設定されていません。
- 4) P2P機能をご利用の場合、NVRがDNS解決できていない場合がございます。

34. Q: 不在中に他の人が録画を止めないようにすることはできますか？

A: “画面ロック”を行うことで、正しいパスワードを持っていない限り誰もNVRを操作することができなくなります。[「4.2.3.1 画面のロック解除とロック」](#)をご覧ください。

35. Q: NVRの内蔵HDDのすべての録画データを消去するにはどうすればよいですか？

A: デバイス設定の「HDDフォーマットセット」オプションを選択します。[「5.5.1 ディスク管理」](#)をご覧ください。但し、HDDフォーマットを行ってもログは残ります。

36. Q: PCでNVRの内蔵HDDの録画データを録画再生できますか？

A: VMSソフトウェアでNVRへネットワークアクセス、あるいは、WEBブラウザネットワークアクセスを介してNVRの内蔵HDDの録画データを録画再生可能です。

37. Q: NVRの内蔵HDDを増設したい。

A: TNV-R8PW/TNV-R16PWは最大2台までのHDDが搭載できます。代理店までご相談ください。

38. Q: S.M.A.R.T.でエラーが確認されたのでHDD交換及び録画映像のバックアップをお願いしたい。

A: お早めに代理店までご相談ください。

39. Q: MICROSOFT EDGE ブラウザに対応していますか？

A: MICROSOFT EDGE ブラウザのIEモードによるライブ閲覧、録画再生、録画映像バックアップをサポートしています。

40. Q: 録画バックアップ、ファームウェア更新をするために、NVRへUSBフラッシュメモリーを接続しますが検出しません。

A: そのUSBフラッシュメモリーが対応していない可能性があります。

41. Q: ログ検索は何処ですか？

A: [「5.6.4.1 ログ」](#)をご参照ください。

42. Q: “画面ロック”と“ログアウト”の違いは何ですか？

A: “画面ロック”は“画面ロック”を行ったアカウントでのみロック解除できます。“ログアウト”の場合はログインの際にアカウントを変更可能です。アカウントを選択してログインするにはパスワードによるログインが必要です。パターン認証画面の場合は、[「パスワード」](#)ボタンをクリックしてパス

ワード認証画面へ移行します。ログイン画面を表示中のNVRはログイン中同様に録画等のバックグラウンド動作を行っております。



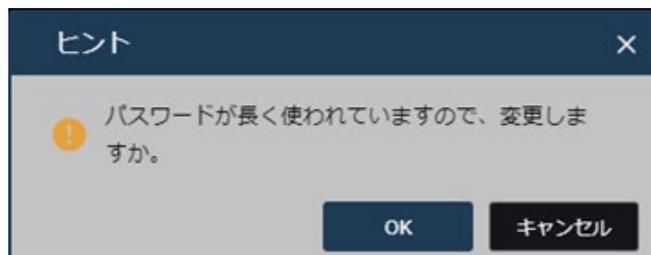
(パターン認証画面)



(パスワード認証画面)

43. Q:登録されたCHが接続できません。私は何か間違っていますか？

A: もしも、そのIPCのWEBクライアントへログインした際にパスワード変更を促すダイアログが表示されましたら、アクティベーションがうまくいっていない可能性がございます。この場合、そのIPCのパスワードを変更することで登録されたCHが接続できる可能性がございます。このダイアログは定期的なパスワード変更を促し、セキュアな遠隔接続であり続けることをサポートするために表示されます。



44. Q:ライブ出力の“スケール&オフセット”が調整できない。

A: ライブ出力解像度の“自動認識”を解除してください。

45. Q:認可証明書ファイルを読み込ませたが“認証が失敗しました”と表示されてパスワードリカバリが出来ない。どうにかならないか。

A:

- 1) 認可証明書ファイルが壊れている可能性がございます。認可証明書ファイルを別デバイスへバックアップされている場合はバックアップしている認可証明書ファイルをお試しください。
- 2) 設定が全てデフォルト値へセットされますが、本体裏面のリセットボタンを10秒程度押しするとパスワードも“cctv1212@”(半角小文字英数字記号)へリセットされます。“リセットスイッチ設定”でHDDフォーマットを御設定の場合は同時に搭載されている全てのHDDフォーマットが実施され、搭載されている全てのHDD内の全データが消去されます。[「1.1 リアパネル」](#)の表の「NO.5 RESET」, [「5.6.4.6 リセットスイッチ設定」](#)をご覧ください)

46. Q: “ライブ出力”の”出力解像度”を変更の場合に録画は停止するか？

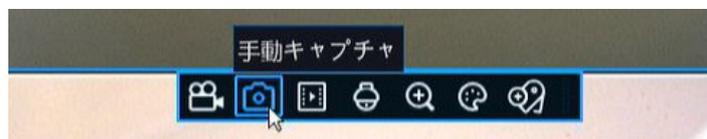
A: 停止しません。

47. Q: NVRでUSBフラッシュメモリーをフォーマットできるか？

A: バックアップ画面よりUSBフラッシュメモリーをフォーマット可能です。[「3.4 USBフラッシュメモリーを本機でフォーマットする」](#)をご参照ください。

48. Q: USBフラッシュメモリーへライブ画面を直接スクリーンショットできるか？

A: 一旦本体へ手動キャプチャを行っていただき、写真検索でUSBフラッシュメモリーへ保存する手順となります。詳しくは、「[4.2.1 カメラクイックツールバー](#)」, 「[5.2.3.1 キャプチャ](#)」をご覧ください。なお、全ての手動キャプチャのキャプチャ画質は“録画設定” — “キャプチャ” で設定した画質が適用されます。



49. Q:再生録画している最中にUSBフラッシュメモリーへ直接スクリーンショットしたい。

A:本体でプログレスバー上部にある手動キャプチャアイコンをクリックしますと録画再生中のハイライトされたチャンネルのUSBフラッシュメモリーへの手動キャプチャが可能です(4つのチャンネルをキャプチャする際は4回の手動キャプチャ操作が必要です)。詳しくは、「[6.1 検索機能の使用](#)」をご覧ください。なお、全ての手動キャプチャのキャプチャ画質は“録画設定” — “キャプチャ” で設定した画質が適用されます。



50. Q:録画再生しているこの画面をNVR本体へ、今、キャプチャしたい。

A: 録画再生映像のキャプチャはUSBフラッシュメモリーへのみ可能です。しかし、あなたはこの日時のこの映像のこの瞬間に対して“カスタムタグ”を付けることが可能です。タグ名は半角文字である必要がございます。詳しくは「[6.1.6 タグ検索](#)」をご覧ください。



51. Q:OSD表示位置(カメラタイトル/日時表示)が調整できない。

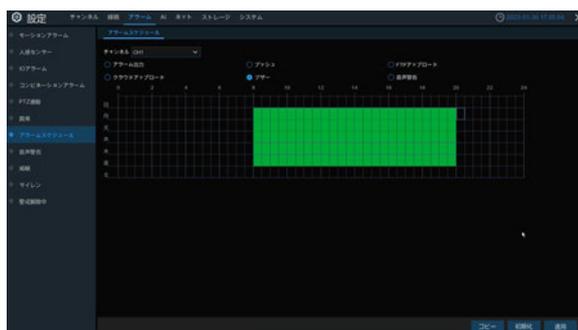
A:そのIPカメラは対応していない可能性がございます。

52. Q:本機でブザー音を止めたい。

A: **アラーム** で、そのイベントの **ブザー** を **オフ** へ設定します。

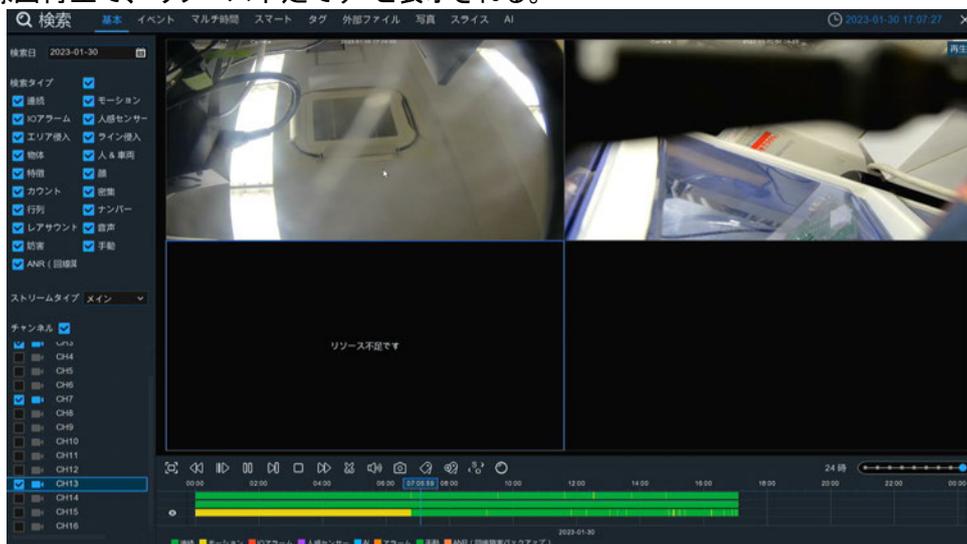
53. Q:ブザー音をスケジューリングできないか？

A: “アラームスケジュール” の “ブザー” で、スケジューリング設定します。

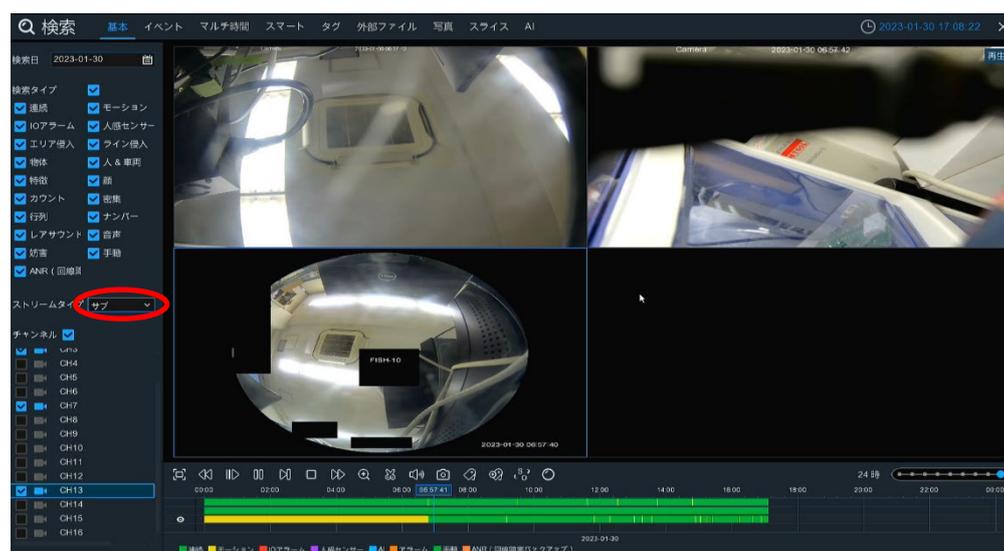


54. Q: SDGs(エスディージーズ)、RoHS(ローズ)へ対応しているか？
 A: RoHS2へ対応し、SDGs 問題ございません。

55. Q: 録画再生で、“リソース不足です”と表示される。



A: サブストリームでの再生、又は、分割画面表示の場合は分割数を下げる、又は、1CH表示での再生をお試しください。サブストリーム検索/再生はデュアルストリームで録画されている必要があります。



56. Q: 分割画面の分割数・レイアウトを任意に変更できるか？

A: 製品仕様上、分割画面の分割数・レイアウトを任意に変更はできません。選択可能な分割数、レイアウトのみご選択いただけます。

57. Q: ANR機能が機能しなかった。

A:

- 1) そのIPCはANR機能に対応していません。または、ANR機能がオフです。
- 2) そのIPCのSDカード、設定をご確認ください。
- 3) そのIPCのSDカードは正しくフォーマットされていません。
- 4) そのIPCのSDカードはそのIPCで正しく認識されていません。
- 5) そのIPCはPOE給電によって稼働しています。

58. Q: NVRへ接続することに対して、IPCへSDカードを搭載する必要はありますか？

A: いいえ。

59. Q: IPCがNVRへ接続されたことをどうやって確認しますか？

A: NVRのライブ画面でIPCがNVRへ接続されたことを確認します。

60. E-SATAのハードディスクが繋がらない。

A:

- 1) 本機でフォーマットしていません。
- 2) ケーブルの状態、正しく接続されているか確認します。
- 3) E-SATAのハードディスク電源がOFFです。

61. Q: E-SATAのディスクが認識されない。

A:

- 1) E-SATA端子が本機で有効に設定されていません。
- 2) 本機でフォーマットされている必要がございます。
- 3) E-SATA端子のディスクはバックアップ用途で御利用いただけません。

62. Q: E-SATAディスクは何に使える？

A: E-SATAディスクは、“冗長ディスクモード”、“読み出し/書き込みディスクモード”、“読み出し専用ディスク”としてご利用可能です。詳しくは、[「5.5 ストレージ管理」](#)をご覧ください。

63.

A: 通常、PTZはモータ駆動システムを使用します。しかし、フィッシュアイでは高度な画像処理技術を利用してモータ駆動システムなしで疑似的にPTZを再現しています。

64. Q: 端子台(OUT, ALARM, RS-485)に使用するケーブル仕様？

A:

Wire range: 28-16AWG 0.5-1.5mm²

Strip length: 6-7mm

65. Q: H.265 は H.264 に比べてストレージ容量が少なくて済む？

A: H.265はH.264のおおよそ50%~75%のビットレートで同じ映像品質を保つことが可能な映像フォーマットです。例えば次の様な対応が可能です。

- 1) H.265とH.264で同じビットレートで録画した場合、H.265録画の場合はH.264録画の場合に比べてブロックノイズ耐性がおおよそ25~50%向上します。街路樹が映り込む等でブロックノイズ発生の懸念がある場合、H.265録画でブロックノイズ耐性を増やします。
- 2) これまでH.264録画で映像品質に問題の無かった(ブロックノイズが発生しなかった)ビットレートが把握できている場合、H.265録画で50~75%のビットレートに抑えることが可能です。

10.2 メンテナンス

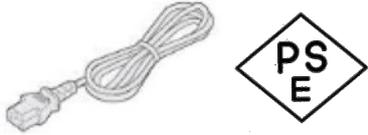
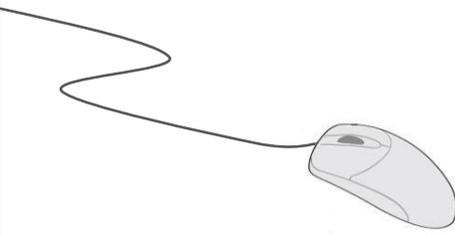
HDD は消耗品です。2～3年での計画的な HDD 交換メンテナンスを推奨いたします。

日本防犯設備協会発行 維持管理基準 (SES E 7702-3) をご参考にしてください。

www.ssaj.or.jp

1. NVR をシャットダウンするには、最初にシステムをシャットダウンしてから電源を切ります。電源を直接オフにした場合、HDD データが破損する恐れがあります。
2. NVR は高温になる場所に設置しないでください。
3. 内部にほこりが溜まっている場合、異物が入った場合は代理店までメンテナンスを御依頼ください。
4. 機器の電源が入った起動中の状態のままオーディオケーブルやビデオケーブル、RS-232 や RS-485 などのコネクタに接続されたケーブルを抜き差ししないでください。
5. データの損失に備え、HDD は 2～3 年に一度メンテナンスを実施することを推奨いたします。メンテナンスを御検討の際は代理店までご連絡下さい。
6. NVR の音声信号や映像信号が他の電子機器に介入しないようにし、静電気や誘起電圧による HDD の破損を防止してください。ネットワークケーブル/ネットワークスイッチが長年継続して接続されている場合は、ネットワークケーブル/ネットワークスイッチの定期交換メンテナンスを推奨いたします。
7. 長期で連続してご利用の際は、AC コード、LAN ケーブルのプラグが奥までしっかり差し込まれていることを定期的にご確認ください。
8. この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

10.3 付属品(参考)

クイックガイダンス	 <p>ネットワークビデオレコーダー クイックガイド TNV-RH16PW/RH32PW</p>
添付 CD-ROM	
電源ケーブル(約 1.8m)	
USB マウス	

10.4 記録時間の目安一覧表

この目安時間は撮影するカメラの被写体内容などにより変動する事がありますので、あくまでもご参考とお考えください。H.265 は H.264 のおおよそ 50%~75%のビットレートで同じ映像品質を保つことが可能な映像フォーマットです。冗長ディスク機能をご利用の際は冗長化部分の容量を除きます。Data/Hour, Data/Day は 1CH だけのデータ量です。

推奨する録画ビットレートの範囲
2048kbps~16384 kbps

・記録時間の目安一覧表 (H264・H265)

Bit Rate (Kbps)	Data/Hour (Mbyte)	Data/Day (Gbyte)	2TB搭載の場合 (単位: 時間)		16TB搭載の場合 (単位: 時間)	
			16CH	32CH	16CH	32CH
16384	7200.00	168.75	16.49	8.24	132.38	66.19
12288	5400.00	126.56	21.98	10.99	176.51	88.26
10240	4500.00	105.47	26.38	13.19	211.81	105.91
8192	3600.00	84.38	32.97	16.49	264.77	132.38
7168	3150.00	73.83	37.68	18.84	302.59	151.30
6144	2700.00	63.28	43.96	21.98	353.02	176.51
5376	2362.50	55.37	50.24	25.12	403.45	201.73
5120	2250.00	52.73	52.75	26.38	423.63	211.81
4608	2025.00	47.46	58.62	29.31	470.70	235.35
4096	1800.00	42.19	65.94	32.97	529.53	264.77
3840	1687.50	39.55	70.34	35.17	564.84	282.42
3584	1575.00	36.91	75.36	37.68	605.18	302.59
3328	1462.50	34.28	81.16	40.58	651.73	325.87
3072	1350.00	31.64	87.92	43.96	706.05	353.02
2560	1125.00	23.37	105.51	52.75	847.26	423.63
2304	1012.50	23.73	117.23	58.62	941.39	470.70
2048	900.00	21.09	131.89	65.94	1059.07	529.53
1792	787.50	18.46	150.73	75.36	1210.36	605.18
1664	731.25	17.14	162.32	81.16	1303.47	651.73
1536	675.00	15.82	175.85	87.92	1412.09	706.05
1280	562.50	13.18	211.02	105.51	1694.51	847.26
1024	450.00	10.55	263.77	131.89	2118.14	1059.07
896	393.75	9.23	301.45	150.73	2420.73	1210.36
768	337.50	7.91	351.70	175.85	2824.18	1412.09
640	281.25	6.59	422.04	211.02	3389.02	1694.51
512	225.00	5.27	527.54	263.77	4236.28	2118.14
448	196.88	4.61	602.91	301.45	4841.46	2420.73
384	168.75	3.96	703.39	351.70	5648.37	2824.18
320	140.63	3.30	844.07	422.04	6778.04	3389.02
256	112.50	2.64	1055.09	527.54	8472.55	4236.28
224	98.44	2.31	1205.82	602.91	9682.92	4841.46
192	84.38	1.98	1406.79	703.39	11296.74	5648.37
160	70.31	1.65	1688.14	844.07	13556.09	6778.04
128	56.25	1.32	2110.18	1055.09	16945.11	8472.55
96	42.19	0.99	2813.57	1406.79	22593.48	11296.74
80	35.16	0.82	3376.29	1688.14	27112.17	13556.09
64	28.13	0.66	4220.36	2110.18	33890.21	16945.11
48	21.09	0.49	5627.15	2813.57	45186.95	22593.48
32	14.06	0.33	8440.72	4220.36	67780.43	33890.21

※但し全チャンネルで、録画のストリームモードを“メインストリーム”へ、録音（音声）記録を“無し”へ設定した場合。

10.5 用語集

AI

従来の検知トリガにはない、高度な検出機能を提供します。

デュアルストリーム

デュアルストリームがネットワークを介して低解像度のストリームを送信しながら、局所的に高解像度のビデオを記録するために使用する技術です。2つのストリームは4CIFおよびCIFの最大解像度を有するサブストリームの最大解像度を持つメインストリームでは、デバイスによって生成されます。

トリガ

きっかけとなる出来事のこと。イベント。自動的に特定の処理を行う仕組みなどをこのように呼びます。例えば、モーション録画の場合はモーションを利用して(トリガにして)自動で録画動作させます。

ノーマルオープン

通常の下況下で接点は開回路であり、閉回路になるには外力やその他の信号が必要であり、この接点は「ノーマルオープン」接点(Normal Open、N.O.またはNO)または「A接点」と呼ばれ、英語ではBreakとも呼ばれます。

ノーマルクローズ

通常の下況下で接点は閉回路であり、開回路になるには外力やその他の信号が必要であり、この接点は「ノーマルクローズ」接点(Normal Close、N.C.またはNC)または「B接点」と呼ばれ、英語でMakeとも呼ばれます。

DDNS

ダイナミックDNS(DDNS)は、インターネットドメイン名を可変IPアドレスにポイントするシステムです。DNSはドメイン名とIPアドレスの間の静的な対応のみを提供し、IPアドレスが変更されると、DNSはドメイン名とIPアドレスの間の対応を動的に更新できないため、アクセスエラーが発生します。しかし、DDNSシステムは、ユーザの動的IPアドレスを固定ドメイン名解決サービスにマッピングし、ユーザがネットワークに接続するたびに、クライアントプログラムは、ホストの動的IPアドレスを情報伝送を通じてサービスプロバイダのホスト上にあるサーバプログラムに送信し、動的ドメイン名解決を実現する。DDNSは、ドメイン名とDNSサーバー上のIPアドレス間の対応を動的に更新し、ドメイン名を介して正しいIPアドレスにアクセスできるようにするために使用されません。多くの組織は、バックグラウンドで実行され、数分ごとにコンピューターのIPアドレスをチェックし、IPが変更された場合にIPアドレスを更新するようにDNSサーバーに要求を送信するDDNSサービスを提供しています。無人または不便な外部ルーターの場合、ビデオ監視はDDNSが統合された監視機器を使用し、DDNSサービスを申請して取得したユーザー名とパスワードを関連フィールドに入力し、ブロードバンド回線を介して直接接続することもできます。リモート監視端末には、ドメイン名から直接アクセスできます。

DHCP

ダイナミックホストコンフィギュレーションプロトコル(DHCP)は、インターネット・プロトコル・ネットワークでの動作のための設定情報を取得するための装置(DHCPクライアント)で使用されるネットワークアプリケーションプロトコルです。

HTTP

Hyper Text Transfer Protocol 転送プロトコルの略。ネットワークを介してサーバとブラウザ間のハイパーテキストの要求と情報を転送するためのプロトコルです。

NTP

ネットワークタイムプロトコルの略。ネットワークを介して時刻同期させるために設計されたプロトコルです。

NVR

ネットワークビデオレコーダーの略。NVR は、IP カメラ、IP ドームと他の NVR の一元管理とストレージに使用される PC ベースまたは埋め込まれたシステムにすることができます。

PPPoE

イーサネット上のポイントツーポイントプロトコルは、イーサネットフレームの内側にポイントツーポイントプロトコル (PPP フレーム) をカプセル化するためのネットワークプロトコルです。個々のユーザーがイーサネット上とプレーンメトロイーサネットネットワークにおける ADSL トランシーバ (モデム) に接続し、ADSL サービスで、主に使用されます。ADSL トランシーバ (モデム) に接続し、ADSL サービスで、主に使用されます。

PTZ

パン、チルト、ズームの略。カメラが左右 (パン)、アップとダウン (チルト)、ズームイン、ズームアウトすることができるモータ駆動システムです。

SEQ

シーケンス動作の略。

SNMP

SNMP は、Simple Network Management Protocol と呼ばれる SNMP マネージャと SNMP エージェント間の通信プロトコルです。IETF (Internet Engineering Task Force、インターネット エンジニアリング タスク グループ) によって定義された SGMP (Simple Gateway Monitor Protocol、シンプル ゲートウェイ モニタリング プロトコル) に基づくネットワーク管理プロトコルです。SNMP テクノロジーを活用したネットワーク管理ステーション (NMS) では、管理ワークステーションが SNMP を使用してリモートでコンピュータワークステーション、端末、ルーター、ハブ、ネットワークプリンタなどのネットワーク上のすべてのサポートされたデバイスの、デバイスの状態、デバイス構成の変更、イベント警告を監視可能です。

USB

Universal Serial Bus の略。USB はプラグアンドプレイホストコンピュータとのインターフェースデバイスへのシリアルバス規格です。

冗長ディスク

“冗長ディスク”が設定されている場合、“読み出し/書き込みディスク”への録画映像を自動的にバックアップします。このように、“冗長ディスクモード”は、読み出し/書き込みディスクと冗長ディスクの両方でカメラを同時に録画するようにシステムが稼働することで、“読み出し/書き込みディスク”へのディスク障害へ備える仕組みです。[\[5.5.1 ディスク管理\]](#)をご参照ください。“冗長ディスク”は“RAID”ではございませんのでご注意ください。

10.6 製品仕様

※製品の仕様は予告無く、変更することがあります。

■TNV-RH16PW

型名		TNV-RH16PW 16入力 4K PoE対応ネットワークレコーダー
ビデオ/音声 入力	IPビデオ入力	16ch 最大8メガピクセル
	オーディオ	1ch,RCA
ネットワーク	入力帯域幅	256Mbps
	出力帯域幅	128Mbps
映像/オーディオ出力	録画解像度	12MP, 8MP, 5MP, 3MP, 2MP(1080P), 1.3MP(960P), 1.0MP(720P)
	HDMI1出力解像度	1024*768, 1280*720, 1280*1024, 1440*900, 1920*1080, 3840*2160/EDID
	HDMI2出力解像度	1024*768, 1280*720, 1280*1024, 1440*900, 1920*1080
	VGA出力解像度	1024*768, 1280*720, 1280*1024, 1440*900, 1920*1080
	オーディオ出力	1ch, RCA
デコーディング	デコーディングフォーマット	H.264/H.264+/H.265/H.265+
	ライブビュー/再生解像度	12MP, 8MP, 5MP, 3MP, 2MP(1080P), 1.3MP(960P), 1.0MP(720P)
	同時再生(Max)	8ch(2MP) 4ch(4MP) 3ch(8MP) 2ch(5MP) 1ch(12MP) (フィッシュアイ展開は1chのみ)
	キャパシティ	4K:60fps, 4MP:120fps, 2MP:240fps
歪み補正	フィッシュアイモード	対応(フィッシュアイカメラ接続時)
ハードディスク	HDD(SATA)	HDD(SATA) インターフェイス × 2
	容量	HDD(4TB) × 1標準搭載 (最大20TB(10TB × 2)まで増設可能)
	eSATA	最大10TB
外部 インターフェイス	ネットワーク・インターフェイス	RJ-45 × 1 100/1000 Mbps (自動認識)
	USBインターフェイス	フロントパネル: USB2.0X1, リアパネル: USB3.0X1, USB2.0X1
	アラーム入/出力 通信	入力X16 / 出力X1 RS-485
PoE	インターフェイス	RJ-45 × 16
	最大消費電力	30W/ch(全ChTotal 156Wまで)
	サポート規格	IEEE 802.3at, IEEE 802.3af
総合	電源	AC100~240V, 50/60Hz
	消費電力	最大12W(HDD除く)
	動作温度	-10~40°C
	動作湿度	10~90%(但し、結露しないこと)
	外形寸法	380(W) × 50(H) × 340(D)mm
	質量	約 3.7kg(標準HDD4TB装着時)
	付属品	取扱説明書、ソフトウェアCD、電源ケーブル、マウス

■ TNV-RH32PW

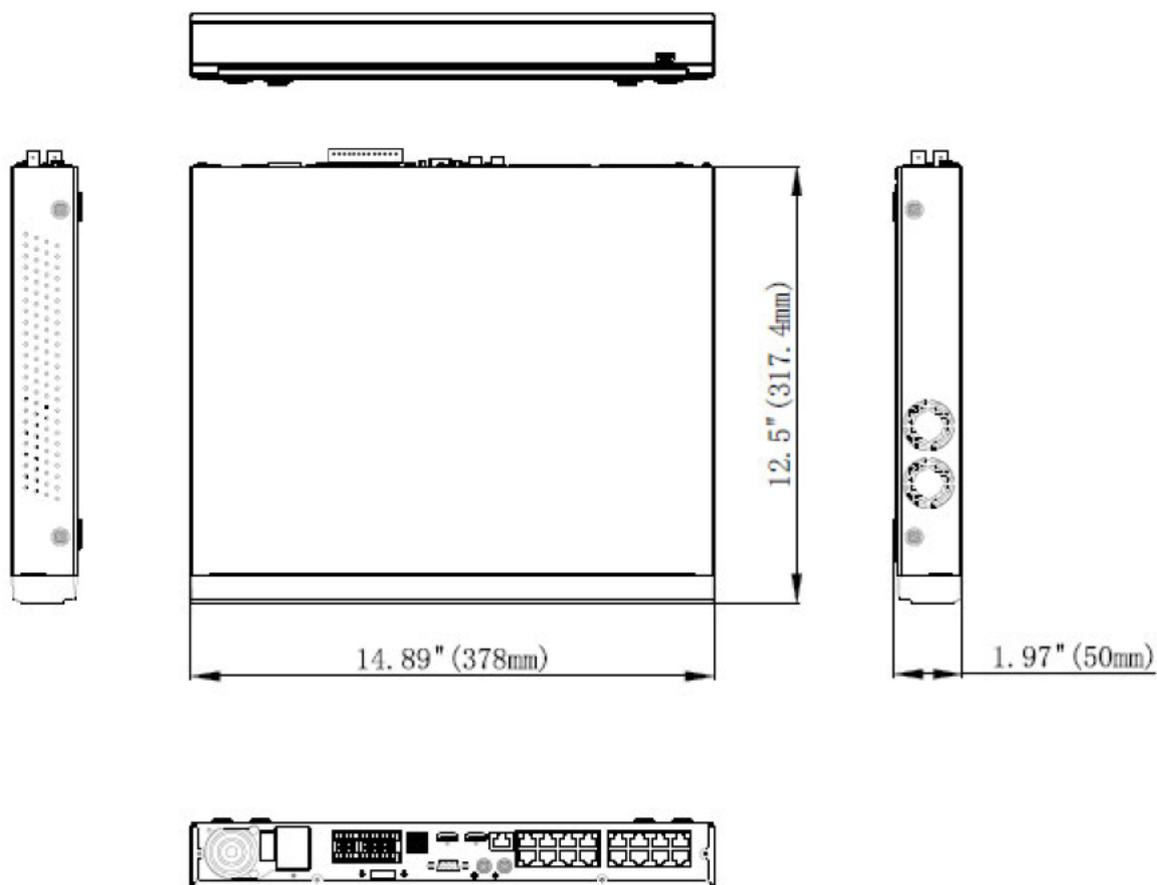
型名		TNV-RH32PW 32入力 4K PoE対応ネットワークレコーダー
ビデオ/音声 入力	IPビデオ入力	32ch (PoE: 16ch, LAN: 16ch) 最大8メガピクセル
	オーディオ	1ch, RCA
ネットワーク	入力帯域幅	512Mbps
	出力帯域幅	512Mbps
映像/オーディオ出力	録画解像度	12MP, 8MP, 5MP, 3MP, 2MP(1080P), 1.3MP(960P), 1.0MP(720P)
	HDMI1出力解像度	1024*768, 1280*720, 1280*1024, 1440*900, 1920*1080, 2560*1440, 3840*2160/EDID
	HDMI2出力解像度	1024*768, 1280*720, 1280*1024, 1440*900, 1920*1080, 2560*1440, 3840*2160/EDID
	オーディオ出力	1ch, RCA
デコーディング	デコーディングフォーマット	H.264/H.264+/H.265/H.265+
	ライブビュー/再生解像度	12MP, 8MP, 5MP, 3MP, 2MP(1080P), 1.3MP(960P), 1.0MP(720P)
	同時再生(Max)	32ch(2MP) 16ch(4MP) 13ch(5MP) 2ch(5MP) 8ch(8MP) 5ch(12MP) (フィッシュアイ展開は5ch)
	キャパシティ	4K:240fps, 4MP:480fps, 2MP:960fps
歪み補正	フィッシュアイモード	対応(フィッシュアイカメラ接続時)
ハードディスク	HDD(SATA)	HDD(SATA) インターフェイス×4
	容量	HDD(4TB)×2標準搭載(最大48TB(12TB×4)まで増設可能)
	eSATA	最大12TB
外部 インターフェイス	ネットワーク・インターフェイス	RJ-45×2 100/1000 Mbps (自動認識)
	USBインターフェイス	フロントパネル: USB2.0×1, リアパネル: USB3.0×1, USB2.0×1
	アラーム入/出力 通信	入力X16 / 出力X1 RS-485
PoE	インターフェイス	RJ-45×16
	最大消費電力	30W/ch(全ChTotal 220Wまで)
	サポート規格	IEEE 802.3at, IEEE 802.3af
総合	電源	AC100~240V, 50/60Hz
	消費電力	最大10W(HDD除く)
	動作温度	-10~40°C
	動作湿度	10~90%(但し、結露しないこと)
	外形寸法	378(W)×66(H)×325.8(D)mm
	質量	約 4.7kg(標準HDD4TB×2装着時)
付属品	取扱説明書、ソフトウェアCD、電源ケーブル、マウス	

5.7 外形寸法図

※製品の仕様は予告無く、変更することがあります。

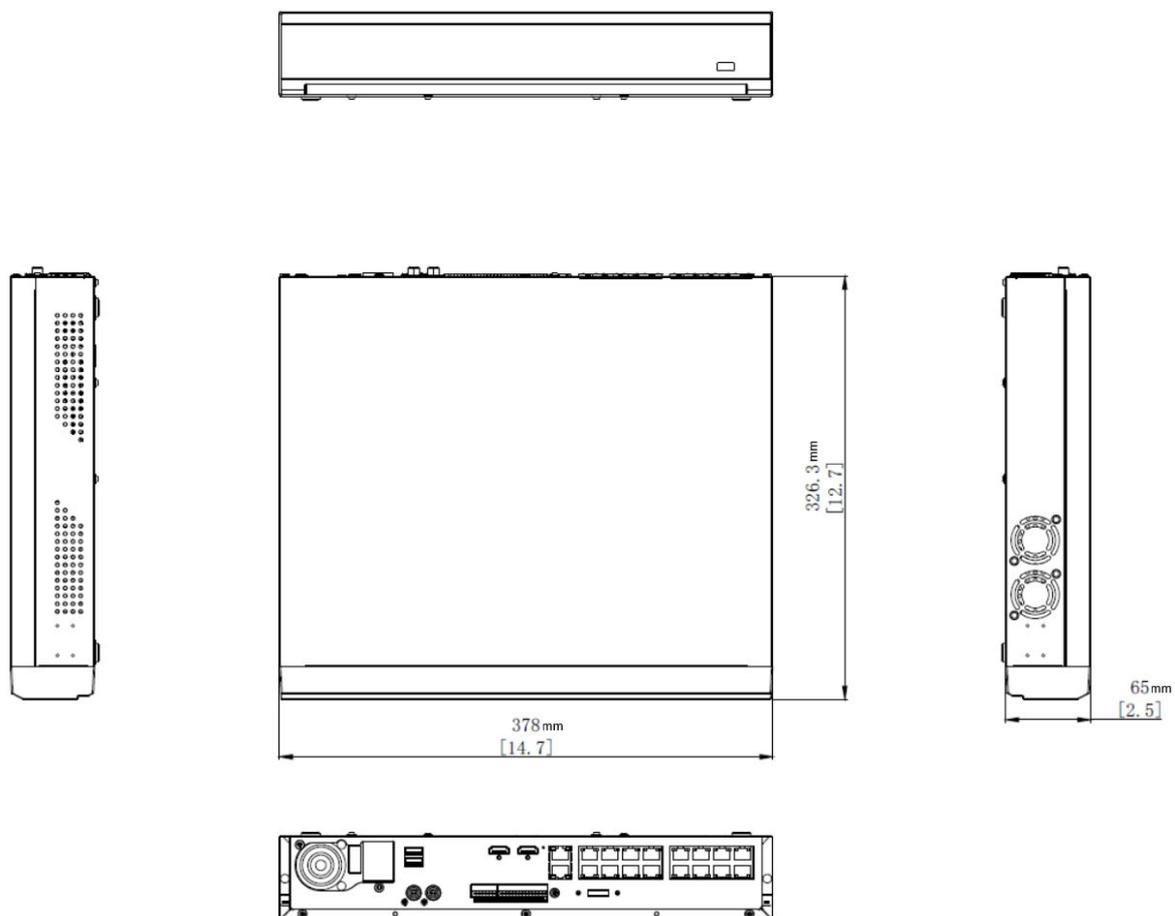
■TNV-RH16PW

排気ファンは後方へ1台、側面へ1台搭載。



■TNV-RH32PW

排気ファンは後方へ1台、側面へ2台搭載。



10.8 免責について

1. この商品は、カメラで監視している映像を録画・再生することを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
2. 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - 1) 本商品に関連して直接または間接的に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
 - 2) お客様の誤使用や不注意による損害または本商品の破損等。
 - 3) お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。
 - 4) 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示・記録または動体検知等ができないこと及び記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害。
 - 5) 第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
 - 6) お客様による監視映像(記録を含む)が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果生じた損害、被害。
 - 7) 被写体となった個人または団体等によるプライバシー侵害等を理由とするいかなる賠償請求、クレーム等。
 - 8) 本商品の自動動体検知機能の誤検出、各検知機能の誤検出、または検出モレによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。